2023年度

シ　ラ　バ　ス

桐生大学　医療保健学部

看護学科

講義コード	10010001
講義名	哲学・倫理学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年/4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 村上 隆夫	指定なし

授業の概要と教育目標

西欧の哲学および倫理学という学問に関する基本的な事柄について学ぶことを教育目標とする。そのために、古代ギリシアにおける哲学・倫理学の成立と、古代ユダヤのヘブライ文化を源流とするキリスト教の成立とを跡付けて、その後の西欧の哲学と倫理学の発展を近代にいたるまで概観する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

広い基礎的な教養の獲得を目指す選択科目として卒業認定・学位授与の方針と関連する。

到達目標

古代および近代のヨーロッパの哲学・倫理学のみならず、現代の哲学・倫理学についての入門的な文献を読解できるようにすることを目標とする。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	＜古代地中海世界の文化＞ 古代地中海世界におけるギリシャ人の文化とユダヤ人の文化について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第2回	＜ギリシア哲学の形成（１）＞ ソクラテスの生涯とその哲学・倫理学について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第3回	＜ギリシャ哲学の形成（２）＞ 上に同じ		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第4回	＜ギリシャ哲学の展開（１）＞ プラトンの哲学・倫理学について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）

第5回	＜ギリシア哲学の展開（２）＞ 上に同じ		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第6回	＜ギリシア哲学の展開（３）＞ アリストテレスの哲学・倫理学について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第7回	＜ギリシア哲学の展開（４）＞ 上に同じ		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第8回	＜キリスト教の成立（１）＞ イエスの生涯とその倫理思想について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第9回	＜キリスト教の成立（２）＞ パウロによるキリスト教思想の形成について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第10回	＜キリスト教神学の形成＞ アウグスティヌスのキリスト教神学について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第11回	＜キリスト教神学の展開＞ 中世キリスト教神学における普遍論争について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第12回	＜宗教改革の思想＞ マルティン・ルターとジャン・カルヴァンのキリスト教思想について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第13回	＜近代哲学・倫理学の形成（１）＞ トマス・ホッブズの哲学・倫理学の近代的性格について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第14回	＜近代哲学・倫理学の形成（２）＞ デカルトの哲学・倫理学の近代的性格について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第15回	＜総括と討論＞ これまでの講義について補講を行い、さらに総括のための討論の時間を設ける。	講義内容についての意見と討論を求める。	講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）

教科書

特に使用しない。講義の際にレジュメを配布する。

参考書

講義のなかで適宜指示する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。学期末試験（１００％）による評価を行う。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業の後で関連する事項について検索をおこなうなど、復習することが望ましい。
評価は期末試験によって行い、要望があれば具体的に講評する。

履修のポイント

レジュメに関連してノートに補足してまとめることが望ましい。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応ずる。
科目区分
教養科目/学部共通科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-C070

講義コード	10020001
講義名	心理学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	２時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

ものを見聞きすること、覚えること、考えること、泣いたり笑ったりすることなど、私たちが意識するとしないとにかかわらず、人のあらゆる活動に心はかかわっている。そして、人は常に、状況に応じて適切な判断を下し、その場に合った行動をうまく選択し、自分にとって必要で大切だと思うことをきちんと覚えておくような存在かというと、そうでもない。心理学は、私たちのそうした心のはたらきを実証的に明らかにすることを目的とした科学である。看護職をめざすものとして、人の心の多様なはたらきについて学修することは、人間理解の一環にもなる。本講義はそうした観点から、人の心の多様なはたらきがどのように明らかにされてきたかについて取り上げる。授業は講義形式で行うが、テーマによって視聴覚にうったえる試みもする予定である。人の心のはたらきについて広く知識を獲得し、人（患者）を理解する基本的態度を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、多様性を前提とした人に対する理解を深めることを目指し、科学的根拠に基づいた心理的側面の知識を養う。そして、看護職として看護対象となる人の健康の諸側面、健康生活と社会との関係について、心的側面から理解することを目指す。

到達目標

１．知覚・記憶・学習・発達・性格・感情と欲求・適応機制などにかかわる専門用語の意味を理解する。
２．知覚・記憶・学習・発達・性格・感情と欲求・適応機制などにかかわる心理学理論について理解する。
３．日常的な出来事を心理学の理論に沿って理解する。
４．人の心の全般的なしくみについて理解する。

授業計画

	授業内容と方法、	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間

	課題		
第1回	心理学のいろいろ	オリエンテーション（授業の進め方、成績評価など） 心理学の系譜を概観しながら、日常生活から社会の動きまでのトピックスをワークシートを使いながら理解を深める。	予習90分：教科書第1章を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第2回	知覚心理学	錯視をはじめとし、見えの不思議について教科書のワークをしながら知覚の不思議を体験する。 （DVDの視聴あり）	予習90分：教科書pp.20-34を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第3回	学習心理学	テスト勉強で何かを覚えるだけでなく、知らず知らず身につけてしまう学習について取り上げる。日常生活で我々が知らず知らず身に着けている行動の例についてで考える。 （DVDの視聴あり）	予習90分：教科書pp.34-43を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第4回	認知心理学	記憶や思考についてのワークをしながら理解を深める。	予習90分：教科書pp.43-54を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第5回	人格心理学	いくつかの心理検査を行い、自分自身についての理解を深めながら、パーソナリティについての理解を深める。	予習90分：教科書pp.56-70を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第6回	発達心理学①	発達の基本概念について取り上げる。発達を促進する遺伝的要因と環境要因について、メンバーの考えを聴きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.71-83を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第7回	発達心理学②	自分らしさを作り上げる過程から死を迎えるまでの発達について取り上げる。心理検査等により自分のアイデンティティについての理解を深めながら、青年期の発達課題について理解する。	予習90分：教科書pp.84-101を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第8回	社会心理	対人関係における印象形成、対人魅力、恋愛について、メンバーの考えを聴きながら自分の考えを広げたり深め	予習90分：教科書pp.102-118を読む。 復習90分：小テ

	学①	たりする。	ストに解答する。配布資料を見直す。
第9回	社会心理学②	人を動かす心理学について、メンバーの考えを聴きながら自分の考えを広げたり深めたりする。 DVD視聴	予習90分：教科書pp.119-135を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第10回	社会心理学③	援助行動と攻撃行動について、メンバーの考えを聴きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp136-148を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第11回	健康心理学①	心の健康、適応について、メンバーの考えを聴きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.149-158を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第12回	健康心理学②	ストレスについてメンバーの考えを聴きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.158-163を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第13回	健康心理学③	心の健康の維持、回復について取り上げるが、さらに、正常と異常の違いについて多面的に考える。	予習90分：教科書pp.164-171を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第14回	臨床心理学	こころへのアプローチについて、「無意識」「行動」「認知」「成長する力」に焦点を当てて理解する。	予習90分：配付資料の14回目分を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第15回	社会現象と心理学確認テスト	社会・集団等によって知らず知らず影響を受けていることを理解する。特にコロナ禍における心理学から見た社会現象について考究する。 DVD視聴	予習90分：教科書pp.172-182を読む。 復習90分：配布資料を見直す。

教科書
藤本忠明他 『ワークショップ心理学』 ナカニシヤ出版
参考書

適宜紹介する。
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。 確認テスト（最終授業で毎回の授業で行う小テストから40問を出題）40％ レポート・課題30％ 授業への積極性・態度30％
課題等に対する フィードバックの方法
レポートは、返却するので学習の参考にすること。 小テストの答えは、授業の始めに提示するので必ず解答しておくこと。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します。
オフィス・アワー
水曜日・木曜日、12：30～13：20（昼休み）、11 号館第 8 研究室。 ※講義終了前後にも、適宜受け付けます。
科目区分
教養科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-C010

講義コード	10030001
講義名	教育原論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし

授業の概要と教育目標

教育に関する基本的な事項について学ぶ。これまで受けてきた家庭教育・学校教育・社会教育での経験を踏まえながら、「教育とは何か」について、また教育がもたらす弊害についても考える。そして、「主体的・対話的で、深い学び」とは何かついて理解を深めていく。※「読む」「書く」「話す」という実践的訓練（スキル）を毎時間行う。特に「話す」については、授業内容に即して発言を求める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

1. 生命の尊厳に基づき、人を価値ある存在として認めることができる。
2. 多様な価値観を認め、倫理観を持って実践できる。
3. ICT(情報通信技術)を利用して必要な情報を収集・活用し、看護の実践に役立てることができる。
4.国際的な視野を持ち、さまざまな地域で生活する人々の多様性を理解し、発達課題・健康レベルに応
じた支援をイメージできる。
5. 能動的な学習方法を習得し、生涯にわたり研鑽を積む習慣を身に付けている。

到達目標

教育とは何か、人間として生きるために、また人間として成長するために、なぜ教育が必要であるかということについて考えます。その上で、現実に行われている教育について考える視点をもつことができることを目標とします。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	これまで受けてきた教育を振り返りながら、家庭教育・学校教育・社会教育についての考え方を共有する。	これまで受けてきた家庭教育・学校教育・社会教育についてワークシートを用いて振り返る。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

第2回	人間が存在するようになった時代を想像しながら、教育の有り様を考える。	視聴覚教材を観て、意見・感想をまとめる。	予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。
第3回	乳幼児の成長を追いながら、親・家族の存在と教育（保育）について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。
第4回	児童期を迎えた子どもたちと小学校での教育（初等教育）と家庭・地域との連携・協力について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。
第5回	生徒期を過ごす子どもたちと中学校・高等学校での教育（中等教育）と家庭・地域との連携・協力について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。
第6回	学生期を過ごす青年たちと大学の教育（高等教育）と地域との連携・協力について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。
第7回	人間についての観念（人間観）の歴史的変遷と教育を踏まえ、その内容と方法について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。
第8回	近代教育史を中心にして、その変遷と価値観の転換について考える。また、日本の近代公教育の成立を踏まえながら、権利としての教育（憲法）、教育基本法、学校教育法について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。
第9回	学校の中心的な教育活動である授業と学習の関係について考える。	「主体的、対話的で深い学び」とは何かを考える。アクティブラーニングとは何かを考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。
第10回	学校という組織の運営と計画、教育内容の組織化と形態、教育課程の編成、学習指導要領について学び、考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。
第11回	教科外教育としての生徒指導（生活指導）や特別活動、道徳教育の役割と課題について考える。また、教科外教育において、今日の学校環境を取り巻く学校安全についての理解を深める。		予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。
第12回	学校保健安全法をとりあげ、生活安全・交通安全・災害安全について学び、その意義を理解する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付

			資料を見直す。
第13回	今日求められる「開かれた学校」について学び、その意義を理解する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。
第14回	教育や学習とは何かという問いに基づきながら、社会構成的学習（参加・対話型）を実際に行ってみる。	「主体的、対話的で深い学び」とは何かを考える。アクティブラーニングとは何かを考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。
第15回	教育の現状を踏まえながら、これからの教育のあり方について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。

教科書

なし

参考書

『学生のための教育学』西川信廣・ほか編、ナカニシヤ出版。
文部科学省『幼稚園教育要領』（平成29年）。
文部科学省『小学校学習指導要領』（平成29年）。
文部科学省『中学校学習指導要領』（平成29年）。
文部科学省『生徒指導提要』（平成22年）。
※適宜資料を配付する。

成績評価の方法・基準

定期試験（80%）、授業時のレポート（20%）
単位認定基準60%以上

課題等に対するフィードバックの方法

授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので、授業の振り返りとして役立てること。

履修のポイント

主体的、対話的で深い学びを期待します。

オフィス・アワー

火曜日・木曜日の12：30～13：20（昼休み） 11号館第7研究室
※授業終了後にも、適宜受け付けます。

科目区分

教養科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C011

講義コード	10040001
講義名	日本国憲法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松原 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

社会保障費の増大と国民負担率の上昇、地方自治体の消滅可能性、働き方改革など、国の課題は山積している。そんな中、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、大学生全員が選挙権を有することになってから、すでに何回かの選挙が行われている。本講座においては、私たちの生活や安全に大きな関わりをもつ国の基本法である日本国憲法を素材に、私たちの生活を考えていく予定である。
憲法の基本原理とその根底に流れる思想を学習した後、われわれの生活に深く関わりのある現代的なトピックを取り上げ、できる限りくらしとの関わりに留意しながら、主権者としての判断能力を身につけられるよう、学習していく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

憲法を素材として、人間に対して、社会的側面から理解できるように学修する。医療者として必要な倫理、守るべき法令の根本規範である憲法を理解し、それに沿って行動できるように学修する。

到達目標

１．憲法とは何か、また法令の基本構造、および法令における憲法の位置づけを理解する。
２．憲法に規定されている基本的人権は何か、またその具体的内容について理解する。
３．国の政治のしくみについて、憲法はどう規定しているかを理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	現在、日本国憲法に関してどのような問題が生じているのかについて学習した後、憲法とはどのような法かを学習する。立憲主義についても学習する。		予習90分： シラバスを読み、授業計画について把握する。 復習90分：ハンドアウト第1回に記載してある内容を読んで、復習する。
	日本国憲法の制定過程につい		予習90分： ハンドアウト第2回およ

第2回	て、第二次大戦後からＧＨＱによる憲法案の提示、国会での審議等について、ＶＴＲに沿って学習する。		び『目で見る憲法』p.viii、p.2～p.4を読む。 復習90分：ハンドアウト第2回に記載してある内容を読んで、復習する。
第3回	日本国憲法の基本原理である「国民主権」について、規定と意味について学習する。さらに、「基本的人権の尊重」に関する規定とその概要について学習する。	憲法の制定過程についてのドキュメンタリーVTRに対するコメントを発表する。	予習90分： ハンドアウト第3回および『目で見る憲法』p.5～p.7を読む。 復習90分：ハンドアウト第3回に記載してある憲法や関連法令の条文を読んで、復習する。
第4回	日本国憲法の基本原理である「平和主義」について、規定内容を学習し、さらに日本の防衛政策の現状、安保関連法制との関係について、学習する。平和主義に関する裁判についてのVTRを使って学習する。	憲法第9条が争点となった裁判についてのドキュメンタリーVTRに対するコメントを発表する。	予習90分： ハンドアウト第4回および『目で見る憲法』p.8～p.10を読む。 復習90分：ハンドアウト第4回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。
第5回	憲法が保障している法の下の平等の意義・内容について学習する。現実に生じている平等をめぐる問題について、判例を素材として検討する。		予習90分： ハンドアウト第5回および『目で見る憲法』p.23～p.29を読む。 復習90分：ハンドアウト第5回に記載してある憲法や関連法令の条文、判例、その他の内容を読んで、復習する。
第6回	信教の自由を中心に学習する。なぜ認められる必要があるのか、その歴史的沿革、内容について学習する。また、政教分離原則について学習し、信教の自由に関する判例と政教分離に関する判例を素材として、学習する。		予習60分： ハンドアウト第6回および『目で見る憲法』p.30～p.33を読む。 復習120分：ハンドアウト第6回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。中間確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第7回	表現の自由の意義とその内容について、学習する。また、プライバシー権との関係についても学習する。さらに、表現の自由・プライバシー権をめぐる判例を検討する。	表現の自由とプライバシー権に関する判例のうちいくつかを取り上げ、議論する。	予習60分： ハンドアウト第7回および『目で見る憲法』p.34～p.42、p.19～p.20を読む。 復習120分：ハンドアウト第7回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、議論について、復習する。中間確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
	憲法が保障する「人身の自由」について学習した後、刑法との関係について理解する。また、犯罪と刑罰制度の概要を学習		予習90分： ハンドアウト第8回および『目で見る憲法』p.48～p.50を読む。 復習90分：ハンドアウト第8回に記

第8回	し、特に死刑制度について、その現状とそれに対する議論を検討する。 中間確認テスト(40分間)を実施する。		載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。
第9回	社会権と区分される人権について学習した後、「生存権」についての規定について学習した後、医療保健福祉行政にどのように関わっているかを中心に、その概要を学習する。		予習90分： ハンドアウト第9回および『目で見る憲法』p.51～p.52を読む。 復習90分：ハンドアウト第9回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。
第10回	「労働者に関わる人権」と「教育を受ける権利」について学習し、理解する。		予習120分： ハンドアウト第10回および『目で見る憲法』p.53～p.56を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第10回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。返却されたテストの誤った部分について、正解を検討しておく。
第11回	国会のさまざまの権能、国権における地位について概観する。衆議院と参議院の関係、国会の意思決定過程、具体的な役割について学習する。さらに、選挙制度についても、学習する。		予習120分： ハンドアウト第11回および『目で見る憲法』p.57～p.61、p.69～p.84を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第11回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。
第12回	内閣の地位・役割について、学習する。「議院内閣制」の内容とメリット、内閣総理大臣の選出方法、国務大臣の任免、さらに内閣の具体的な役割、意思決定の方法等について、主に学習する。 ※授業終了時にレポートを提出する。課題は「憲法に関するニュースもしくは課題を法学的に検討する。」Ａ４用紙１枚以上を条件とする。		予習120分： ハンドアウト第12回および『目で見る憲法』p.85～p.92を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第12回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。
第13回	裁判のしくみについて、概要を学習した後、刑事裁判で取り入れられている裁判員制度について、ＶＴＲに沿って学習する。		予習60分： ハンドアウト第13回および『目で見る憲法』p.93～p.103を読む。 復習120分：ハンドアウト第13回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。最終確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見

			直す。
第14回	憲法が規定する「象徴天皇」の地位・権能、またそれを規定している皇室典範について、学習する。また、地方自治に関する規定内容について学習し、さらに、憲法改正の手続、憲法改正に関する各政党・学界・国民の考え方について理解する。	裁判員裁判に関するVTRに対するコメントを発表する。	予習60分： ハンドアウト第14回および『目で見る憲法』p.104～p.113を読む。 復習120分：ハンドアウト第14回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。発表されたコメントについて、自分の意見と対照させる。最終確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第15回	これまでの学習について、全体をまとめ、憲法を取り巻く状況とその課題について検討する。最終確認テスト(記述式・40分間)を実施する。		予習90分： ハンドアウト8～14を確認する。 復習90分：最終確認テストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。

教科書

『目で見る憲法』初宿正典・大沢秀介・他 編著（有斐閣）

参考書

『ポケット六法』山下友信・山口厚 編集代表 （有斐閣）

成績評価の方法・基準

平常点（授業への参加度・学習態度・授業内課題等）［20%］、レポート［30%］、確認テスト［50%］を総合して評価。総合点60点以上で単位認定する。

課題等に対する
フィードバックの方法

第8回に実施する中間確認テストの解答例と解説は、第9回以降の授業時に行う予定である。採点した答案は、第9回以降の授業時に返却する予定である。第12回に提出を義務づけたレポートについては、採点および講評記載の後、第15回の授業時に返却する予定である。第15回の最終確認テストについては、解答例及び解説をWeb上(「Teams」のフォルダー等)にPDFファイルで掲載する。採点した答案については、希望する者には返却する。11号館３階研究室11に取りに来ること。

履修のポイント

教員免許を取得しようとする学生は、必ず履修すること。

オフィス・アワー

月・火・金曜日，11時～15時（授業時間以外），11号館３階研究室５

科目区分

教養科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C020

講義コード	10050001
講義名	国際文化論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期（重複②）
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 篠原 貴子	指定なし

授業の概要と教育目標

本講義では、世界の国・地域・民族の文化や歴史を対象に、社会学や歴史学の視点から学ぶ。これを通じて、文化の概念や関連する諸概念を理解するとともに、現代の文化的事象と国際社会の課題を考える。また、グローバル化の影響による政治・経済・社会の変化、人々の暮らしや文化的営みと関連付ける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人間に対する理解を深めるため、他者への理解として歴史や文化を学び、幅広い知識を身に付ける。

到達目標

1. 世界の歴史や文化への興味・関心を高め、国際的な課題に対する認識を深める。
2. 多様な文化の成立過程を理解し、文化や歴史を説明できる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	国際文化論の課題		予習90分：この分野への知識や関心を高める。 復習90分：配布資料を見直す。
第2回	文化の社会学		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第3回	近代社会とイギリス	19世紀末の英国を舞台とする作品を鑑賞し、コメントを書く。	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。

第4回	観光の近代		予習90分：過去と現代の旅を比較する。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	国民国家の形成と文化	伝統文化の具体例を話し合う。	予習90分：国の伝統文化を調べる。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	移民の歴史と文化I：アメリカ移民の文化		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	移民の歴史と文化II：日本移民の歴史		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第8回	非西欧世界の文化		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第9回	ジェンダーと身体の文化		予習90分：ジェンダー関連の資料を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第10回	ポストコロニアリズムと文学		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第11回	日本の文化		予習90分：日本文化のイメージを考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第12回	歴史と記憶：戦争と人々の語り		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第13回	階級と文化		予習90分：文化資本を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第14回	グローバル化と現代の文化		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第15回	国際文化論の展望		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。

教科書

必要な資料は随時配布

参考書

授業時に随時紹介
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 試験結果と授業内課題で総合評価する。 （期末レポート60%、授業内課題40%）
課題等に対する フィードバックの方法
リアクションペーパーを課す場合がある。重要点の確認や疑問点を解説し、学習内容の理解に役立てる。
履修のポイント
授業内容に関して、意欲的に学習する。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。
科目区分
学部共通科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-C080

講義コード	10060001
講義名	家族関係論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	２時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 篠原 貴子	指定なし

授業の概要と教育目標

本講義は、家族のありようや家族をめぐる問題について、社会学・歴史学・心理学をはじめ多様な学問領域から学ぶ。ジェンダーの視点から、家族に関する事象を歴史・法律・政策・教育と関連づけて読み解く。また、現代の家族が抱える問題に着目し、家族を支援する制度、夫婦関係や親子関係について論じる。
本講義の目標は、家族の概念や家族の関係を学び、基本的な知識を身につけ、柔軟な思考力を養うことである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人間に対する理解を深めることを目指し、家族について社会学をはじめとする複数の学問の視点から学ぶことで幅広い知識を身に付ける。

到達目標

1. 家族の概念や歴史についての基本的な知識や用語を用いて説明できる。
2. 現代家族の現状や課題を踏まえ、家族の直面している問題を理解できる。
3. ジェンダーの視点から家族を考察することができる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	家族への着目		予習90分：この分野への知識や関心を高める学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第2回	家族研究の主題と方法		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。

第3回	ライフコース	ライフコースを描く。	予習90分：自分のライフコースを考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第4回	家族と制度		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	恋愛結婚の誕生		予習90分：現代の恋愛や結婚を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	メディアにみる家族・女性像	古い時代の作品を鑑賞し、その時代の家族や女性のあり方を考える。	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	近代社会と家族I：欧米の近代家族		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第8回	近代社会と家族II：日本の近代家族		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第9回	人口政策	人口政策について考え、意見を述べる。	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第10回	セクシュアリティ		予習90分：セクシュアリティの現代的な課題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第11回	子どもの誕生と家族		予習90分：仕事と家庭の両立について調べる。 復習90分：配布資料を見直す。
第12回	夫婦関係		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第13回	家族の抱える問題		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第14回	高齢化と家族の課題		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第15回	家族の未来		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。

教科書
必要な資料は随時配布
参考書
授業時に随時紹介
成績評価の方法・基準
単位認定 60 点以上 試験結果と授業内課題で総合評価する。 （期末レポートあるいは定期試験70%、授業内課題30%）
課題等に対する フィードバックの方法
リアクションペーパーを課す場合がある。重要点の確認や疑問点を解説し、学習内容の理解に役立てる。
履修のポイント
授業内容に関して、意欲的に学習する。
オフィス・アワー
授業日の、授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。
科目区分
学部共通科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-C030

講義コード	10070001
講義名	スポーツ科学I
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	実験・実習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	２時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 武井 英夫	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業は数種目の運動・スポーツを題材として、スポーツ心理学、スポーツ社会学、スポーツ生理学などスポーツの科学的側面を取り入れ実践していく。その際、運動・スポーツの楽しさを味わいながら、基本スキルの習得、仲間や教員とのコミュニケーション力の向上を重点的に取り上げ授業を進めていく。なお本科目は運動・スポーツの科学的理解と健康的な生活を送ることのできる能力の育成を目標としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、生命の尊厳に基づき、人を価値ある存在として認めることができるとともに、スポーツの科学的な理解や実践を通して、その目的達成に必要な知識や体力を養う。そして将来的な展望として、多職種の人々と連携・協働しながら社会に貢献する基盤となる学修を行うことを目指すものとする。

到達目標

１. 自己の体力レベルや健康状態を把握することができる。
２. 運動・スポーツの基礎知識、トレーニング方法などを科学的に理解することができる。
３. スポーツの基本スキルを習得することができる。
４. グループ内の個人の役割を意識し、自らコミュニケーションをとって動くことができる。
５. 得意・不得意にとらわれず積極的に取り組み、運動・スポーツを楽しむことができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	武井英夫	オリエンテーション （授業の概要、成績評価、諸注意など） 体育概論（ダイエットと健康）		予習45分：シラバスを読む。摂食障害について調べる。 復習45分：配布資料を見直す。

第2回	武井英夫	バドミントン①（バドミントンの歴史、ルールの確認とシングルス）		予習45分：バドミントンの歴史とルールを調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第3回	武井英夫	バドミントン②（シングルスやダブルスのゲーム）	ダブルスゲームでは、ゲーム終了後にペアごとに意見交換し、ゲーム内容の反省点を振り返り、次のゲームに生かす。	予習45分：バドミントンのダブルスのゲーム方法を調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第4回	武井英夫	ソフトバレーボール①（ソフトバレーボールの歴史とルール把握、基本スキルの習得）		予習45分：ソフトバレーボールの歴史や競技の特性ついて調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第5回	武井英夫	ソフトバレーボール②（トーナメント戦のゲーム）	ゲームの場面では、各チームごとに意見交換し、個性を生かしたポジションを決め、作戦を立ててゲームに取り組む。	予習45分：ソフトバレーボールの戦術やルールについて調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第6回	武井英夫	バレーボール（バレーボールの歴史、基本スキルの習得、ゲーム）		予習45分：バレーボールの歴史、基本スキルについて調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第7回	武井英夫	ネットボール①（ネットボールの歴史とルール把握、簡易ゲーム）		予習45分：ネットボールの歴史とルールについて調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第8回	武井英夫	ネットボール②（基本スキルの習得とゲーム）	各チームごとに個人の能力を考慮し、ポジションを決め、戦術を立てて積極的にゲームに取り組む。	予習45分：ネットボールの基本スキルと戦術について調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第9回	武井英夫	バスケットボール（バスケットボールの歴史、基本スキルの習得、ゲーム）		予習45分：バスケットボールの歴史と基本スキルを調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第10回	武井英	フットサル①（フットサルの歴史とルール把握、		予習45分：フットサルの歴史とフットサルとサッカーとのルールを比較する。

	夫	簡易ゲーム）		復習45分：本日行った運動について確認する。
第11回	武井英夫	フットサル②（基本スキルの習得とゲーム）	互いの考えを深めるように意見交換し、ポジションやフォーメーションを決め、戦術を立ててゲームに取り組む。	予習45分：フットサルの戦術について調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第12回	武井英夫	ドッジボール（ドッジボールの歴史と基本戦術の理解、ゲーム）		予習45分：ドッジボールの歴史と基本戦術を調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第13回	武井英夫	ネオホッケー①（ネオホッケーの歴史、ルール理解、簡易ゲーム）		予習45分：ネオホッケーの歴史とルールを調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第14回	武井英夫	ネオホッケー②（基本スキルの習得、ゲーム）		予習45分：ネオホッケーの基本スキルを調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第15回	武井英夫	ネオホッケー③（トーナメント戦）		予習45分：ネオホッケーの戦術について調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。

教科書

特定の教科書は使用しない。資料は必要に応じて配布する。

参考書

必要に応じて紹介する。

成績評価の方法・基準

実単位認定60点以上
スキル達成度20%、課題・レポート20%、授業への参加度60%。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内でレポートや課題を課すことがあるが原則として返却しない。全般的な講評と重要項目について解説を記述したプリントを配布するので、授業内容の理解に役立てること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します。特に指定はしませんが、季節にあった運動着、運動靴（体育館用シューズ）を準備してください。

オフィス・アワー

講義前後に、適宜受け付けます。

科目区分

教養科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-C013

講義コード	10080001
講義名	スポーツ科学II（2年生）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	実験・実習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 武井 英夫	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業は数種目の運動・スポーツを題材として、スポーツ心理学、スポーツ社会学、スポーツ生理学などスポーツの科学的側面を取り入れていく。その際、運動・スポーツの楽しさを味わいながら、スポーツ科学Iで履修した内容の発展的な学習を目指し、生涯にわたってスポーツに取り組む態度の育成を重点的に授業を進めていく。なお本科目は、スポーツの科学的理解と生涯スポーツへの基礎を身につけることを目標としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から理解を深め、スポーツの科学的な理解や実践を通してその目的達成に必要な知識や体力を養う。そして将来的な展望として、「社会に出て役立つ人間」の基盤となる学修を行うことを目指すものとする。

到達目標

１．自己の体力レベルや健康状態の課題を把握し、改善するための運動を実践することができる。
２．各スポーツ種目の歴史、ルール、マナーを理解し説明することができる。
３．各スポーツの発展的なスキルを習得することができる。
４．生涯にわたって運動・スポーツをすることの必要性や重要性を理解し、豊かなライフスタイルを形成する資質を身につけることができる。
５．得意・不得意にとらわれず、運動・スポーツを楽しむ能力を身につけることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	武井英夫	バドミントン①（シングルスゲームの戦術）		予習45分：シングルスゲームの戦術について調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。

第2回	武井英夫	バドミントン②（シングルスのリーグ戦）		予習45分：バドミントンの主審の役割について調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第3回	武井英夫	バドミントン③（シングルスのリーグ戦）		予習45分：バドミントンの副審と線審の役割を調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第4回	武井英夫	ソフトバレーボール①（基本スキルと三段攻撃の習得）		予習45分：ソフトバレーボールの攻撃方法を調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第5回	武井英夫	ソフトバレーボール②（リーグ戦）	各チーム内で意見交換し、個性や技能を生かしてポジションを決め、ゲームに取り組む。	予習45分：ソフトバレーボールの主審の役割を調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第6回	武井英夫	ソフトバレーボール③（リーグ戦）		予習45分：ソフトバレーボールの副審の役割を調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第7回	武井英夫	バスケットボール①（基本スキルとゲーム）		予習45分：３人制バスケ「３×３」を調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第8回	武井英夫	バスケットボール②（応用スキルとゲーム）		予習45分：バスケットボールの守備方法を調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第9回	武井英夫	バスケットボール③（トーナメント戦）	ゲーム終了後はゲーム内容の成果や反省点を振り返り、次のゲームに生かすことができるよう意見交換する。	予習45分：バスケットボールの審判方法について調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第10回	武井英夫	アルティメット①（基本スキルの習得、簡易ゲーム）		予習45分：フライングディスクの基本スキルについて調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第11回	武井英夫	アルティメット②（戦術の理解、ゲーム）		予習45分：アルティメットの競技について、その歴史とルールを調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
	武	アルティ	フェアプレーを最重要視したセルフ	予習45分：アルティメットの大会について調べ

第12回	井英夫	メット③（トーナメント戦）	ジャッジ制を理解できるよう、ディスカッションを行ってゲームに取り組む。	る。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第13回	武井英夫	ネオホッケー①（基本スキルの習得とゲーム）		予習45分：ホッケーの歴史、基本スキルについて調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第14回	武井英夫	ネオホッケー②（リーグ戦）		予習45分：リーグ戦の方法について調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第15回	武井英夫	ネオホッケー③（リーグ戦）	チーム全員で作戦を練ってからゲームを開始し、プレー中は協力し積極的に関わる。	予習45分：トーナメント戦とリーグ戦それぞれの長所と短所について調べる 復習45分：本日行った運動について確認する。

教科書

特定の教科書は使用しない。資料は必要に応じて配布する。

参考書

必要に応じて紹介する。

成績評価の方法・基準

実単位認定60点以上
スキル達成度20%、課題・レポート20%、授業への参加態度60%

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内でレポートや課題を課すことがあるが原則として返却しない。全般的な講評と重要項目について解説を記述したプリントを配布のするので、授業内容の理解に役立てること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します。特に指定はしませんが、季節にあった運動着、運動靴（体育館用シューズ）を準備してください。

オフィス・アワー

授業前後に、適宜受け付けます。

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C031

講義コード	10080002
講義名	スポーツ科学II（1年生）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	実験・実習
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	２時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 武井 英夫	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業は数種目の運動・スポーツを題材として、スポーツ心理学、スポーツ社会学、スポーツ生理学などスポーツの科学的側面を取り入れていく。その際、運動・スポーツの楽しさを味わいながら、スポーツ科学Iで履修した内容の発展的な学習を目指し、生涯にわたってスポーツに取り組む態度の育成を重点的に授業を進めていく。なお本科目は、スポーツの科学的理解と生涯スポーツへの基礎を身につけることを目標としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、国際的な視野を持ち、生命の尊厳に基づき人を価値ある存在として認めることができるとともに、スポーツの科学的な理解や実践を通してその目的達成に必要な知識や体力を養う。そして将来的な展望として、多職種の人々と連携・協働しながら社会に貢献する基盤となる学修を行うことを目指すものとする。

到達目標

１．自己の体力レベルや健康状態の課題を把握し、改善するための運動を実践することができる。
２．各スポーツ種目の歴史、ルール、マナーを理解し説明することができる。
３．各スポーツの発展的なスキルを習得することができる。
４．生涯にわたって運動・スポーツをすることの必要性や重要性を理解し、豊かなライフスタイルを形成する資質を身につけることができる。
５．得意・不得意にとらわれず、運動・スポーツを楽しむ能力を身につけることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	武井英夫	バドミントン①（シングルスゲームの戦術）		予習45分：シングルスゲームの戦術について調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。

第2回	武井英夫	バドミントン②（シングルスのリーグ戦）		予習45分：バドミントンの主審の役割について調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第3回	武井英夫	バドミントン③（シングルスのリーグ戦）		予習45分：バドミントンの副審と線審の役割を調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第4回	武井英夫	ソフトバレーボール①（基本スキルと三段攻撃の習得）		予習45分：ソフトバレーボールの攻撃方法を調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第5回	武井英夫	ソフトバレーボール②（リーグ戦）	各チーム内で意見交換し、個性や技能を生かしてポジションを決め、ゲームに取り組む。	予習45分：ソフトバレーボールの主審の役割を調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第6回	武井英夫	ソフトバレーボール③（リーグ戦）		予習45分：ソフトバレーボールの副審の役割を調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第7回	武井英夫	バスケットボール①（基本スキルとゲーム）		予習45分：３人制バスケ「３×３」を調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第8回	武井英夫	バスケットボール②（応用スキルとゲーム）		予習45分：バスケットボールの守備方法を調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第9回	武井英夫	バスケットボール③（トーナメント戦）	ゲーム終了後はゲーム内容の成果や反省点を振り返り、次のゲームに生かすことができるよう意見交換する。	予習45分：バスケットボールの審判方法について調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第10回	武井英夫	アルティメット①（基本スキルの習得、簡易ゲーム）		予習45分：フライングディスクの基本スキルについて調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第11回	武井英夫	アルティメット②（戦術の理解、ゲーム）		予習45分：アルティメットの競技について、その歴史とルールを調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
	武	アルティ	フェアプレーを最重要視したセルフ	予習45分：アルティメットの大会について調べ

第12回	井英夫	メット③（トーナメント戦）	ジャッジ制を理解できるよう、ディスカッションを行ってゲームに取り組む。	る。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第13回	武井英夫	ネオホッケー①（基本スキルの習得とゲーム）		予習45分：ホッケーの歴史、基本スキルについて調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第14回	武井英夫	ネオホッケー②（リーグ戦）		予習45分：リーグ戦の方法について調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第15回	武井英夫	ネオホッケー③（リーグ戦）	チーム全員で作戦を練ってからゲームを開始し、プレー中は協力し積極的に関わる。	予習45分：トーナメント戦とリーグ戦それぞれの長所と短所について調べる 復習45分：本日行った運動について確認する。

教科書

特定の教科書は使用しない。資料は必要に応じて配布する。

参考書

必要に応じて紹介する。

成績評価の方法・基準

実単位認定60点以上
スキル達成度20%、課題・レポート20%、授業への参加態度60%

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内でレポートや課題を課すことがあるが原則として返却しない。全般的な講評と重要項目について解説を記述したプリントを配布のするので、授業内容の理解に役立てること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します。特に指定はしませんが、季節にあった運動着、運動靴（体育館用シューズ）を準備してください。

オフィス・アワー

授業前後に、適宜受け付けます。

科目区分

教養科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C031

講義コード	10090001
講義名	環境論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期（重複②）
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	自治体の環境政策の立案支援に関する実務経験に基づいて環境論の授業を行う。
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 園田 陽一	指定なし

授業の概要と教育目標

環境問題は社会、経済、健康、自然環境への影響は多岐にわたります。過去の社会は、環境保護、自然保護のように環境を人間活動から保護することが目的でした。しかし、これからの社会は、環境共生型社会であり、持続可能な社会が求められています。私たちは、地球の生物多様性を基盤とし、それらを消費して生きています。生物多様性は、地球の気象調節から国土や都市の基盤であり、農林水産業、観光業など自然を利用するものだけでなく、多くの社会経済の基盤となる重要な要素です。本授業では、身近な環境問題を生物多様性の観点から概観し、持続可能な地域社会の在り方について講義します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本学のディプロマポリシーに示すように、人間を取り巻く環境について、社会環境、自然環境など多角的な側面から環境を科学的に理解し、人間が健康で豊かに暮らせる社会の実現にたいして、看護学や栄養学と関連付けて、貢献できるようになる。

到達目標

環境問題について、過去に問題となっていた公害や近年の地球温暖化など、劇的に変化する地球環境について、学生が大学生活を通して、持続可能な社会を築くための活動を実践するとともに、現代社会の中で話題となっている環境問題について科学的に説明できる基礎的な知識を身につける。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	園田陽一	ガイダンスと環境問題 本授業の目的や到達目標と成績評価の方法についてのガイダンスと環境問題について概説します。	学生のアンケート結果に基づいて、環境問題についての基礎知識を確認し、授業計画に活かす	毎日30分程度新聞に目を通し、現代社会における環境問題に関する記事を読む
	園	生物多様性と持続可能な利用	生物多様性につい	授業の前後に1～2時間

第2回	田陽一	なぜ、生物多様性なのか。生態系サービスとなぜ持続可能な利用が必要なのかについて理解する。	てDVDを視聴し、生物多様性とはどのようなものかを視覚的に理解する。	程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に目を通す
第3回	園田陽一	生態系サービスとは 地球と自然環境、生態系の構成要素とその役割を理解します。		授業の前後に1～2時間程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に目を通す
第4回	園田陽一	生物多様性への劣化 人間活動と生物多様性の危機、生態系サービスの劣化、公害問題等について理解します。		授業の前後に1～2時間程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に目を通す
第5回	園田陽一	都市化と環境問題 グローバルな人口増加と都市の集中がもたらす環境問題を理解します。		授業の前後に1～2時間程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に目を通す
第6回	園田陽一	地球温暖化と都市のヒートアイランド現象 地球温暖化とヒートアイランド現象の違いについて概説し、その影響がもたらす気候変化のメカニズムを理解します。		授業の前後に1～2時間程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に目を通す
第7回	園田陽一	小テスト グローバルな地球環境の変化 オゾン層の破壊、砂漠化、酸性雨、森林減少などグローバルな地球環境の変化について理解します。	6回までの内容について小テストを行い、テストの成果を学生にフィードバックし、内容を復習する 地球温暖化による地球環境への影響を映像を通して体感する	授業の前後に1～2時間程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に目を通す
第8回	園田陽一	環境をめぐる世界的な動き 地球環境問題を解決するための世界的な動向、日本の取り組みについて理解します。		授業の前後に1～2時間程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に目を通す
第9回	園田陽一	わが国の環境に関わる法律 日本の環境施策について理解します。		授業の前後に1～2時間程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に目を通す
第10回	園田陽一	環境アセスメントとミティゲーション 開発行為に対して、公害や自然環境の破壊を未然に防ぐ法的措置とその代替技術について理解する。		授業の前後に1～2時間程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に目を通す
第11回	園田陽一	カーボンオフセットと生物多様性オフセット 二酸化炭素排出量削減の取り組みや同様のオフセット制度		授業の前後に1～2時間程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に

		の仕組みを理解する。		目を通す
第12回	園田陽一	生物多様性地域戦略とは わが国の生物多様性基本法、生物多様性国家戦略に基づいた生物多様性地域戦略について理解します。	教員が自治体の施策立案支援で行った戦略策定のプログラムを用いて環境政策への理解を深める	授業の前後に1～2時間程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に目を通す
第13回	園田陽一	環境への関心を高める取り組み 環境共生型まちづくりや、エコツーリズムなど環境へ関心をもつための仕組みづくりや取り組みについて紹介します。	実際のエコツーリズムの内容を理解し、学生自身が環境共生社会への理解を深める	授業の前後に1～2時間程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に目を通す
第14回	園田陽一	環境教育とESD 環境教育や持続可能な開発のための教育についてふれ、次世代の子供たちの教育について考えます。 企業の社会的責任と自然資本 現代企業の社会的責任としての自然環境保全から自然資本としての積極的な活用へ、企業の取り組みについて理解します。	ESDについて環境教育プログラムを用いて、授業の中で実践する。	授業の前後に1～2時間程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に目を通す
第15回	園田陽一	試験の実施 14回までの内容について試験の実施		試験に備えて、14回までの内容の復習する

教科書

東京商工会議所編著 ECO検定（環境社会検定試験）公式テキスト 日本能率マネジメントセンター

参考書

必要なとき講義中に提示する

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上
レポートの提出(20%)、期末試験(80%)をもとに総合的に評価する。

課題等に対する
フィードバックの方法

アンケートや小テスト、試験を実施した際に、学生の回答に対して、正しい回答をフィードバックする。

履修のポイント

レポートの提出を求めることがある。

オフィス・アワー

授業日の、授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C081

講義コード	10100001
講義名	人間発達学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

人の発達過程を理解するには、乳幼児期、青年期を経て、成人期、高齢期にいたる生涯発達の視点を取り入れることが必要とされてきている。この科目では、とくに心の発達に焦点をあてて、人が生涯にわたってどのような発達的変遷をたどるのかについて理解を深めることを授業のねらいとする。また、授業の中で小テスト・小レポートを課すことがある。人の発達の特殊性や人の生涯にわたる発達過程と各過程の特徴、発達理論を通した発達のしくみについて理解を深めることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、多様性を前提とした人に対する理解を深めることを目指し、科学的な根拠に基づく心理的側面の知識を養う。そして将来的な展望としては、心身の発達理論を理解しつつ、多様な人間のライフステージ、ライフサイクルを理解し各段階の特徴に応じた看護実践の基盤となる学修を行うことを目指すものとする。

到達目標

１．人間発達学で使用されるさまざまな専門用語への馴染みを深め、その意味を理解する。
２．人の生涯にわたる発達過程と各過程の特徴について理解する。
３．日常的に見られる行動を、主に人間発達学の考え方に沿って理解・説明することができる。
４．人の心を中心とした発達の全般的なしくみについて理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	オリエンテーション 発達心理学で何を学ぶのかについて理解する。 発達の基本と発達初期の能力について理解する。	発達の基本的な考え方としての「一般法則」「臨界期」「レディネス」「学習」について理解するとともに、「遺伝と環境」が発達にどう影響するかについて、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げた	予習90分：教科書を購入し、序章（pp.1-6）に目を通しておく。 復習90分：小テストに解答する。様々な心理学の領域の中で、発達心理学がどのような位置づけにあるのか

		り深めたりする。	を確認する。
第2回	愛着の発達 発達の基礎ともいうべき愛着がどのように発達し、その後の発達にどう影響を及ぼすのかについて理解する。	愛着の発達の重要性について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書p.32,33,51,52,86,95を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。4歳くらいまでの愛着の発達が、その後、対象や性質を変えながら人の成長を促すことをノートにまとめる。
第3回	初期の知的発達 生まれてから1歳くらいまでの赤ちゃんの視覚・聴覚・味覚能力、物事を認識する初期の知的発達について理解する。	赤ちゃんの能力に関する実験の結果を推測してみる。	予習90分：教科書pp.8-29を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。復習90分：小テストに解答する。赤ちゃんの視覚、聴覚の能力と1歳までの認識の発達についてノートにまとめる。
第4回	運動能力と言語の発達 発達ともに自ら他者へ働きかける運動や言語の発達について理解するとともに、社会的存在としての基本的生活行動の修得について理解する。	運動能力と言語能力から指定された人物の年齢を推定し発表する。	予習90分：教科書pp.34-43を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。運動機能の発達ともに自分で自分のことができるようなることについてノートにまとめる。
第5回	情動の発達と人間関係／あそびと人間関係 情動の発達と遊びが発達に及ぼす影響について理解する。	「悲しいから泣くのか泣くから悲しくなるのか」についてメンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。さらに、発達における情動の意味について考える。	予習90分：教科書pp.44-56を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。情動の発達と遊びが子供に及ぼす影響についてのーとにまとめる。
第6回	遊びを通して発達する	現代の子どもが置かれた状態を理解する。そのうえでソーシャル・スキル・トレーニング（SST）と対人関係ゲームを体験し、その考え方を理解する。	予習90分：前回の授業での遊びと子供発達について自分なりの考えをまとめておく。 復習90分：配布資料を熟読して、子どもの発達に及ぼす遊びの効能について考察する。
第7回	思考の発達 ピアジェの認知発達を中心に抽象的な思考の発達について理解する。	抽象的な思考の発達に関する実験について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.58-67を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。本時で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。
第8回	学力と学習環境 思考の発達を促進・阻害する要因について理解する。さらに、発達障害等非定型発達につ	学習を促進する要因・阻害する要因について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めた	予習90分：教科書pp.68-79を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。本時で学んだ内容を

	いて理解する。	りする。	整理し、ノートにまとめる。
第9回	自己の発見と他者との関係 人との関係の中で自分を発見し、自己調整をしていくことを理解する。	誤信課題や三つ山問題などの実験などの他者の視点について理解する。	予習90分：教科書pp.82-94通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。本時で学んだことを整理するとともに、あらためて3・4回で学んだ愛着との関連について考究する。
第10回	仲間づくり 児童期の仲間づくりと諸問題について理解する。	仲間集団と発達の関連について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.95—102通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 事復習90分：小テストに解答する。本時で学んだことを整理する。
第11回	自分をつくる 自分自身とは何者なのかを発見していくアイデンティティの確立について理解する。さらに、現代におけるアイデンティティの確立のむずかしさを踏まえたうえで近年の問題行動について考究する。	自分らしさの形成について考究する。	予習90分：教科書pp.103-123を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。自身ののアイデンティティについて考究し今後の課題も含めてノートにまとめる。
第12回	親密性と孤立１（家族の形成） 配偶者の選択や親になることの発達的な意義を理解するとともに、それにかかわる諸問題について理解する。	家族の形成や分裂について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.122-144を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。学んだことを参考にして、自分の結婚観やどのような家族を作っていきたいのかについて考究する。
第13回	親密性と孤立２（家族関係における諸問題） 家事の共同や分担を含め、家族関係における諸問題について理解するとともに新しい家族形態についても理解する。	家族の諸問題について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.143-157を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。学んだことを参考にして、どのような家族を作っていきたいのかについて考究する。
第14回	世代性と停滞性（職業選択と生きがい） 働くことでアイデンティティがさらに明確になる。そして、定年退職後も労働に携わり生きがいを見出していくことを理解する。	働くことの意義や発達との関連について、家族の形成や分裂について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.162-185を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。仕事・家族形成を含めて、どのような自分を作っていきたいかについて考究する。
	統合性と絶望（地域活動と生きがい） 老いと向き合いなが		予習90分：教科書p.188-225を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：本時で学んだこ

第15回	ら、地域の中で生きがいを見出し、死をむかえていくことを理解する。	高齢者の心理についての理解を深める。	とを基にして、これからの日本社会の在り方、その社会の中で自分はどのように社会に貢献できるのかについて考究する。

教科書

塚野州一 『みるよむ生涯発達心理学』 北大路書房

参考書

授業中に適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
確認テスト（最終授業で毎回の授業で行う小テストから40問を出題）40％
レポート課題30％
授業への参加度30％ を総合して評価します。

課題等に対する
フィードバックの方法

レポートは、返却するので学習の参考にすること。小テストの答えは授業の始めに提示するので、必ず解答しておくこと。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します。

オフィス・アワー

水曜日・木曜日、12：30～13：20（昼休み）、11 号館第 8 研究室。
※講義終了前後にも、適宜受け付けます。

科目区分

教養科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C021

講義コード	10110001
講義名	ベーシックサイエンス
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	４時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 煙山 健仁	指定なし

授業の概要と教育目標

看護師としての基盤知識である”人体の構造と機能”を理解するために必要な物理、化学、生物の基礎知識を学習する。原子の構造、原子量、密度、比重、放射線、などの物理、有機化合物、水や電解質の性質、酸と塩基、などの化学、細胞、代謝、免疫、遺伝、などの生物、の基礎知識について、看護師に必要なベーシックサイエンスを学習し、臨地実習や臨床現場で役立つ科学の基礎知識を身につけることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーでは、「科学的な根拠に基づいた知識・技術を修得し、安全・安心を配慮した看護の実践に応用できる」、「能動的な学習方法を理解し、生涯にわたり研鑽を積む習慣を身につけている」が求められており、ベーシックサイエンスの理解とそのための学習方法を通して、その目標達成に必要な知識・技術を養う。

到達目標

看護職としての必要な計算ができ、物理、化学、生物の基礎知識を”人体の構造と機能”に関わる知識に関連付けて説明できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	煙山健仁	【計算１】物理・化学の計算に必要な数学の復習	人体に関わる指標の計算をし、人体の指標の意味合いについて考える。	予習90分：物理・化学の計算に必要な数学を復習する。復習90分：授業内容を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第2回	煙山健仁	【物理１】原子の構造、原子量、モル、周期表、電子配置、原子の安定性と価電		予習90分：教科書5章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。

		子		
第3回	煙山健仁	【物理２】 個体・液体・気体、密度と比重		予習90分：教科書6、7章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第4回	煙山健仁	【物理３】 力、重力、圧力、電気		予習90分：教科書8、9章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第5回	煙山健仁	【物理４】 放射線		予習90分：教科書14章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第6回	煙山健仁	【化学１】 共有結合、イオン結合、分子の結合、化学式		予習90分：教科書15章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第7回	煙山健仁	【化学２】 さまざまな有機化合物		予習90分：教科書16章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第8回	煙山健仁	【化学３】 生体高分子（タンパク質、糖質、脂質、核酸、など）		予習90分：教科書16章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第9回	煙山健仁	【化学４】 水の性質、電解質		予習90分：教科書17章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第10回	煙山健仁	【化学５】 浸透圧、酸と塩基		予習90分：教科書17、18章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第11回	煙山健仁	【生物１】 細胞の構造と機能、組織、臓器、器官		予習90分：教科書20、21章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第12回	煙山健仁	【生物２】 からだの中の化学反応（代謝、ATP、エネルギー、など）		予習90分：教科書23章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第13回	煙山健仁	【生物３】 免疫		予習90分：教科書28章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第14回	煙山健仁	【生物４】 遺伝、個体の死		予習90分：教科書29,30章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
	煙	【計算２】 看護師に必要な数学		予習90分：看護師に必要な数学の知識を

第15回	山健仁	【ベーシックサイエンス】 まとめ		調べる。復習90分：授業内容を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。

教科書
自然科学の基礎知識を知る、草間朋子 監、東京化学同人
参考書
看護系で役立つ化学の基本、有本淳一・西沢いづみ 著、化学同人
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 授業中の小テストやレポート（20%）、期末テスト（80%）で評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
授業内で小テストやレポート課題を課すことがある。小テストやレポートは、実施した次の回の授業で内容を解説する。
履修のポイント
自分だけの学習では正しい知識の理解が難しいので、講義に出席することが大切です。 講義では話し（ストーリー）を聞くことに集中して下さい。
オフィス・アワー
月曜日～金曜日（09：20～18：10）、10号館病理・解剖実習研究室
科目区分
教養科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-C016

講義コード	10120001
講義名	生活とデザイン
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 久保田 恵美子	指定なし

授業の概要と教育目標

私たちは、多くの優れたデザインに囲まれ生活をし、大きな影響を受けています。
その デザインの言葉の語源はラテン（designare）から由来していると言われ、意匠、設計、創意工夫です。
つまりアイデアを何らかの形として創意工夫しながら表現するともいえるでしょう。
本授業ではデザインの歴史を学びながら、生活とデザインの関係性について考察しデザインする上で重要なカラー（色）についても多角的に学び、カラー（色）が人に対する影響、“色の持つパワー”により、生活空間を快適にさせ、“ 目 ”“ こころ ”で判断する以前に、色を肌で感じ、また、体内で感じ、色が人間に与える影響等々を視野に入れながら生活とデザインを学び、また、その学んだ事を基にアイデアを生かしつつ、実際に雑貨のデザインを試みる

卒業認定・学位授与の方針との関連

学科のディプロマ・ポリシーと関連させ、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面からデザインや、色に対する理解を深め、生活とデザインの関係を考察し知識を養い、生活の中で実践できることを目標とします。

到達目標

デザインの意味や歴史を学び、また、生活の中で色が人間に与える影響等々を考察し、いかに生活空間を快適にさせ、より良い社会生活が営まれることを目標としながら、それを踏まえた上でアイデアを何らかの形として表現することができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	久保田 恵美子	デザインとは何かI	履修者に対し質問・ディスカッション等を行う	予習９０分： デザインについて考察する 復習９０分： 授業内容の復習や配布資料の見直しをする
				予習９０分：

第2回	久保田 恵美子	デザインとは何かII	履修者に対し 質問・ディスカッション等を行う	デザインについて考察する 復習９０分： 授業内容の復習や配布資料の見直しをする
第3回	久保田 恵美子	デザインとは何かIII	履修者に対し 質問・ディスカッション等を行う	予習９０分： デザインについて考察する 復習９０分： 授業内容の復習や配布資料の見直しをする
第4回	久保田 恵美子	デザインの近代史I	履修者に対し 質問・ディスカッション等を行う	予習９０分： アーツ・アンド・クラフツ運動について調べる 復習９０分： 授業内容の復習や配布資料の見直しをする
第5回	久保田 恵美子	デザインの近代史II → レポート提出	履修者に対し 質問・ディスカッション等を行う	予習９０分： アール・ヌーボーやアール・デコについて調べる 復習９０分： 授業内容の復習や配布資料の見直しをし、レポートをまとめる
第6回	久保田 恵美子	色の潜在力I	履修者に対し 質問・ディスカッション等を行う	予習９０分： 色のパワーついて調べる 復習９０分： 授業内容の復習や配布資料の見直しをする
第7回	久保田 恵美子	色の潜在力II	履修者に対し 実験、体感、質問・ディスカッション等を行う	予習９０分： 色のパワーについて調べる 復習９０分： 授業内容の復習や配布資料の見直しをする
第8回	久保田 恵美子	色の潜在力III	履修者に対し 実験、体感、質問・ディスカッション等を行う	予習９０分： 自分の好む色について調べる 復習９０分： 授業内容の復習や配布資料の見直しをする
第9回	久保田 恵美子	快適生活の色彩I	履修者に対し 体感、質問・ディスカッション等を行う	予習９０分： 快適生活の中の色彩調査 復習９０分： 授業内容の復習や配布資料の見直しをする
第10回	久保田 恵美子	快適生活の色彩II → レポート提出	履修者に対し 体感、質問・ディスカッション等を行う	予習９０分： 生活の中で一般的に多く使われている色の調査 復習９０分： 授業内容の復習や配布資料の見直しをし、レポートをまとめる
第11回	久保田 恵美子	生活の中の雑貨デザイン・制作	履修者に対し 質問・ディスカッション等を行う	予習９０分： 自分で制作する雑貨のデザインを考える 復習９０分： 自分で制作する雑貨のデザインを考

				え素材を検討し研究する
第12回	久保田 恵美子	生活の中の雑貨デザイン・制作	履修者に対し 質問・ディスカッション等を行い実技指導を行う	予習９０分： 自分で制作する雑貨のデザインの素材の調達方法や制作手順を考える 復習９０分： 雑貨デザイン考え決定
第13回	久保田 恵美子	生活の中の雑貨デザイン・制作	履修者に対し 質問や意見交換等をしながら実技指導を行う	予習９０分： 自分で制作する雑貨デザインの素材を検討し研究／材料の準備／制作手順を考える 復習９０分： 材料の調達／作品の制作
第14回	久保田 恵美子	生活の中の雑貨デザイン・制作	履修者に対し 質問や意見交換等をしながら実技指導を行う	予習９０分： 制作手順の基に作品の制作 復習９０分： 制作手順の基に作品の制作
第15回	久保田 恵美子	生活の中の雑貨デザイン・制作 → 作品の完成 → プレゼンテーション → 作品の講評会 → 作品の提出	・履修者に対し 質問や意見交換等をしながら実技指導行う→完成させる ・作品のプレゼンテーションを行う ・作品の講評 ・作品の提出→返却	予習９０分： 制作する雑貨を完成するよう準備する 復習９０分： 作品を完成させる

教科書

使用しません

参考書

使用しません

成績評価の方法・基準

単位認定 ６０点以上
レポート ３０％
課 題 ５０％
授業に対しての姿勢２０％

課題等に対する
フィードバックの方法

プリントを配布しますので授業内での理解に役立てて下さい
授業内でレポートや実技課題を課します

履修のポイント

授業に対し積極的に取り組んで下さい

オフィス・アワー

月曜９時～13時20分
11号館同窓会事務局内

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

講義コード	10130001
講義名	地域社会学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 篠原 貴子	指定なし

授業の概要と教育目標

近代社会では、社会構造や生活様式が大きく変化した。特に都市化と農村の人口流出は、コミュニティと個人を取り巻く環境を転換させた。本講義では、都市や農村に関する社会学の展開を中心に取り上げるとともに、社会を構成する主要な組織が担う役割や課題を経済や文化の側面から明らかにする。
本講義の目標は、地域社会の歴史や課題を理解し、社会学的思考を身に付けることにある。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人間に対する理解を深めることを目指し、社会的側面から学ぶことで多角的な視点から物事を捉える能力や柔軟な思考力を養う。

到達目標

1. 地域社会が抱える現代的課題を発見し、読み解く力を培う。
2. 講義で紹介した重要な概念や理論を用いて、地域社会の問題や身近な事象を説明できる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	地域社会学の意義と課題		予習90分：この分野への知識や関心を高める学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第2回	都市社会学の展開		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
	近代化と社会問		予習90分：事前学習をする。

第3回	題		復習90分：配布資料を見直す。
第4回	都市空間と人間形成		予習90分：都市空間を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	アーバニズムとローカリティ		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	地域と政治		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	町内会の変遷と課題		予習90分：町内会について調べる。 復習90分：配布資料を見直す。
第8回	高度経済成長と地域社会	高度経済成長期の作品を鑑賞する。学習で得た知識を踏まえてコメントを書く。	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第9回	農村社会		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第10回	開発と地域		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第11回	都市と環境		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第12回	エスニック・コミュニティの形成		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第13回	地域活性化とまちづくり	地域活性化の事例を話し合う。	予習90分：地域活性化の事例を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第14回	新たなコミュニティの創出と地域社会		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第15回	地域社会学の展望		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。

教科書

必要な資料は随時配布
参考書
鈴木広監修 『地域社会学の現在』 （ミネルヴァ書房）
成績評価の方法・基準
成績評価 60点以上 試験結果と授業内課題で総合評価する。 （期末レポートあるいは定期試験70%、授業内課題30%）
課題等に対する フィードバックの方法
リアクションペーパーを課す場合がある。重要点の確認や疑問点を解説し、学習内容の理解に役立てる。
履修のポイント
授業内容に関して、意欲的に学習する。
オフィス・アワー
授業日の、授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。
科目区分
学部共通科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-C071

講義コード	10140001
講義名	行動科学
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期（重複①）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師及び保健師としての国内外での医療施設並びに地域での活動経験を活かして、実践を踏まえた講義を展開する。適宜事例を用いて、グループによる検討を行い、学習を深める。
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 酒井 幸子	指定なし

授業の概要と教育目標

この授業では、人々が健康を守る行動を起こすときに、どのような社会心理的仕組みが働いているかについて学びます。また、それらの知識を健康教育や患者教育にどのように応用できえるかについても考えます。講義の初回は、自分自身の王道をモデルに当てはめ、考察することから始めます。
※受講生のみなさんの関心及び授業進行進度により、内容を変更することがあります。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマシーの以下に対応します。
１．人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から理解している。
２．看護学の基礎となる、人体の仕組み、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解している。

到達目標

1. 行動モデルを用いて、身近な健康現象を理解し、説明することができる。
2. 国家試験の事例問題等を読み、保健行動のモデルで解釈可能な記述を指摘することができる。
3. 行動変容プログラムの骨組みを体験的に理解する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	酒井幸子	看護者がとりあつかうケア範囲の広さを確認する。健康と病気に関わる様々な行動を、既存の概念を用いて分類し、理解する。	講義内で個人ワークに取り組みま	復習：今回分の教科書や資料を用いて個人ワークを完了する。 教科書や資料中に、既に学習した概念やモデルがあれば、いつ、どの科目で学習

			す。	した概念か参考書を確認する。
第2回	酒井幸子	生活構造論、段階的理論について取り上げ、保健行動がどのように個人の生活に組み込まれ、習慣化されるか学び、段階に応じた支援の在り方について理解する。	講義内で個人ワークに取り組みます。	予習：前回分の授業内容を振り返る。 復習：今回分の教科書や資料を用いて個人ワークを完了する。 教科書や資料中に、既に学習した概念やモデルがあれば、いつ、どの科目で学習した概念か参考書を確認する。
第3回	酒井幸子	健康教育・患者教育の目的と枠組みを確認し、保健行動を説明する代表的な行動モデルについて学習する。 ①教育モデルと ②ヘルスリテラシー	講義内で個人ワークに取り組みます。	予習：前回分の授業内容を振り返る。 復習：今回分の教科書や資料を用いて個人ワークを完了する。 教科書や資料中に、既に学習した概念やモデルがあれば、いつ、どの科目で学習した概念か参考書を確認する。
第4回	酒井幸子	第3回から続いて、保健行動を説明する代表的モデルについて学習する。 ③恐怖喚起モデルと限界 ④保健信念モデル	講義内で個人ワークに取り組みます。	予習：前回分の授業内容を振り返る。 復習：今回分の教科書や資料を用いて個人ワークを完了する。 教科書や資料中に、既に学習した概念やモデルがあれば、いつ、どの科目で学習した概念か参考書を確認する。
第5回	酒井幸子	第４回から続いて、保健行動を説明する代表的モデルについて学習する。 ⑤保健行動シーソーモデル （保健動機と生活動機） ⑥計画的行動理論	講義内で個人ワークに取り組みます。	予習：前回分の授業内容を振り返る。 復習：今回分の教科書や資料を用いて個人ワークを完了する。 教科書や資料中に、既に学習した概念やモデルがあれば、いつ、どの科目で学習した概念か参考書を確認する。
第6回	酒井幸子	第５回から続いて、保健行動を説明する代表的モデルについて学習する。 ⑦自己効力感モデル 社会的学習理論を軸に、行動変容の仮定について考える。	講義内で個人ワークに取り組みます。	予習：前回分の授業内容を振り返る。 復習：今回分の教科書や資料を用いて個人ワークを完了する。 教科書や資料中に、既に学習した概念やモデルがあれば、いつ、どの科目で学習した概念か参考書を確認する。
				予習：前回分の授業内容を振り返る。 復習：今回分の教科書や資

第7回	酒井幸子	学習した理論の対人援助技術への応用について学習する。なぜ、かんたんな保健行動が起こせない、維持できないかについて理解を深める。	講義内で個人ワークに取り組みます。	料を用いて個人ワークを完了する。 教科書や資料中に、既に学習した概念やモデルがあれば、いつ、どの科目で学習した概念か参考書を確認する。
第8回	酒井幸子	個別ワークを通した体験的学びを行い、生活習慣指導への認知行動療法的な支援の活用について学ぶ。 対人援助の基盤となる人権思想について再考し、行動科学と社会について考える。	講義内で個人ワークに取り組みます。	予習：前回分の授業内容を振り返る。 復習：今回分の教科書や資料を用いて個人ワークを完了する。 教科書や資料中に、既に学習した概念やモデルがあれば、いつ、どの科目で学習した概念か参考書を確認する。

教科書

指定教科書はありません。適宜、教員が資料を配布します。

参考書

日本保健医療行動科学会 教科書 講義と演習で学ぶ保健医療行動科学 日本保健医療行動科学会 平野かよ子 他 ナーシング・グラフィカ 健康と社会・生活 メディカ出版
その他、講義中に適宜情報の出典を示し、より深く学習したい方のために関連書籍や文献を紹介します。

成績評価の方法・基準

基本的には課題40%、最終レポート60%とし、出席状況も考慮に入れて判断します。
総合的に60点以上を合格とします。

課題等に対するフィードバックの方法

各回の講義冒頭は、前回講義の復習を兼ねて、課題の振り返りを行います。
全体へ向けたフィードバックで疑問が残る場合は、個別指導を設けますので、希望者は担当教員へ申し出てください。

履修のポイント

講義中に個人ワークやグループワークに取り組み、最終レポートは授業中で行ったワークを基盤に出題します。最終レポートに活かせるよう、他者の発表内容についても学習を深める等、ご自身の発表する内容に留まらずに自己学習を進めてください。また、ワークと関連のない私語は、他の履修生の学習の妨げとなりますので厳禁とします。

オフィス・アワー

非常勤講師による集中講義となりますので、質問や相談がある方は事前連絡をお願いします。
講義は原則的に対面を予定しておりますが、新型感染症の市中感染状況により、Microsoft Teamsを用いたリアルタイム遠隔授業へ変更する可能性があります。その場合、予約されたアポイントメントもオンラインで行います。

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C083

講義コード	10150001
講義名	コミュニケーション論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

人との関係性に見られるコミュニケーションは、対人援助職にとって極めて重要であるとよく言われる。では、現代においてコミュニケーション能力が求められるのはなぜなのか、そもそもコミュニケーションとは何なのか、コミュニケーションが上手とか下手とかは何をもって判断されるのか。この授業では、今日のコミュニケーション研究の成果を学修しながら、多面的にコミュニケーションについて理解を深める。演習形式を取り入れながら、体験を通した学修を進める予定である。教育目標として、日常的なコミュニケーション場面の特徴を広く学修し、その基本的な理論や原理を修得し、自他を理解する基本的態度の修得を目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、多様性を前提とした人に対する理解を深めることを目指し、対人関係上で交わされるコミュニケーションの理解を通してその目的達成に資する知識を養う。そして、看護職として看護対象となる人の健康の諸側面、健康生活と社会との関係について、対人的なコミュニケーションの重要性を理解し、自己理解と他者理解に基づいた看護実践ができるようになることを目指す。

到達目標

１．コミュニケーションにかかわる基本的な理論や原理を理解できる。
２．自己と他者の違いを実感し、自分の対人関係場面でみられる特徴を自覚できる。
３．他者とのコミュニケーションを通して、人の話を「聞く」とはどういうことか、自分のことを相手に「伝える」とはどういうことかを理解できる。
４．コミュニケーションに関する知見を、看護における対人援助場面での人とのかかわりに適用して考えることができる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	人付き合いの	オリエンテーション（授業の進め方、成績評価等について）	予習90分：事前にシラバス等を確認する。

第1回	スタートの心理学①	人付き合いのスタートでは、どのようなことが大切なのかについて、他者の考えを聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	復習90分：小テストに解答する。配布資料の整理、まとめ。
第2回	人付き合いのスタートの心理学②	人間関係を深めていくためには何が大切なのかについて、他者の考えを聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：小テストに解答する。配布資料の整理、まとめ。
第3回	自己理解	コミュニケーションの基本となる自分自身についての理解を深める。自己理解を深めるための自己開示とフィードバックについて理解する。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：小テストに解答する。配布資料の整理、まとめ。
第4回	人とかかわること	対人場面での不安や緊張を軽減することについて、他者の考えを聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。 さらに単純接触効果を踏まえて繰り返しメンバーとの交流を図る。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：小テストに解答する。配布資料の整理、まとめ。
第5回	グループメンバーと知り合う	仲間関係を深めることについて、自己開示とフィードバックを取り入れた演習を行い自分の考えを広めたり深めたりする。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：小テストに解答する。配布資料の整理、まとめ。
第6回	聞き上手になろう	相手の話の聞き方について学ぶ。 カウンセリングの基本的な技法について学ぶとともに一生懸命に話を聞いていることを相手にどのよう伝えるのかについても考究する。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：小テストに解答する。配布資料の整理、まとめ。
第7回	傾聴スキルを使って信頼関係を築こう①	第6回で学んだスキルを活かして、よりよい関係を築くことを学ぶ。 特に、感情に寄り添って話を聴こう。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：小テストに解答する。配布資料の整理、まとめ。
第8回	傾聴スキルを使って信頼関係を築こう②	第6・7・8回で学んだスキルを活かして、よりよい関係を築くことを学ぶ。 特に、感情に寄り添って話を聴こう。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：小テストに解答する。配布資料の整理、まとめ。
			予習90分：事前に

第9回	話し上手になろう	自分のことを上手に伝えること、アサーションの考え方について、他者の考えを聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	シラバス等を確認する。 復習90分：小テストに解答する。配布資料の整理、まとめ。
第10回	ノンバーバル・コミュニケーションを学ぼう	ノンバーバル・コミュニケーションの重要性について、他者の考えを聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：小テストに解答する。配布資料の整理、まとめ。
第11回	自分と他者の「認知」の違いを知ろう	自分が認知していることと他者が認知していることにはズレが生じていることについて理解する。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：小テストに解答する。配布資料の整理、まとめ。
第12回	自己理解・他者理解	ジェノグラムを使って自己理解を深め、他者理解を深める。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：小テストに解答する。配布資料の整理、まとめ。
第13回	恋愛の心理学	人に好意を持ったり持たれたりする仕組みについて、他者の考えを聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：小テストに解答する。配布資料の整理、まとめ。
第14回	職場の人間関係①	どのようなリーダーシップが生産性を上げるのかについて、他者の考えを聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：小テストに解答する。配布資料の整理、まとめ。
第15回	職場の人間関係②	どのようなコミュニケーションがあれば仕事で頑張れるのかについて、他者の考えを聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。

教科書

特に指定せず。

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。 確認テスト（最終授業で毎回の授業で行う小テストから40問を出題）40％ レポート・課題30％ 授業への積極性・態度30％
課題等に対する フィードバックの方法
授業内でレポートや課題を課す。返却するので学習の参考にすること。小テストの答えは授業の始めに提示するので、必ず解答しておくこと。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します。演習を取り入れて授業を進めます。授業時間外の学習として、幅広い興味関心のもとに日常的な出来事における人の行動を見つめることを予習に、本講義の配布資料・ノートの見直しやまとめを復習に勧めます。
オフィス・アワー
水曜日・木曜日、12：30～13：20（昼休み）、11 号館第 8 研究室。 ※講義終了前後にも、適宜受け付けます。
科目区分
教養科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-R017

講義コード	10160001
講義名	基礎英語I（Aクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 斎 孝則	指定なし

授業の概要と教育目標

授業では英語力と自習の習慣を身につけるため、音読やグループ学習を活用する。4技能の獲得と文法の理解、語彙力の向上を教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「国際化・情報化が進展した社会環境においても柔軟に対応ができ」（ディプロマ・ポリシー）るよう、基本的な英語運用能力の獲得を目指す。

到達目標

1)学生は音読の方法を学び、自習の習慣を身につけることができる。
2)学生は4技能と語彙力に磨きをかけることができる。
3)学生は文法の知識をおさらいすることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	斎孝則	導入1：学生は授業の概要や学位授与方針との関係、音読、テキストなどについて理解する／予習課題の提示	音読。グループワーク	シラバスの確認/Warm-up (p.1) 45分
第2回	斎孝則	予習課題の確認とフィードバック／導入2：評価方法等の理解／Unit 1:「初めまして」前半：自己紹介。5文型／課題の提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
第3回	斎孝則	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 1:「初めまして」後半：自己紹介ができるようになる。5文型／課題の提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let’s Review!; Vocabulary/Warm-up 45分
	斎	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 2:「レシピを見よう」前半：レ	パラレル・リーディング、リー	指定文の音読/文

第4回	斎孝則	シピが言える。自動詞・他動詞／課題の提示	ド・アンド・ルックアップ	法、練習問題の復習45分
第5回	斎孝則	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 2:「レシピを見よう」後半：レシピが言える。自動詞・他動詞／課題の提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let's Review!; Vocabulary/Warm-up 45分
第6回	斎孝則	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 3:「いつもは何してる？」前半：日常活動の表現。現在時制と頻度／課題提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
第7回	斎孝則	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 3:「いつもは何してる？」後半：日常活動の表現。現在時制と頻度／課題提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let's Review!; Vocabulary/Warm-up 45分
第8回	斎孝則	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 4:「何を持って行く？」前半：持ち物が言える。名詞と代名詞／課題提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
第9回	斎孝則	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 4:「何を持って行く？」後半：持ち物が言える。名詞と代名詞／課題提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let's Review!; Vocabulary/Warm-up 45分
第10回	斎孝則	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 5:「理想の部屋は？」前半：自分の部屋を表現できる。前置詞／課題提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
第11回	斎孝則	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 5:「理想の部屋は？」後半：自分の部屋を表現できる。前置詞／課題提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let's Review!; Vocabulary/Warm-up 45分
第12回	斎孝則	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 6:「目指せ、健康生活」前半：健康について語れる。助動詞／課題提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
第13回	斎孝則	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 6:「目指せ、健康生活」後半：健康について語れる。助動詞／課題提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let's Review!; Vocabulary/Warm-up 45分
第14回	斎孝則	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 7:「旅に出よう」前半：旅について語れる。動名詞・不定詞／課題提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
第15回	斎孝則	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 7:「旅に出よう」前半：旅について語れる。動名詞・不定詞／課題提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let's Review!; Vocabulary/Warm-up 45分

教科書

JACET 教材開発研究会編著『English Locomotion 参加して学ぶ総合英語』、SEIBIDO

参考書

なし

成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。課題40%、小テスト40%、授業への参加度20%。必要に応じて評価基準（ルーブリック）を示す
課題等に対する フィードバックの方法
実施した小テストの答案は採点して返却し、授業の中で注意点等を解説する。提出された課題は出来るだけ個別にフィードバックする。
履修のポイント
決められた席に着席すること。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前か終了後に教室等で質問に応じます。
科目区分
教養科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-R018

講義コード	10160002
講義名	基礎英語I（Bクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	４時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 斎 孝則	指定なし

授業の概要と教育目標

授業では英語力と自習の習慣を身につけるため、音読やグループ学習を活用する。4技能の獲得と文法の理解、語彙力の向上を教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「国際化・情報化が進展した社会環境においても柔軟に対応ができ」（ディプロマ・ポリシー）るよう、基本的な英語運用能力の獲得を目指す。

到達目標

1)学生は音読の方法を学び、自習の習慣を身につけることができる。
2)学生は4技能と語彙力に磨きをかけることができる。
3)学生は文法の知識をおさらいすることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	斎孝則	導入1：学生は授業の概要や学位授与方針との関係、音読、テキストなどについて理解する／予習課題の提示	音読。グループワーク	シラバスの確認/Warm-up (p.1) 45分
第2回	斎孝則	予習課題の確認とフィードバック／導入2：評価方法等の理解／Unit 1:「初めまして」前半：自己紹介。5文型／課題の提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
第3回	斎孝則	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 1:「初めまして」後半：自己紹介ができるようになる。5文型／課題の提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let's Review!; Vocabulary/Warm-up 45分
	斎	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 2:「レシピを見よう」前半：レ	パラレル・リーディング、リー	指定文の音読/文

第4回	斎孝則	シピが言える。自動詞・他動詞／課題の提示	ド・アンド・ルックアップ	法、練習問題の復習45分
第5回	斎孝則	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 2:「レシピを見よう」後半：レシピが言える。自動詞・他動詞／課題の提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let's Review!; Vocabulary/Warm-up 45分
第6回	斎孝則	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 3:「いつもは何してる？」前半：日常活動の表現。現在時制と頻度／課題提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
第7回	斎孝則	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 3:「いつもは何してる？」後半：日常活動の表現。現在時制と頻度／課題提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let's Review!; Vocabulary/Warm-up 45分
第8回	斎孝則	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 4:「何を持って行く？」前半：持ち物が言える。名詞と代名詞／課題提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
第9回	斎孝則	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 4:「何を持って行く？」後半：持ち物が言える。名詞と代名詞／課題提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let's Review!; Vocabulary/Warm-up 45分
第10回	斎孝則	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 5:「理想の部屋は？」前半：自分の部屋を表現できる。前置詞／課題提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
第11回	斎孝則	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 5:「理想の部屋は？」後半：自分の部屋を表現できる。前置詞／課題提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let's Review!; Vocabulary/Warm-up 45分
第12回	斎孝則	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 6:「目指せ、健康生活」前半：健康について語れる。助動詞／課題提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
第13回	斎孝則	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 6:「目指せ、健康生活」後半：健康について語れる。助動詞／課題提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let's Review!; Vocabulary/Warm-up 45分
第14回	斎孝則	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 7:「旅に出よう」前半：旅について語れる。動名詞・不定詞／課題提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
第15回	斎孝則	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 7:「旅に出よう」前半：旅について語れる。動名詞・不定詞／課題提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let's Review!; Vocabulary/Warm-up 45分

教科書

JACET 教材開発研究会編著『English Locomotion 参加して学ぶ総合英語』、SEIBIDO

参考書

なし

成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。課題40%、小テスト40%、授業への参加度20%。必要に応じて評価基準（ルーブリック）を示す
課題等に対する フィードバックの方法
実施した小テストの答案は採点して返却し、授業の中で注意点等を解説する。提出された課題は出来るだけ個別にフィードバックする。
履修のポイント
決められた席に着席すること。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前か終了後に教室等で質問に応じます。
科目区分
教養科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-R018

講義コード	10170001
講義名	基礎英語II（Aクラス）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 斎 孝則	指定なし

授業の概要と教育目標

授業では英語力と自習の習慣を身につけるため、音読やグループ学習を活用する。4技能の獲得と文法の理解、語彙力の向上を教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「国際化・情報化が進展した社会環境においても柔軟に対応ができ」（ディプロマ・ポリシー）るよう、基本的な英語運用能力の獲得を目指す。

到達目標

1)学生達は音読の方法を学び、自習の習慣を身につけることができる。
2)学生達は4技能と語彙力に磨きをかけることができる。
3)学生達は文法の知識をおさらいすることができる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 8:「パーティを開こう」前半：パーティの表現を知る。現在分詞／課題の提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
第2回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 8:「パーティを開こう」後半：パーティの表現を知る。現在分詞／課題の提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let’s Review!; Vocabulary /Warm-up 45分
第3回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 9:「割れた窓？」前半：受け身の表現を知る。過去分詞／課題の提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
			Let’s Review!;

第4回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 9:「割れた窓？」後半：受け身の表現を知る。過去分詞／課題の提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Vocabulary /Warm-up 45分
第5回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 10:「スポーツをしよう」前半：スポーツの表現を知る。現在完了／課題の提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
第6回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 10:「スポーツをしよう」後半：スポーツの表現を知る。現在完了／課題の提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let's Review!; Vocabulary /Warm-up 45分
第7回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 11:「フリマでお買い物」前半：買い物の表現を知る。比較表現／課題の提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
第8回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 12:「フリマでお買い物」後半：買い物の表現を知る。比較表現／課題の提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let's Review!; Vocabulary /Warm-up 45分
第9回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 12:「レポート提出」前半：レポートについて語れる。関係代名詞／課題の提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
第10回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 12:「レポート提出」後半：レポートについて語れる。関係代名詞／課題の提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let's Review!; Vocabulary /Warm-up 45分
第11回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 13:「住所はどこ？」前半：自分の住所について語れる。Itの用法／課題の提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
第12回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 13:「住所はどこ？」後半：自分の住所について語れる。Itの用法／課題の提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let's Review!; Vocabulary /Warm-up 45分
第13回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 14:「宝くじが当たったなら」前半：仮定の話が出来る。仮定法／課題の提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
第14回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 14:「宝くじが当たったなら」後半：仮定の話が出来る。仮定法／課題の提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let's Review!; Vocabulary /Warm-up 45分
第15回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 15: Review Test 総まとめ	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分

教科書

JACET 教材開発研究会編著『English Locomotion 参加して学ぶ総合英語』、SEIBIDO

参考書

なし

成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。課題40%、小テスト40%、授業への参加度20%。必要に応じて評価基準（ルーブリック）を示す
課題等に対する フィードバックの方法
実施した小テストの答案は採点して返却し、授業の中で注意点等を解説する。提出された課題は出来るだけ個別にフィードバックする。
履修のポイント
決められた席に着席すること。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前か終了後に教室等で質問に応じます。
科目区分
教養科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-R022

講義コード	10170002
講義名	基礎英語II（Bクラス）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期（重複②）
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	４時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 斎 孝則	指定なし

授業の概要と教育目標

授業では英語力と自習の習慣を身につけるため、音読やグループ学習を活用する。4技能の獲得と文法の理解、語彙力の向上を教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「国際化・情報化が進展した社会環境においても柔軟に対応ができ」（ディプロマ・ポリシー）るよう、基本的な英語運用能力の獲得を目指す。

到達目標

1)学生達は音読の方法を学び、自習の習慣を身につけることができる。
2)学生達は4技能と語彙力に磨きをかけることができる。
3)学生達は文法の知識をおさらいすることができる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 8:「パーティを開こう」前半：パーティの表現を知る。現在分詞／課題の提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
第2回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 8:「パーティを開こう」後半：パーティの表現を知る。現在分詞／課題の提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let’s Review!; Vocabulary /Warm-up 45分
第3回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 9:「割れた窓？」前半：受け身の表現を知る。過去分詞／課題の提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
			Let’s Review!;

第4回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 9:「割れた窓？」後半：受け身の表現を知る。過去分詞／課題の提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Vocabulary /Warm-up 45分
第5回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 10:「スポーツをしよう」前半：スポーツの表現を知る。現在完了／課題の提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
第6回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 10:「スポーツをしよう」後半：スポーツの表現を知る。現在完了／課題の提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let's Review!; Vocabulary /Warm-up 45分
第7回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 11:「フリマでお買い物」前半：買い物の表現を知る。比較表現／課題の提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
第8回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 12:「フリマでお買い物」後半：買い物の表現を知る。比較表現／課題の提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let's Review!; Vocabulary /Warm-up 45分
第9回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 12:「レポート提出」前半：レポートについて語れる。関係代名詞／課題の提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
第10回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 12:「レポート提出」後半：レポートについて語れる。関係代名詞／課題の提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let's Review!; Vocabulary /Warm-up 45分
第11回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 13:「住所はどこ？」前半：自分の住所について語れる。Itの用法／課題の提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
第12回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 13:「住所はどこ？」後半：自分の住所について語れる。Itの用法／課題の提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let's Review!; Vocabulary /Warm-up 45分
第13回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 14:「宝くじが当たったなら」前半：仮定の話が出来る。仮定法／課題の提示	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分
第14回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 14:「宝くじが当たったなら」後半：仮定の話が出来る。仮定法／課題の提示	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	Let's Review!; Vocabulary /Warm-up 45分
第15回	予復習の課題の確認とフィードバック／Unit 15: Review Test 総まとめ	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定文の音読/文法、練習問題の復習45分

教科書

JACET 教材開発研究会編著『English Locomotion 参加して学ぶ総合英語』、SEIBIDO

参考書

なし

成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。課題40%、小テスト40%、授業への参加度20%。必要に応じて評価基準（ルーブリック）を示す
課題等に対する フィードバックの方法
実施した小テストの答案は採点して返却し、授業の中で注意点等を解説する。提出された課題は出来るだけ個別にフィードバックする。
履修のポイント
決められた席に着席すること。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前か終了後に教室等で質問に応じます。
科目区分
教養科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-R022

講義コード	10180001
講義名	実践英会話（Aクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

英語のlistening能力の養成を図りながら、医療現場でよく使われる英語表現を学び、あらゆる状況に応じ てspeaking能力を身に付け、実践的な英語の表現能力の向上を目指す。授業は英語で行い、オンラインデジタル教材も利用する。外国の文化を学びながら、英語のlisteningやspeaking能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人に対する理解を深めることを目指している。国際化を背景に、コミュニケーションツールとして、英語のlisteningやspeaking能力を養うことを目指すものとする。

到達目標

1.The students will learn basic terms and expressions used in the nursing profession.
看護系の基本語彙や表現を学ぶ。
2. The students will learn how to interact with non-Japanese patients using English.
英語で、外国人患者と対話できること。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	オリエンテー ション Basic English Review １．授業の進め方、オンライン資料の 紹介、デジタル録音の仕方 ２． Unit 1: May I help you?		予習90分：英語のリーディ ングを練習する。Unit1を読む. 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.1-5を見直す。
第2回	Unit 2: Where do you Live?		予習90分：Unit2を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.6-10を見直す。

第3回	1. Culture Talk (1): Gestures and Taboos 2. Unit 3: Do you have an Insurance Card?		予習90分：Unit3を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.11-15を見直す。
第4回	Unit 4: What Department Do You Want to Visit?		予習90分：Unit4を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.16-20を見直す。
第5回	Unit 5: What Are Your Symptoms? .		予習90分：Unit5を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.21-25を見直す。
第6回	Unit 6: Take One Tablet Three Times a Day		予習90分：Unit6を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.26-30を見直す。
第7回	Unit 7: You're Suffering from Hay Fever		予習90分：Unit7を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.31-35を見直す。
第8回	1. 総括と学習到 達度の確認（Mini-Test①） 1回目～7回目の授業について の総括を行い、 学習到達度の確認テスト（Mini-test）を実施する。 2.Unit 8: What Kind of Pain Is It?		予習90分：Unit1～7、を見直す。Unit8を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.36-40を見直す。
第9回	1. Culture Talk (2): Superstitious Beliefs 2. Unit 9: Let's Check Your Daily Activities		予習90分：Unit9を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.41-45を見直す。
第10回	Unit 10: Let's Check Your Pulse and Blood Pressure		予習90分：Unit10を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.46-50を見直す。
第11回	Unit 11: It's Going to Be a Long Day!		予習90分：Unit11を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.51-55を見直す。
第12回	Unit 12: You Have High Blood Sugar Levels		予習90分：Unit12を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.56-60を見直す。
	1. 総括と学習到 達度の確認（Mini-Test②）		

第13回	8回目～12回目の授業について の総括を行い、 学習到達度の確認テスト（Mini-test）を実施する。 2.Role Playingについて (グループワー ク)		予習90分：Unit8～12を見直す。 復習90分： 各Unitのconversationを見直す。
第14回	Write your own script (グループワー ク) Scenario script writing 学習したトピックスを参考に、シ ナリオを考え、シナリオのスクリ プトを作成する。	ディスカッション＆コラボレーション	予習90分：学習したトピッ クス（conversation)を参考に、シナリオを 考える。 復習90分：台詞を練習する。
第15回	総括と学習到達度の確認 （Role Playing）	考えたシナリオを英語で演技する。 ペアワーク ：（ロール・プレイン グはは必修となります。）	予習90分：台詞を練習する。

教科書

Check-Up! Basic English for Nursing
基礎から学ぶ やさしい看護英語
樋口晶彦 / John Tremarco 著
ISBN:978-4-7647-4184-3

参考書

イギリスのBBC: http://www.bbc.co.uk/worldservice/learningenglish/ 学習題材を提示する教材サイト

成績評価の方法・基準

単位認定 60点以上
授業への積極性(15%), 課題 (15%)、テスト(40%)、Role Playing (30%) で評価する。
*定期試験は実施しない。再試験は実施しない。

Role Playingは必修で、下記の通り評価する：
（1）伝える発音で、正しく英語を用いられたか。
（2）他人に考えを正しく伝えられたか

課題等に対する
フィードバックの方法

課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。

履修のポイント

①「基礎英語I、基礎英語II」を履修済みであることが望ましい。
②授業への積極な取り組みを期待する。
③上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。

オフィス・アワー

毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室） メール：prof.mach.dr@gmail.com

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

講義コード	10180002
講義名	実践英会話（Bクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

英語のlistening能力の養成を図りながら、医療現場でよく使われる英語表現を学び、あらゆる状況に応じ てspeaking能力を身に付け、実践的な英語の表現能力の向上を目指す。授業は英語で行い、オンラインデジタル教材も利用する。外国の文化を学びながら、英語のlisteningやspeaking能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人に対する理解を深めることを目指している。国際化を背景に、コミュニケーションツールとして、英語のlisteningやspeaking能力を養うことを目指すものとする。

到達目標

1.The students will learn basic terms and expressions used in the nursing profession.
看護系の基本語彙や表現を学ぶ。
2. The students will learn how to interact with non-Japanese patients using English.
英語で、外国人患者と対話できること。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	オリエンテー ション Basic English Review １．授業の進め方、オンライン資料の 紹介、デジタル録音の仕方 ２．Unit 1: May I help you?		予習90分：英語のリーディ ングを練習する。Unit1を読む. 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.1-5を見直す。
第2回	Unit 2: Where do you Live?		予習90分：Unit2を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.6-10を見直す。

第3回	1. Culture Talk (1): Gestures and Taboos 2. Unit 3: Do you have an Insurance Card?		予習90分：Unit3を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.11-15を見直す。
第4回	Unit 4: What Department Do You Want to Visit?		予習90分：Unit4を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.16-20を見直す。
第5回	Unit 5: What Are Your Symptoms? .		予習90分：Unit5を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.21-25を見直す。
第6回	Unit 6: Take One Tablet Three Times a Day		予習90分：Unit6を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.26-30を見直す。
第7回	Unit 7: You're Suffering from Hay Fever		予習90分：Unit7を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.31-35を見直す。
第8回	1. 総括と学習到 達度の確認（Mini-Test①） 1回目～7回目の授業について の総括を行い、 学習到達度の確認テスト（Mini-test）を実施する。 2.Unit 8: What Kind of Pain Is It?		予習90分：Unit1～7、を見直す。Unit8を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.36-40を見直す。
第9回	1. Culture Talk (2): Superstitious Beliefs 2. Unit 9: Let's Check Your Daily Activities		予習90分：Unit9を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.41-45を見直す。
第10回	Unit 10: Let's Check Your Pulse and Blood Pressure		予習90分：Unit10を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.46-50を見直す。
第11回	Unit 11: It's Going to Be a Long Day!		予習90分：Unit11を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.51-55を見直す。
第12回	Unit 12: You Have High Blood Sugar Levels		予習90分：Unit12を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.56-60を見直す。
	1. 総括と学習到 達度の確認（Mini-Test②）		

第13回	8回目～12回目の授業について の総括を行い、 学習到達度の確認テスト（Mini-test）を実施する。 2.Role Playingについて (グループワー ク)		予習90分：Unit8～12を見直す。 復習90分： 各Unitのconversationを見直す。
第14回	Write your own script (グループワー ク) Scenario script writing 学習したトピックスを参考に、シ ナリオを考え、シナリオのスクリ プトを作成する。	ディスカッション＆コラボレーション	予習90分：学習したトピッ クス（conversation)を参考に、シナリオを 考える。 復習90分：台詞を練習する。
第15回	総括と学習到達度の確認 （Role Playing）	考えたシナリオを英語で演技する。 ペアワーク ：（ロール・プレイン グはは必修となります。）	予習90分：台詞を練習する。

教科書

Check-Up! Basic English for Nursing
基礎から学ぶ やさしい看護英語
樋口晶彦 / John Tremarco 著
ISBN:978-4-7647-4184-3

参考書

イギリスのBBC: http://www.bbc.co.uk/worldservice/learningenglish/ 学習題材を提示する教材サイト

成績評価の方法・基準

単位認定 60点以上
授業への積極性(15%), 課題 (15%)、テスト(40%)、Role Playing (30%) で評価する。
*定期試験は実施しない。再試験は実施しない。

Role Playingは必修で、下記の通り評価する：
（1）伝える発音で、正しく英語を用いられたか。
（2）他人に考えを正しく伝えられたか

課題等に対する
フィードバックの方法

課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。

履修のポイント

①「基礎英語I、基礎英語II」を履修済みであることが望ましい。
②授業への積極な取り組みを期待する。
③上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。

オフィス・アワー

毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室） メール：prof.mach.dr@gmail.com

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

講義コード	10190001
講義名	医療保健英語
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

ここ数年、英語を話す住民の割合が増えている。医療の専門家である看護師は、日本人でない患者とのやりとりが必然である。英語話者の患者とのコミュニケーションにおいて、基本的な会話スキルだけでは不十分である。よって、看護師は医療用語や医療に関するフレーズを学ぶ必要がある。看護の事例を英語で読み、看護に関わる英語の語彙力と読解力を身に付けることを目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

卒業後、病院で働く際に、外国人の患者へのコミュニケーションが必要になるでしょう。
または、看護研究に関わることにもなると思われる。その際には、英語で書かれた論文を読むことになるでしょう。本講義は、その基礎的な訓練になる。

到達目標

看護の事例に関わる英文の内容をすばやく、深く読みとる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	1. Class orientation (オリエンテー ション) 2. Medical Terminology (医学英語の構造) 3. Medical Vocabulary a) Body parts b) Body Systems	予習(単語と内容の大雑把な把握)：45分 復習(全体的な読み直し)：45分程度
第2回	1. Risk for injury (1) 2. Medical Vocabulary a) Medical departments and specialists	予習(単語と内容の大雑把な把握)：45分 復習(全体的な読み直し)：45分程度
第3回	1. Risk for injury (2)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：45分

		復習(全体的な読み直し)：45分程度
第4回	1. Self-care deficit(1) 2. Medical Vocabulary a) Assistive devices for mobility	予習(単語と内容の大雑把な把握)：45分 復習(全体的な読み直し)：45分程度
第5回	1. Self-care deficit(2) 2. Medical Vocabulary a) Personal care items 3. Expressions for personal care	予習(単語と内容の大雑把な把握)：45分 復習(全体的な読み直し)：45分程度
第6回	1. Respiratory disorders 2. Medical vocabulary a) Symptoms	予習(単語と内容の大雑把な把握)：45分 復習(全体的な読み直し)：45分程度
第7回	1. Fluid volume deficit 2. Medical vocabulary a) Equipment to take vital signs	予習(単語と内容の大雑把な把握)：45分 復習(全体的な読み直し)：45分程度
第8回	1.確認テスト：第1回～第7回目の授業内容 2.Insomnia	予習(第1回～第7回目の授業内容)：90分 復習(全体的な読み直し)：45分程度
第9回	1. Chronic Pain (1) 2. Medical vocabulary a) Types of medication	予習(単語と内容の大雑把な把握)：45分 復習(全体的な読み直し)：45分程度
第10回	1. Chronic Pain (2) 2. Medical vocabulary a) Major chronic diseases	予習(単語と内容の大雑把な把握)：45分 復習(全体的な読み直し)：45分程度
第11回	1. Healthy dietary practice	予習(単語と内容の大雑把な把握)：45分 復習(全体的な読み直し)：45分程度
第12回	1. Urinary retention 2. Medical vocabulary a) Urinary system	予習(単語と内容の大雑把な把握)：45分 復習(全体的な読み直し)：45分程度
第13回	1. Constipation	予習(単語と内容の大雑把な把握)：45分 復習(全体的な読み直し)：45分程度
第14回	1. Lifestyle-related diseases	予習(単語と内容の大雑把な把握)：45分 復習(全体的な読み直し)：45分程度
第15回	1.確認テスト：第8回～第14回目の授業内容	予習(第8回～第14回目の授業内容)：90分 復習(全体的な読み直し)：45分程度

教科書

事例で学ぶ看護英語, 杉田由仁 & R. Caraker
出版社：成美堂

参考書

Talking with Your Patients in English、平野 美津子, Christine D. Kuramoto, 落合 亮太
出版社：成美堂

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上：

授業への積極性(15%), 課題 (20%)、試験(65%) で評価する。
*定期試験は実施しない。 *再試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法
課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。 または、Moodleで課題・クイズを解いて、回答を確認する。
履修のポイント
①「基礎英語I、基礎英語II」を履修済みであることが望ましい。 ②授業への積極な取り組みを期待する。 ③上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。
オフィス・アワー
毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室） メール：prof.mach.dr@gmail.com
科目区分
学部共通科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-C040

講義コード	10200001
講義名	英書講読
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 斎 孝則	指定なし

授業の概要と教育目標

授業では英語力と自習の習慣を身につけるため、音読やグループ学習を活用する。文法の理解、語彙力の向上をベースとした読解力の向上を教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「国際化・情報化が進展した社会環境においても柔軟に対応ができ」（ディプロマ・ポリシー）るよう、英語の読解力の向上を目指す。

到達目標

1)学生は音読の方法を学び、自習の習慣を身につけることができる。
2)学生は文法と語彙力に磨きをかけることができる。
3)学生は読解力を向上させることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	斎孝則	Traditional Rhymes; Mother Goose: Students will be able to enjoy the traditional rhymes and Mother Goose through ondoku.	音読全般、グループ学習	指定した文の音読練習と予習45分
第2回	斎孝則	Playing with Words; How to Remember Things: Students will be able to enjoy the rhythms and rhymes through ondoku.	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定した文の音読練習と予習45分
第3回	斎孝則	Issun Boshi: One-Inch Boy (1): Students will be able to enjoy the Japanese fairy tale in English.	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	指定した文の音読練習と予習45分
第4回	斎孝	Issun Boshi: One-Inch Boy (2): Students will be able to enjoy the	パラレル・リーディング、リード・アンド・	指定した文の音読練習と予

	則	Japanese fairy tale in English.	ルックアップ	習45分
第5回	斎孝則	Familiar Sayings (1): Students will be able to learn some famous and familiar sayings through ondoku practice.	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	指定した文の音読練習と予習45分
第6回	斎孝則	Familiar Sayings (2): Students will be able to learn some famous and familiar sayings through ondoku practice.	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定した文の音読練習と予習45分
第7回	斎孝則	Let's Visit Japan: Students will be able to understand how Japan is introduced in America.	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	指定した文の音読練習と予習45分
第8回	斎孝則	Greek Gods and Goddesses: Students will be able to learn the famous gods and goddesses of Greece.	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定した文の音読練習と予習45分
第9回	斎孝則	The Four Rules of Arithmetic: Students will be able to say '3 + 2 = 5' and '8 −1= 7' in English.	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	指定した文の音読練習と予習45分
第10回	斎孝則	Facts on Japan: Students will be able to explain the basic facts on Japan, such as the national flag, in English.	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定した文の音読練習と予習45分
第11回	斎孝則	Festivals and Fete Days: Students will be able to talk about the Japanese festivals and fete days.	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	指定した文の音読練習と予習45分
第12回	斎孝則	Japanese-style Inn: Students will be able to explain about the Japanese-style inns.	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定した文の音読練習と予習45分
第13回	斎孝則	Shrine and Temple: Students will be able to explain the basic facts on shrines and temples.	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	指定した文の音読練習と予習45分
第14回	斎孝則	Japanese Warlords: Students will be able to explain the three famous warlords of Japan.	パラレル・リーディング、リード・アンド・ルックアップ	指定した文の音読練習と予習45分
第15回	斎孝則	Table Manners for Japanese Food: Students will be able to talk about the table manners for Japanese food.	リード・アンド・ルックアップ、シャドーイング	指定した文の音読練習45分

教科書

プリントを配布します。

参考書

なし

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。課題40%、小テスト40%、授業への参加度20%。必要に応じて評価基準（ルーブリック）を示す

**課題等に対する
フィードバックの方法**

実施した小テストの答案は採点して返却し、授業の中で注意点等を解説する。提出された課題は出来るだけ個別にフィードバックする。

履修のポイント

決められた席に着席すること。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前か終了後に教室等で質問に応じます。
科目区分
学部共通科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-C072

講義コード	10210001
講義名	中国語（2年生）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 佐々木 百合	指定なし

授業の概要と教育目標

学生は教科書に沿って中国語の発音の基礎となる声調とピンインの発音練習から行い、中国語の基礎的な単語や慣用句、文法を学び、簡単な日常会話ができる。そして、中国の文化が古くから日本文化に大きな影響を与えてきたことの理解をいっそう深めることができる。学生は将来様々な職業に従事し、一般社会において中国人と接した時、中国語で交流ができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部栄養学科のディプロマポリシーとの関連で、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人間に対する理解を深めることを目標としている。外国人増加と国際化を背景に、コミュニケーションツールとして最低限の中国語会話能力を養成することを目指すものとする。

到達目標

中国語の正しい発音と簡単なあいさつから日常会話までの読む・聴く・話す・書くを総合的にバランスよく習得する。基礎的な単語を覚え、基礎的な文法を理解することで、簡単な中国語の表現ができることを目標とします。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	佐々木 百合	発音1・声調・単母音・発音練習	グループ別に相互に声調と発音練習	予習(15分)：発音の予習を行う 復習(30分)：発音の復習を行う
第2回	佐々木 百合	発音2・子音・複合母音・発音練習	グループ別に相互に発音練習	予習(15分)：発音の予習を行う 復習(30分)：発音の復習を行う
	佐々	発音3・ピンインの組み合わせ・発音のま	グループ別に相	予習(15分)：発音の予習を行う

第3回	木 百合	とめ	互に発音練習	復習(30分)：発音の復習を行う
第4回	佐々木 百合	第1課 挨拶と自己紹介 人称代名詞・「是」の文・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	グループ別に相互に挨拶と自己紹介の練習	予習(15分)：発音と単語の予習を行う 復習(30分)：会話文の復習を行う
第5回	佐々木 百合	第2課 疑問文 指示代名詞1・疑問詞疑問文・「的」の用法・副詞「也」の用法・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	グループ別に疑問文の会話練習	予習(15分)：疑問文と単語の予習を行う 復習(30分)：会話文の復習を行う
第6回	佐々木 百合	第3課 動詞の文 所有を表す「有」・省略疑問の「呢」・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	グループ別に会話練習	予習(15分)：動詞の文と単語の予習を行う 復習(30分)：会話文の復習を行う
第7回	佐々木 百合	第4課 形容詞の文 量詞・指示代名詞2・形容詞の文・「几」と「多少」・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	グループ別に会話練習	予習(15分)：形容詞の文と単語の予習を行う 復習(30分)：会話文の復習を行う
第8回	佐々木 百合	第5課 数のいろいろ 数字・日付時刻を表す語・動作の時点を言う表現・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	グループ別に会話練習	予習(15分)：数と単語の予習を行う 復習(30分)：会話文の復習を行う
第9回	佐々木 百合	第6課 完了・所在のアスペクト 完了を表す「了」・所在を表す「在」・助動詞1「想」・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	グループ別に会話練習	予習(15分)：完了文と単語の予習を行う 復習(30分)：会話文の復習を行う
第10回	佐々木 百合	第7課 介詞の用法（1） 介詞1「在」「离」・存在を表す「有」・反復疑問文・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	グループ別に会話練習	予習(15分)：介詞と単語の予習を行う 復習(30分)：会話文の復習を行う
第11回	佐々木 百合	第8課 介詞の用法(2) 介詞2「从」・助動詞2「得」・「時間量」・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	グループ別に会話練習	予習(15分)：介詞と単語の予習を行う 復習(30分)：会話文の復習を行う
第12回	佐々木	第9課 介詞の用法(3) 介詞３「跟，給」・過去の経験を表す「　」・「是～的」文・単語の発音練	グループ別に会話練習	予習(15分)：介詞と単語の予習を行う 復習(30分)：会

	百合	習・会話文の解説・トレーニング		話文の復習を行う
第13回	佐々木 百合	単語と文法のまとめ		復習(45分)：単語と文法の復習を行う
第14回	佐々木 百合	総復習と授業全体の解説		復習(45分)：文法全体の復習を行う
第15回	佐々木 百合	試験範囲の問題と総合練習		復習(45分)：授業全体の復習を行う

教科書

＜最新２訂版＞中国語はじめの一歩 尹景春・竹島毅 著 白水社

参考書

特になし

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
授業中の問答に１０％、期末試験を９０％として、合計６０点以上を合格とします。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

課題に対する質問や解答例を次回の授業で詳細に解説を行う。

履修のポイント

中国語を母国語とする学生の履修は認めません。授業中は中国の様々なことについてたくさん質問して下さい。

オフィス・アワー

授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じます。

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C034

講義コード	10210002
講義名	中国語（1年生）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 佐々木 百合	指定なし

授業の概要と教育目標

学生は教科書に沿って中国語の発音の基礎となる声調とピンインの発音練習から行い、中国語の基礎的な単語や慣用句、文法を学び、簡単な日常会話ができる。そして、中国の文化が古くから日本文化に大きな影響を与えてきたことの理解をいっそう深めることができる。学生は将来様々な職業に従事し、一般社会において中国人と接した時、中国語で交流ができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連で、国際化・情報化が進展した社会環境においても柔軟に対応ができ、医療・福祉施設及び居宅等の多様な場で活躍できる能力を備えていることを目標としている。外国人増加と国際化を背景に、コミュニケーションツールとして最低限の中国語会話能力を養成することを目指すものとする。

到達目標

中国語の正しい発音と簡単なあいさつから日常会話までの読む・聴く・話す・書くを総合的にバランスよく習得する。基礎的な単語を覚え、基礎的な文法を理解することで、簡単な中国語の表現ができることを目標とします。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	佐々木 百合	発音1・声調・単母音・発音練習	グループ別に相互に声調と発音練習	予習(15分)：発音の予習を行う 復習(30分)：発音の復習を行う
第2回	佐々木 百合	発音2・子音・複合母音・発音練習	グループ別に相互に発音練習	予習(15分)：発音の予習を行う 復習(30分)：発音の復習を行う
				予習(15分)：発

第3回	佐々木百合	発音3・ピンインの組み合わせ・発音のまとめ	グループ別に相互に発音練習	音の予習を行う 復習(30分)：発音の復習を行う
第4回	佐々木百合	第1課 挨拶と自己紹介 人称代名詞・「是」の文・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	グループ別に相互に挨拶と自己紹介の練習	予習(15分)：発音と単語の予習を行う 復習(30分)：会話文の復習を行う
第5回	佐々木百合	第2課 疑問文 指示代名詞1・疑問詞疑問文・「的」の用法・副詞「也」の用法・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	グループ別に疑問文の会話練習	予習(15分)：疑問文と単語の予習を行う 復習(30分)：会話文の復習を行う
第6回	佐々木百合	第3課 動詞の文 所有を表す「有」・省略疑問の「呢」・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	グループ別に会話練習	予習(15分)：動詞の文と単語の予習を行う 復習(30分)：会話文の復習を行う
第7回	佐々木百合	第4課 形容詞の文 量詞・指示代名詞2・形容詞の文・「几」と「多少」・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	グループ別に会話練習	予習(15分)：形容詞の文と単語の予習を行う 復習(30分)：会話文の復習を行う
第8回	佐々木百合	第5課 数のいろいろ 数字・日付時刻を表す語・動作の時点を言う表現・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	グループ別に会話練習	予習(15分)：数と単語の予習を行う 復習(30分)：会話文の復習を行う
第9回	佐々木百合	第6課 完了・所在のアスペクト 完了を表す「了」・所在を表す「在」・助動詞1「想」・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	グループ別に会話練習	予習(15分)：完了文と単語の予習を行う 復習(30分)：会話文の復習を行う
第10回	佐々木百合	第7課 介詞の用法（1） 介詞1「在」「离」・存在を表す「有」・反復疑問文・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	グループ別に会話練習	予習(15分)：介詞と単語の予習を行う 復習(30分)：会話文の復習を行う
第11回	佐々木百合	第8課 介詞の用法(2) 介詞2「从」・助動詞2「得」・「時間量」・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	グループ別に会話練習	予習(15分)：介詞と単語の予習を行う 復習(30分)：会話文の復習を行う
	佐々	第9課 介詞の用法(3) 介詞３「跟，給」・過去の経験を表す	グループ別に会	予習(15分)：介詞と単語の予習を行う

第12回	木百合	「　」・「是～的」文・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	話練習	復習(30分)：会話文の復習を行う
第13回	佐々木百合	単語と文法のまとめ		復習(45分)：単語と文法の復習を行う
第14回	佐々木百合	総復習と授業全体の解説		復習(45分)：文法全体の復習を行う
第15回	佐々木百合	試験範囲の問題と総合練習		復習(45分)：授業全体の復習を行う

教科書

＜最新２訂版＞中国語はじめの一歩 尹景春・竹島毅 著 白水社

参考書

特になし

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
授業中の問答に１０％、期末試験を９０％として、合計６０点以上を合格とします。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

課題に対する質問や解答例を次回の授業で詳細に解説を行う。

履修のポイント

中国語を母国語とする学生の履修は認めません。授業中は中国の様々なことについてたくさん質問して下さい。

オフィス・アワー

授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じます。

科目区分

教養科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C034

講義コード	10220001
講義名	スペイン語
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	和西翻訳・通訳の経験を活かし、実践的なスペイン語の学習を行います。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 伊勢島 セリア 明美	指定なし

授業の概要と教育目標

基本文型を確認しながら、初級会話の養成を目標とします。
適宜、音楽を初めラテン文化も紹介します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ・ポリシーとの関連として、国際的な視野を持ち、
多言語・多文化の修得を通じて、地域で生活する外国籍の方の
多様な価値観の理解能力を有するグローバル人材の育成を図ります。

到達目標

学生がスペイン語での挨拶と簡単な会話ができることを目標とします。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	伊勢島 セリア 明美	アルファベット、発音、読み方、挨拶①		復習４５分：読み方と発音の確認
第2回	伊勢島 セリア 明美	動詞serの活用、自己紹介	自己紹介①	復習４５分：動詞serの活用・用法の確認
第3回	伊勢島 セリア 明美	国籍・職業・出身地の表現、否定文	自己紹介②	復習４５分：国籍・職業・国名の確認
第4回	伊勢島 セリア 明美	名詞の性と数、定冠詞と不定冠詞、質問文と答え方		復習４５分：冠詞の用法の確認
第5回	伊勢島 セリア	形容詞とその変化		復習４５分：形容詞の変化形を覚える

	明美			
第6回	伊勢島セリア明美	指示形容詞	友達を紹介する	復習４５分：指示形容詞の変化形の確認
第7回	伊勢島セリア明美	動詞tenerの活用、所有形容詞	自己紹介③ 友達を紹介する②	復習４５分：動詞tenerの活用及び所有形容詞の変化形の確認
第8回	伊勢島セリア明美	動詞estarの活用、不定語・否定語		復習４５分：動詞estarの活用・用法の確認
第9回	伊勢島セリア明美	動詞quererの活用、目的語人称代名詞		復習４５分：動詞quererの活用・用法の確認
第10回	伊勢島セリア明美	動詞irとvenir、未来の表現		復習４５分：動詞irの活用・用法の確認
第11回	伊勢島セリア明美	動詞hacer、時間の表現		復習４５分：動詞hacerの用法を確認する
第12回	伊勢島セリア明美	動詞gustar、目的格人称代名詞	好き嫌いを言いましょう	復習４５分：好みが言えるようにする
第13回	伊勢島セリア明美	再帰動詞	タイムスケジュールを作りましょう	復習４５分：再帰代名詞の変化を確認する
第14回	伊勢島セリア明美	比較級と最上級	「どちらがより～ですか？」と聞いてみましょう	復習４５分：比較級の文型を確認する
第15回	伊勢島セリア明美	動詞haber、現在完了形、現在進行形	経験を言ってみましょう	復習４５分：過去分詞及び現在分詞の用法を確認する

教科書

教材プリントを配布します。

参考書

¡Hola! 粕谷てる子著 第三書房

成績評価の方法・基準

単位認定：６０点以上
小テスト１回（最終授業内）：１００％

課題等に対する
フィードバックの方法

応用会話の発表時に、必要に応じて補足説明を行います。

履修のポイント

練習問題の解答及び基本文型の応用を広めること。

オフィス・アワー

授業終了後に質問を受け付けます。

科目区分

教養科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C023

講義コード	10230001
講義名	ポルトガル語
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	ポ和翻訳・通訳の経験を活かし、実践的なポルトガル語の学習を行います。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 伊勢島 セリア 明美	指定なし

授業の概要と教育目標

基本文法を取り上げた後、練習問題を通して学習を確認し、
初級会話の養成を目標とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ・ポリシーとの関連として、国際的な視野を持ち、
多言語・多文化の修得を通じて、地域で生活する外国籍の方の
多様な価値観の理解能力を有するグローバル人材の育成を図ります。

到達目標

学生がポルトガル語で挨拶と簡単な会話ができることを目標とします。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	伊勢島 セリア 明美	アルファベット、発音、挨拶、数詞①	挨拶を交わしましょう	復習４５分：発音を確認する基本挨拶ができるようにする数詞①を覚える
第2回	伊勢島 セリア 明美	名詞の特徴、数詞②		復習４５分：名詞の女性形・複数形の確認
第3回	伊勢島 セリア 明美	定冠詞・不定冠詞、数詞①	アイテムを指しながら質問しましょう	復習４５分：冠詞の形を確認する、数詞①を覚える
第4回	伊勢島 セリア 明美	動詞ser、否定文	自己紹介をしましょう	復習４５分：動詞serの活用・用法を確認する
第5回	伊勢島 セリア 明美	形容詞、疑問文と答え方		復習４５分：形容詞の変化形を確認する
第6回	伊勢島 セリア 明美	所有形容詞、指示形容詞		復習４５分：所有形容詞及び指示形容詞の形を確認する

第7回	伊勢島 セリア 明美	-ar動詞、動詞gostar、前置詞①	相手の好みを聞きましょう	復習４５分：-ar動詞の活用を確認する
第8回	伊勢島 セリア 明美	-er動詞、-ir動詞、前置詞②		復習４５分：-er動詞・-ir動詞の活用を確認する
第9回	伊勢島 セリア 明美	動詞ir、疑問詞①	相手の予定を聞きましょう	復習４５分：動詞irの活用・用法を確認する
第10回	伊勢島 セリア 明美	動詞ter、疑問詞②、数詞②		復習４５分：動詞terの活用・用法を確認する
第11回	伊勢島 セリア 明美	動詞poder、曜日	許可・依頼しましょう	復習４５分：動詞poderの活用・用法を確認する
第12回	伊勢島 セリア 明美	動詞querer、日付、数詞③		復習４５分：動詞quererの活用・用法を確認する
第13回	伊勢島 セリア 明美	動詞estar、現在進行形	体調・気分を伝えましょう	復習４５分：動詞estarの活用・用法を確認する
第14回	伊勢島 セリア 明美	過去形、時間の表現		復習４５分：過去形の活用を確認する
第15回	伊勢島 セリア 明美	比較級		復習４５分：比較級の文型を確認する

教科書

教材プリントを配布します

成績評価の方法・基準

単位認定：６０点以上
小テスト１回（最終授業内）：１００％

課題等に対するフィードバックの方法

応用会話の発表時に、必要に応じて補足説明を行う

履修のポイント

練習問題に積極的に取り組むこと

オフィス・アワー

授業終了後、質問を受け付けます

科目区分

教養科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C024

講義コード	10240001
講義名	データサイエンス
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

ビッグデータやIoT、AI技術の急速な進展が現社会に多大な影響を及ぼしている。医療保健業界において、これらの技術が有効活用され、様々な問題を解決した。更に、複数のデータ・リポジトリが公開した医療保健に関するオープン・データを解析することによって、健康上のアウトカムの改善に導いた。よって、学生がデータサイエンスの基礎的な知識や理解を身に付けることにより、将来、医療保健の現場に貢献が期待できる。そのため、この授業では、ビッグデータやIoT、AIといった先進的技術やデータサイエンスの基礎的なリテラシーを身に付けることを目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、ICT(情報通信技術)を利用して必要な情報を収集・活用、そして、看護の実践に役立てることができる能力の修得を目標とする。これにおいて、データサインスの知識を生かして、医療現場に貢献できる能力を養うことを目指すものとする。

到達目標

①データサインスとはなにかを説明できる
②データサインスの基本的な用語について説明できる
③応用事例を通じて、データサインスの重要性を理解できる。
④統計手法の基本を習得する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	クラスガイダンス、 データサインスとは	予習90分：教科書1章を読む。用語について調べてまとめておこう。 復習60分：教科書1章を見直す。
第2回	データサインスの応用事例	予習90分：教科書2章を読む。3章の用語について調べてまとめておこう。

	機械学習の基本	復習90分：教科書2章、3章を見直す。
第3回	データの可視化	予習90分：教科書4章を読む。グラフについての特徴や使われる場面について調べておこう。 復習90分：教科書4章を見直す。
第4回	テキストマイニングとは ディープラーニングとは	予習90分：教科書5章、6章を読む。6章の用語について調べてまとめておこう。 復習90分：教科書5章、6章を見直す。
第5回	オープンデータとは何か オープンデータの成り立ち	予習90分：教科書7章、8章を読む。 復習90分：教科書7章、8章を見直す。
第6回	統計とは データの分類	第6回～8回の授業において、1年前期の「情報処理基礎演習」の教科書「医療系のための情報リテラシー」を参考する。 予習90分：「医療系のための情報リテラシー」の第5章（5.1～5.2）を読む。 復習90分：「医療系のための情報リテラシー」の第5章（5.1～5.2）を見直す。
第7回	基本統計量	第6回～8回の授業において、1年前期の「情報処理基礎演習」の教科書「医療系のための情報リテラシー」を参考する。 予習90分：「医療系のための情報リテラシー」の第5章（5.3)を読む。 復習90分：「医療系のための情報リテラシー」の第5章(5.3)を見直す
第8回	検定とは	第6回～8回の授業において、1年前期の「情報処理基礎演習」の教科書「医療系のための情報リテラシー」を参考する。 予習90分：「医療系のための情報リテラシー」の第5章(5.5)を読む。 復習90分：「医療系のための情報リテラシー」の第5章(5.5)を見直す。

教科書

データサイエンスリテラシー
髙橋 弘毅(ほか) (著)
実教出版
ISBN-13：978-4407352573

参考書

適宜紹介する

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上：

授業への積極性(10%), 課題・クイズ (25%)、試験(65%) で評価する。
定期試験は実施する。*再試験は実施しない。

課題等に対するフィードバックの方法

課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。
または、Moodleで課題・クイズを解いて、回答を確認する。

履修のポイント

①「情報処理基礎演習」を履修済みであることが望ましい。
②授業への積極な取り組みを期待する。
③上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書

の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。
オフィス・アワー
毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室） メール：prof.mach.dr@gmail.com
科目区分
教養科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-C025

講義コード	10250001
講義名	情報処理基礎演習（Aクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

我々の生活や仕事は情報化によって変化している。病院では、患者に関する情報がコンピュータによって処理されている。ICT「情報通信技術」時代の要請にそって、情報処理の教育は必要である。そこで、コンピュータやネットワークの利用を通して、情報処理を学ぶ。演習を通して、コンピュータの基本的な操作法を習得する。更に、インターネットに関する知識や技術も習得する。
アプリケーションソフト（Office 2019/2021：Word, Excel, Powerpoint)やインターネットに関する知識や技術を習得するとともに、コンピュータリテラシーの向上を目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、
ICT(情報通信技術)を利用して必要な情報を収集・活用し、看護の実践に役立てることができる能力の修得を目標とする。これにおいて、情報処理能力が求められているため、情報処理に関する知識や技術を養うことを目指すものとする。

到達目標

①コンピュータの基本構成を理解の上で基本操作を習得する。
②アプリケーションソフトの基本機能を理解し、基本的なスキルを習得する。
③インターネットを利用した情報検索や情報発信を学び、インターネットを使いこなす。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	マチャコン ヘルチェル	パソコンの構成とソフトウェア、WindowsOSの基礎知識、基本操作、E-メールのアカウントの設定、リモート ワーク - コラボレーション ツール | Microsoft Teamsの使い方、情報モラル	予習90分：PCの操作法を確認する。 復習90分：教科書1章を見直す。
	マチャコ		予習90分：教科書2章を読む。

第2回	ン ヘルチェル	Wordの基本操作、基本編集	復習90分：教科書2章（p.23-30, p.33-36, p.67,を見直す。
第3回	マチャコン ヘルチェル	文書作成	予習90分：教科書2章(p.31-32, p.37-51)を読む。 復習90分：教科書2章（p.24-30, p.33-36, p.68,を見直す。
第4回	マチャコン ヘルチェル	表の作成	予習60分：教科書2章（p.52-55)を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第5回	マチャコン ヘルチェル	図形を描く	予習90分：教科書2章（p.56-66)を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第6回	マチャコン ヘルチェル	2 回目～5回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確 認として応用課題を実施する。 （WORD応用課題）	予習90分：教科書2章を見直す。 復習60分：回答できなかった部分を再確認する。
第7回	マチャコン ヘルチェル	インターネットの概要、Webブラウザと検索、本大学の図書館資料検索（OPAC)	予習90分：教科書6章を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第8回	マチャコン ヘルチェル	プレゼンテーションの概要、スライドの作成	予習90分：教科書3章(p.71-85)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第9回	マチャコン ヘルチェル	医療学会の発表会で使えるアニメーションの作成	予習90分：教科書3章(p.86-90)を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第10回	マチャコン ヘルチェル	Excelの基本操作 (アンケート用紙の作成）	予習90分：教科書4章(p.94-116)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第11回	マチャコン ヘルチェル	数値入力と関数とグラフ	予習90分：教科書4章(p.117-137)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
			予習90分：教科

第12回	マチャコン ヘルチェル	アンケートデータの入力と集計	書4章(p.138-149)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第13回	マチャコン ヘルチェル	関係を求める （相関係数）	予習60分：教科書4章(p.121, p.192-193)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第14回	マチャコン ヘルチェル	10 回目～13 回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確 認テスト（実技テスト）を実施する。	予習90分：教科書4章を見直す。 復習：回答できなかった問題を再確認する
第15回	マチャコン ヘルチェル	医療機関おける個人情報保護に関する調べたテーマをポスターにする。 最終課題（提出必修）：ポスター作成	予習90分：前回に配布された資料を読む。

教科書

医療・看護系のための情報リテラシー Office 2019対応版 ISBN-978-4489023224
松木秀明 (著), 須藤真由美 (著), 松木勇樹 (著) 東京図書

参考書

30時間アカデミック Office2021
Windows 11対応 実教出版 ISBN:978-4-407-35943-5
実教出版編集部

成績評価の方法・基準

単位認定 60点以上
課題 20%、実技テスト 40%、応用課題・最終課題（必修）40%で評価する。
*定期試験は実施しない。再試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

① 課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。
② 課題の完成版を配布し、または、その処理の仕方の動画をオンラインで公開することもある。

履修のポイント

上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。

オフィス・アワー

毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室）
メール：prof.mach.dr@gmail.com

科目区分

教養科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-R019

講義コード	10250002
講義名	情報処理基礎演習（Bクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

我々の生活や仕事は情報化によって変化している。病院では、患者に関する情報がコンピュータによって処理されている。ICT「情報通信技術」時代の要請にそって、情報処理の教育は必要である。そこで、コンピュータやネットワークの利用を通して、情報処理を学ぶ。演習を通して、コンピュータの基本的な操作法を習得する。更に、インターネットに関する知識や技術も習得する。
アプリケーションソフト（Office 2016/2019：Word, Excel, Powerpoint)やインターネットに関する知識や技術を習得するとともに、コンピュータリテラシーの向上を目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題を解決する能力の修得を目標とする。これにおいて、情報処理能力が求められているため、情報処理に関する知識や技術を養うことを目指すものとする。

到達目標

①コンピュータの基本構成を理解の上で基本操作を習得する。
②アプリケーションソフトの基本機能を理解し、基本的なスキルを習得する。
③インターネットを利用した情報検索や情報発信を学び、インターネットを使いこなす。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	マチャコン ヘルチェル	パソコンの構成とソフトウェア、WindowsOSの基礎知識、基本操作、E-メールのアカウントの設定、リモート ワーク - コラボレーション ツール | Microsoft Teamsの使い方、情報モラル	予習90分：PCの操作法を確認する。 復習90分：教科書1章を見直す。
	マチャコ		予習90分：教科書2章を読む。

第2回	ン ヘルチェル	Wordの基本操作、基本編集	復習90分：教科書2章（p.23-30, p.33-36, p.67,を見直す。
第3回	マチャコン ヘルチェル	文書作成	予習90分：教科書2章(p.31-32, p.37-51)を読む。 復習90分：教科書2章（p.24-30, p.33-36, p.68,を見直す。
第4回	マチャコン ヘルチェル	表の作成	予習60分：教科書2章（p.52-55)を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第5回	マチャコン ヘルチェル	図形を描く	予習90分：教科書2章（p.56-66)を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第6回	マチャコン ヘルチェル	2 回目～5回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確 認として応用課題を実施する。 （WORD応用課題）	予習90分：教科書2章を見直す。 復習60分：回答できなかった部分を再確認する。
第7回	マチャコン ヘルチェル	インターネットの概要、Webブラウザと検索、本大学の図書館資料検索（OPAC)	予習90分：教科書6章を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第8回	マチャコン ヘルチェル	プレゼンテーションの概要、スライドの作成	予習90分：教科書3章(p.71-85)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第9回	マチャコン ヘルチェル	医療学会の発表会で使えるアニメーションの作成	予習90分：教科書3章(p.86-90)を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第10回	マチャコン ヘルチェル	Excelの基本操作 (アンケート用紙の作成）	予習90分：教科書4章(p.94-116)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第11回	マチャコン ヘルチェル	数値入力と関数とグラフ	予習90分：教科書4章(p.117-137)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
			予習90分：教科

第12回	マチャコン ヘルチェル	アンケートデータの入力と集計	書4章(p.138-149)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第13回	マチャコン ヘルチェル	関係を求める （相関係数）	予習60分：教科書4章(p.121, p.192-193)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第14回	マチャコン ヘルチェル	10 回目～13 回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確 認テスト（実技テスト）を実施する。	予習90分：教科書4章を見直す。 復習：回答できなかった問題を再確認する
第15回	マチャコン ヘルチェル	医療機関おける個人情報保護に関する調べたテーマをポスターにする。 最終課題：ポスター作成	予習90分：前回に配布された資料を読む。

教科書

医療・看護系のための情報リテラシー Office 2019対応版 ISBN-978-4489023224
松木秀明 (著), 須藤真由美 (著), 松木勇樹 (著) 東京図書

参考書

30時間アカデミック 情報リテラシー Office2016
Windows 10対応 実教出版 ISBN:978-4-407-34023-5
実教出版編集部

成績評価の方法・基準

単位認定 60点以上
課題 (20%)、実技テスト(40%)、応用課題・最終課題（40%） で評価する。
*定期試験は実施しない。再試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

① 課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。
② 課題の完成版を配布し、または、その処理の仕方の動画をオンラインで公開することもある。

履修のポイント

上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。

オフィス・アワー

毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室）
メール：prof.mach.dr@gmail.com

科目区分

教養科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-R019

講義コード	10260001
講義名	情報処理応用演習（Aクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

「情報処理基礎演習」に引き続き、看護研究や学習において欠かせない情報処理能力を向上させるよう、より応用的な形で情報処理方法を学ぶ。PCとインターネットを活用して、看護医療データの収集や整理、Excelによる統計処理方法を含む、データ・情報の解析方法についての演習を行う。医療分野におけるコンピュータと情報の応用的なスキルを身につける。さらに、医療画像管理システム(PACS)を理解し、DICOM画像閲覧ソフトで簡単な操作ができること目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題を解決する能力の修得を目標とする。これにおいて情報処理能力が求められているため、俵計算ソフトによる統計処理方法を含む、データ・情報の解析方法を養うことを目指すものとする。

到達目標

①Excelを利用して、医療・看護データを統計処理スキルを身につける。
②オープンデータの活用ができる。
③「PACSや医用画像dicomとは何か」を説明できる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	Excelの基本操作の復習		予習90分：Excelの基本操作を再確認する。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第2回	アンケート調査, クロス集計表, ピボットテーブル		予習90分：教科書1章(p.2-8), 12章(p.160-171)を読む。復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
	データの種類		予習90分：教科書(p. xv～xxiv), 2章を読

第3回	度数分布表によるデータのまとめ方（ヒストグラム）		む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第4回	平均値と標準偏差によるデータのまとめ方 散布図・相関係数によるデータのまとめ方		予習90分：教科書3章,5章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第5回	回帰直線によるデータのまとめ方 確率分布とその数表の作り方		予習90分：教科書6章,8章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第6回	リスク比とオッズ比 区間推定によるデータのまとめ方		予習90分：教科書7章(p.83-88),9章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第7回	仮説の検定によるデータのまとめ方		予習90分：教科書10-11章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第8回	重回帰分析によるデータのまとめ方		予習90分：教科書13章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第9回	1回目～9 回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確 認テスト（実技テスト）を実施する		予習90分：第１回～第9回の授業で学習した内容を確認する。 復習90分：回答できなかった問題を再確認する。
第10回	データベースとは		予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第11回	Gapminderの使い方：各自関心のあるテーマを選択し、 Gapminderを用いて、データを可視化する	ディスカッション＆コラボレーション	予習90分：オープンデータについてインターネットで調べる。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第12回	Group Work 可視化データをPowerPointを用いてまとめる	ディスカッション＆コラボレーション	予習90分：収集したデータを分析し、考えたストーリーをPowerPointでまとめる。
第13回	Group Work (プレゼンテーション）１：必修 可視化データをPowerPointを用いて、説明する （受講者の人数により、回数を変更する場合があります）	ディスカッション＆コラボレーション	予習90分：プレゼンテーションの練習をする。
第14回	Group Work (プレゼンテーション）2：必修 可視化データをPowerPointを用いて、説明する （受講者の人数により、回数を変更する場	ディスカッション＆コラボレーション	予習90分：プレゼンテーションの練習をする。

	合があります）		
第15回	1）医療画像管理システム（PACS)について 2）医用画像ファイル(dicom)について		予習90分：前回に配布された資料を読む。

教科書

よくわかる統計学 看護医療データ編 第3版 東京図書 ISBN-13: 978-4-489-02351-4
石村 貞夫 (著), 石村 友二郎 (著), 久保田 基夫 (著)

参考書

①医療系のための情報リテラシー ISBN-978-4489022050 東京図書
② 教育・心理系研究のためのデータ分析入門 第2版 東京図書 ISBN-13: 978-4489022623
③参考資料を配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定 60点以上
課題 (20%)、実技テスト(50%)、プレゼンテーション(30%) で評価する。
*定期試験を実施しない。 再試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

① 課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。
② 課題の完成版を配布し、または、その処理の仕方の動画をオンラインで公開することもある。

履修のポイント

①上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。
②「情報処理基礎演習」と「統計学」を履修済みであることが望ましい。

オフィス・アワー

毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室）
メール：prof.mach.dr@gmail.com

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C041

講義コード	10260002
講義名	情報処理応用演習（Bクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

「情報処理基礎演習」に引き続き、看護研究や学習において欠かせない情報処理能力を向上させるよう、より応用的な形で情報処理方法を学ぶ。PCとインターネットを活用して、看護医療データの収集や整理、Excelによる統計処理方法を含む、データ・情報の解析方法についての演習を行う。医療分野におけるコンピュータと情報の応用的なスキルを身につける。さらに、医療画像管理システム(PACS)を理解し、DICOM画像閲覧ソフトで簡単な操作ができること目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題を解決する能力の修得を目標とする。これにおいて情報処理能力が求められているため、俵計算ソフトによる統計処理方法を含む、データ・情報の解析方法を養うことを目指すものとする。

到達目標

①Excelを利用して、医療・看護データを統計処理スキルを身につける。
②オープンデータの活用ができる。
③「PACSや医用画像dicomとは何か」を説明できる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	Excelの基本操作の復習		予習90分：Excelの基本操作を再確認する。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第2回	アンケート調査, クロス集計表, ピボットテーブル		予習90分：教科書1章(p.2-8), 12章(p.160-171)を読む。復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
	データの種類		予習90分：教科書(p. xv～xxiv), 2章を読

第3回	度数分布表によるデータのまとめ方（ヒストグラム）		む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第4回	平均値と標準偏差によるデータのまとめ方 散布図・相関係数によるデータのまとめ方		予習90分：教科書3章,5章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第5回	回帰直線によるデータのまとめ方 確率分布とその数表の作り方		予習90分：教科書6章,8章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第6回	リスク比とオッズ比 区間推定によるデータのまとめ方		予習90分：教科書7章(p.83-88),9章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第7回	仮説の検定によるデータのまとめ方		予習90分：教科書10-11章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第8回	重回帰分析によるデータのまとめ方		予習90分：教科書13章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第9回	1回目～9 回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確 認テスト（実技テスト）を実施する		予習90分：第１回～第9回の授業で学習した内容を確認する。 復習90分：回答できなかった問題を再確認する。
第10回	データベースとは		予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第11回	Gapminderの使い方：各自関心のあるテーマを選択し、 Gapminderを用いて、データを可視化する	ディスカッション＆コラボレーション	予習90分：オープンデータについてインターネットで調べる。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第12回	Group Work 可視化データをPowerPointを用いてまとめる	ディスカッション＆コラボレーション	予習90分：収集したデータを分析し、考えたストーリーをPowerPointでまとめる。
第13回	Group Work (プレゼンテーション）１：必修 可視化データをPowerPointを用いて、説明する （受講者の人数により、回数を変更する場合があります）	ディスカッション＆コラボレーション	予習90分：プレゼンテーションの練習をする。
第14回	Group Work (プレゼンテーション）2：必修 可視化データをPowerPointを用いて、説明する （受講者の人数により、回数を変更する場	ディスカッション＆コラボレーション	予習90分：プレゼンテーションの練習をする。

	合があります）		
第15回	1）医療画像管理システム（PACS)について 2）医用画像ファイル(dicom)について		予習90分：前回に配布された資料を読む。

教科書

よくわかる統計学 看護医療データ編 第3版 東京図書 ISBN-13: 978-4-489-02351-4
石村 貞夫 (著), 石村 友二郎 (著), 久保田 基夫 (著)

参考書

①医療系のための情報リテラシー ISBN-978-4489022050 東京図書
② 教育・心理系研究のためのデータ分析入門 第2版 東京図書 ISBN-13: 978-4489022623
③参考資料を配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定 60点以上
課題 (20%)、実技テスト(50%)、プレゼンテーション(30%) で評価する。
*定期試験を実施しない。 再試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

① 課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。
② 課題の完成版を配布し、または、その処理の仕方の動画をオンラインで公開することもある。

履修のポイント

①上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。
②「情報処理基礎演習」と「統計学」を履修済みであることが望ましい。

オフィス・アワー

毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室）
メール：prof.mach.dr@gmail.com

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C041

講義コード	10300001
講義名	医療保健論（編入生）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	４時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	行政保健師としての実務経験を活かし、保健医療政策と健康の保持・増進についてわかりやすく伝える
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 髙橋 美砂子	指定なし

授業の概要と教育目標

保健医療は地域社会が置かれてる状況やその時の社会情勢によって変化するものと「健康」であり続けたいと願う普遍的要素がある。両者を俯瞰して日本や世界の保健医療の動向を考える。また、健康な生活を実現するためにさまざまな専門職がおり、栄養士、管理栄養士も担い手の一職種である。多職種・多機関の連携と協働が欠かせない。個人の健康支援から地域全体の健康を向上させるために何ができるかを考え、今後の学修の動機付けをすることが目的である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

栄養学科のディプロマポリシーとの関連として、人間の健康を規定する要因として幅広く社会・環境を科学的に理解し、健康の維持・増進プログラムを実践すること、多様な社会ニーズ、変化に対応できる知識を身に付けること、に鑑み、現在の保健医療についてさまざまな視点から考えられる専門職の人材育成を目指す教育を行う。

到達目標

１．日本の医療保健福祉の現状と政策が理解できる
２．地域社会での暮らしと健康の関連が理解できる
３．健康な生活を維持するための多職種連携と社会資源の活用について理解できる
４．これからの日本や身近な地域の保健医療問題を考えることができる

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	髙橋美砂子	授業ガイダンス 保健と医療① 日本の保健医療福祉の現状と課題	日本の保健医療福祉の現状について、学生間で意見交換する	予習：90分 メディアで取り上げている現在の保健医療問題を探索する 復習：90分 本日の授業内容をノートに整理する。わからないことは次の授業時に質問する

第2回	髙橋美砂子	保健と医療② 日本の健康づくり政策の変遷 健康日本21（第2次）について 群馬県（みどり市）の健康増進計画とは	自分が暮らしている町（自治体）の健康増進計画について調べ、情報交換する	予習：90分 自分が暮らしている自治体の健康増進計画について調べてくる 復習：90分 本日の授業内容をノートに整理する。わからないことは次の授業時に質問する
第3回	髙橋美砂子	地域と健康対策① 健康とは ライフサイクルと健康課題 ストレス社会への対応	ストレスについて考え、意見交換する	予習：90分 これまで自分のライフサイクルと健康状態について振り返りまとめてくる 復習：90分 本日の授業内容をノートに整理する。わからないことは次の授業時に質問する
第4回	髙橋美砂子	地域と健康対策② 健康寿命と健康格差とは 日常生活と生活習慣病、メタボリックシンドローム 特定健診と特定保健指導	自分や家族の生活習慣を振り返り、よい点、改善点を話し合う	予習：90分 自分や家族の生活習慣をまとめてくる 復習：90分 本日の授業内容をノートに整理する。わからないことは次の授業時に質問する
第5回	髙橋美砂子	地域と健康対策③ 高齢者対策（認知症対策含）と地域包括ケアシステム 子どもを取り巻く環境と子育て支援	認知症の対応を学生間で体験する	予習：90分 認知症について調べてくる 復習：90分 本日の授業内容をノートに整理する。わからないことは次の授業時に質問する
第6回	髙橋美砂子	健康啓発ワークショップ	これまで学習したことを参考に健康の高まりを視点にした啓発資料の作成	予習：90分 これまでの学習の中からワークショップのテーマを考えてくる 復習：90分 本日の授業内容をノートに整理する。わからないことは次の授業時に質問する
第7回	髙橋美砂子	保健医療と社会資源① 地域の結びつきと地域力 ソーシャルキャピタルと保健・医療・福祉 多職種連携とネットワーク	自分が暮らしている地域のイベントについて学生間で情報共有する	予習：90分 自分が暮らしている自治体のイベントを調べてくる 復習：90分 本日の授業内容をノートに整理する。わからないことは次の授業時に質問する
第8回	髙橋美砂子	保健医療と社会資源② 保健福祉医療の今後の展望 本授業のまとめ（論述課題）		予習：90分 本授業で学んだことを整理する 復習：90分 論述試験について振り返る

教科書

特定の教科書は使用しない。授業時に必要な資料を配布する。
参考書
小泉俊三他：総合医療論、医学書院 幡山久美子他：保健医療と福祉 弘文堂
成績評価の方法・基準
成績評価：総合点で60点以上を合格とする。論述試験70% ワークショップ（課題）30%
課題等に対する フィードバックの方法
ワークショップで作成した課題は、授業最終日に講評してから返却する。
履修のポイント
保健医療福祉に関する社会情勢に関心を持ち、身近な問題として捉える姿勢が大切です。将来、管理栄養士として保健医療の担い手になる学生とともに考える授業にします。ワークショップもありますので主体的に取り組んでいきましょう。
オフィス・アワー
主に授業開講日に対応します。
科目区分
専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-R110

講義コード	10310001
講義名	文献検索とクリティーク
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

科学論文の検索方法について理解し、実践する。実際の論文を例にとり、論文の背景や目的、研究方法、結果、考察などの記述の仕方を学ぶ。さらに論文に対する批評的な読解法についても学習する。科学論文の検索方法を習得し、研究論文に対する批評的な読解法を学び、文献クリティークの基礎能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題を解決する能力を修得を目標とする。臨床で働く看護師は、問題を解決し、研究を行うために、文献や情報検索や論文のクリティークする機会が多い。そこで、この科目では、文献や情報の検索方法、クリティークに関する知識や技術を養うことを目指すものとする。

到達目標

① 情報・文献検索ができる。
② 論文のクリティークを行うことができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	マチャコン ヘルチェル	授業の進め方、文献とは何か 研究論文とは何か 課題：英文論文読解		復習90分：授業で学習した内容を再確認する。 英文論文の内容をまとめる。
	マチャコン ヘ	①課題提出 ②英文論文の内容を理解したかどうかの確認 （Q&A方式)		予習90分：授業で配布された英文論文の内容を再確認する。

第2回	ルチェル	（一人一人への質問） （受講者の人数により、回数を変更する場合がある。）		復習90分：質問で答えられなかった部分に関して、論文を読んで再確認する。
第3回	マチャコン ヘルチェル	① 看護とWeb検索・文献検索 （サーチエンジンによる情報・文献検索） ② データベースで調べてみよう (NDL-OPAC（国立国会図書館蔵書検索) 最新看護索引Web		予習90分：教科書1章、書2章(2-3,2-4)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第4回	マチャコン ヘルチェル	文献の探し方：国内の電子ジャーナル・データベース 医学中央雑誌Web版、JDreamII、CiNii		予習90分：教科書2章(2-1,2-2,2-5)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第5回	マチャコン ヘルチェル	文献の探し方：国内の電子ジャーナル・データベース メディカルオンライン		予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第6回	マチャコン ヘルチェル	文献の探し方：外国の電子ジャーナル・データベース PubMed、Cochrane		予習90分：教科書2章(2-6)を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第7回	マチャコン ヘルチェル	看護に役立つデータベースとWebサイト		予習90分：教科書3章を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第8回	マチャコン ヘルチェル	2回目～6回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確 認テスト（実技テスト）を実施する。		予習90分：教科書1章-2章で学習した内容を確認する。 復習90分：回答できなかった問題を再確認する
第9回	マチャコン ヘルチェル	クリティークとは何か		予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第10回	マチャコン ヘルチェル	研究における統計学の基本知識の復習		予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第11回	マチャコン ヘルチェル	国内のジャーナルから原著論文(和文）のクリティーク		予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第12回	マチャコン ヘルチェル	医療分野の研究テーマの選択、文献の収集	ディスカッションやコラボレーション	予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
				予習90分：前回に収集した文

第13回	マチャコン ヘルチェル	12回目の授業で選んだテーマに関して、収集した文献を整理する	ディスカッションやコラボレーション	献の内容を確認する。 復習90分：文献レビュー・、マトリックスの内容を再確認する。
第14回	マチャコン ヘルチェル	文献レビューのプレゼンテーションまたはインタビュー (必修) （受講者の人数により、回数を変更する場合がある。）		予習90分：作成した文献レビュー・マトリックスを再確認する。
第15回	マチャコン ヘルチェル	文献レビューのプレゼンテーションまたはインタビュー (必修) （受講者の人数により、回数を変更する場合がある。）		予習90分：作成した文献レビュー・マトリックスを再確認する。

教科書

看護師のためのWeb検索・文献検索入門 (JJNスペシャル), 医学書院 ISBN-13: 978-4260019125
佐藤 淑子／和田 佳代子

参考書

1.看護研究のための文献検索ガイド 第4版 増補版
（日本看護協会出版会）ISBN-13: 978-4818014985
2. 参考資料を配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定 60点以上
課題（10%）、論文読解（15%)、実技テスト（35%)、プレゼンテーション・インタビュー (必修）(40%）で評価する。
*定期試験は実施しない。 再試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

① 課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。
② 課題の処理の仕方の動画をオンラインで公開することもある。

履修のポイント

①上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。
②「統計学」を履修済みであることが望ましい。
③ 多くの研究論文を読むことをすすめる。

オフィス・アワー

毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室）
メール：prof.mach.dr@gmail.com

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C060

講義コード	10320001
講義名	スタートアップセミナー
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	長谷川：看護師としての実務経験および看護師研修会での講師経験を活かし、授業を展開する
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 長谷川 真美	指定なし
教員	煙山 健仁	指定なし
教員	北爪 明子	指定なし

授業の概要と教育目標

新入生を対象とした初年次教育と位置づけ、看護職を目指す学生としての心構えや学習環境づくりとして、看護師になるためにふさわしい態度、行動、必要な学習、主体的な学習環境づくりなどを学習する。さらに、看護職としての専門職業人の意識を高めるため、医療の目的、根拠に基づく医療、信頼される看護職、コミュニケーション、価値観の多様性などについて学習する。
看護職を目指すための学習環境を構築することができ、専門職業人としての意識を高めることが必要であることを理解できることを教育目標とする。

到達目標

看護職として働くためには、どのような学習が必要で、どのように職業意識を高めていくか説明できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容
第1回	煙山健仁	大学で学ぶ（1）学びの特徴 1.大学での学びの特徴 2.看護の学びの特徴 3.資格取得のための学修 4.学修を支えるサポート①	
第2回	長谷川真美	大学で学ぶ（2）効果的な学びにするために 5.学修を支えるサポート② 6.チーム作り 7.ディスカッション・共有	グループで「大学生活を有意義に過ごすためには」をディスカッションする。
第3回	長谷川	大学で学ぶ（3）医療職としての態度・行動	

	真美	1. 医療職に求められるもの	
第4回	長谷川 真美	大学で学ぶ（4）倫理について考える	グループで「倫理事例について」ディスカッションする。
第5回	長谷川 真美	キャリアデザイン（1）看護とキャリア 1.看護とは 2.キャリアとは	
第6回	長谷川 真美	キャリアデザイン（2）キャリア目標	グループで「目指したい看護師像（ラベルワーク）についてディスカッションし、グループごとに発表する。
第7回	長谷川 真美	キャリアデザイン（3）キャリアの記録と看護師の様々なキャリア 1.ポートフォリオの活用 2.私のポートフォリオ	
第8回	長谷川 真美	キャリアデザイン（4）目指したい看護師とそのための方略 3.キャリア質問コーナー 4.ペアワーク 5.個人ワーク	キャリア質問コーナー 助産師、保健師、養護教諭課程の教員 ・私の目指す看護師 ・目標達成に使える私の強み ・目標達成の妨げとなること ・目指す看護師になるための私の設計図

教科書

使用しない。必要時資料を配布する。

参考書

適宜紹介する

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
レポート・課題80%、授業への参加度20%
レポート・課題は授業内で提示する。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内で課した課題は次回授業時に総評としてコメントする。
レポートはコメントを入れて返却する。

履修のポイント

ディスカッションへの積極的な参加を期待します。

オフィス・アワー

月曜日12：30〜13：20（昼休み）各研究室
※講義前後にも、適宜受け付けます。

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-R110

講義コード	10330001
講義名	チーム連携論
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	病院および施設における看護師としての勤務経験をふまえ、チーム医療の実際と連携について講義を展開する。
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 片野 吉子	指定なし

授業の概要と教育目標

今日の医療ニーズの多様化に対応したより良質なサービスを提供するためには、医療・保健・福祉などの多様な専門職による役割と機能の有機的な連携や協働が必要不可欠である。本授業では、チーム医療の意義を理解し、チームアプローチの実際についてグループ討議を通して学習する（オムニバス方式全15回）。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本学のディプロマ・ポリシーとの関連において、幅広い知識と確かな技術を修得するために、医療・保健・福祉領域の各専門職種の役割、機能、責任についてさらに学習し、より専門性の高い良質なサービス提供を目指すチーム医療実現のための役割と機能について理解し、将来その一端を担う人材となることを目指す。

到達目標

1. チーム医療の背景、あり方、倫理といった基本的な知識を習得し、説明できる。
2. 各専門職に対する理解を深めるとともに、チーム構成員の役割、機能、責任を説明できる。
3. 情報の伝達やコミュニケーションの重要性について、異なる専攻学生とのグループワークの中で実践できる。
4. 効果的で円滑なチーム医療を展開する方法についてグループ発表やレポート報告ができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	片野吉子	チーム連携の基本（1） チーム医療の意義・役割 ①チーム医療とは ②チーム医療に必要な機能 ③チーム医療の役		〔予習90分〕これまでの実習を振り返り、連携した職種について整理する。 〔復習90分〕授業時に配布した資料を再度復習し、内容を理解する。分からないことは次回必ず質問する。

		割・連携・協働について		
第2回	片野吉子	チーム連携の基本（2） リーダーシップとマネジメント ①リーダーシップ・メンバーシップとは ②チームの一員としての役割		〔予習90分〕これまでの実習を振り返り、連携した職種について整理する。 〔復習90分〕授業時に配布した資料を再度復習し、内容を理解する。分からないことは次回必ず質問する。
第3回	片野吉子	チーム連携の基本（3） 多職種間における倫理 ①さまざまな価値観の理解 ②倫理的課題の特徴 ③協働と自立性		〔予習90分〕医療倫理について調べておく。 〔復習90分〕多職種の働きと自ら目指す職種の違いについてワークシートにまとめる。
第4回	片野吉子	地域ケアにおける連携（1） ①地域における多職種連携について ②地域包括ケアシステムについて ③退院支援における多職種連携の役割	グループワーク ・ワークシートを活用して、グループで話し合い内容をまとめる。	〔予習90分〕地域包括ケアシステムに関する文献から、療養者が在宅で生活するために必要な支援について調べておく。 〔復習90分〕学習した内容からワークシートにまとめる。
第5回	片野吉子	地域ケアにおける連携（2） ①住み慣れた地域で暮らす療養者の生活を支える職種の役割 ②療養生活を支える社会資源について	グループワーク ・グループで話し合った内容をワークブックにまとめ、学習を整理する	〔予習90分〕地域での療養に関する文献を検索する。 〔復習90分〕学習した内容からワークシートにまとめる。
第6回	片野吉子	地域ケアにおける連携（3） ①療養者の生活を支えるための支援内容・方法の検討 ②多職種間の情報共有の検討	グループワーク ・情報共有ワークシートを使用してアセスメントを行う。 ・アセスメントの内容をグループ間で共有する。	〔予習90分〕地域での療養に関する文献を検索する。 〔復習90分〕学習した内容からワークシートにまとめる。
第7回		チーム医療の実際（1） 施設におけるチーム医療（NST）		〔予習90分〕ＮＳＴについて予習する 〔復習90分〕・授業時に配布した資料を再度復習し、内容を理解する。 ・課題レポートをまとめる。
第8回		チーム医療の実際（2） 施設におけるチーム医療（RST）		〔予習90分〕ＲＳＴについて予習する 〔復習90分〕・授業時に配布した資料を再度復習し、内容を理解する。 ・課題レポートをまとめる。

第9回		チーム医療の実際（３） 施設におけるチーム医療（糖尿病チーム）		〔予習90分〕糖尿病チームについて予習する。 〔復習90分〕・授業時に配布した資料を再度復習し、内容を理解する。 ・課題レポートをまとめる。
第10回		チーム医療の実際（４） 施設におけるチーム医療（褥瘡チーム）		〔予習90分〕褥瘡チームについて予習する 〔復習90分〕・授業時に配布した資料を再度復習し、内容を理解する。 ・課題レポートをまとめる。
第11回	片野吉子	チーム連携における事例検討(１) ①その人の生活を支えるために必要な職種の連携について検討 ②職種間の共通認識に必要な内容・方法の検討	グループワーク（事例検討）	〔予習90分〕事例の背景から、その人の生活を支えるために必要な職種の働きについて調べておく。 〔復習90分〕授業時に配布した資料を再度復習し、内容を理解する。
第12回	片野吉子	チーム連携における事例検討(２) ①その人にかかわる職種の役割と連携	グループワーク（事例検討）	〔予習90分〕事例の背景について、その人が地域での生活に必要な援助について考える。 〔復習90分〕発表資料を作成し、提出する。
第13回	片野吉子	チーム連携における事例検討(３) ①その人の暮らしMapの作成	グループワーク（事例検討）	〔予習90分〕・事例の背景からその人が生活する地域の特性を考慮しながらMapに反映させていく。 ・発表資料作成で必要なものを準備する。 〔復習90分〕発表資料を作成し、指定日までに提出する。
第14回	片野吉子	事例検討のまとめ(1)(発表）	グループワーク（事例検討）発表	〔予習90分〕他のグループの発表について内容を理解した上で質問を考える。 〔復習90分〕他のグループ発表を聞き気づいたことをまとめる。
第15回	片野吉子	事例検討のまとめ(2)（発表）	グループワーク（事例検討）発表（続き）	〔予習90分〕他のグループの発表について内容を理解した上で質問を考える。 〔復習90分〕授業で学習内容をふまえ、レポートをまとめる。

教科書

指定の教科書はありません。必要時、資料を配布します。

参考書

授業中に紹介します。

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上とします。
グループワークの参加状況（10%）、発表資料作成、発表への取り組み状況（30%）、ワークシートへの記入（40%）、レポート（20%）よる総合評価で60%以上を単位認定とします。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業で配布したワークシートはグループワークの際に記入し提出した後、まとめレポートと一緒にコメントして返却します。
履修のポイント
対象や地域住民を中心とした良質な保健医療サービスを提供するためには、チームによる協働は必要不可欠です。これまでの講義・実習を振り返り、知識を深めていきましましょう。 認定看護師によるチームケアの実際を聞く機会を設けました。
オフィス・アワー
在室時、随時対応します。(研究室：10号館2階研究室5)
科目区分
専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-C160

講義コード	10340001
講義名	人体の構造と機能I
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 煙山 健仁	指定なし
教員	山科 章	指定なし
教員	長谷川 真美	指定なし

授業の概要と教育目標

看護では、各種疾患の病態を正しく把握するために非常に多くの知識が必要となり、正常な体の構造や機能を知ることが大変重要である。骨格、筋肉、各種の臓器、血管系や神経系、さらに感覚器や内分泌腺、などが、体のどこに存在し、どのような形で、それらがどのように統合されているか理解することが必要である。この様な体の構造に加え、看護では生きた人体を扱うので、絶えず働いている各種の臓器・組織の機能も知る必要がある。人体の構造と機能は人体についての知識の基礎であり、病気の理解や看護実践の基盤となる。
本科目は、人体の構造と機能において、細胞と組織の基本構造と機能、栄養の消化と吸収、呼吸と血液のはたらき、血液の循環とその調節、体液の調節と尿の生成、を理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーでは、「科学的な根拠に基づいた知識・技術を修得し、安全・安心を配慮した看護の実践に応用できる」、「能動的な学習方法を理解し、生涯にわたり研鑽を積む習慣を身につけている」が求められており、”人体の構造と機能”の理解とそのための学習方法を通して、その目標達成に必要な知識・技術を養う。

到達目標

人の日常的活動において、体の中で絶え間なく行われている生命活動が、具体的にどの臓器・組織でどの様に行われているかが理解でき、その理解に基づいて人間の日常的活動を説明できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	山科章			

第1回	煙山健仁長谷川真美	解剖生理学の基礎、医学概論１	講義は画像、動画等を活用しながら、適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習45分：教科書序章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第2回	煙山健仁	【解剖学・生理学とは？】解剖学と生理学の歴史、学問の対象		予習45分：教科書序章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第3回	長谷川真美	何故、看護師に解剖生理学の知識が必要なのか？		予習45分：教科書序章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第4回	煙山健仁	【細胞・組織の基礎１】細胞・組織の構造と機能、ATP産生、タンパク質の合成		予習45分：教科書1章Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第5回	煙山健仁	【細胞・組織の基礎２】体液とホメオスタシス、人体の方向、位置を示す用語、人体の区分		予習45分：教科書1章A、B、Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第6回	山科章	消化器概要、医学概論２	講義は画像、動画等を活用しながら、適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習45分：教科書2章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第7回	煙山健仁	【栄養の消化と吸収１】口、咽頭、食道の構造と機能、腹部消化管の構造と機能		予習45分：教科書2章A、Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第8回	煙山健仁	【栄養の消化と吸収２】排便のメカニズム、糖質、タンパク質、脂肪の消化と		予習45分：教科書2章Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。

		吸収		
第9回	煙山健仁	【栄養の消化と吸収３】膵臓、肝臓、胆嚢の構造と機能	臓器の位置を描いて、消化器系の流れを確認する。	予習45分：教科書2章Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第10回	山科章	【診断推論とフィジカルアセスメント１】問診、視診、聴診、触診、打診について	講義は画像、動画等を活用しながら、適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	オリエンテーションを中心に行う。予習(45分）はプレテストで行う。復習（45分）配布資料を見直し、疑問点をまとめたのち、ポストテストに回答する。結果および解説を参考に学習を進める。看護が見える（P2-22）
第11回	山科章	呼吸器系・血液概要、医学概論３	講義は画像、動画等を活用しながら、適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習45分：教科書3章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第12回	煙山健仁	【呼吸と血液のはたらき１】呼吸器の構造、内呼吸と外呼吸、呼吸気量		予習45分：教科書3章A、Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第13回	山科章	【画像でみる１】内視鏡により身体各部、とくに消化器、呼吸器領域の臓器について理解する	講義は画像、動画等を活用しながら、適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習(45分）プレテストにある問題および解説を参考に、教科書で理解を深め講義に臨む。復習（45分）講義・配布資料を見直した後、ポストテストに回答し、結果および解説を参考にさらに学習を進める。看護が見える（P226-353）
第14回	山科章	循環器系概要、医学概論４	講義は画像、動画等を活用しながら、適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習45分：教科書4章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第15回	煙山健仁	【呼吸と血液のはたらき２】ガス交換、酸素と二酸化炭素の運搬、呼吸運動の調節、病的呼吸、換気障害		予習45分：教科書3章Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第16回	煙山	【呼吸と血液のはたらき３】		予習45分：教科書3章Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をま

	健仁	血液の組成と機能、血球の機能		とめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第17回	煙山健仁	【呼吸と血液のはたらき４】 血液凝固、血液型	肺の簡単な模型を作り、呼吸のしくみを理解する。	予習45分：教科書3章Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第18回	煙山健仁	【血液の循環とその調節１】 心臓の位置と構造、心臓の拍出機能 、心電図		予習45分：教科書4章A、B、Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第19回	煙山健仁	【血液の循環とその調節２】 肺循環と体循環、動脈と静脈		予習45分：教科書4章Dを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第20回	煙山健仁	【血液の循環とその調節３】 血圧、心周期、血圧の調節、微小循環		教科書4章Eを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第21回	山科章	心電図の原理・取り方・読み方(主な不整脈、肥大、虚血、梗塞、電解質異常）	講義は画像、動画等を活用しながら、適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習(45分）プレテストにある問題および解説を参考に、教科書で理解を深め講義に臨む。復習（45分）講義・配布資料を見直した後、ポストテストに回答し、結果および解説を参考にさらに学習を進める。
第22回	山科章	【フィジカルアセスメント２】 バイタルサイン(意識、血圧、呼吸、脈拍、体温）と循環器・呼吸器の身体診察。	講義は画像、動画等を活用しながら、適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習(45分）プレテストにある問題および解説を参考に、教科書で理解を深め講義に臨む。復習（45分）講義・配布資料を見直した後、ポストテストに回答し、結果および解説を参考にさらに学習を進める。看護が見える（P36-83）
第23回	煙山健仁	【血液の循環とその調節４】 浮腫、 チアノーゼ、心不全、高血圧、リンパ	臓器の位置を描いて、循環器系の流れを確認する。	予習45分：教科書4章E、Fを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
24	山	泌尿器系概	講義は画像、動画等を活用しながら、適宜、質問をしながら	予習45分：教科書5章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑

第　回	科章	要、医学概論５	インタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第25回	煙山健仁	【体液の調節と尿の生成１】 腎臓の構造、尿生成のメカニズム、傍糸球体装置、クリアランスと糸球体濾過量		予習45分：教科書5章Aを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第26回	長谷川真美	【フィジカルアセスメント３】 看護師から見たバイタルサイン	講義は画像、動画等を活用しながら、適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習(45分）プレテストにある問題および解説を参考に、教科書で理解を深め講義に臨む。復習（45分）講義・配布資料を見直した後、ポストテストに回答し、結果および解説を参考にさらに学習を進める。看護が見える（P100-169）
第27回	山科章	【画像でみる２】 単 純X線、CT画像から胸部・腹部の解剖を知る	講義は画像、動画等を活用しながら、適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習(45分）プレテストにある問題および解説を参考に、教科書で理解を深め講義に臨む。復習（45分）講義・配布資料を見直した後、ポストテストに回答し、結果および解説を参考にさらに学習を進める。
第28回	煙山健仁	【体液の調節と尿の生成２】 蓄尿と排尿、体液の調節、水の出納、脱水		予習45分：教科書5章B、Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第29回	山科章	【画像でみる３】 超音波で胸部・腹部の解剖を知る	講義は画像、動画等を活用しながら、適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習(45分）プレテストにある問題および解説を参考に、教科書で理解を深め講義に臨む。復習（45分）講義・配布資料を見直した後、ポストテストに回答し、結果および解説を参考にさらに学習を進める。看護が見える（P226--274、306-323）
第30回	煙山健仁	【体液の調節と尿の生成３】 電解質異常、酸塩基平衡	臓器の位置を描いて、泌尿器系の流れを確認する。	予習45分：教科書5章Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。

教科書

人体の構造と機能（１）解剖生理学、坂井建雄・岡田隆夫 編集、医学書院

参考書

解剖生理学(ナーシング・グラフィカ)、林正健二 編集、メディカ出版

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上

授業中の小テストやレポート（40%）、期末試験（60%）で評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
授業内での小テストやレポートは、実施した次の回の授業で内容を解説する。
履修のポイント
自分だけの学習では正しい知識の理解が難しいので、講義に出席することが大切です。 講義では話し（ストーリー）を聞くことに集中して下さい。
オフィス・アワー
月曜日～金曜日（09：20～18：10）、10号館病理・解剖実習研究室
科目区分
専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R112

講義コード	10350001
講義名	人体の構造と機能II
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 煙山 健仁	指定なし
教員	山科 章	指定なし
教員	長谷川 真美	指定なし

授業の概要と教育目標

看護では、各種疾患の病態を正しく把握するために非常に多くの知識が必要となり、正常な体の構造や機能を知ることが大変重要である。骨格、筋肉、各種の臓器、血管系や神経系、さらに感覚器や内分泌腺、などが、体のどこに存在し、どのような形で、それらがどのように統合されているか理解することが必要である。この様な体の構造に加え、看護では生きた人体を扱うので、絶えず働いている各種の臓器・組織の機能も知る必要がある。人体の構造と機能は人体についての知識の基礎であり、病気の理解や看護実践の基盤となる。
本科目は、人体の構造と機能Iに引き続き、内臓機能の調節、身体の支持と運動、情報の受容と処理、身体機能の防御と適応、生殖・発生と老化のしくみ、を理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーでは、「科学的な根拠に基づいた知識・技術を修得し、安全・安心を配慮した看護の実践に応用できる」、「能動的な学習方法を理解し、生涯にわたり研鑽を積む習慣を身につけている」が求められており、”人体の構造と機能”の理解とそのための学習方法を通して、その目標達成に必要な知識・技術を養う。

到達目標

人の日常的活動において、体の中で絶え間なく行われている生命活動が、具体的にどの臓器・組織でどの様に行われているかを理解でき、その理解に基づいて人間の日常的活動を説明できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	長谷川真	看護師に必要な解剖生理学の知識とは？		

	美			
第2回	山科章	内分泌系概要、医学概論６	講義は画像、動画等を活用しながら、適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習45分：教科書6章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第3回	煙山健仁	【内蔵機能の調節１】 自律神経系の構造と機能		予習45分：教科書6章Aを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第4回	煙山健仁	【内蔵機能の調節２】 ホルモンの分類と受容体、下垂体、甲状腺、副甲状腺、膵臓		予習45分：教科書6章B、Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第5回	煙山健仁	【内蔵機能の調節３】 副腎、性腺、その他のホルモン、糖代謝、カルシウム代謝、ストレス、血圧		予習45分：教科書7章Hを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第6回	山科章	骨・筋概要、医学総論７	講義は画像、動画等を活用しながら、適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習45分：教科書7章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第7回	煙山健仁	【身体の支持と運動１】 人体の骨格、骨の連結、骨格筋、体幹の骨格と筋		予習45分：教科書7章A、B、C、Dを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第8回	煙山健仁	【身体の支持と運動２】 上肢の骨格と筋、下肢の骨格と筋、頭頚部の骨格と筋		予習45分：教科書7章E、F、Gを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第9回	山科章	【画像でみる４】 単純X線、CT画像から全身の解剖について理解する	講義は画像、動画等を活用しながら、適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習(45分）プレテストにある問題および解説を参考に、教科書で理解を深め講義に臨む。復習（45分）講義・配布資料を見直した後、ポストテストに回答し、結果および解説を参考にさらに学習を進める。看護が見える（P173-223）
第10回	煙山健仁	【身体の支持と運動３】 筋の収縮機構		予習45分：教科書7章Hを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
			講義は画像、動画	

第11回	山科章	神経系・感覚器系概要、医学概論８	等を活用しながら、適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習45分：教科書8章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第12回	煙山健仁	【情報の受容と処理１】 神経系の構造と機能、脊髄の構造と機能、脳の構造と機能		予習45分：教科書8章A、Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第13回	煙山健仁	【情報の受容と処理２】 脊髄神経と脳神経、脳の高次機能		教科書8章C、Dを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第14回	煙山健仁	【情報の受容と処理３】 中枢神経系の障害、運動機能と下行伝導路、感覚機能と上行伝導路	臓器の位置を描いて、神経系の流れを確認する。	予習45分：教科書8章D、E、Fを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第15回	山科章	【フィジカルアセスメント４】 脳神経・骨・筋の状態を評価する身体診察法を学習することにより、脳神経系・筋骨格系の構造と機能を理解する。	講義は画像、動画等を活用しながら、適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習(45分）プレテストにある問題および解説を参考に、教科書で理解を深め講義に臨む。復習（45分）講義・配布資料を見直した後、ポストテストに回答し、結果および解説を参考にさらに学習を進める。
第16回	煙山健仁	【情報の受容と処理４】 眼、耳の構造と機能		教科書8章G、Hを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第17回	山科章	【画像でみる５】 MRI、核医学、PETで全身の機能画像を見る	講義は画像、動画等を活用しながら、適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習(45分）プレテストにある問題および解説を参考に、教科書で理解を深め講義に臨む。復習（45分）講義・配布資料を見直した後、ポストテストに回答し、結果および解説を参考にさらに学習を進める。
第18回	煙山健仁	【情報の受容と処理５】 味覚、嗅覚、痛覚		教科書8章I、Jを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第19回	山科章	【フィジカルアセスメント５】 身体診察により感覚器系の状態を評価することにより、感覚器系の構造と機能を理解する。	講義は画像、動画等を活用しながら、適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習(45分）プレテストにある問題および解説を参考に、教科書で理解を深め講義に臨む。復習（45分）講義・配布資料を見直した後、ポストテストに回答し、結果および解説を参考にさらに学習を進める。

第20回	煙山健仁	【身体機能の防御と適応１】 皮膚の構造と機能		予習45分：教科書9章Aを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第21回	山科章	【画像でみる６】 超音波で全身の臓器をみる	講義は画像、動画等を活用しながら、適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習(45分）プレテストにある問題および解説を参考に、教科書で理解を深め講義に臨む。復習（45分）講義・配布資料を見直した後、ポストテストに回答し、結果および解説を参考にさらに学習を進める。
第22回	煙山健仁	【身体機能の防御と適応２】 生体の防御機構		予習45分：教科書9章Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第23回	山科章	穿刺、挿入術から局所解剖を理解する 採血（静脈、動脈）体腔穿刺（胸腔、腹腔、腰椎、骨髄）、気管挿管、胃管挿入、中心静脈栄養、ほか	講義は画像、動画等を活用しながら、適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習(45分）プレテストにある問題および解説を参考に、教科書で理解を深め講義に臨む。復習（45分）講義・配布資料を見直した後、ポストテストに回答し、結果および解説を参考にさらに学習を進める。
第24回	煙山健仁	【身体機能の防御と適応３】 代謝と運動、体温とその調節		予習45分：教科書9章C、Dを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第25回	山科章	生殖器系概要、医学概論９	講義は画像、動画等を活用しながら、適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習45分：教科書10章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第26回	煙山健仁	【生殖、発生と老化のしくみ１】 男性、女性生殖器		予習45分：教科書10章A、Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第27回	煙山健仁	【生殖、発生と老化のしくみ２】 女性の性周期、受精と胎児の発生		予習45分：教科書10章B、Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第28回	煙山健仁	【生殖、発生と老化のしくみ３】 胎児の血液循環、成長と老化		予習45分：教科書10章C、Dを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第29回	煙山健仁	【招聘講義】 環境生理学		予習45分：図書やインターネットで環境生理学について調べる。復習45分：授業の内容をまとめ、疑問点は早めに質問に来る。
	山	【フィジカルアセ	講義は画像、動画等を活用しながら、適宜、質問を	予習(45分）プレテストにある問題および解説を参考に、教科書で理解を深

第30回	科章	スメント６】老化を診る	しながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	め講義に臨む。復習（45分）講義・配布資料を見直した後、ポストテストに回答し、結果および解説を参考にさらに学習を進める。

教科書
人体の構造と機能（１）解剖生理学、坂井建雄・岡田隆夫 編集、医学書院
参考書
解剖生理学(ナーシング・グラフィカ)、林正健二 編集、メディカ出版
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 授業中の小テストやレポート（40%）、期末試験（60%）で評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
授業内での小テストやレポートは、実施した次の回の授業で内容を解説する。
履修のポイント
自分だけの学習では正しい知識の理解が難しいので、講義に出席することが大切です。講義では話し（ストーリー）を聞くことに集中して下さい。
オフィス・アワー
月曜日～金曜日（09：20～18：10）、10号館病理・解剖実習研究室
科目区分
専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R113

講義コード	10360001
講義名	人体の生化学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 榮 昭博	指定なし

授業の概要と教育目標

生体を構成する成分・化合物を理解するために、糖、脂質、タンパク質、核酸についてその化学を学びさらに消化吸収・代謝・排泄を学ぶ。また、代謝などを調節する内分泌や遺伝子とその働きも学ぶ。人体の構造と機能、特に各栄養素の働きを生化学的に理解することを目標としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

学位授与の方針に関連して、看護学の基礎となる、人体のしくみについて理解し、さらに、医療者として必要な理論を理解することを卒業認定の条件の一つとする。

到達目標

生体を構成する分子の構造・機能を理解する。また、各分子の代謝を理解する。さらに遺伝子・遺伝情報発現に関することを理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	生化学の概要:化学の基礎と生化学を概説する。また、国家試験における生化学の概要についても解説する。プリントを配布する。講義課題を提示（配布）する。	配布したプリントの内容について教員が質問し、その学生からの回答に対して、学生間でディスカションし、また、教員もコメントをする。	予習：教科書p4～20を読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて３時間以上学習する。
	糖質の構造と性質:糖の化学、単糖・少	配布したプリ	

第2回	糖・多糖の種類、特にグルコースの構造を理解し、糖の化学的性質との関連をみる。糖代謝:グリコーゲンおよびグルコース代謝（解糖・TCAサイクル）などについて学ぶ。プリントを配布する。アクティブラーニング：本日学習する内容について質問し、その回答に対してコメントをする。講義課題を提示（配布）する。また、前回の課題を提出する。	ントの内容について教員が質問し、その学生からの回答に対して、学生間でディスカションし、また、教員もコメントをする。	予習：教科書p50～96を読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて３時間以上学習する。
第3回	脂質の構造と性質:脂質の分類と定義、脂肪、複合脂質、ステロイド、エイコサノイドについて学ぶ。脂質代謝:脂質の消化吸収、脂肪酸・脂質の生体内の動向および代謝について学ぶ。アクティブラーニング：本日学習する内容について質問し、その回答に対してコメントをする。講義課題を提示（配布）する。また、前回の課題を提出する。	配布したプリントの内容について教員が質問し、その学生からの回答に対して、学生間でディスカションし、また、教員もコメントをする。	予習：教科書p98～128を読み理解する。を読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて３時間以上学習する。
第4回	たんぱく質の構造と性質:タンパク質の分類、アミノ酸、たんぱく質の構造ついて学ぶ。蛋白質代謝:蛋白質の消化吸収・アミノ酸の代謝について学ぶ。また、前回の課題を提出する。	配布したプリントの内容について教員が質問し、その学生からの回答に対して、学生間でディスカションし、また、教員もコメントをする。	予習：教科書p130～154を読み理解する。を読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて３時間以上学習する。
第5回	核酸の構造と機能について学ぶ。特に、DNAにいて理解する。アクティブラーニング：本日学習する内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	配布したプリントの内容について教員が質問し、その学生からの回答に対して、学生間でディスカションし、また、教員もコメントをする。	予習：教科書p183～192を読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて３時間以上学習する。
第6回	遺伝情報とその発現: 遺伝子による複製・転写・翻訳および蛋白質合成について学ぶ。 第1回から７回の内容に関する模擬試験問題を配布する。	配布したプリントの内容について教員が質問し、その学生からの回答に対して、学生間でディスカションし、また、教員もコメントをする。	予習：教科 書p194～198、214～228を読み理解する。復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて３時間以上学習する。
		配布したプリ	

第7回	シグナル伝達：特にホルモンと生理活性物質の作用を学ぶ。	ントの内容について教員が質問し、その学生からの回答に対して、学生間でディスカションし、また、教員もコメントをする。	予習：教科書p240～268を読み理解する。復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて３時間以上学習する。
第8回	シグナル伝達II：前回に引き続きホルモンと生理活性物質の作用を学ぶ。 また第1回～7回についてまとめ、質問を受ける。	配布した模擬試験問題について学生から質問を受け、コメントする。	予習：第1回～7回までのわからないことについて質問をまとめておく 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて３時間以上学習する。

教科書
『系統看護学講座 専門基礎２ 人体の構造と機能[2] 生化学』医学書院
参考書
配付プリント
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。定期試験91%、講義課題の評価点9%
課題等に対する フィードバックの方法
事前の学習と授業の内容について、講義課題を作成し提出すること。講義課題は点数化し、その旨を記して返却する。
履修のポイント
化学の知識を必要とするので化学（特に有機化学）を復習しておくことが望ましい。
オフィス・アワー
授業開講終了後に行う。授業開講日の１２：３０～１３：２０に１１号館３階第10研究室で行う。ただし、この時間帯以外でも講義・会議・出張等の校務がない場合行うことがある。
科目区分
専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R114

講義コード	10360002
講義名	人体の生化学（編入生）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 榮 昭博	指定なし

授業の概要と教育目標

生体を構成する成分・化合物を理解するために、糖、脂質、タンパク質、核酸についてその化学を学びさらに消化吸収・代謝・排泄を学ぶ。また、代謝などを調節する内分泌や遺伝子とその働きも学ぶ。人体の構造と機能、特に各栄養素の働きを生化学的に理解することを目標としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

学位授与の方針に関連して、看護学の基礎となる、人体のしくみについて理解し、さらに、医療者として必要な理論を理解することを卒業認定の条件の一つとする。

到達目標

生体を構成する分子の構造・機能を理解する。また、各分子の代謝を理解する。さらに遺伝子・遺伝情報発現に関することを理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	生化学の概要:化学の基礎と生化学を概説する。また、国家試験における生化学の概要についても解説する。プリントを配布する。講義課題を提示（配布）する。	配布したプリントの内容について教員が質問し、その学生からの回答に対して、学生間でディスカションし、また、教員もコメントをする。	予習：教科書p4～20を読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて３時間以上学習する。
	糖質の構造と性質:糖の化学、単糖・少	配布したプリ	

第2回	糖・多糖の種類、特にグルコースの構造を理解し、糖の化学的性質との関連をみる。糖代謝:グリコーゲンおよびグルコース代謝（解糖・TCAサイクル）などについて学ぶ。プリントを配布する。アクティブラーニング：本日学習する内容について質問し、その回答に対してコメントをする。講義課題を提示（配布）する。また、前回の課題を提出する。	ントの内容について教員が質問し、その学生からの回答に対して、学生間でディスカションし、また、教員もコメントをする。	予習：教科書p50～96を読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて３時間以上学習する。
第3回	脂質の構造と性質:脂質の分類と定義、脂肪、複合脂質、ステロイド、エイコサノイドについて学ぶ。脂質代謝:脂質の消化吸収、脂肪酸・脂質の生体内の動向および代謝について学ぶ。アクティブラーニング：本日学習する内容について質問し、その回答に対してコメントをする。講義課題を提示（配布）する。また、前回の課題を提出する。	配布したプリントの内容について教員が質問し、その学生からの回答に対して、学生間でディスカションし、また、教員もコメントをする。	予習：教科書p98～128を読み理解する。を読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて３時間以上学習する。
第4回	たんぱく質の構造と性質:タンパク質の分類、アミノ酸、たんぱく質の構造ついて学ぶ。蛋白質代謝:蛋白質の消化吸収・アミノ酸の代謝について学ぶ。また、前回の課題を提出する。	配布したプリントの内容について教員が質問し、その学生からの回答に対して、学生間でディスカションし、また、教員もコメントをする。	予習：教科書p130～154を読み理解する。を読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて３時間以上学習する。
第5回	核酸の構造と機能について学ぶ。特に、DNAにいて理解する。アクティブラーニング：本日学習する内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	配布したプリントの内容について教員が質問し、その学生からの回答に対して、学生間でディスカションし、また、教員もコメントをする。	予習：教科書p183～192を読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて３時間以上学習する。
第6回	遺伝情報とその発現: 遺伝子による複製・転写・翻訳および蛋白質合成について学ぶ。 第1回から７回の内容に関する模擬試験問題を配布する。	配布したプリントの内容について教員が質問し、その学生からの回答に対して、学生間でディスカションし、また、教員もコメントをする。	予習：教科 書p194～198、214～228を読み理解する。復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて３時間以上学習する。
		配布したプリ	

第7回	シグナル伝達：特にホルモンと生理活性物質の作用を学ぶ。	ントの内容について教員が質問し、その学生からの回答に対して、学生間でディスカションし、また、教員もコメントをする。	予習：教科書p240～268を読み理解する。復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて３時間以上学習する。
第8回	シグナル伝達II：前回に引き続きホルモンと生理活性物質の作用を学ぶ。 また第1回～7回についてまとめ、質問を受ける。	配布した模擬試験問題について学生から質問を受け、コメントする。	予習：第1回～7回までのわからないことについて質問をまとめておく 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて３時間以上学習する。

教科書
『系統看護学講座 専門基礎２ 人体の構造と機能[2] 生化学』医学書院
参考書
配付プリント
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。定期試験91%、講義課題の評価点9%
課題等に対する フィードバックの方法
事前の学習と授業の内容について、講義課題を作成し提出すること。講義課題は点数化し、その旨を記して返却する。
履修のポイント
化学の知識を必要とするので化学（特に有機化学）を復習しておくことが望ましい。
オフィス・アワー
授業開講終了後に行う。授業開講日の１２：３０～１３：２０に１１号館３階第10研究室で行う。ただし、この時間帯以外でも講義・会議・出張等の校務がない場合行うことがある。
科目区分
専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R114

講義コード	10370001
講義名	生命倫理
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 村上 隆夫	指定なし

授業の概要と教育目標

生命倫理学を倫理学の一分野として位置づけて、その成立から今日までの発展をその研究分野全般にわたって説明する。看護倫理も含めて生命倫理学についての基礎的な知識を獲得して、看護師国家試験に対応できるようにすることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

生命倫理学の研究分野全般にわたる概括的知識を習得することを通じて、医療者として必要な倫理と守るべき法令を理解して医療現場においてチーム医療の一員として活躍できる能力を獲得することを目ざしている。

到達目標

生命倫理学についての知見を看護実践において活用できるようにすること。そのための資格試験に備えられることを到達目標とする。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	＜生命倫理学への導入＞ 伝統的な倫理学からの生命倫理学の形成について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第2回	＜死生観の歴史的変化＞ 死生観の歴史的な変化を未開社会からキリスト教の成立まで辿る。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第3回	＜近代哲学における生命と身体＞ 近代医学の成立をその生命観と身体観について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第4回	＜死と葬送の歴史的変化＞ 西欧における葬送儀礼の変化を古代から臨床医学の成立まで辿る。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）

第5回	＜身体所有と身体加工＞ 身体を所有する主体としての人格の形成と身体の加工技術の発展について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第6回	＜脳死と臓器移植＞ 脳死問題と臓器移植問題についての倫理学的議論について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第7回	＜インフォームド・コンセント＞ 医療におけるインフォームド・コンセントに関する倫理学的議論について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第8回	＜妊娠中絶＞ 妊娠中絶問題および胚と胎児の取り扱いに関する倫理学的議論について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第9回	＜安楽死と尊厳死＞ 終末期医療と延命処置の限界に関する倫理学的議論について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第10回	＜生殖技術＞ 人工受精を含む生殖技術に関する倫理学的議論について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第11回	＜医療専門家と患者＞ 医師・看護師など医療専門家と患者との関係に関する倫理学的議論について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第12回	＜医療行為と正義＞ 医療資源の分配にあたっての正義の原理に関する倫理学的議論について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第13回	＜自然との関係および動物との関係＞ 環境倫理学・動物倫理学と生命倫理学との関係について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第14回	＜総括と展望＞ 西洋哲学における集団的な見方と個人的な見方について生命倫理学的に説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第15回	＜補足と討論＞ これまでの講義について補論を行い、さらに討論の時間を設ける。	講義内容についての意見と討論を求める。	講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）

教科書

使用しない。講義の際にレジュメを配布する。

参考書

講義のなかで適宜指示する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。筆記試験100％評価とする。

課題等に対する
フィードバックの方法

評価は期末試験によって行い、原則答案の返却は行わない。要望があれば具体的に講評する。
履修のポイント
レジュメについてさらにノートを用いて補足してまとめることが必要である。授業後に1時間程度の資料検索を行うことが望ましい。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応ずる。
科目区分
専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R130

講義コード	10380001
講義名	生命科学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 時田 昇臣	指定なし

授業の概要と教育目標

生命科学とは生物学を基本とした面と実社会での活動を通じた応用面から成り立っています。すなわち、ひとつには生命現象を遺伝子やタンパク質の分子レベルで捉えた生物学的分野です。もう一方は、医学や薬学、農学および工学などの応用面です。したがって生命科学ではこれらを総合的に取り扱う科目となります。
そのため本講では、まず地球上における生命誕生から進化の過程について地質年代による区分に従い生命体の出現や衰退あるいは滅亡の様相を概括します。そして現存する生命体が獲得した能力や機能について学びます。特に、地球環境に関わる放射線、紫外線および大気構成などと人の健康との関係性を学びます。これにより、生物細胞の維持や機能に密接なDNAやゲノム、生殖と発生や分化、代謝生理および免疫機能などについて理解します。
次いで、近年では人の健康に関わる食品とその機能について関心が高まっており、また、高齢化社会に対応した食事の在り方についても医療分野で注目されるようになってきました。そこで、人を対象とした生命科学分野において、世界的なレベルでの食材（食料）の生産と供給の実情を理解し、従来の食品に関わる栄養素の一次機能（栄養成分）に加え、二次機能（食事のおいしさ）や、三次機能（疾病予防や免疫機能など）について学びます。
以上により、生物学的視点からの生命科学を捉えるとともに、人の健康や医療においても生命科学の知識や技術が応用され、看護医療に深く関係していることを学びます。そして現在の医療が直面している問題を理解し、その解決に対応できるような人材となることを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

看護学科のディプロマ・ポリシーと関連として、自立した専門職としての知識・技能・態度および考え方に関する総合能力を養うことを目指し、生命科学を通じて、豊かな人間性の育成、国際社会に貢献できる専門知識を修得することに努めます。同時に、地域社会における保健・医療・福祉に貢献できる実践的職業人の育成を目指します。

到達目標

１．生命の誕生と人類の進化について理解するとともに、地球環境の特性について説明できる。
２．自然生態系の構成要素を理解し、医療分野の実情を生態系モデルとして示すことができる。
３．生命維持に必要な有機物とその代謝の様相を理解し、人の健康維持や疾病予防について説明できる。
４．現代人の食習慣を理解し、食材に含まれる三次機能物質の作用や健康との関係を説明でき

る。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	時田昇臣	地球の地質年代を辿りながら、生命の誕生と人類の進化の歴史について概観します。同時に、地球環境の変遷と生物の盛衰との関係を理解します。	アクティブラーニングとして、受講者相互の意見交換を通じて、内容の理解を深める。	予習90分/週：地球の地質年代について調べる。復習90分/週：配布された資料やノートを読み直して要点を理解する。
第2回	時田昇臣	地球環境の形成にはさまざまな植物（独立栄養植物）が関係していること学びます。また、植物が生産する物質が人を含めた動物（従属栄養生物）に果たす役割や生理的な作用を理解します。	アクティブラーニングとして、植物が作り出す物質（人の食材となる産物を除く）のうち、人の精神活動に影響を及ぼす物質について調べ、レポートにまとめる。	予習90分/週：光合成植物により作り出される有機物のうち、人の健康に関係する物質について調べる。復習90分/週：配布された資料やノートを読み直して要点を理解する。
第3回	時田昇臣	生物と無生物（環境）は相互に影響を与えながら、ある方向へと進んでいきます。この関係は生態系として捉えることができます。そこで生態系を構成する要因について学び、さまざまな生態系の特徴を理解します。	アクティブラーニングとして、受講者相互の意見交換を通じて、内容の理解を深める。	予習90分/週：生態系の構成要素について調べる。復習90分/週：配布された資料やノートを読み直して要点を理解する。
第4回	時田昇臣	前述の生態系について、生物相を人として捉えた場合、どのような生態系が描かれるでしょうか。人の生活を取巻く環境について学び、看護技術や医療活動がどのような位置づけになるかを考えます。	アクティブラーニングとして、看護学で扱われるさまざまな知識や技術が人の健康にどのように関わっているのか、キーワードを図示し、レポートにまとめる。	予習90分/週：人や医療を中心とした看護体系について調べる。復習90分/週：配布された資料やノートを読み直して要点を理解する。
第5回	時田昇臣	生物が生命を維持し、次世代へと子孫を継承するためには、体外から有機物を取り込み、生命活動を営む必要があります。ここでは哺乳類を対象として摂取する有機物の特徴を学び、栄養成分の消化と吸収について種による違いを比較して理解します。	アクティブラーニングとして、受講者相互の意見交換を通じて、内容の理解を深める。	予習90分/週：人や動物の有機物代謝について調べる。復習90分/週：配布された資料やノートを読み直して要点を理解する。
第6回	時田昇臣	現代日本人の食習慣はどのようになっているでしょうか。食を取巻く環境について学びます。特に、映像資料により世界の食料生産や消費の実情について理解します。	アクティブラーニングとして、映像資料で紹介された内容を整理し、感想を含めて、レポートにまとめる。	予習90分/週：自分の食習慣の特徴について整理する。復習90分/週：配布された資料やノートを読み直して要点を理解する。
		食材がもたらす「おいしさや食の楽し		

第7回	時田昇臣	み」は二次機能と呼ばれます。また「免疫力の改善、疾病予防」などの健康に関わる作用は三次機能と位置づけられます。近年では食品からもたらされる「三次機能（食品機能）」について関心が高まり、健康増進や成人病の予防などとの関係が注目されています。そこで、食品の三次機能とは何かを学びます。	アクティブラーニングとして、受講者相互の意見交換を通じて、内容の理解を深める。	予習90分/週：食品の機能性について調べる。復習90分/週：配布された資料やノートを読み直して要点を理解する。
第8回	時田昇臣	自己の食習慣を参考にして三次機能が期待される食材や成分について具体的に理解します。また、食材の機能について比較し、新たな魅力とその活用を学び、食材のもつ機能が人の生命活動に有用であることを理解します。	アクティブラーニングとして、受講者相互に意見交換するとともに、人の医療分野に役立つような機能性をもつ食品や食材についてレポートにまとめる。	予習90分/週：人の看護や医療と食品の機能性との関係について調べる。復習90分/週：配布された資料やノートを読み直して要点を理解する。

教科書

特に指定なし。授業ごとに資料を配布します。

参考書

特に指定なし。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。授業の予習(10%)、復習(10%)、授業への参加度（20%）、質疑応答への積極性(10%)、試験・レポートの成績(50%)を総合して評価します。

課題等に対するフィードバックの方法

授業時には質問等に対応して回答します。また、関連事項の具体的な情報を必要とする場合は、できるだけ翌週の授業時に対応します。
課題レポートについては出題の趣旨、記述する内容、まとめ方等について、あらかじめ説明します。さらに理解を深めるために関連する資料についても紹介します。

履修のポイント

授業内容についてノートに整理し、不明な点については質問したり、自己学習により関連の情報を理解する。課題レポートの作成については、関係する分野の情報を自分で調べ、その内容についても記述する。

オフィス・アワー

非常勤講師のため設定しない。質問等については要点をメモ書きし、教務係に連絡して下さい。

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-C170

講義コード	10390001
講義名	疾病の成り立ち
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	一般市中病院と大学病院で内科医として47年間にわたって診療に携わった経験を活かして、疾病の成り立ちと臨床背景について学生とインターアクティブに講義を行う。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山科 章	指定なし
教員	長谷川 真美	指定なし

授業の概要と教育目標

疾病の成り立ち（病理学Pathology）とは病気の本質について理解・研究する医学の一分野であり、病気の過程、つまり病気の原因、発生の仕組み、経過、転帰といった一連の過程を調べる事により、病気の本態を研究する学問です。したがって、病理学は解剖学、細胞・分子生物学、生理学、生化学などの基礎の上に存在し、他方では臨床医学と密接な関係を持っています。この意味で病理学は医学の一分野と言うより、総合医学とみなすべきであり、臨床医学における診断や治療のみならず、看護学の実践も病理学を基礎として行われています。つまり、皆さんが今後、看護学を学び、実践していく上で大変重要であり、基礎となる学問です。
看護師国家試験に高頻度に出現するキーワードも含めて解説・討論します。また、アクティブラーニングを導入し、事前の課題（プレテスト）に関連して、講義中も頻回に質問して、積極的に回答するインターアクティブな講義をします。遠慮せず、積極的に参加し、学びの機会を増やしましょう。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部の目標である「科学的な根拠に基づいた知識と確かな技術を修得し、社会状況の変化や国際化・情報化が進展した社会環境においても柔軟に対応でき、多職種の人々と連携・協働しながら社会に貢献する基盤を身に付けている。」の基盤の一つとなる「疾病の成り立ち（病理学）」を学びます。「疾病の成り立ち」では、看護学科のディプロマ・ポリシーのうち、「科学的な根拠に基づいた知識・技術を修得し、安全・安心を配慮した看護の実践に応用できる。」「ICT(情報通信技術)を利用して必要な情報を収集・活用し、看護の実践に役立てることができる。」「看護の質の向上を探求し、看護の発展に寄与する姿勢を身に付けている。」「能動的な学習方法を習得し、生涯にわたり研鑽を積む習慣を身に付けている。」を主な目標として学修します。
看護師として、患者さんに適切な看護業務を行えるように、疾患の基礎および臨床的事項を基礎知識として習得し、それを実際の現場で応用する基盤を身につけているかどうかを評価します。

到達目標

１．疾患の原因・成因、病態の概念を理解して、説明できるようにする。
２．疾患に関する専門用語の意味を理解して、習得し、説明できるようにする。

３．疾患の成り立ちについて興味を持ち、その予防・治療について、看護の面から自ら考える習慣を身に付ける。
４．将来、臨床の現場で問題に直面した時、何が起こっているのか系統だって病態を考える基礎となる能力を身につける。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	山科章	疾病の成り立ちのオリエンテーション 病気と病理学：病理学の歴史、病理学の概要、看護と病理学、病気の原因、医療における病理学の役割、「附章」病理診断の実際	初回なので、今後行う講義、プレテストポストテストなどについて説明をする。講義も学生との間でインターアクティブに行う。質問に対し、集中力をもって積極的に対応する。 課題： １．看護師が病理学を学ぶ意義を説明する。 ２．疾病には内因と外因があり、それぞれの違いを説明できる。 ３．疾病の原因となる五つのおもな病態を説明する。 ４．病理診断の方法を理解する	予習30分。教科章１章、附章を読みプレテストに回答し、その解説で学習する。 復習30分。ポストテスト問題について教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み回答し、さらに問題の解説を読んで復習する。
第2回	山科章	細胞の異常・病気の本質：細胞・組織の損傷と適応、細胞の死、細胞と組織の一変性、組織の修復と創傷治癒	課題： １．細胞に損傷を起こす原因についてあげることが出来る。 ２．細胞の死について説明し、２種類の細胞の死があること、およびその違いについて説明できる。 ３．細胞の適応現象のうち、萎縮、肥大と過形成、仮性について説明できる。 ４．組織の修復における肉芽組織と瘢痕組織について説明できる ５．創傷の一次治癒と二次治癒の違いについて説明できる。	予習30分。教科書２章を読みプレテストに回答し、その解説で学習する。 復習30分。ポストテスト問題について教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み回答し、さらに問題の解説を読んで復習する。
第3回	山科章	炎症とは、炎症の分類、炎症と全身反応	課題： １．炎症の局所でおこる4徴候を説明する。 ２．炎症細胞と炎症メディエータについて説明できる。 ３．免疫に関与する細胞（B細胞とT細胞）の違いを説明できる。 ４．液性免疫と細胞性免疫について説明できる。	予習30分。教科書４章Aを読みプレテストに回答し、その解説で学習する。 復習30分。ポストテスト問題について教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み回答し、さらに問題の解説を読んで復習する。
			課題： １．循環障害を起こす原因と	

第4回	山科章	循環障害：循環器の働き、出血と凝固、充血とうっ血と、血栓と塞栓、虚血と梗塞、血圧の異常	病態について説明する。 ２．体液の分布、浮腫（むくみ）の原因について説明する。 ３．滲出液と漏出液の違いを説明する。 ４．血栓と塞栓の違いを説明する。 ５．虚血と梗塞の違いを説明する。 ６．血圧の異常について説明する	予習30分。教科書３章を読みプレテストに回答し、その解説で学習する。 復習30分。ポストテスト問題について教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み回答し、さらに問題の解説を読んで復習する。
第5回	山科章	動脈硬化と疾患、化学的因子とくに喫煙による健康障害	課題： １．動脈硬化の危険因子、発生機序について説明できる。 ２．動脈硬化の病態と疾病（とくに脳心血管疾患）、その臨床症状について説明する。 ３．喫煙の害について説明する	予習30分。教科書10章Aその他を読みプレテストに回答し、その解説で学習する。 復習30分。ポストテスト問題について教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み回答し、さらに問題の解説を読んで復習する。
第6回	山科章	免疫と免疫異常、アレルギーと自己免疫疾患、移植免疫	課題： １．アレルギーのI～IV型について説明する。 ２．アレルゲンについて説明する。 ３．アナフィラキシーショックについて説明する。 ４．自己免疫疾患（自己免疫病）のメカニズムと疾患ごとの病態を説明する。 ４．移植と移植後にレシピエントにおこるおもな問題点について説明する。	予習30分。教科書４章B,C,Dを読みプレテストに回答し、その解説で学習する。 復習30分。ポストテスト問題について教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み回答し、さらに問題の解説を読んで復習する。
第7回	山科章	感染と宿主の防御機構	課題： １．主な感染経路について説明する。 ２．気道の感染防御機構について説明する。 ３．免疫不全と感染、日和見感染について説明する ４．菌交代症について説明する。 ５．母子感染性について説明する。 ６．院内感染症について説明する。	予習30分。教科書第5章を読みプレテストに回答し、その解説で学習する。 復習30分。ポストテスト問題について教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み回答し、さらに問題の解説を読んで復習する。
第8回	山科	腫瘍の定義と分類、腫瘍の発生病理	課題： １．良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明する。 ２上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍の違いを説明する。 ３．前がん病変と境界病変に	予習30分。教科書９章を読みプレテストに回答し、その解説で学習する。 復習30分。ポストテスト問題について教科

	章		ついて説明できる。 ４．腫瘍の発生因子としての外因と内因の違いを説明する。	書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み回答し、さらに問題の解説を読んで復習する。
第9回	山科章	腫瘍統計（疫学）、悪性腫瘍の広がりと影響、悪性腫瘍の診断	課題： １．悪性腫瘍の組織診断について説明する。 ２．悪性腫瘍の広がり方と個体への影響を説明する。 ３．死因と罹患率について頻度の多いがんついて男女別に説明する。 4．この10年間で増加したがん、減少したがんについて説明する。	予習30分。教科書９章を読みプレテストに回答し、その解説で学習する。 復習30分。ポストテスト問題について教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み回答し、さらに問題の解説を読んで復習する。
第10回	山科章	おもな悪性腫瘍（呼吸器系、消化器系、泌尿器系のがん）の病態、	課題： １．頻度の多い悪性腫瘍の病態について説明する。	予習30分。第9章および各論の各章で、該当箇所ププレテストに回答し、その解説で学習する。 復習30分。ポストテスト問題について教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み回答し、さらに問題の解説を読んで復習する。
第11回	山科章	生殖器・乳腺の病気	課題 １．男性および女性の主な生殖器の疾患について説明する。 ２．乳腺の疾患について説明する。	予習30分。教科書14章を読みプレテストに回答し、その解説で学習する。 復習30分。ポストテスト問題について教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み回答し、さらに問題の解説を読んで復習する。
第12回	山科章	内分泌、ホルモンの調節、ホメオスタシス・フィードバックの機構とその異常	課題： １．ホルモンの調節及び代表的な内分泌疾患について説明する。 ２．ホメオスタシス・フィードバック機構について説明できる。 ３．月経周期について説明する。	予習30分。教科書15章を読みプレテストに回答し、その解説で学習する。 復習30分。ポストテスト問題について教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み回答し、さらに問題の解説を読んで復習する。
	山	代謝異常： 糖代謝・脂質代謝、アミノ酸・タンパク	課題： １．I型糖尿病II型糖尿病の違いを説明する。 ２．家族性高脂血症の病態について説明できる。	予習30分。教科書6章を読みプレテストに回答し、その解説で学習する。 復習30分。ポストテス

第13回	科章	質代謝、核酸代謝、カルシウム代謝などの障害の病態	３．アミノ酸代謝障害の病態について説明できる。 ４．高尿酸血症の成因と痛風の病態について説明する。 ５．カルシウム代謝障害の成因と病態について説明する	ト問題について教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み回答し、さらに問題の解説を読んで復習する。
第14回	山科章	遺伝の生物学：遺伝とは、遺伝子の異常と疾患、先天異常・奇形	課題： １．DNAとタンパク質合成について説明する。 ２．体細胞分裂と減数分裂の違いについて説明できる。 ３．遺伝子異常の概要について説明する。	予習30分。教科書８章を読みプレテストに回答し、その解説で学習する。 復習30分。ポストテスト問題について教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み回答し、さらに問題の解説を読んで復習する。
第15回	山科章	個体の老化と老年症候群、フレイル、サルコペニア、個体の死	課題： １．加齢に伴っておこる体の変化について説明する。 ２．老年症候群について説明できる。 ３．超高齢社会の問題点について説明する。 ４．フレイル、サルコペニアについて説明できる ５．人の死を判定する死の３徴候について説明する。 ６．脳死の判定基準について説明する。 ７．死体の解剖にはどのような種類があり、それぞれの目的について説明できる？	予習30分。教科書7を読みプレテストに回答し、その解説で学習する。 復習30分。ポストテスト問題について教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み回答し、さらに問題の解説を読んで復習する。

教科書

大橋 健一・他『≪系統看護学講座 専門基礎分野≫疾病のなりたちと回復の促進[1]病理学』(医学書院)第6版

参考書

医療系の病理学教科書ないしは参考書。臓器別の臨床系教科書ないしは参考書。
（例）ロビンス&コトラン 鷹橋浩幸、羽野 寛、白石泰三、福田国彦監訳「病理学アトラス」エルゼビア・ジャパン
小林正伸著 病態形成の基本的な仕組み改訂第2版 南山堂

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上。
筆記試験 80%、プレテスト・ポストテスト(全15回)および講義中小テストの合計20%。
加えて、授業中の態度も評価した総合点とする。
プレテスト・ポストテスト(全30回)の回答回数が80%未満の場合は、原則として期末試験の受験資格は与えない。何らかの理由で講義を欠席していても、必ず、プレテストポストテストには回答のこと。

課題等に対する
フィードバックの方法

毎回の講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、講義に準備する。このことによっ

て、疾患の理解、基礎知識の習得を促進する。
講義終了後、ポストテストを受け、講義の内容を見直し、理解を深める。

履修のポイント

予習・復習の積み重ねが知識を身につける力になり、試験対策にもつながる。範囲が広く、また理解が難しい点も多いので、事前に教科書を読み込み、プレテストに回答したうえで、積極的に授業に参加すること。また、授業の後にも、ポストテストに回答しながら、疑問を持った個所を自分で調べるのも効果的である。
一度の読み、聞きでは理解できなくても、繰り返すことで理解できることが多々あるので、病気の成り立ちのメカニズムにこだわって、習得すること。

オフィス・アワー

チャットでの質疑応答を原則とする。必要に応じて、次回の講義中に説明する。

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R121

講義コード	10400001
講義名	感染と防御
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 煙山 健仁	指定なし
教員	長谷川 真美	指定なし

授業の概要と教育目標

病原微生物としての細菌、真菌、原虫、ウイルスなどについて、その一般的性状と、各種微生物によって引き起こされる代表的な感染症について学習する。また、看護師として必要な感染予防のための感染経路の把握、滅菌と消毒、などについて学習する。
本科目は、病原微生物の種類と特徴、感染症とはどのようなものか、感染症予防などを理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーでは、「科学的な根拠に基づいた知識・技術を修得し、安全・安心を配慮した看護の実践に応用できる」、「能動的な学習方法を理解し、生涯にわたり研鑽を積む習慣を身につけている」が求められており、”感染と防御”の理解とそのための学習方法を通して、その目標達成に必要な知識・技術を養う。

到達目標

病原微生物の種類と特徴、感染症とはどのようなものかが理解でき、実際の看護に役立つ感染症予防方法の基礎知識を説明できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	長谷川真美 煙山健	【感染症と看護１】 看護師にとって感染対策が重要な理由 【感染症とは】 感染の成立、感染		予習45分。教科書6、8章を読む。 復習45分。配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。

	仁	源、感染経路、滅菌と消毒		
第2回	煙山健仁	【微生物とは？】 細菌・真菌・原虫・ウイルスの性質 【免疫】 自然免疫、獲得免疫、液性免疫、細胞性免疫		予習45分：教科書1～5、7章を読む。 復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第3回	煙山健仁	【細菌感染症１】 グラム陽性球菌、グラム陰性桿菌と球菌、グラム陽性桿菌、などの各感染症		予習45分：教科書9章を読む。 復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第4回	煙山健仁	【細菌感染症２】 らせん菌、抗酸菌、マイコプラスマ、リケッチア、クラミジア、などの各感染症		予習45分：教科書9章を読む。 復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第5回	煙山健仁	【真菌感染症】各感染症 【原虫感染症】各感染症		予習45分：教科書10、11章を読む。 復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第6回	長谷川真美 煙山健仁	【感染症と看護２】 看護師が実施する感染予防について	院内感染対策についてグループで検討し、検討結果を個人ごとにレポートにまとめる。	予習45分：教科書6、8章を読む。 復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第7回	煙山健仁	【ウイルス感染症１】 DNAウイルス、RNAウイルス、の各感染症		予習45分：教科書12章を読む。 復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第8回	煙山健仁	【ウイルス感染症２】【プリオン】 肝炎ウイルス、プリオン、などの各感染症	免疫と予防接種の関係についてグループで検討し、検討結果を個人ごとにレポートにまとめる。	予習45分：教科書12、13章を読む。 復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。

教科書

微生物学、西條政幸 著、サイオ出版

参考書

疾病のなりたちと回復の促進（４）微生物学、南嶋洋一 著、医学書院
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 授業中の小テストやレポート（40%）、期末試験（60%）で評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
授業内での小テストやレポートは、実施した次の回の授業で内容を解説する。
履修のポイント
自分だけの学習では正しい知識の理解が難しいので、講義に出席することが大切です。 講義では話し（ストーリー）を聞くことに集中して下さい。
オフィス・アワー
月曜日～金曜日（09：20～18：10）、10号館病理・解剖実習研究室
科目区分
専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R122

講義コード	10410001
講義名	臨床検査（放射線医学含む）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	医療現場における、37年間の臨床監査技師としての実務経験から得たノウハウを活かし、医療人として共通の専門分野である臨床検査について解説する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 立崎 國男	指定なし

授業の概要と教育目標

病気に悩む人々やその他の人々の健康を増進するには、各種の医療専門職が理念及び知識を共有し対応することが重要である。例えば、医療現場では臨床討論（カンファレンス）が行われ、医療専門職が話し合って患者個々に最適の医療を行う計画が立てられる。こうした討論をスムースに行うには医療専門職すべてが共通の言語を使って患者の治療方針、治療効果、などについて話し合わなくてはならない。その共通言語の一つが臨床検査であることを理解していく。
臨床検査の基礎知識を学習することを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、「人間に対して、諸側面から理解」すること、「人体のしくみ、健康の諸側面」「医療者として必要な倫理」を理解することを目指し、人間の健康の保持・増進・疾病の予防の側面から尊厳・生きる権利について学ぶ。

到達目標

臨床検査の基礎知識について、説明することができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	立崎國男	臨床検査の役割・種類・目的について	教科書第1章を読む 予習・復習各60分
	立崎		教科書第1章を

第2回	國男	臨床検査の評価・変動・測定誤差	読む 予習・復習各60分
第3回	立崎國男	検査の流れ・準備・説明と注意	教科書第2章を読む 予習・復習各60分
第4回	立崎國男	検体の採取法・保存・移送法・危険とその防止・簡易迅速検査の実施・介助・検査結果の取り扱い	教科書第2章を読む 予習・復習各60分
第5回	立崎國男	尿検査・便検査・体内貯留液・髄液・間接液他	教科書第3章を読む 予習・復習各60分
第6回	立崎國男	血液検査・出血凝固・溶血性貧血の検査・骨髄検査	教科書第4章を読む 予習・復習各60分
第7回	立崎國男	血液一般検査の概要について (各血球成分・白血球分類・凝固因子について)	教科書第4章を読む 予習・復習各60分
第8回	立崎國男	血清酵素の検査・糖代謝の検査・脂質代謝の検査・胆汁排泄関連物質の検査・窒素化合物の検査	教科書第5章を読む 予習・復習各60分
第9回	立崎國男	骨代謝関連物質の検査・腎機能の検査・水電解質の検査・血液ガス分析・鉄代謝関連物質・銅代謝関連物質検査・ビタミンの検査・血中薬物濃度の検査	教科書第5章を読む 予習・復習各60分
第10回	立崎國男	炎症マーカー・液性免疫・細胞性免疫・自己抗体・アレルギー検査	教科書第6章を読む 予習・復習各60分
第11回	立崎國男	免疫学的妊娠反応・腫瘍マーカー・輸血	教科書第6章を読む 予習・復習各60分
第12回	立崎國男	下垂体前葉ホルモン・下垂体後葉ホルモン・甲状腺ホルモン	教科書第7章を読む 予習・復習各60分

第13回	立崎國男	感染症の診断と検査・各種病原体と検査	教科書第8章を読む 予習・復習各60分
第14回	立崎國男	生理検査・画像検査	教科書第10章を読む 予習・復習各60分
第15回	立崎國男	総括・細胞診・病理組織検査・剖検診断	教科書第9章を読む 予習・復習各60分

教科書

『系統看護学講座 別巻 臨床検査』 第7版（医学書院） 2014,1,15発行 ISBN 978-4-260-01803-6

参考書

特に指定しない。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上（試験100％）

**課題等に対する
フィードバックの方法**

授業内で中間と後半のまとめを行い、前半・後半の重要点を解説する。配付資料と教科書をまとめ、理解に役立てる。

履修のポイント

プレゼン資料とスライドにてポイントを説明する。
また、授業の中間、最後に期末試験対応として総まとめを行う。

オフィス・アワー

(授業日のみ)授業前もしくは終了後に教室にて質問等に応じます。

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R123

講義コード	10420001
講義名	栄養学
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	アスリートや健常な人々を対象とした栄養サポート経験、スポーツ栄養や健康に関連する企業等での実務経験を踏まえ、生命の営みや維持の根源となる「栄養」の基礎について学びを深める。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 清野 隼	指定なし

授業の概要と教育目標

栄養は、生物の活動、成長、そして増殖に必要な物質を体内に取り込み、生命を維持していく営みそのものである。したがって、本講義では、栄養素の摂取、消化、吸収、代謝の原理原則や仕組みを学び、医療や福祉等幅広い分野への応用に繋げる基礎を理解できることを到達目標とする。
講義では、「人体と食物の相互作用を明らかにする学問」と定義される栄養学を深堀し、我が国の食生活の実態や健康状態について報告する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、「1．生命の尊厳に基づき、人を価値ある存在として認めることができる」、「３．科学的な根拠に基づいた知識・技術を修得し、安全・安心を配慮した看護の実践に応用できる」に基づき、生命に深く関連する栄養の重要性を人間栄養学の側面から理解し、その基礎的な学問についてエビデンスを通して学び、習得することを認定要件とする。

到達目標

栄養学の知識を習得し、食と健康の関連について深く理解する。さらに講義を通じて対象者の栄養アセスメント、栄養マネジメントの実戦能力を習得する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	清野隼	授業概要のオリエンテーション（授業の進め方、成績評価、主旨説明、課題	アンケート：栄養と看護、健康（幸）等をキーワードに、自身が興味を抱いていることや理解を深めたい事について意見交換し、まとめる。	予習90分：栄養と看護、健康（幸）をキーワードに探求学習し、疑問点を明らかにする。 復習90分：授業に関

		の提示など）		連する内容の小レポートをまとめる。
第2回	清野隼	栄養の意義と栄養学の目的 看護と栄養の関わり	グループディスカッション：第1回のアンケートを踏まえて、看護と栄養における関わりについて、認識や考えを協議し、全体に共有する。	予習90分：栄養の意義と栄養学の目的について探求学習し、疑問点を明らかにする。 復習90分：授業に関連する内容の小レポートをまとめる。
第3回	清野隼	食品に含まれる栄養素の役割（１） 炭水化物、脂質		予習90分：炭水化物と脂質について探求学習し、疑問点を明らかにする。 復習90分：授業に関連する内容の小レポートをまとめる。
第4回	清野隼	食品に含まれる栄養素の役割（２） たんぱく質		予習90分：たんぱく質について探求学習し、疑問点を明らかにする。 復習90分：授業に関連する内容の小レポートをまとめる。
第5回	清野隼	食品に含まれる栄養素の役割（３） ビタミン、ミネラル、水	グループディスカッション：第3回から第5回の栄養素の役割で学習したことを踏まえて、看護に活かすことができること（または自身が活かしたいと考えること）を協議し、全体に共有する。	予習90分：ビタミン、ミネラル、水について探求学習し、疑問点を明らかにする。 復習90分：授業に関連する内容の小レポートをまとめる。
第6回	清野隼	エネルギー、エネルギー産生栄養素の代謝		予習90分：エネルギー、エネルギー産生栄養素の代謝について探求学習し、疑問点を明らかにする、 復習90分：授業に関連する内容の小レポートをまとめる。
第7回	清野隼	消化と吸収、腸内環境	グループディスカッション：第6回から第7回のエネルギー産生栄養素の代謝や消化、吸収、腸内環境を踏まえて、看護に活かすことができること（または自身が活かしたいと考えること）を協議し、全体に共有する。	予習90分：消化と吸収、腸内環境について探求学習し、疑問点を明らかにする。 復習90分：授業に関連する内容の小レポートをまとめる。
第8回	清野隼	日本人の食事摂取基準2020における食品とその分類の		予習90分：日本人の食事摂取基準2020と食品成分表2023を事前に読み込み、概要を理解する。 復習90分：授業に関

		捉え方		連する内容の小レポートをまとめる。
第9回	清野隼	食品と栄養ー食品の種類、食品の栄養素、調理と加工		予習90分：食品の種類や栄養素、調理と加工について探求学習し、疑問点を明らかにする。 復習90分：授業に関連する内容の小レポートをまとめる。
第10回	清野隼	栄養ケアマネジメント	グループディスカッション：看護における栄養ケアマネジメントの実際について、自身が看護師としてどのように進めるか協議し、全体に共有する。	予習90分：栄養ケアマネジメントについて探求学習し、疑問点を明らかにする、 復習90分：授業に関連する内容の小レポートをまとめる。
第11回	清野隼	栄養アセスメント	グループディスカッション：看護における栄養アセスメントの実際について、自身が看護師としてどのように進めるか協議し、全体に共有する。	予習90分：栄養アセスメントについて探求学習し、疑問点を明らかにする。 復習90分：授業に関連する内容の小レポートをまとめる。
第12回	清野隼	ライフステージと栄養（1）母性栄養、乳幼児	グループディスカッション：母性栄養と乳幼児の栄養について重要な点を協議し、全体に共有する。	予習90分：母性栄養と乳幼児の栄養について探求学習し、疑問点を明らかにする。 復習90分：授業に関連する内容の小レポートをまとめる。
第13回	清野隼	ライフステージと栄養（2）学童期、思春期	グループディスカッション：学童期と思春期の栄養について重要な点を協議し、全体に共有する。	予習90分：学童期と思春期の栄養について探求学習し、疑問点を明らかにする。 復習90分：授業に関連する内容の小レポートをまとめる。
第14回	清野隼	ライフステージと栄養（3）成人期、更年期、老年期	グループディスカッション：成人期、更年期、老年期の栄養について重要な点を協議し、全体に共有する。	予習90分：成人期、更年期、老年期の栄養について探求学習し、疑問点を明らかにする。 復習90分：授業に関連する内容の小レポートをまとめる。
第15回	清野隼	学期末試験とまとめ	試験を実施し、その採点と解説を行い、質疑応答を行う。	予習90分：第1回から第14回の授業の重要ポイントを整理して、再度学習し、試験の準備を行う。 復習90分：試験の結果を踏まえて、理解不足の点に絞って再

				度学習を行う。

教科書
『健康と医療福祉のための栄養学-身体のしくみと栄養素の働きを理解する-』 医歯薬出版
参考書
『日本人の食事摂取基準2020』第一出版 『日本食品成分表2023 八訂』医歯薬出版株式会社
成績評価の方法・基準
単位認定：60点以上 学期末試験：50% 授業時小レポート（出席数含む）：50%
課題等に対する フィードバックの方法
質疑応答の時間を設け、コメントをフィードバックする。
履修のポイント
栄養学と並行して、食品学やヘルスプロモーションについて並行学習することが望ましい。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前、または終了後に受け付ける。ただし、この時間帯以外でも研究室にて適宜対応する。
科目区分
専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R115

講義コード	10430001
講義名	臨床薬理学
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 煙山 健仁	指定なし

授業の概要と教育目標

疾病の治療において薬は重要な位置を占める。薬は疾患の原因を取り除くために使用されることが多く、疾患の原因を理解、投薬される医薬品の薬理作用について学習する。講義では代表的な疾病に対する治療薬について、作用と副作用（有害反応）および禁忌事項を講義し、生理学と医薬品の薬理作用の関係を中心に学習する。
本科目では、薬物治療を行うために必要な臨床薬理学の基礎知識を学修し、臨地実習や将来、臨床の現場で必要な知識を修得することを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーでは、「科学的な根拠に基づいた知識・技術を修得し、安全・安心を配慮した看護の実践に応用できる」、「能動的な学習方法を理解し、生涯にわたり研鑽を積む習慣を身につけている」が求められており、薬理学の理解とそのための学習方法を通して、その目標達成に必要な知識・技術を養う。

到達目標

疾患に対する代表的な薬物の薬品名、その薬理作用および副作用（有害反応）などを理解する。また、病院で処方された医薬品やドラッグストア等で売られている医薬品がどのような症状に効くのかを説明できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	煙山健仁	【薬理学を学ぶにあたって】 医薬品の定義、薬の処方と管理、与薬エラーの予防、など 【基礎知識】 薬が作用する仕組		予習45分。教科書1、2章を読む。 復習45分。配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。

		み、投与経路、代謝と排泄、など		
第2回	煙山健仁	【抗がん薬】 代謝拮抗薬、DNA複製阻害薬、ホルモン製剤、など		予習45分。教科書4章を読む。 復習45分。配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第3回	煙山健仁	【免疫治療薬・抗アレルギー薬・抗炎症薬】 免疫・アレルギーと炎症に使用する医薬品		予習45分：教科書5、6章を読む。 復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第4回	煙山健仁	【末梢での神経活動に作用する医薬品】 交感神経作動薬、副交感神経作動薬、抗コリン薬、など		予習45分。教科書7章を読む。 復習45分。配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第5回	煙山健仁	【麻酔薬】 麻薬性鎮痛薬、全身麻酔薬、局所麻酔薬、など		予習45分：教科書8章を読む。 復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第6回	煙山健仁	【中枢神経系に作用する医薬品】 パーキンソン病治療薬、抗不安薬、睡眠薬、抗うつ薬、抗てんかん薬、など		予習45分：教科書8章を読む。 復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第7回	煙山健仁	【循環器系に作用する医薬品】 降圧薬、心筋梗塞、心不全に使用する医薬品、利尿薬、など		予習45分。教科書9章を読む。 復習45分。配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第8回	煙山健仁	【呼吸器系に作用する医薬品】 気管支喘息治療薬、鎮咳薬、など		予習45分：教科書10章を読む。 復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第9回	煙山健仁	【消化器系に作用する医薬品】 消化性潰瘍治療薬、健胃薬、瀉下薬、止瀉薬、肝疾患に使用する医薬品、など		予習45分：教科書10章を読む。 復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第10回	煙山健	【代謝に作用する医薬品】 糖尿病、痛風、脂質異常症に使用する医		予習45分：教科書11章を読む。 復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑

	仁	薬品		問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第11回	煙山健仁	【内分泌系に作用する医薬品】 甲状腺ホルモン製剤、女性ホルモン製剤、など		予習45分：教科書11章を読む。 復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第12回	煙山健仁	散瞳薬・縮瞳薬、緑内障治療薬、解毒薬、消毒薬、など		予習45分：教科書12、13、14、15章を読む。 復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第13回	煙山健仁	輸液と輸血に使用する医薬品		予習45分：教科書付章を読む。 復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第14回	煙山健仁	【抗感染症薬】 抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬、など		予習45分：教科書3章を読む。 復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第15回	煙山健仁	【薬害問題】 【医薬品の副作用】	講義前に提出する【薬害】の課題を通して、講義前に【薬害】に対する自分の考えをまとめる。	予習45分：これまでの配布資料を整理し、医薬品の副作用についてまとめる。 復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。

教科書

疾病のなりたちと回復の促進（３）薬理学、吉岡充弘 著、医学書院

参考書

イラストで理解するかみくだき薬理学、町谷安紀 著、南山堂

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
授業中の小テストやレポート（40%）、期末試験（60%）で評価する。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内での小テストやレポートは、実施した次の回の授業で内容を解説する。

履修のポイント

自分だけの学習では正しい知識の理解が難しいので、講義に出席することが大切です。
講義では話し（ストーリー）を聞くことに集中して下さい。

オフィス・アワー

月曜日～金曜日（09：20～18：10）、10号館病理・解剖実習研究室

科目区分

専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R125

講義コード	10430002
講義名	臨床心理学（編入生）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	教育機関での心理臨床活動および教員へのスーパーヴィジョン等の経験からケースの見立て・介入方法などに反映させた授業を行う
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 黒岩 初美	指定なし

授業の概要と教育目標

臨床心理学は、心理学で蓄積された理論や技法を用いた応用的・実践的な学問領域である。人の心の安定をはかるための臨床援助活動の実際について理解を深めることが求められるが、その基本は自己を理解し、自己と他者は異なる存在であるということを認識してコミュニケーションをはかるところにある。本講義では、臨床心理学に関連するテーマとともに、自己理解や他者理解といったテーマを取り上げる。授業は講義形式で行うが、テーマによってVTR視聴や実習を取り入れる予定である。なお、対人場面におけるさまざまなコミュニケーションの特徴を学修し、併せて、自己と他者の違いを実感しながら、自らのコミュニケーション能力を理解することを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

生活科学科のディプロマポリシーとの関連として、私たちの生活を身近な問題からグローバルなテーマまで多角的、科学的に理解することを目指し、心理的側面の理解を通してその目的達成に資する知識を養う。そして、将来的な展望として、人の多様性を加味した生活科学を心理的側面を通して考えることができる能力の養成の基盤となる学修を目指す。

到達目標

１．自己理解・他者理解について学修し、自己と他者の違いを実感する。
２．対人場面におけるコミュニケーションの特徴について理解する。
３．臨床心理学で使われる専門用語（カウンセリングの専門用語など）について理解する。
４．「相手の話を聞く」姿勢と「自らのことを話す」姿勢について理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	オリエンテーション 臨床心理学とは何か① 心の問題を科学的に研究し、その知見をした	一般的な問題解決のプロセスと臨床心理学における問題解決のプロセスの異同について考える。	予習90分：教科書pp.12-23を読む。 復習90分：配布資料を整理し、

	人々へのサポートについて		教科書と照合する
第2回	臨床心理学とは何か② 臨床心理学の活動や基本理念について	心理学・カウンセリングの専門用語を事例・資料を照合しながら考える。	予習90分：教科書pp.24-44を読む。 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する
第3回	アセスメント① アセスメントのための情報収集や分析方法からケース・フォーミュレーションを行うことについて	援助は自分の勘や経験によって進められるのではなく、仮説－検証のプロセスが大切であることを理解し、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.45-55を読む。 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する
第4回	アセスメント② 心理検査の概要（検査の特色や目的等）について。	自分の性格検査の結果についての妥当性について検討する。	予習90分：教科書pp.56-76を読む。 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する
第5回	人の発達と心の問題① ライフサイクルの視点で各発達段階における特徴と諸問題について	発達段階で起こりやすい問題の背景にはどのようなことが考えられるのか、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.78-85を読む。 復習90分：配布資料の整理し、教科書と照合する
第6回	人の発達と心の問題② 乳児期から思春期 発達段階の特徴と発達過程における具体的な問題について	発達のプロセスで起こる問題について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.86-93を読む。 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する
第7回	人の発達と心の問題③ 青年期から老年期 発達段階の特徴と発達過程における具体的な問題について	自らのライフラインを描きアイデンティティの確立等について、自他の考えを理解し、人の一生について考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.94-99を読む。 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する
第8回	人の発達と心の問題④ 発達障害、虐待、いじめ、不登校等子どもの現代的課題とその問題について	正常と異常の違いについてメンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.100-120を読む。 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する おお
	心の疾患と理解①		予習90分：教科書pp.100-

第9回	異常心理学と臨床心理学の関わりについて、気分障害、統合失調症について	正常と異常の違いについてメンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	p120p.pp160-166を読む。 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する
第10回	心の疾患と理解② 不安障害、パーソナリティ障害を中心に精神障害について	事例研究を行い、精神障害について理解を深める。	予習90分：教科書pp.132-159を読む。 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する
第11回	問題への介入①来談者中心療法、精神分析、分析心理学 自分に向き合っていくための心理療法について	安心して自分の内面に目を向けるためには何が重要かについて、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.167-179を読む。 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する
第12回	問題への介入②行動療法、認知行動療法、分析心理学 自分の行動や考え方に焦点を当てた心理療法について	物事の捉え方には一人一人のクセがあることを理解し、メンバーの意見を聞きながら対応策を検討する。	予習90分：教科書pp.180-187，212-217を読む。 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する
第13回	問題への介入③ 11・12回で扱った以外の心理療法や個人への介入技法について	家族療法、ナラティブセラピー、遊戯療法、自立訓練法等各種理論と技法について理解する。	予習90分：教科書pp.188-211を読む。 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する
第14回	コミュニティへの介入 教育、地域、医療領域での介入で注意すべき事柄について	教育相談、特別支援教育、異文化間カウンセリング、デイケア、ターミナルケアについて理解する。」	予習90分：教科書pp.108，194-197,226-227,246-7を読む。 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する
第15回	社会と臨床心理学 社会の中でと臨床心理学がどのように活用しているのかについて 確認テスト	災害や犯罪の被害者支援、高齢者への心理ケア、非行少年や虐待時児への支援について理解する。	予習90分：教科書pp.272-285を読む。 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する

教科書

下山晴彦監修 『面白いほどよくわかる臨床心理学』 西東社

参考書
適宜紹介する
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。 確認テスト（最終授業で毎回の授業で行う小テストから出題）とレポート70%、 授業への積極性・態度30%を総合して評価します。
課題等に対する フィードバックの方法
授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので学習の参考にすること。
履修のポイント
講義への積極的な取り組みを期待します。本科目は、「ピアヘルパー」資格取得にかかわる科目（「人間と心理」「臨床心理学」「人間関係」）のひとつです。
オフィス・アワー
授業開催日の12：30〜13：20（昼休み）、9号館非常勤講師室。 ※講義終了前後にも、適宜受け付けます。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CS-C150

講義コード	10440001
講義名	ヘルスカウンセリング
(副題)	【教職必修】【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護職としての実務経験を活かし具体例を挙げながら解説する。
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松沼 晶子	指定なし
教員	丸本 真理	指定なし
教 員	櫻井 通恵	指定なし

授業の概要と教育目標

心身の健康に関する悩みや問題を抱える人の心理を理解し、カウンセリングの基本的な理論と技法を学習する。援助を必要とする対象への健康の維持または改善のための適切な支援について考察し、実践する能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本学のディプロマ・ポリシーである「人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から理解している（人間理解）」及び「看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を修得し、実践的な援助技術を修得している（科学的知識の習得、実践的な援助技術の習得）」を修得するための基礎的な科目である。本講義は、看護の基礎及び健康問題別・発達段階別看護の知識と技術を修めた学生に、ヘルスカウンセリングとは何か、カウンセリングの基本的姿勢、患者の気持ちをわかるということ、聴くということを演習を通して体験する。また、健康（精神健康を含む）に関わる問題解決のための気づきや行動変容を支援し、自己成長を支える看護技術について学ぶ。そして、カウンセリングマインドを活用し対象の健康課題を的確に捉え、調整する能力や問題解決を図る能力を養うことを目指すものである。

到達目標

カウンセリングの理論と方法について理解し、対象の背景や健康課題に応じた基本的な対応ができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	松沼晶			

第1回	子丸本真理櫻井通恵	オリエンテーション ヘルスカウンセリングとは何か	3年生の実習で受け持った患者さんとのコミュニケーションについて振り返り、学生同士で共有する。話を聴くことの自身の強みと課題を明らかにする。	復習45分：授業資料等を見直す
第2回	松沼晶子丸本真理櫻井通恵	コミュニケーションについて考えよう	双方向ではない、一方向のコミュニケーションではどのようなことが起きるのかを体験する。	復習45分：授業資料等を見直す
第3回	松沼晶子丸本真理櫻井通恵	カウンセリングの技法を学ぶ	基本的な姿勢について体験する。	復習45分：授業資料等を見直す
第4回	松沼晶子丸本真理櫻井通恵	カウンセリングの基本的姿勢 わかるということ、聴くということ	わかることがどうして援助になるのかグループディスカッションを行う。	復習45分：授業資料等を見直す
第5回	松沼晶子丸本真理櫻井	看護職だからこそできる心のケアについて考えよう	看護職だからこそできる心のケアについて考える。	復習45分：授業資料等を見直す

	通恵			
第6回	松沼晶子丸本真理櫻井通恵	がんの最新の動向と課題 1981年以降がんは一貫して我が国の日本の死因第一となり、上昇を続けているが、がん対策基本法により我が国のがん対策は様々な取り組みがなされている。その最新の動向と課題について学ぶ。		復習45分：授業資料等を見直す
第7回	松沼晶子丸本真理櫻井通恵	がん患者と家族の心理とがん相談支援 がんになった患者及びその家族の心理について理解し、どのようなことに、悩み苦しんでいるのか、がん相談の必要性とその支援方法について学ぶ。	提示されたがん相談内容について各自でどのような相談対応を行うかを考える。	復習45分：授業資料等を見直す
第8回	松沼晶子丸本真理櫻井通恵	患者が求める心のケアと何か。	体験者の声を聴いてどのように感じ、看護職として心を支える支援とは何かについて考える。	復習45分：授業資料等を見直す
第9回	丸本真理松沼晶子櫻井通恵	ストレスマネジメントとは マインドフルネスとは	自分自身のストレスについて振り返ってみよう	
	丸本真理松			復習45分：マインドフルネスを体験した

第10回	沼晶子櫻井通恵	マインドフルネスを体験しよう	マインドフルネスの体験	自身の変化や感想をレポートにまとめる。
第11回	松沼晶子丸本真理櫻井通恵	患者が求める心のケアとはがん看護におけるコミュニケーション	動画による実際のがん患者と看護師とのコミュニケーションを通して実際の場面を体験する。	
第12回	松沼晶子丸本真理櫻井通恵	患者が求める心のケアとはがん看護におけるコミュニケーション	動画による実際のがん患者と看護師とのコミュニケーションを通して実際の場面を体験する。	復習45分：参考資料等を見直す
第13回	松沼晶子丸本真理櫻井通恵	自分自身のコミュニケーションを振り返り、患者家族役、観察者からフィードバックを得ることによって、自分の関わりが患者や家族にどのような影響を与えているのかを体験し、気づきを得る。 ロールプレイ	がん患者または家族役・看護師役・観察者に分かれてテーマに沿ってロールプレイを行う。	
第14回	松沼晶子丸本真理櫻井通恵	自分自身のコミュニケーションを振り返り、患者家族役、観察者からフィードバックを得ることによって、自分の関わりが患者や家族にどのような影響を与えているのかを体験し、気づきを得る。 ロールプレイ	がん患者または家族役・看護師役・観察者に分かれてテーマに沿ってロールプレイを行う。	

第15回	松沼晶子 丸本真理 櫻井通恵	学生同士で共有し、がん患者や家族の気持ちを理解するためのコミュニケーションについて学ぶ。まとめ	ロールプレイの振り返りを行う。今まで学んだことを振り返り、自己の気づきなどを学生同士で共有し、ディスカッションする。	復習45分：ロールプレイで体験したことを振り返る。ロールプレイで体験したことによる気づき、学びについてレポートを作成する。

教科書

購入する教科書はありませんが適宜参考図書を紹介します。

参考書

広瀬寛子 看護カウンセリング 医学書院
飯田澄美子編 ケアの質を高める看護カウンセリング 医歯薬出版株式会社
ナースだからできる5分間カウンセリング 医学書院

成績評価の方法・基準

成績評価60点以上 授業態度や姿勢、試験結果で総合評価する。
（定期試験50％ 課題50％）

課題等に対する
フィードバックの方法

授業で関心を持ったことについて、自己学習をして深めてください。

履修のポイント

演習の教科のため、積極的に授業に参加してください。また、日頃のコミュニケーションを振り返り、相手に与える影響について体験してください。

オフィス・アワー

授業終了後の質問に応じます。月曜日もしくは金曜日12:30～13:20（昼休み）10号館第13研究室。
※研究室在室時は適宜受け付けます。

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-C171

講義コード	10450001
講義名	疾病の回復促進I（2年生）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	大学病院や地域中核病院で臨床に携わった経験を活かして、疾病の回復促進について講義を行う。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山科 章	指定なし
教員	長谷川 真美	指定なし
教 員	岡田 克之	指定なし

授業の概要と教育目標

疾病の回復促進は、すべての疾患の原因・病態・症状から検査所見、治療・予後までを扱う学問分野で、医療・看護の根幹をなすものである。疾病の成り立ちでは病気を大別して学ぶのに対して、「疾病の回復促進I」では器官ごとの疾患について学ぶもので、看護の理解を深める上でも不可欠な学問である。講義では代表的な頻度の高い疾患を理解し、看護に必要な知識・技能を習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保険学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「看護学の基礎となる人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解していること」を達成するため、幅広い知識・技能とともに豊かな人間性の構築を目指すものとする。

到達目標

１．人体の解剖・生理機能を理解し、自ら説明することができる。
２．代表的な疾病の原因・症状・診断・治療などを理解し、看護学に展開できるよう知識・技能を習得し、それらについて説明することができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	山科章	＜脳・神経疾患・筋疾患１（脳血管障害、髄膜・髄液の障害）＞	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、脳血管障害において発現する重要な症状・診断・	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領

			治療などについて説明する	域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第2回	山科章	＜脳・神経疾患・筋疾患２（睡眠障害、意識障害、認知症）＞	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、意識障害・睡眠障害・認知症の病態・診断・治療などについて説明する。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。。
第3回	山科章	＜脳・神経疾患・筋疾患３（運動麻痺、筋疾患）＞	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、運動麻痺、感覚麻痺、脊髄疾患、末梢神経疾患、筋疾患において発現する重要な症状・診断・治療などについて説明する。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第4回	山科章	＜骨・関節疾患、膠原病＞骨折、骨髄炎、骨粗しょう症、関節炎、脊柱管狭窄症、骨腫瘍	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、骨・関節疾患において発現する重要な症状・診断・治療などについて説明する。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第5回	山科章	＜生殖器疾患（女性生殖器疾患（月経異常、腫瘍）、男性生殖器疾患）＞	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、生殖器疾患において発現する重要な症状・診断・治療などについて説明する。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第6回	山科章	＜感覚器の病態と疾患（視覚器・聴覚 器・味覚器・嗅覚器）＞	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。示されたら、感覚器において発現する重要な症状・診断・治療について説明する。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
		＜皮膚疾患１（アレルギー疾		

第7回	岡田克之	患、炎症性皮膚炎、水疱症など）＞ 皮膚・皮膚付属器官に生じる病変で、主な症状は発疹であり、他の諸器官の病変を伴うことも多い。非伝染性皮膚病には接触皮膚炎、蕁麻疹などのアレルギー疾患、母斑などの遺伝性疾患、ビタミン欠乏症によるものなどがあり、診断と治療について基本的知識の習得に努める。		（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。 （復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読する。
第8回	岡田克之	＜皮膚疾患２（皮膚腫瘍など）＞ 皮膚の悪性腫瘍には、悪性黒色腫（メラノーマ）や扁平上皮癌などがあるが、悪性度に差異があり、生命予後は大きく異なる。その他、皮膚線維症、皮膚Ｔ細胞リンパ腫なども含めて、診断と治療について基本的知識の習得に努める。		（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。 （復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読する。

教科書

系統看護学講座 専門分野Ⅱシリーズ 成人看護学 医学書院
（②呼吸器 ③循環器 ④血液・造血器 ⑤消化器 ⑥内分泌・代謝 ⑦脳・神経 ⑧腎・泌尿器 ⑪アレルギー膠原病 感染）

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上。
筆記試験 80%、プレテスト・ポストテスト(全16回)および講義中小テストの合計20%。
加えて、授業中の態度も評価した総合点とする。
プレテスト・ポストテスト(全16回)の回答回数が80%未満の場合は、原則として期末試験の受験資格は与えない。何らかの理由で講義を欠席していても、必ず、プレテストポストテストには回答のこと

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内でレポートや課題を課すことがある。授業での講義内容を資料として配布するので、授業内容の理解に役立てること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待する。予習・復習は不可欠であり、予習では講義の概要を教科書で確認し、復習では配布した講義資料を参考に教科書の関係領域を通読する（45分）。必ずプレテスト・ポストテストに回答し、回答後に示される解説コメントが理解を深める。

オフィス・アワー

講義終了後に適宜受け付ける。山科の講義分についてはチャットでの質疑応答を原則とする。

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R132

講義コード	10450002
講義名	疾病の回復促進I（1年生）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	大学病院で内科医として47年間診療に携わった経験を活かして、疾病の回復促進について講義を行う。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山科 章	指定なし
教員	長谷川 真美	指定なし

授業の概要と教育目標

「疾病の回復促進」は、すべての疾患の原因・病態・症状から検査所見、治療・予後まで扱う学問分野で、医療・看護の根幹をなすものである。疾病の成り立ちでは病気を大別して学ぶのに対して、「疾病の回復促進I」では器官・臓器ごとの疾患について学ぶもので、臨床の現場での看護の理解を深める上で不可欠な学問である。講義では代表的な頻度の高い疾患について理解を深め、看護に臓器必要な知識・技能を習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部の目標である「科学的な根拠に基づいた知識と確かな技術を修得し、社会状況の変化や国際化・情報化が進展した社会環境においても柔軟に対応でき、多職種の人々と連携・協働しながら社会に貢献する基盤を身に付けている。」の基盤の一つとなる「疾病の回復促進I」を学びます。「疾病の回復促進I」では、看護学科のディプロマ・ポリシーのうち、「科学的な根拠に基づいた知識・技術を修得し、安全・安心を配慮した看護の実践に応用できる。」「ICT(情報通信技術)を利用して必要な情報を収集・活用し、看護の実践に役立てることができる。」「看護の質の向上を探求し、看護の発展に寄与する姿勢を身に付けている。」「能動的な学習方法を習得し、生涯にわたり研鑽を積む習慣を身に付けている。」を主な目標として学修します。看護師として、患者さんに適切な看護業務を行えるように、さまざまな疾患の基礎および臨床的事項を基礎知識として習得し、それを実際の現場で応用する基盤を身につけているかどうかを評価します。

到達目標

１．人体の解剖・生理機能を理解し、自ら説明することができる。
２．代表的な疾病の原因・病態・症状・診断・検査法・治療、予防などを理解し、看護学に展開できるよう知識・技能を習得し、それらについて説明できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間

第1回	山科章	オリエンテーション：15回の講義の進め方、講義への臨み方、予習・復習について概説する 血液疾患１：血球の分化と機能、貧血 内容：正常血球の分化、赤血球、白血球、血小板の構造と機能について概説し、とくに赤血球系の異常である「貧血」の分類と成因について知識の習得に努める。	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答え、説明する。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第2回	山科章	血液疾患２：白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、血小板減少性紫斑病、播種性血管内凝固（DIC） 内容：「白血病」「悪性リンパ腫」「多発性骨髄腫」などの造血器腫瘍、「特発性血小板減少性紫斑病」「血友病」などの出血性疾患、「本態性血小板血症」「血栓性血小板減少性紫斑病」「播種性血管内凝固（DIC）」などの血栓性疾患の発症機序や合併症・治療など基本的な知識の習得に努める。	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答え、説明する。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第3回	山科章	循環器疾患１：冠動脈疾患（狭心症、心筋梗塞）、不整脈 内容：冠動脈の病変により発生する冠動脈疾患および刺激伝導系の異常によって発生する不整脈、の病態、臨床像、診断と治療などの基本的な知識の習得に努める。	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答え、説明する。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第4回	山科章	循環器疾患２：先天性心疾患、心臓弁膜症、心筋疾患、心膜疾患、心不全 内容：先天性心疾患および心臓弁膜症、心筋症、心膜疾患のの発生機序と病態、さらにそれらに合併する心不全などについて理解し、循環器疾患の基本的な管理法の習得に努める。	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答え、説明する。いて	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第5回	山科章	循環器疾患３：大動脈解離、大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、深部静脈血栓症、肺血栓・塞栓症 内容：動脈硬化を基盤に発症する大動脈および末梢動脈疾患、静脈血栓症を基盤に発症する肺血栓塞栓症などの病態、診断・治療、管理など基本的な知識の習得に努める	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答え、説明する。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
		呼吸器疾患１：呼吸器系の解剖生理、呼吸器疾患の病態生理、拘束性	講義は適宜、質問をしながらイ	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される

第6回	山科章	および閉塞性呼吸機能障害、呼吸不全 内容：正常な呼吸機能を理解し、主要な呼吸器疾患の発症機序とその終末像である呼吸不全などの基本的な知識の習得に努める。	ンタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答え、説明する。	解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第7回	山科章	呼吸器疾患２：COPD（慢性閉塞性肺疾患）、呼吸器感染症（気管支炎、肺炎）、気管支喘息、肺結核、肺腫瘍 内容：さまざまな呼吸器疾病について発症機序や合併症、治療など基本的な知識の習得に努める。	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答え、説明する。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第8回	山科章	消化器疾患１：消化管疾患（嚥下障害、逆流性食道炎、胃・十二指腸潰瘍、クローン病、潰瘍性大腸炎、腸閉塞、過敏性腸症候群、イレウス） 内容：口腔から肛門までの消化管にはさまざまな疾患が発症する。消化管の解剖と働きを理解し、各種消化管疾患について症状や治療など基本的な知識の習得に努める。	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答え、説明する。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第9回	山科章	消化器疾患２：肝炎、肝硬変、食道静脈瘤 内容：代謝、解毒作用、胆汁の生成・分泌と重要な働きをする肝臓の機能およびその障害に基づく主な疾患の病態、診断・治療など基本的な知識の習得に努める。	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答え、説明する。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第10回	山科章	消化器疾患３：胆石症、膵炎、消化器の腫瘍 内容：胆汁を排泄する胆道系および消化酵素の排泄およびホルモンの分泌を行う膵臓などの働きを理解しその障害に基づく主な疾患の病態、診断・治療など基本的な知識の習得に努める。	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答え、説明する。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第11回	山科章	腎・泌尿器疾患１：糸球体の疾患（原発性と続発性） 内容：腎臓・泌尿器の解剖生理について理解するとともに、腎臓疾患の病態、診断・治療の基本的な知識の習得に努める。	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説で

			え、説明する。	さらに理解を深める。
第12回	山科章	腎・泌尿器疾患２：急性腎不全と慢性腎不全（慢性腎不全）、尿路結石、尿路系腫瘍、排尿障害 内容：腎疾患の末期像である腎不全、尿路系結石、尿路系腫瘍、排尿障害の発生機序、病態、診断と治療の基本的な知識の習得に努める。	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答え、説明する。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第13回	山科章	内分・代謝疾患１：泌疾患：間脳・下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患 内容：ホルモンの分泌異常を生ずる各種内分泌疾患の病態、診断・治療の基本的な知識の習得に努める。	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答え、説明する。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第14回	山科章	内分泌・代謝疾患２：二次性高血圧（内分泌疾患）、糖尿病 内容：二次性高血圧の代表的疾患である内分泌性高血圧（原発性アルドステロン症、褐色細胞腫など）と生活習慣病の代表的疾患である糖尿病の発生機序、合併症、病態、診断・治療・管理の基本的な知識の習得に努める。	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答え、説明する。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第15回	山科章	代謝疾患３：メタボリック症候群、肥満症、脂質異常症、高尿酸血症（痛風）、骨粗しょう症 内容：動脈硬化疾患の基盤になる生活習慣病である「肥満症」「脂質異常症」「高尿酸血症」、高齢者とくに女性に多い骨粗しょう症の発生機序や病態、診断・治療など基本的な知識の習得に努める。	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答え、説明する。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。

教科書

系統看護学講座 専門分野Ⅱシリーズ 成人看護学 医学書院
（②呼吸器 ③循環器 ④血液・造血器 ⑤消化器 ⑥内分泌・代謝 ⑦脳・神経 ⑧腎・泌尿器⑪アレルギー膠原病 感染）

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上。
筆記試験 80%、プレテスト・ポストテスト(全３０回)および講義中小テストの合計20%。
加えて、授業中の態度も評価した総合点とする。
プレテスト・ポストテスト(全30回)の回答回数が80%未満の場合は、原則として期末試験の受験

資格は与えない。何らかの理由で講義を欠席していても、必ず、プレテストポストテストには回答のこと。

課題等に対する フィードバックの方法
授業内でレポートや課題を課すことがある。授業での講義内容を資料として配布するので、授業内容の理解に役立てること。

履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待する。本講義は2単位（講義を含めて90時間の学習が必要である）。最低各90分の予習・復習は不可欠であり、予習では講義の概要を教科書で確認し、プレテストを回答し、その解説を学習する。復習では配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読すると同時に、ポストテストを回答し、そののちはポストテストの解説で学習する（90分）。

オフィス・アワー
原則として、Chatによる質問を受け付ける。Chatないし次回の講義中に回答する。

科目区分
専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R127

講義コード	10450003
講義名	疾病の回復促進I（2021年度入学生）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	大学病院や地域中核病院で臨床に携わった経験を活かして、疾病の回復促進について講義を行う。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山科 章	指定なし
教員	長谷川 真美	指定なし
教 員	岡田 克之	指定なし

授業の概要と教育目標

疾病の回復促進は、すべての疾患の原因・病態・症状から検査所見、治療・予後までを扱う学問分野で、医療・看護の根幹をなすものである。疾病の成り立ちでは病気を大別して学ぶのに対して、「疾病の回復促進I」では器官ごとの疾患について学ぶもので、看護の理解を深める上でも不可欠な学問である。講義では代表的な頻度の高い疾患を理解し、看護に必要な知識・技能を習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保険学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「看護学の基礎となる人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解していること」を達成するため、幅広い知識・技能とともに豊かな人間性の構築を目指すものとする。

到達目標

１．人体の解剖・生理機能を理解し、自ら説明することができる。
２．代表的な疾病の原因・症状・診断・治療などを理解し、看護学に展開できるよう知識・技能を習得し、それらについて説明することができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	山科章	＜脳・神経疾患・筋疾患１（脳血管障害、髄膜・髄液の障害）＞	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、脳血管障害において発現する重要な症状・診断・	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領

			治療などについて説明する	域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第2回	山科章	＜脳・神経疾患・筋疾患２（睡眠障害、意識障害、認知症）＞	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、意識障害・睡眠障害・認知症の病態・診断・治療などについて説明する。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。。
第3回	山科章	＜脳・神経疾患・筋疾患３（運動麻痺、筋疾患）＞	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、運動麻痺、感覚麻痺、脊髄疾患、末梢神経疾患、筋疾患において発現する重要な症状・診断・治療などについて説明する。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第4回	山科章	＜骨・関節疾患、膠原病＞骨折、骨髄炎、骨粗しょう症、関節炎、脊柱管狭窄症、骨腫瘍	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、骨・関節疾患において発現する重要な症状・診断・治療などについて説明する。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第5回	山科章	＜生殖器疾患（女性生殖器疾患（月経異常、腫瘍）、男性生殖器疾患）＞	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、生殖器疾患において発現する重要な症状・診断・治療などについて説明する。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第6回	山科章	＜感覚器の病態と疾患（視覚器・聴覚 器・味覚器・嗅覚器）＞	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。示されたら、感覚器において発現する重要な症状・診断・治療について説明する。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
		＜皮膚疾患１（アレルギー疾		

第7回	岡田克之	患、炎症性皮膚炎、水疱症など）＞ 皮膚・皮膚付属器官に生じる病変で、主な症状は発疹であり、他の諸器官の病変を伴うことも多い。非伝染性皮膚病には接触皮膚炎、蕁麻疹などのアレルギー疾患、母斑などの遺伝性疾患、ビタミン欠乏症によるものなどがあり、診断と治療について基本的知識の習得に努める。		（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。 （復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読する。
第8回	岡田克之	＜皮膚疾患２（皮膚腫瘍など）＞ 皮膚の悪性腫瘍には、悪性黒色腫（メラノーマ）や扁平上皮癌などがあるが、悪性度に差異があり、生命予後は大きく異なる。その他、皮膚線維症、皮膚Ｔ細胞リンパ腫なども含めて、診断と治療について基本的知識の習得に努める。		（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。 （復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読する。

教科書

系統看護学講座 専門分野Ⅱシリーズ 成人看護学 医学書院
（②呼吸器 ③循環器 ④血液・造血器 ⑤消化器 ⑥内分泌・代謝 ⑦脳・神経 ⑧腎・泌尿器 ⑪アレルギー膠原病 感染）

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上。
筆記試験 80%、プレテスト・ポストテスト(全16回)および講義中小テストの合計20%。
加えて、授業中の態度も評価した総合点とする。
プレテスト・ポストテスト(全16回)の回答回数が80%未満の場合は、原則として期末試験の受験資格は与えない。何らかの理由で講義を欠席していても、必ず、プレテストポストテストには回答のこと

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内でレポートや課題を課すことがある。授業での講義内容を資料として配布するので、授業内容の理解に役立てること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待する。予習・復習は不可欠であり、予習では講義の概要を教科書で確認し、復習では配布した講義資料を参考に教科書の関係領域を通読する（45分）。必ずプレテスト・ポストテストに回答し、回答後に示される解説コメントが理解を深める。

オフィス・アワー

講義終了後に適宜受け付ける。山科の講義分についてはチャットでの質疑応答を原則とする。

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R132

講義コード	10460001
講義名	疾病の回復促進III
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	大学病院や地域中核病院で臨床に携わった経験を活かして、疾病の回復促進について講義を行う。内科医として40年間以上に携わった経験を活かして、疾病の回復促進について講義を行う。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山科 章	指定なし
教員	関﨑 亮	指定なし
教員	長谷川 真美	指定なし

授業の概要と教育目標

疾病の回復促進は、すべての疾患の原因・病態・症状から検査所見、治療・予後までを扱う学問分野で、医療・看護の根幹をなすものである。疾病の成り立ちでは病気を大別して学ぶのに対して、「疾病の回復促進」では疾患については学ぶが、「疾病の回復促進III」の前半では症候学をまなび、広範には精神疾患について学ぶ。講義ではさまざまな症状・徴候、精神疾患を理解し、看護に必要な知識・技能を習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保険学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「看護学の基礎となる人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解していること」を達成するため、幅広い知識・技能とともに豊かな人間性の構築を目指すものとする。

到達目標

1年次および2年前期前半で理解した人体の構造と機能、疾病の成り立ち、疾病の回復促進を基本に、代表的な症状･徴候について学び、関連するさまざまな疾病、病態を理解する。後半では患者に生ずる様々な精神的変化を理解し、看護管理に展開できるよう知識・技能を習得する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	山科	＜主要な症候１＞ 頭痛、意識障害、けいれん、麻痺、めまい 神経系の主要な症状・徴候を理解	動画等を活用し、インタラクティブに講義を	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資

	章	し、看護に活かせる知識を身につける	するめる。	料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第2回	山科章	＜主要な症候２＞ 心停止・ショッ ク・脱水・乏尿・無尿・頻尿、浮腫 全身循環に関係する主要な症状・徴候を理解し、看護に活かせる知識を身につける	動画等を活用し、インタラクティブに講義をするめる。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。。
第3回	山科章	＜主要な症候３＞ 胸痛・呼吸困難・咳嗽・喀痰・チアノーゼ 心血管および呼吸器系の主要な症状・徴候を理解し、看護に活かせる知識を身につける	動画等を活用し、インタラクティブに講義をするめる。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第4回	山科章	＜主要な症候４＞ 腹痛、腹部膨満、嘔吐、便秘、下痢（下血）、黄疸 消化器系の主要な症状・徴候を理解し、看護に活かせる知識を身につける	動画等を活用し、インタラクティブに講義をするめる。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第5回	関﨑亮	<精神看護学・総論I：精神の健康、精神看護の基本概念、看護援助技法> 精神看護学は、こころの疾患をもつ精神科入院患者だけでなく、すべての看護領域における対象者のこころの健康の保持増進を目的とする領域とされる。総論Iでは、精神の構造や機能、心身の関係、精神症状のアセスメントなどについては基本的な知識の習得に努める。	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：総論・各論ともに動画等を活用し、精神障害者の症状を視覚的に捉えてもらい理解度の向上を図る。	（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。 （復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読する。
第6回	関﨑亮	<精神看護学・総論II：安全な治療環境の提供と人権擁護、精神保健医療福祉の法制度、精神障害者のリハビリテーション> 精神医学の歴史において、精神障害者の人権を考えないような監置、隔離・拘束があり、悲惨で苦痛に満ちた事実がある。現代では精神障害者およびその家族の人権配慮の理解が	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：総論・各論ともに動画等を活用し、精神	（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。 （復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の

		深まり、地域社会での社会復帰が推進されている。総論IIでは、人権擁護や準拠する法制度、地域復帰に向けたリハビリテーションなどについて基本的な知識の習得に努める。	障害者の症状を視覚的に捉えてもらい理解度の向上を図る。	関係領域を通読する。
第7回	関崎亮	<精神看護学・各論I：統合失調症、気分（感情）障害、神経症性障害（パニック発作、強迫性障害、心的外傷後ストレス障害、解離性障害）、摂食障害 > 各論Iでは、具体的な疾患名をあげ、疫学、発生機序、症状、診断、治療および看護上の留意点について基本的な知識の習得に努める。	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：総論・各論ともに動画等を活用し、精神障害者の症状を視覚的に捉えてもらい理解度の向上を図る。	（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。 （復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読する。
第8回	関崎亮	<精神看護学・各論II：パーソナリティー障害、アルコール関連障害、認知症（アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症）、小児精神疾患（自閉症スペクトラム障害、注意欠如・多動症） > 各論Iでは、具体的な疾患名をあげ、疫学、発生機序、症状、診断、治療および看護上の留意点について基本的な知識の習得に努める。	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：総論・各論ともに動画等を活用し、精神障害者の症状を視覚的に捉えてもらい理解度の向上を図る。	（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。 （復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読する。

教科書

系統看護学講座 専門分野IIシリーズ 成人看護学 医学書院：⑦脳・神経

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上。
筆記試験 80%、プレテスト・ポストテスト(全16の予定）および講義中小テストの合計20%。加えて、授業中の態度も評価した総合点とする。
プレテスト・ポストテスト(全16回予定)の回答回数が80%未満の場合は、原則として期末試験の受験資格は与えない。何らかの理由で講義を欠席していても、必ず、プレテストポストテストには回答のこと。

課題等に対する
フィードバックの方法

プレテスト・ポストテストを課し、回答後に示す正解と解説で学習をする。授業での講義内容をまとめた配布物を参考にして、授業内容の理解に役立てること。

履修のポイント

毎回の講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、講義に準備する。このことによって、疾患の理解、基礎知識の習得を促進する。
講義終了後、ポストテストを受け、講義の内容を見直し、理解を深める。

オフィス・アワー

講義終了後に適宜受け付ける。その他、適宜受け付けるので、教務課に依頼し予約すること。山科の講義分についてはチャットでの質疑応答を原則とする。

科目区分

専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R133

講義コード	10460002
講義名	疾病の回復促進III（2021年度入学生）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	大学病院や地域中核病院で臨床に携わった経験を活かして、疾病の回復促進について講義を行う。内科医として40年間以上に携わった経験を活かして、疾病の回復促進について講義を行う。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山科 章	指定なし
教員	関﨑 亮	指定なし
教員	長谷川 真美	指定なし

授業の概要と教育目標

疾病の回復促進は、すべての疾患の原因・病態・症状から検査所見、治療・予後までを扱う学問分野で、医療・看護の根幹をなすものである。疾病の成り立ちでは病気を大別して学ぶのに対して、「疾病の回復促進」では疾患については学ぶが、「疾病の回復促進III」の前半では症候学をまなび、広範には精神疾患について学ぶ。講義ではさまざまな症状・徴候、精神疾患を理解し、看護に必要な知識・技能を習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保険学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「看護学の基礎となる人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解していること」を達成するため、幅広い知識・技能とともに豊かな人間性の構築を目指すものとする。

到達目標

1年次および2年前期前半で理解した人体の構造と機能、疾病の成り立ち、疾病の回復促進を基本に、代表的な症状･徴候について学び、関連するさまざまな疾病、病態を理解する。後半では患者に生ずる様々な精神的変化を理解し、看護管理に展開できるよう知識・技能を習得する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	山科	＜主要な症候１＞ 頭痛、意識障害、けいれん、麻痺、めまい 神経系の主要な症状・徴候を理解	動画等を活用し、インタラクティブに講義を	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資

	章	し、看護に活かせる知識を身につける	するめる。	料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第2回	山科章	＜主要な症候２＞ 心停止・ショッ ク・脱水・乏尿・無尿・頻尿、浮腫 全身循環に関係する主要な症状・徴候を理解し、看護に活かせる知識を身につける	動画等を活用し、インタラクティブに講義をするめる。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。。
第3回	山科章	＜主要な症候３＞ 胸痛・呼吸困難・咳嗽・喀痰・チアノーゼ 心血管および呼吸器系の主要な症状・徴候を理解し、看護に活かせる知識を身につける	動画等を活用し、インタラクティブに講義をするめる。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第4回	山科章	＜主要な症候４＞ 腹痛、腹部膨満、嘔吐、便秘、下痢（下血）、黄疸 消化器系の主要な症状・徴候を理解し、看護に活かせる知識を身につける	動画等を活用し、インタラクティブに講義をするめる。	予習(90分)講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、回答後に示される解説を閲覧し講義の準備をする。復習(90分)配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読しながら、ポストテストに回答し、解説でさらに理解を深める。
第5回	関﨑亮	<精神看護学・総論I：精神の健康、精神看護の基本概念、看護援助技法> 精神看護学は、こころの疾患をもつ精神科入院患者だけでなく、すべての看護領域における対象者のこころの健康の保持増進を目的とする領域とされる。総論Iでは、精神の構造や機能、心身の関係、精神症状のアセスメントなどについては基本的な知識の習得に努める。	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：総論・各論ともに動画等を活用し、精神障害者の症状を視覚的に捉えてもらい理解度の向上を図る。	（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。 （復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読する。
第6回	関﨑亮	<精神看護学・総論II：安全な治療環境の提供と人権擁護、精神保健医療福祉の法制度、精神障害者のリハビリテーション> 精神医学の歴史において、精神障害者の人権を考えないような監置、隔離・拘束があり、悲惨で苦痛に満ちた事実がある。現代では精神障害者およびその家族の人権配慮の理解が	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：総論・各論ともに動画等を活用し、精神	（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。 （復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の

		深まり、地域社会での社会復帰が推進されている。総論IIでは、人権擁護や準拠する法制度、地域復帰に向けたリハビリテーションなどについて基本的な知識の習得に努める。	障害者の症状を視覚的に捉えてもらい理解度の向上を図る。	関係領域を通読する。
第7回	関崎亮	<精神看護学・各論I：統合失調症、気分（感情）障害、神経症性障害（パニック発作、強迫性障害、心的外傷後ストレス障害、解離性障害）、摂食障害 > 各論Iでは、具体的な疾患名をあげ、疫学、発生機序、症状、診断、治療および看護上の留意点について基本的な知識の習得に努める。	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：総論・各論ともに動画等を活用し、精神障害者の症状を視覚的に捉えてもらい理解度の向上を図る。	（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。 （復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読する。
第8回	関崎亮	<精神看護学・各論II：パーソナリティー障害、アルコール関連障害、認知症（アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症）、小児精神疾患（自閉症スペクトラム障害、注意欠如・多動症） > 各論Iでは、具体的な疾患名をあげ、疫学、発生機序、症状、診断、治療および看護上の留意点について基本的な知識の習得に努める。	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：総論・各論ともに動画等を活用し、精神障害者の症状を視覚的に捉えてもらい理解度の向上を図る。	（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。 （復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読する。

教科書

系統看護学講座 専門分野IIシリーズ 成人看護学 医学書院：⑦脳・神経

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上。
筆記試験 80%、プレテスト・ポストテスト(全16の予定）および講義中小テストの合計20%。加えて、授業中の態度も評価した総合点とする。
プレテスト・ポストテスト(全16回予定)の回答回数が80%未満の場合は、原則として期末試験の受験資格は与えない。何らかの理由で講義を欠席していても、必ず、プレテストポストテストには回答のこと。

課題等に対する
フィードバックの方法

プレテスト・ポストテストを課し、回答後に示す正解と解説で学習をする。授業での講義内容をまとめた配布物を参考にして、授業内容の理解に役立てること。

履修のポイント

毎回の講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、講義に準備する。このことによって、疾患の理解、基礎知識の習得を促進する。
講義終了後、ポストテストを受け、講義の内容を見直し、理解を深める。

オフィス・アワー

講義終了後に適宜受け付ける。その他、適宜受け付けるので、教務課に依頼し予約すること。山科の講義分についてはチャットでの質疑応答を原則とする。

科目区分

専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R133

講義コード	10470001
講義名	疫学
(副題)	【教職必修】【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	４時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 岩田 昇	指定なし

授業の概要と教育目標

保健・医療情報に関する科学的アプローチとして発展してきた疫学の概念と歴史、疫学の指標、疫学研究方法論、スクリーニング、疫学研究の倫理的側面と法的整備などについて総合的に学ぶ。また、看護研究への将来的な応用を視野に、簡単な質問紙調査票を作成し、データ収集ならびにデータ解析を体験的に学ぶ。
なお、授業ではほぼ毎回、現代社会における疫学的所見・報道などを題材として、グループディスカッションおよびプレゼンテーションの時間を設定し、自らの判断・見解を持ち、それを他者に示すスキルも学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、「人間の理解」を主軸に、「健康・疾病・生活・社会」に関する理解に基づく観察力や判断能力を養うとともに、保健・医療分野を支えるための専門基礎科目として、保健・医療情報の科学的な収集方法・データ解析評価技法・倫理に係る疫学を位置づける。

到達目標

・疫学の概念を理解し、根拠に基づいた保健・医療活動を把握できるようになる。
・医療・健康情報におけるバイアス・交絡要因を認識し、クリティカルにとらえられるようになる。
・保健医療の現象を解明するための方法論を説明できるようになる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	岩田昇	オリエンテーション 授業の進め方、国家試験出題基準	社会環境と医学的事象との関連性について、グループ内で意見を述べ合い、討議する。	予習90分：国家資格出題基準をダウンロードし、疫学関連事項を確認しておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消

				しておくこと
第2回	岩田昇	疫学とは 疫学の概念と歴史、臨床疫学、治験	予習に基づいて、臨床疫学や治験について、各自の意見をグループ内で討議する。	予習90分：教科書P.1～12に目を通し、重要キーワードを調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第3回	岩田昇	疫学に使用される指標 割合・率・比、有病率と罹患率、致命率と死亡率、相対危険・寄与危険、オッズ比	予習に基づいて、有病率と罹患率の意味、致命率と死亡率について、グループ内で討議しながら理解していく。	予習90分：教科書P.13～27に目を通し、重要キーワードを調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第4回	岩田昇	疫学研究の基礎 標本集団と代表性、信頼性、妥当性	予習に基づいて、母集団と標本集団の意味や代表性の重要性に関して討議する。	予習90分：教科書P.29～38に目を通し、重要キーワードを調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第5回	岩田昇	疫学の種類① 記述疫学、分析疫学、症例対照研究	予習に基づいて、記述疫学、分析疫学、症例対照研究の特徴について、グループ内で討議しながら理解していく。	予習90分：教科書P.39～61に目を通し、重要キーワードを調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第6回	岩田昇	疫学の種類② コホート研究、介入研究	予習に基づいて、コホート研究、介入研究の特徴について、グループ内で討議しながら理解していく。	予習90分：教科書P.62～78に目を通し、重要キーワードを調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第7回	岩田昇	確認テスト１	確認テスト１の実施 解答と解説	予習90分：1～6回の資料に目を通し、重要キーワードを理解しておくこと 復習90分：不正解個所を再度確認し、ノートに記しておくこと
第8回	岩田昇	システマティックレビュー、バイアス、交絡 メタアナリシス、選択バイアス、情報バイアス、交絡因子、因果関係	予習に基づいて、選択バイアス、情報バイアス、交絡因子について、グループ内で討議しながら理解していく。	予習90分：教科書P.79～94に目を通し、重要キーワードを調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第9回	岩田	スクリーニング① スクリーニングの意義と適用、感度、特異	予習に基づいて、スクリーニングの意義と適用、感度、特異度について、グループ内で	予習90分：教科書P.95～100に目を通し、重要キーワードを調べておくこと

	昇	度、陽性反応的中度、陰性反応的中度、ROC	討議しながら理解していく。	復習　分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第10回	岩田昇	スクリーニング② データを用いたスクリーニング指標の算出 疫学研究と倫理 疫学に関する倫理指針、倫理審査委員会、インフォームド・コンセント、利益相反	仮想データを用いて、スクリーニング指標を算出し、グループ内で討議する。	予習90分：教科書P.107～110、137～140に目を通しておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第11回	岩田昇	情報収集方法① 調査票、調査票の作成	グループごとにテーマを決めて、簡易調査票を作成する。	予習90分：教科書P.141～154に目を通し、重要キーワードを調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第12回	岩田昇	情報収集方法② 調査票、調査票の作成	各グループで共同作業を行い、簡易調査票を完成させる。	予習90分：教科書P.101～105に目を通し、調査項目・選択肢を作成しておくこと 復習90分：配布資料を見直し、項目・選択肢を修正しておくこと
第13回	岩田昇	情報収集方法③ 調査実施および入力	グループごとに教室内で調査を実施し，データ入力を行う。	予習90分：教科書P.111～121に目を通し、データ処理方法を調べておくこと 復習90分：データ解析を行うこと
第14回	岩田昇	情報収集方法④ データ解析	SPSSを用いて、データ解析を行う。	予習90分：データ処理を行い、結果の見える化に工夫すること 復習90分：結果が何を示唆しているのかを考察してみること
第15回	岩田昇	グループ発表 まとめ	グループごとに基礎解析結果を発表し、質疑を行う。	予習90分：1～14回の資料に目を通し、重要キーワードを確認しておくこと 復習90分：不正解個所を再度確認し、ノートに記しておくこと

教科書

日本疫学会監修 はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第３版 南江堂

参考書

浅野嘉延著 楽しく学べる！ 看護学生のための疫学・保健統計学 南山堂

成績評価の方法・基準

・単位認定は60点以上
・定期試験筆記試験60%、講義後に提出するフィードバックおよび質問紙調査票の評価40%

課題等に対する

フィードバックの方法
・確認テスト(45分程度)の後、解答および解説を行う。 ・グループディスカッション・プレゼンテーションに対するコメント等、適宜行う。
履修のポイント
・健康水準の高い社会に住んでいることを自覚し、俯瞰的視点を持って、積極的に取り組むことを期待します。
オフィス・アワー
・水曜日・木曜日12:30〜13:20（昼休み） 11号館第5研究室 （講義終了前後にも適宜受付可能）
科目区分
専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R172

講義コード	10480001
講義名	保健統計学
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 増田 さゆり	指定なし
教員	石井 広二	指定なし
教員	山科 章	指定なし
教員	岩田 昇	指定なし

授業の概要と教育目標

保健統計は集団の健康状態を把握するものであり、国・地域の保健関連状態に関する客観的情報となる重要なものである。保健師・看護師として保健医療福祉活動を実践する際には、各種保健統計資料からの情報の収集・整理及び活用、調査・研究に関する能力が求められる。保健統計学では、健康指標ならびに人口に関する指標、データの特徴を記述する記述統計、標本データから母集団の性質を求める推測統計(推定・検定)について学習する。
なお、授業では、現代社会における疫学的所見・報道などを題材として、グループディスカッションおよびプレゼンテーションの時間を設定し、自らの判断・見解を持ち、それを他者に示すスキルの取得も目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、「人間の理解」を主軸に、「健康・疾病・生活・社会」に関する理解に基づく観察力や判断能力を養うとともに、保健・医療分野を支えるための専門基礎科目として、疫学とともに保健・医療情報の科学的な収集方法・データ解析評価技法に係る保健統計学を位置づける。

到達目標

1. 保健医療分野における統計の意義と活用事例について述べることができる。
2. 人口統計の種類と定義・内容を述べることができる。
3. 母集団と標本、平均と標準偏差、相関など、推定と検定に関して述べることができる。
4. 統計ソフトを活用して要約統計量の算出や表・グラフの作成および検定を行うことができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間

第1回	岩田昇	オリエンテーション 保健統計学とは、保健統計の種類および概要、健康指標の分類 課題：保健統計の意義に関する議論を整理する	身の回りにある保健統計学について、意見発表し、保健統計の必要性について討議する。	予習90分：国家試験出題基準のうち、保健統計・疫学に関するキーワードを調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、科目の概要を把握する
第2回	山科章	おもな健康指標（平均寿命、健康寿命、出生率、死亡率、生存率、高齢化率など）を理解し、その動向から将来について予測する。	実例を用いてグループで演習しその結果を発表する。	予予習90分：教科書（第2,9,10章）を参考にプレテストに回答したのち、解説で予習する。 復習90分：教科書、配布資料を参考にポストテストに回答したのち、解説で予習する。
第3回	山科章	スクリーニングの意義とスクリーニング検査の指標（感度、特異度、事前確率、事後確率、ベイズ定理、など）について理解する	実例を用いてグループで演習しその結果を発表する。	予習90分：教科書(第4章)を参考にプレテストに回答したのち、解説で予習する。 復習90分：教科書、配布資料を参考にポストテストに回答したのち、解説で予習する。
第4回	岩田昇	保健医療データの統計解析③ SPSSを用いた解析、図表の種類と使い方 課題：解析結果の見える化の候補を挙げ、議論する	SPSSを用いて、データの性質に適した結果の図表化方法を体験的に学ぶ。	予習90分：前回課された課題を行っておくこと 復習90分：配布資料を見直し、データ解析・見える化を行っておくこと
第5回	岩田昇	保健医療データの統計解析④ SPSSを用いた解析、図表の文章化 課題：統計学的解釈について議論し、文章化して理解する	データの最適な図表化をエクセルを用いて行い、結果の解釈を文章にする。	予習90分：データの解析・図表の改善を行っておくこと 復習90分：配布資料および自分たちの結果を見直し、各自より良い文章に推敲してみること
第6回	岩田昇	保健医療データの統計解析⑤ データ解析に基づく結果発表 課題：相互のプレゼンテーションでの質疑応答を振り返る	各グループでデータ解析結果を適切な図表を提示しながらプレゼンテーションし、質疑討論を行う。	予習90分：プレゼンテーション資料を完成させておくこと 復習90分：配布資料を見直しておくこと
第7回	岩田昇	生命表・平均寿命 平均寿命の計算方法、生命表、健康寿命 課題：生命表算出の実際	平均寿命の計算方法を各自手計算で体験する。	予習90分：前回発表した内容をレポートにまとめ、授業前に提出のこと 復習90分：配布資料を見直し、エクセル等を

		を体験的に理解する		用いて、再度計算してみること
第8回	岩田昇	保健統計調査① 人口静態調査、人口動態調査 課題：代表的な人口統計の現状と将来推定について整理する	予習に基づいて、人口静態の動向、人口動態について意見交換し、将来的な日本の人口について討論する。	予習90分：人口静態と人口動態について調べ、年次推移等の情報を整理しておくこと 復習90分：確認テストの出題内容に関する疑問点を調べ、ノートに整理しておくこと
第9回	岩田昇	保健統計調査② 国民健康・栄養調査、患者調査、国民生活基礎調査 課題：健康政策と実態把握のための調査との対応および将来推定について整理する	予習に基づいて、国民健康・栄養調査、患者調査、国民生活基礎調査について意見交換し、現在のライフスタイルの実態や将来予測について討議する。	予習90分：国民健康・栄養調査、国民生活基礎調査について調べ、健康日本２１等との関係付について整理しておくこと 復習90分：配布資料を見直しておくこと
第10回	岩田昇	確認テスト１の実施 解答と解説	短時間の確認テストを実施し、速やかに解答と解説を行い、自身の理解不十分な個所について、レポートにまとめる	予習90分：これまでの学習内容を整理し、試験に備えておくこと 復習90分：確認テストの出題内容に関する疑問点を調べ、ノートに整理しておくこと
第11回	岩田昇	栄養疫学のデータ ・食事アセスメント、バイアス 課題：栄養疫学の実際についてのイメージを持つ	具体的な研究例を紹介し、食事アセスメントの方法やバイアスの問題などについて、意見交換・討議する。	予習90分：教科書P.155～156に目を通し、栄養疫学についてWeb等を用いて調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、授業の中で興味を持った事象について調べてみること
第12回	岩田昇	運動疫学のデータ ・身体活動、運動、生活活動 分子疫学のデータ ・分子マーカー、倫理的課題、研究例 課題：遺伝子情報を用いた最新の疫学手法について理解する	具体的な研究例に基づき、身体疫学の意義や健康教育・指導への応用について討議する。分子マーカーの特性を紹介し、倫理的課題について、意見交換する。	予習90分：教科書P.157～161に目を通し、分子疫学についてWeb等を用いて調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、授業の中で興味を持った事象について調べてみること
第13回	岩田昇	感染症疫学のデータ ・感染症疫学の指標、基本再生産数、発病率、ワクチン有効率 課題：感染症パンデミックの予防の困難さや社会経済活動とのバランスについて考える	感染症疫学の意義について意見交換し、さまざまな指標の意味や利用法について討議する。	予習90分：教科書P.162～163に目を通すとともにパンデミックの概念等について調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、授業の中で興味を持った事象について調べてみること
		社会疫学・メンタルヘル		

第14回	岩田昇	スのデータ ・社会格差、ライフコース、心理社会的変数 QOL・生きがいのデータ ・生活機能の測定評価、認知機能の測定、幸福感の国際比較 課題：ライスサイクルで見た時の健康・QOLの測定と実態・国際比較について、その概要を整理する	健康の社会格差に関する研究例を紹介し、心理社会的変数(含、幸福感)や生活機能の測定評価について討議する。	予習90分：教科書P.164～173に目を通し、社会疫学についてWeb等を用いて調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、授業の中で興味を持った事象について調べてみること
第15回	岩田昇	確認テスト２ まとめ	確認テスト２の実施と解答・解説を行い、各自の理解不十分な個所を確認する。	予習90分：1～14回の学習内容を確認しておく 復習90分：不正解個所を確認・理解し、ノートに記しておくこと

教科書

日本疫学会監修 はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第３版 南江堂

参考書

浅野嘉延著 楽しく学べる！ 看護学生のための疫学・保健統計学 南山堂

成績評価の方法・基準

・単位認定は60点以上
・筆記試験の成績（50%）
・レポート課題の提出状況および内容（50%）

課題等に対するフィードバックの方法

・確認テスト(45分程度)の後、解答および解説を行う。
・グループディスカッション・プレゼンテーションに対するコメント等適宜行う。
・SPSSを用いた計算課題では、教員が実際に解析を実行し、各自の確認を促す。

履修のポイント

・健康水準の測定・評価方法を習得すべく、苦手意識を払拭し積極的に取り組むことを期待します。

オフィス・アワー

・火曜日・木曜日12:30～13:20（昼休み） 11号館第5研究室
（講義終了前後にも適宜受付可能）

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R180

講義コード	10490001
講義名	医療保健福祉行政論（看護師課程）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松原 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座では、保健医療福祉行財政の理念としくみについて、歴史的変遷・諸外国の制度と対比させながら、学習する。その上で、現在の医療保健福祉に関する制度を学習する。さらに、市町村を中心とした地方自治体での保健医療福祉行政がどのように立案・実施されているかを中心に学習する。最後に、保健医療福祉行政が現状において、いかなることを中心に活動をしているかについて、学習する。
この講座での学修により、医療保健福祉行政が医療保健福祉に関係する法令において、どのように機能していくかを理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

社会状況の変化や国際化・情報化が進展した社会環境においても柔軟に対応でき、また安全・安心を配慮した看護の実践が行えるように、法令や制度の趣旨・目的を適切に理解する能力を身につける。

到達目標

１．保健医療福祉行財政の理念としくみについて理解する。
２．現在の医療保健福祉に関する制度を理解する。
３．市町村を中心とした地方自治体での保健医療福祉行政のしくみを理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	社会保障制度の基本的考え方と社会福祉法を理解する。次に、憲法25条1項と生活保護制度の関係について、学修し、さらに公的扶助の基本原理及び扶助の具体的内容について学習する。		予習90分： シラバス及び『社会保障・社会福祉』第6章を読む。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったとこ

			ろを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第2回	高齢者福祉制度の概要と障害者福祉制度の概要と変遷について学習する。具体的には、老人福祉法及び高齢者虐待防止法を中心に高齢者福祉法令を学習し、障害者基本法の内容と障害者総合支援法の目的・内容で障害者福祉制度について学習する。		予習90分： ハンドアウト第2回及び『社会保障・社会福祉』 第7章A・B①～②を読む。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第3回	障害者福祉に係る制度について、学習する。具体的には、障害者総合支援法の具体的内容、障害者に対する就労支援の仕組み、障害者虐待防止法について理解する。さらに、身体障害者・知的障害者・精神障害者・発達障害者に係る法令を理解する。		予習90分： ハンドアウト第3回及び『社会保障・社会福祉』 第7章B③～⑤を読む。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第4回	児童家庭福祉に関わる制度として、児童福祉法および母子・福祉並びに寡婦福祉法に規定される制度を学習する。また、少子化対策に関する対策について、学習する。		予習90分： ハンドアウト第4回及び『社会保障・社会福祉』 第7章Cを読む。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第5回	国及び地方自治体による行政がどのように実施されるかを学習し、その上で医療保健福祉に関する行政の仕組みについて概観する。また、わが国の医療保健福祉制度の基礎がどのように形成され、またそれがどのように変化してきたかについて学習する。		予習90分： ハンドアウト第5回及び『看護関係法令』p.12～p.18を読む。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
			予習90分： ハン

第6回	国、都道府県、市町村の医療保健福祉行政及び財政のしくみと役割について、学習する。	事前に調査した自分の居住している市町村の医療・福祉担当部署を発表する。また、市町村予算に占める医療・福祉の費用の割合を発表する。	ドアウト第 回を読む。居住する市町村行財政を調査する。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第7回	わが国の社会保障制度の概要について学習する。また、医療職種に関する法規制の概要を学習する。さらに、現在の日本における医療サービスの提供体制について、その概要を知る。		予習90分： ハンドアウト第7回を読む。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第8回	医療計画と記載内容について学習する。その上で、近年の医療法改正により求められることとなった地域医療構想や医療安全対策等について、学習する。 中間テスト(40分)を実施する。		予習90分： ハンドアウト第8回を読む。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第9回	医療保険制度の基本的しくみを復習し、医療保険を利用した場合の診療報酬制度について、具体的に学習する。		予習90分： ハンドアウト第9回を読む。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第10回	介護保険制度の基本的概要やしくみについて復習し、近年の改正点を中心に介護保険制度の現状を概観する。		予習90分： ハンドアウト第10回を読む。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
	地域包括支援センターを中心とした、地域		予習90分： ハンドアウト第11回を読む。 復習90分：

第11回	包括ケアシステムについて学習し、さらに看護師・保健師と他の医療職との連携について、学習する。		チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第12回	都道府県・市町村に義務づけられたり、努力義務化されている保健医療福祉に係る計画について、根拠法令と内容について、学習する。また、社会的弱者である児童・高齢者・障害者への虐待防止とDV防止の法規制について理解する。さらに患者・高齢者の人権を守るための成年後見、個人情報保護等の諸制度について理解する。	事前に調査した自分の居住している都道府県や市町村が作成した法定の計画のうち、事前に指定された計画の概要を調査して発表する。	予習90分： ハンドアウト第12回を読む。居住する都道府県及び市町村の保険医療福祉計画を調査する。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第13回	社会基盤整備に関する諸法制を理解する。男女共同参画に関する諸法制や少子高齢化対策諸法制を理解する。また、保健医療福祉分野において、近年重要視されている行政政策(認知症対策、自殺対策、依存症対策、がん対策、難病対策等)とその動向について、概観する。		予習90分： ハンドアウト第13回を読む。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第14回	前回に続き、保健医療福祉分野において、近年重要視されている行政政策(医療安全対策、ハラスメント等労働環境対策等)とその動向について、概観する。最近の法改正及び新たな制定法について、学習する。		予習90分： ハンドアウト第14回を読む。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第15回	医療保健福祉行政制度について、全体を俯瞰する。特に混同しやすい医療保健福祉法令・制度について、整理する		予習90分： チェックテストの解答・解説1～14を確認する。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。

教科書
使用しない
参考書

福田素生・他著『≪系統看護学講座 専門基礎分野≫ 健康支援と社会保障制度③社会保障・社会福祉』（医学書院)
森山幹夫『《系統看護学講座 専門基礎分野》健康支援と社会保障制度④ 看護関係法令』(医学書院）
厚生労働省編『厚生労働白書 令和４年度版』(ぎょうせい)

成績評価の方法・基準

平常点（学習態度・チェックテスト・中間テスト等）［20%］、テスト［80%］を総合して評価。総合点60点以上で単位認定する。

課題等に対する
フィードバックの方法

毎回授業終了前、10分間に10問のチェックテストを実施する。解答・解説は、授業終了時に配付する(配布できない場合はweb上(「Teams」または「moodle」等)にPDFファイルで掲載する)。答案は、採点の後、原則として、次回の授業時に返却する(または正誤がわかるようにする)。定期試験のマーク式解答については、試験終了後web上(「Teams」または「moodle」等)にPDFファイルで掲載する。

履修のポイント

保健医療福祉活動の基礎となる医療福祉行政の仕組みについて学習する。この講座は、看護師国家試験の範囲となっている。「社会保障論」及び「医療関係法規」で取り扱った事がらについても再度学習する。

オフィス・アワー

月・火・金曜日，11時～15時（授業時間以外），11号館３階研究室５

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R181

講義コード	10490002
講義名	医療保健福祉行政論（保健師課程）
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松原 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座では、保健医療福祉行財政の理念としくみについて、歴史的変遷・諸外国の制度と対比させながら、学習する。その上で、現在の医療保健福祉に関する制度を学習する。さらに、市町村を中心とした地方自治体での保健医療福祉行政がどのように立案・実施されているかを中心に学習する。最後に、保健医療福祉行政が現状において、いかなることを中心に活動をしているかについて、学習する。
この講座での学修により、医療保健職として必要な基礎的知識である現在の保健医療福祉行政の制度的枠組み、現実の保健医療福祉行政の活動について理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

社会状況の変化や国際化・情報化が進展した社会環境においても柔軟に対応でき、また安全・安心を配慮した看護の実践が行えるように、法令や制度の趣旨・目的を適切に理解する能力を身につける。

到達目標

１．保健医療福祉行財政の理念としくみについて理解する。
２．現在の医療保健福祉に関する制度を理解する。
３．市町村を中心とした地方自治体での保健医療福祉行政のしくみを理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	社会保障制度の基本的考え方と社会福祉法を理解する。また、社会保険、社会福祉、公的扶助のそれぞれの分野について概観する。次に、憲法25条1項と生活保護制度の関係について、学習し、さらに公的扶助の基		予習90分：『社会保障・社会福祉』第6章を読む。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違っ

	本原理及び扶助の具体的内容について学習する。		たところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第2回	高齢者福祉制度の概要と障害者福祉制度の概要と変遷について学習する。具体的には、老人福祉法及び高齢者虐待防止法を中心に高齢者福祉法令を学習し、障害者基本法の内容と障害者総合支援法の目的・内容で障害者福祉制度について学習する。		予習90分：『社会保障・社会福祉』 第7章A・B①～②及びハンドアウト２を読む。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第3回	障害者福祉に係る制度について、学習する。具体的には、障害者総合支援法の具体的内容、障害者に対する就労支援の仕組み、障害者虐待防止法について理解する。さらに、身体障害者・知的障害者・精神障害者・発達障害者に係る法令を理解する。		予習90分：『社会保障・社会福祉』第7章B③～⑤及びハンドアウト３を読む。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第4回	わが国の社会保障制度の概要について学習する。児童家庭福祉に関わる制度として、児童福祉法および母子・福祉並びに寡婦福祉法に規定される制度を学習する。また、少子化対策に関する対策について、学習する。		予習90分：『社会保障・社会福祉』第7章C及びハンドアウト４を読む。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第5回	国及び地方自治体による行政がどのように実施されるかを学習し、その上で医療保健福祉に関する行政の仕組みについて概観する。また、わが国の医療保健福祉制度の基礎がどのように形成され、またそれがどのように変化してきたかについて学習する。		予習90分：ハンドアウト５を読む。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習す

			る。
第6回	国、都道府県、市町村の医療保健福祉行政のしくみと役割について、学習する。	事前に調査した自分の居住している市町村の医療・福祉担当部署を発表する。	予習90分：ハンドアウト６を読む。居住する市町村行政を調査する。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第7回	国、都道府県、市町村の医療保健福祉財政のしくみと役割について、学習する。また、公衆衛生に関する国際的組織とその活動の概要について、学習する。	事前に調査した自分の居住している市町村予算に占める医療・福祉の費用の割合を発表する。	予習90分：ハンドアウト７を読む。居住する市町村行政を調査する。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第8回	医療提供制度の概要について学習し、医療サービスがどこでどのような形で行われるかについて学習する。		予習90分：ハンドアウト８を読む。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第9回	医療保険制度の基本的しくみを復習し、医療保険を利用した場合の診療報酬制度について、具体的に学習する。		予習90分：ハンドアウト９を読む。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第10回	介護保険制度の基本的概要やしくみについて復習し、近年の改正点を中心に介護保険		予習90分：ハンドアウト10を読む。 復習90分： チェックテストの解答・解説を

	制度の現状を概観する。		確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第11回	地域包括支援センターを中心とした、地域包括ケアシステムについて学習し、さらに看護師・保健師と他の医療職との連携について、学習する。	事前に調査した自分の居住している市町村において、地域包括ケアシステムがどのように機能しているかについて、発表する。	予習90分：ハンドアウト11を読む。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第12回	都道府県・市町村に義務づけられたり、努力義務化されている保健医療福祉に係る計画について、根拠法令と内容について、学習する。	事前に調査した自分の居住している都道府県や市町村が作成した法定の計画のうち、事前に指定された計画の概要を調査して発表する。	予習90分：ハンドアウト12を読む。居住する都道府県及び市町村の保健医療福祉計画を調査する。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第13回	社会的弱者である児童・高齢者・障害者への虐待防止とDV防止の法規制について学習する。また、患者・高齢者の人権を守るための成年後見、個人情報保護等の諸制度について学習する。次に、社会基盤整備に関する諸法制と、保健医療福祉分野において近年重要視されている行政政策とその動向について、概観する。		予習90分：ハンドアウト13を読む。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第14回	近年重要視されている行政政策とその動向について、前回に引き続き概観する。また、近年の改正された保健医療福祉法令・制度について、整理して学習する。		予習90分：ハンドアウト14を読む。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
			予習90分： チェックテスト

第15回	医療保健福祉行政制度について、全体を俯瞰する。また、近年に新設された保健医療福祉法令・制度について前回に引き続き学習し、さらに混同しやすい医療保健福祉法令・制度について、整理して学習する。		の解答・解説1～14を確認する。 復習90分： チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。

参考書

藤内修二・他著『≪標準保健師講座 別巻1≫保健医療福祉行政論』（医学書院）
福田素生・他著『≪系統看護学講座 専門基礎分野≫ 健康支援と社会保障制度③社会保障・社会福祉』（医学書院)
森山幹夫『《系統看護学講座 専門基礎分野》健康支援と社会保障制度④ 看護関係法令』(医学書院）
厚生労働省編『厚生労働白書 令和４年度版』(ぎょうせい)

成績評価の方法・基準

平常点（学習態度・チェックテスト・中間テスト等）［20%］、テスト［80%］を総合して評価。総合点60点以上で単位認定する。

課題等に対する
フィードバックの方法

毎回授業終了前、10分間に10問のチェックテストを実施する。解答・解説は、授業終了時に配付する(配布できない場合はweb上(「Teams」または「moodle」等)にPDFファイルで掲載する)。答案は、採点の後、原則として、次回の授業時に返却する(または正誤がわかるようにする)。定期試験のマーク式解答については、試験終了後web上(「Teams」または「moodle」等)にPDFファイルで掲載する。

履修のポイント

保健医療福祉活動の基礎となる医療福祉行政の仕組みについて学習する。この講座の範囲は、保健師国家試験だけでなく看護師国家試験の範囲となっている。「社会保障論」及び「医療関係法規」で取り扱った事がらについても再度学習する。

オフィス・アワー

月・火・金曜日，11時～15時（授業時間以外），11号館３階研究室５

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R181

講義コード	10500001
講義名	社会福祉学概論
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	社会福祉士として福祉施設に勤務し、主に高齢者支援にあたる。その経験を本講義の学習内容に活かしていく。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 服部 弘	指定なし

授業の概要と教育目標

わが国における社会福祉、社会保障の成り立ちについて学ぶとともに、保健、医療、福祉が密接な関係をもって私たちの暮らしを支えていることについて学習を行う。また、現在における人口の変化や世帯構造の変化が及ぼす社会福祉、社会保障のあり方について具体的事例などを踏まえて、様々な専門職との連携の重要性や地域における生活者としての視点の大切さを講義や演習により学習を進める。
社会福祉、社会保障の基本的理解を行い、生活を支えるための福祉サービス等のあり方と視点について学ぶことを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、社会福祉学を学ぶことによって、人を価値ある存在として認めることができると共に、多職種との連携・協働を理解し、良好な関係もって看護を展開できるものを目指すものとする。

到達目標

１．社会福祉、社会保障の成り立ちについて説明できる。
２．社会構造の変化による社会福祉のあり方について説明できる。
３．具体的な事例を通じて、医療、福祉の連携や生活支援のあり方について説明できる。
４．社会における福祉的課題について関心をもち、地域支援への展開について説明できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	服部 弘	＜社会保障制度と社会福祉＞ ・社会福祉の法制度 ・社会福祉の動向 ＜社会福祉の歴史＞ ・イギリスの社会福祉の歴史 ・日本の社会福祉の歴史	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書・配布資料を見直す
		＜社会福祉の分野とサービス①＞	予習90分：教科書を読む

第2回	服部弘	・高齢者福祉 ・障害者福祉 ・児童家庭福祉	復習90分：教科書・配布資料を見直す
第3回	服部弘	＜社会福祉の分野とサービス②＞ ・高齢者福祉 ・障害者福祉 ・児童家庭福祉	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書・配布資料を見直す
第4回	服部弘	＜社会福祉の分野とサービス③＞ ・高齢者福祉 ・障害者福祉 ・児童家庭福祉	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書・配布資料を見直す
第5回	服部弘	＜社会福祉の分野とサービス④＞ ・高齢者福祉 ・障害者福祉 ・児童家庭福祉	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書・配布資料を見直す
第6回	服部弘	＜社会福祉の分野とサービス⑤＞ ・高齢者福祉・障害者福祉・児童家庭福祉 ＜社会福祉実践と医療・看護＞ ・社会福祉援助 ・社会福祉実践と医療・看護との連携	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書・配布資料を見直す
第7回	服部弘	＜公的扶助＞ ・貧困・低所得問題と公的扶助制度 ・生活保護制度のしくみ ・低所得者対策 ・近年の動向	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書・配布資料を見直す
第8回	服部弘	＜これまでの講義のまとめ＞ ～これまでの授業の習熟度の確認と振り返り～	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書・配布資料を見直す

教科書

福田素生著者代表「社会保障・社会福祉 健康支援と社会保障制度３」医学書院

参考書

適宜紹介をする。

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上 筆記試験100%。 ※授業態度も加味する

**課題等に対する
フィードバックの方法**

配布資料等を参考にし、理解に役立てること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します。

オフィス・アワー

講義終了前後などに、適宜受け付けます。

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-C128

講義コード	10510001
講義名	社会保障論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松原 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座は、看護学科教育課程の「健康支援と社会保障制度」の中の「社会保障の理念と基本的な制度の考え方」を理解するためのコースである。ここでは、疾病・老齢・要介護・失業などの危機に対応する医療保険・年金保険・介護保険・雇用保険などの公的保険制度と理念、その他の社会保障に関する制度と理念が、福祉・医療制度の中で、また私たちの生活の中でどのような機能を果たしているかを学修する。また、医療保健職として不可欠な知識を得るだけでなく、生活者として知っておくべきことがらについても学修していく。
この講座での学修により、現在の社会保障制度の基本的理念とそのしくみを理解し、さらに個々の社会保険の具体的内容と機能、その他の社会保障の制度内容を正確に理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

社会状況の変化や国際化・情報化が進展した社会環境においても柔軟に対応でき、また安全・安心を配慮した看護の実践が行えるように、法令や制度の趣旨・目的を適切に理解する能力を身につける。

到達目標

１．社会保障の理念・機能を理解する。
２．社会保障の具体的しくみ、位置づけについて理解する。
３．社会保障と国民生活の関係、社会保障の課題について理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	社会保障の概念・目的について理解した後、社会保障の概要・法制度について学習する。さらに、現代の社会保障を取り巻く環境の変化と、それに対する社会福祉政策の近年の動向と社会福祉の現状について学		予習90分：教科書第1章・第2章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説に

	習する。		チェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第2回	わが国の医療制度の沿革・特徴について学習し、また医療保険の種類を正しく理解する。	自分の加入している(被扶養者となっている)医療保険の被保険者証を確認し、集計し、発表する。	予習90分：教科書第3章A～Cを読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第3回	高齢者医療制度について学習し、国民医療費を学習し、医療保障における見通し及び課題を検討する。		予習90分：教科書第3章D～Fを読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第4回	介護保険制度が創設された背景と現在までの沿革、および介護保険制度の概要について、学習する。	自分の居住している市町村の介護保険事業計画の特徴について、事前に調査した項目について、発表する。	予習120分：教科書第4章A・Bを読む。自分の居住している市町村の介護保険事業計画をホームページで見て、特徴を調べておく。 復習60分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第5回	具体的な介護保険制度のしくみについて学習し、市町村が主体的に実施する介護保険事業を中心に学習する。また、近年の介護保険改革とその内容について、学習する。		予習90分：教科書第4章B・Cを読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第6回	所得保障制度制度の概要について学習する。具体的な所得保障制度の中心である年金保険制度について沿革・具体的内容及び課題を学習する。		予習90分：教科書第5章A・Bを読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
			予習90分：教科書第5章C・Dを読む。

第7回	各種社会手当、労働保険制度(雇用保険及び労働者災害補償保険)のしくみ･内容について概観する。		復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第8回	社会保障制度における公的扶助の位置づけを理解し、生活保護制度を中心にその概要と具体的内容を学習する。公的扶助の現代の課題と生活保護以外の低所得層対策について学習する。これまで学習した制度の社会保障における位置づけについて、学習する。		予習90分：教科書第6章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。

教科書

福田素生・他著『≪系統看護学講座 専門基礎分野≫ 健康支援と社会保障制度③社会保障・社会福祉』（医学書院)

参考書

厚生労働省編『厚生労働白書 令和４年度版』(ぎょうせい)

成績評価の方法・基準

平常点(授業時間内のチェックテスト、発表等)20%、定期テスト80%を総合して評価。総合点60点以上で単位認定する。

課題等に対するフィードバックの方法

毎回授業終了前、10分間に10問のチェックテストを実施する。解答・解説は、授業終了時に配付する(配布できない場合はweb上(「Teams」または「moodle」等)にPDFファイルで掲載する)。答案は、採点の後、原則として、次回の授業時に返却する(または正誤がわかるようにする)。定期試験のマーク式解答については、試験終了後web上(「Teams」または「moodle」等)にPDFファイルで掲載する。

履修のポイント

社会保障・社会福祉関連の資料をハンドアウトとして多数配布するので、整理しておくこと。この講座は、4年生配当の「医療関係法規」「医療保健福祉行政論」と深い関連のある講座である。

オフィス・アワー

月・火・金曜日，11時～15時（授業時間以外），11号館３階研究室５

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R134

講義コード	10520001
講義名	医療関係法規
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松原 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座は、「健康支援と社会保障制度」の一分野として位置づけられる「関係法規」に関する講座である。医療に関する法規としては、すでにさまざまなものが存在しているが、毎年さらに多くの法規が誕生し、また改廃されている。授業では、医療従事者の関わるさまざまな医療、保健衛生、社会福祉などに関連する具体的な法規について学習し、さらに患者の人権や医療過誤等に関する現代的問題についても、学習していく予定である。なお、社会福祉制度の具体的内容に係ることがらについては、後期の「医療保健福祉行政論」の授業で取り扱う。
この講座での学修により、医療従事者が従わなくてはならない個々の法令の目的・趣旨を理解して、そうした法令を遵守して対象者に医療を提供することができるように、医療関係法令の内容を正確に理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

社会状況の変化や国際化・情報化が進展した社会環境においても柔軟に対応でき、また安全・安心を配慮した看護の実践が行えるように、法令や制度の趣旨・目的を適切に理解する能力を身につける。

到達目標

１．医療従事者として知っておくべき基本的ルールを理解する。
２．保健医療の各分野の制度について、基本原則を理解し、それに関する具体的なルールを理解する。
３．社会の変化に伴う医療関係法令の改正についても、理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	授業の進め方、看護師国家試験におけるこの教科目の位置づけについて説明した後、法規とその種類について、法学の基礎的知識を学習する。そして、衛生法規とは具体的に何を指	予習90分：教科書第1章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間

	すのか、それに基づく厚生行政はどのように実施されているかを学習する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第2回	医療を行う人に関する法規のうち、看護業務に関わりの深い医療従事者に関する法規について、その目的と主な規定内容について、学習する。具体的には、保健師助産師看護師法、医師法、看護師人材確保法等を学習する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	予習90分：教科書第2章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第3回	主に医療を行う場・環境に関して規定している医療法について、その目的、具体的内容を学習する。特に、医療の目的、医療者の責務、医療機関、医療計画等、重要なことがらを中心に学習する。また、医療に関して規定しているその他の法規(臓器移植法、他）についても学習する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	予習90分：教科書第3章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第4回	薬務法規と薬剤等を扱う人に関する法を学習する。医薬品等に関する一般法である医薬品、医療機器等法について学習し、さらに薬剤を主に扱う医療専門職に関する薬剤師法を学習する。また、さらに取り扱いに注意すべき薬剤・毒物等に関する法令を取り上げ、医療従事者の役割と規制内容について学習する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	予習90分：教科書第5章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第5回	保健に関する全般的な行政施策・担当組織等を規定している地域保健法と健康増進法について、その目的・主な内容等を学習した後、個別分野の保健方針・行政施策等を規定している各種保健法のうち、精神保健福祉法について学習する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	予習90分：教科書第4章p.118〜p.132を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第6回	保健に関して個別分野ごとに保健方針・行政施策等を規定している各種保健法のうち、母子保健法・母体保護法、学校保健安全法について、その目的、主な行政施策の内容等を学習する。さらに具体的な保健対策法のうち、近年の大きな課題となっているがん対策基本法、自殺対策基本法等について、学習する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	予習90分：教科書第4章p.132〜p.143を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
	保健衛生に関する法の中でも、感染症に関する法について学習する。具体的には、感染症予防法・予防接種法・検疫法に	予習90分：教科書第4章p.144〜p.160を読む。 復習90分：チェッ

第7回	ついて、その目的・沿革・とりうる行政施策等について学習する。また、食品に関する法のうち、代表的な食品安全基本法と食品衛生法について、概観する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	クテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第8回	日常生活を取り巻く環境に関する法令について、特に水とゴミに関する法令を中心に学習する。さらに環境保全に関する法令について、環境基本法をはじめ、個別の公害防止法、さらには環境に関する主な条約についても学習する。授業終了前40分間で第1回から第8回までの学習内容についての中間テストを実施する。	予習90分：教科書第6章・第10章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第9回	労働者に関する法規である労働法のうち、働く人たちの健康を守る立場である医療従事者として知っておく必要のある法令の内容について学習する。労働基準法、労働安全衛生法に加えて、特に働く女性の保護を規定している男女雇用機会均等法、育児休業・介護休業法について学習する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	予習90分：教科書第9章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第10回	2年次の「社会保障論」の授業で学習した「医療保障」に係る社会保険法について、再度重要な部分を確認し、また補足説明をする。医療保険に関するいくつかの法規等を中心に学習する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	予習90分：教科書第7章p.189～p.197を読む。『社会保障・社会福祉』第3章A～Cを読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第11回	前回の授業で学習した「医療保障」に係る社会保険法について、引き続き、学習する。また、国民医療費等についても学習する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	予習90分：教科書第7章p.197～p.199を読む。『社会保障・社会福祉』第3章D～Gを読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
	2年次の「社会保障論」の授業で学習した「介護保障」に係	予習90分：教科書 教科書 第7章p.199～p.205を読む。『社会保障・社会福祉』 4　A B

第12回	る社会保険法について、再度重要な部分を確認し、また補足説明をする。介護保険に関する規定を中心に学習する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	第 章 ・ ①～⑤を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第13回	前回の授業で学習した「介護保障」に係る社会保険法について、引き続き、学習する。介護保険の中でも地域支援事業等、市町村が主体となるサービスに関する規定を中心に学習する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	予習90分：教科書第7章p.205～p.206を読む。『社会保障・社会福祉』第4章B⑤～⑧・Cを読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第14回	2年次の「社会保障論」の授業で学習した「所得保障」に係る社会保険法について、再度重要な部分を確認し、また補足説明をする。年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険、社会手当について学習する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	予習90分：教科書第7章p.209～p.210を読む。『社会保障・社会福祉』第5章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第15回	これまで学習したことがらについて、課題演習を行って、理解度を確認し、不足している部分について、補足説明をする。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	予習90分：チェックテストの解答・解説1～14を確認する。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。

教科書

森山幹夫『《系統看護学講座 専門基礎分野》健康支援と社会保障制度④ 看護関係法令』(医学書院)

参考書

福田素生・他著『≪系統看護学講座 専門基礎分野≫ 健康支援と社会保障制度③社会保障・社会福祉』（医学書院)
『医療六法〈令和５年版〉』（中央法規出版）
手嶋豊・他、編『別冊ジュリスト・医事法判例百選（第３版）』（有斐閣）

成績評価の方法・基準
平常点(学習態度・チェックテスト・中間テスト等)20%、定期テスト80%を総合して評価。総合点60点以上で単位認定する。
課題等に対する フィードバックの方法
毎回授業終了前、10分間に10問のチェックテストを実施する。また、8回目に中間テストを実施する。解答・解説は、授業終了時に配付する予定。(配布できない場合は「Teams」または「moodle」の「看護学科4年・医療関係法規」のフォルダーにPDFファイルで掲載する。)答案は、採点の後、原則として、次回の授業時に返却する(または正誤がわかるようにする)。定期試験のマーク式解答については、試験終了後「Teams」または「moodle」の「看護学科4年・医療関係法規」のフォルダーにPDFファイルで掲載する。
履修のポイント
医療行政に関する法令、社会保障・社会福祉関連のハンドアウトを多数配布するので、整理しておくこと。 この講座では、2年次の「社会保障論」で学習したことがらも扱う。また、後期開講の「医療保健福祉行政論」と深く関連する講座である。
オフィス・アワー
月・火・金曜日，11時〜15時（授業時間以外），11号館３階研究室５
科目区分
専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R173

講義コード	10530001
講義名	看護学概論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに、看護実践の理論とその基盤となる概念について、具体例を挙げながら解説する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし

授業の概要と教育目標

「看護とは何か」「専門職として看護職は何をするのか」「看護学とはどのような学問なのか」という、看護の本質と看護全般の概念をとらえ、看護の位置づけと役割の重要性を認識することで、看護職者になるものとしての姿勢・態度を学ぶ。また、これらの学習を通して看護学への関心を高めることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、科学的な根拠に基づいた知識・技術を修得し、安全・安心を配慮した看護の実践に応用できるよう、看護の基礎となる自己の考えや看護の対象について理解を深められることを目指すものとする。

到達目標

１．看護の歴史的発展を通して、看護概念の変遷を理解し、知識として修得することができる
２．看護職の目標・対象・役割と機能について学び、今後の学習に関連付けることができる
３．看護の対象である人間・健康のとらえ方について理解し、看護について考えることができる
４．フローレンス・ナイチンゲールの著書を通して、看護とは何かを考えることができる

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	【看護とはなにか】 ・科目ガイダンス ・看護とは ・看護学とは	ワークシートを配付し、看護を選んだ理由や看護に抱くイメージについて記述してもらう。ワークシートを後日提出する。	予習90分：教科書全体を概観する。復習90分：配布資料と教科書を見直す。
	【看護の歴史的変遷】 ・看護の起		予習90分：前回の授業で提示

第2回	源 ・職業としての看護の誕生からナイチンゲールまで		された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料と教科書を見直す。
第3回	【現代における看護】 ・近代アメリカにおける看護の発展と日本の看護の発展		予習90分：前回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料と教科書を見直す。
第4回	【看護の対象の理解①】 ・人間のさまざまなとらえ方	ワークシートを配布し、看護を必要としているのはどのような人々なのか、記述する。	予習90分：前回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料と教科書を見直す。
第5回	【看護の対象の理解②】 ・看護を必要としている人々	ワークシートを配布し、看護の対象である家族についてどのようにとらえるのか、記述する。	予習90分：前回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料と教科書を見直す。
第6回	【健康と病気】 ・健康のとらえ方の変遷と健康の指標	ワークシートを配付し、現在の健康状態について、健康と判断した理由、どのような状態を「健康」と考えるかについて記述してもらう。記述した内容をFoamsで提出する。	予習90分：前回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料と教科書を見直す。
第7回	【看護活動の場と看護実践】 ・保健医療システム ・保健医療福祉サービスの場 ・医療施設における看護 ・医療施設以外の看護の場と役割		予習90分：前回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料と教科書を見直す。
第8回	【看護理論概説】 ・看護理論に関連した用語の定義 ・主な看護理論 ・看護の諸定義	紹介された理論家の考え方にはどのような特徴があるか、ワークシートに記入し提出する。	予習90分：前回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料と教科書を見直す。
	【看護の概		予習90分：前回の授業で提示

第9回	念①】 ・看護の諸定義	紹介された理論家の考え方にはどのような特徴があるか、ワークシートに記入し提出する。	された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料と教科書を見直す。
第10回	【看護の概念②】 ・看護の諸定義	紹介された理論家の考え方にはどのような特徴があるか、ワークシートに記入し提出する。	予習90分：前回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料と教科書を見直す。
第11回	【Ｆ．ナイチンゲールの考え方①】 ①理論的背景 ②看護理論の特徴 ③対象の捉え方	Ｆ．ナイチンゲールの考え方にはどのような特徴があるか、ワークシートに記入し提出する。	予習90分：前回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料と教科書を見直す。
第12回	【Ｆ．ナイチンゲールの考え方②】 ①理論的背景 ②看護理論の特徴 ③対象の捉え方	Ｆ．ナイチンゲールの考え方にはどのような特徴があるか、ワークシートに記入し提出する。	予習90分：前回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料と教科書を見直す。
第13回	【Ｆ．ナイチンゲールの考え方③】 ・グループ学習	「看護覚え書」を精読し、各章ごとにグループ学習を行う。グループでまとめた用紙を期限までに提出する。	予習90分：「看護覚え書」を読む。復習90分：グループで話し合った内容について記録用紙にまとめる。
第14回	【Ｆ．ナイチンゲールの考え方④】 ・グループ発表	「看護覚え書」について各章ごとにグループ学習でまとめた内容を発表する。	予習90分：グループごとに発表に向けて準備する。復習90分：看護学概論で学んだことを教科書や配布資料で見直す。
第15回	【科目のまとめ】		予習90分：看護学概論で学んだことを教科書や配布資料で見直す。復習90分：看護学概論で学んだことを教科書や配布資料で見直す。

教科書

茂野香おる他著『系統看護学講座 専門分野 基礎看護学１ 看護学概論』医学書院
F.ナイチンゲール著、湯槇ます・薄井坦子・小玉香津子他訳『看護覚え書 改訂第８版』現代社
V.ヘンダーソン著、湯槇ます・小玉香津子訳『看護の基本となるもの』日本看護協会出版会

参考書

田中幸子編著、『看護学概論 看護追求へのアプローチ 第5版』医歯薬出版株式会社
その他、授業時に紹介します

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上とする 筆記試験70%、授業への参加度（ワークシート・グループ学習を含む）30%で評価する
課題等に対する フィードバックの方法
授業内でワークシートの記述等の課題を課すことがあります。また毎回、その日の授業の感想や学んだことなどについて提出を求めます。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します
オフィス・アワー
在室時、随時対応します。10号館2階 研究室7
科目区分
専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R210

講義コード	10530002
講義名	看護学概論（編入生）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに、看護実践の理論とその基盤となる概念について、具体例を挙げながら解説する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし

授業の概要と教育目標

「看護とは何か」「専門職として看護職は何をするのか」「看護学とはどのような学問なのか」という、看護の本質と看護全般の概念をとらえ、看護の位置づけと役割の重要性を認識することで、看護職者になるものとしての姿勢・態度を学ぶ。また、これらの学習を通して看護学への関心を高めることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、科学的な根拠に基づいた知識・技術を修得し、安全・安心を配慮した看護の実践に応用できるよう、看護の基礎となる自己の考えや看護の対象について理解を深められることを目指すものとする。

到達目標

１．看護の歴史的発展を通して、看護概念の変遷を理解し、知識として修得することができる
２．看護職の目標・対象・役割と機能について学び、今後の学習に関連付けることができる
３．看護の対象である人間・健康のとらえ方について理解し、看護について考えることができる
４．フローレンス・ナイチンゲールの著書を通して、看護とは何かを考えることができる

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	【看護とはなにか】 ・科目ガイダンス ・看護とは ・看護学とは	ワークシートを配付し、看護を選んだ理由や看護に抱くイメージについて記述してもらう。ワークシートを後日提出する。	予習90分：教科書全体を概観する。復習90分：配布資料と教科書を見直す。
	【看護の歴史的変遷】 ・看護の起		予習90分：前回の授業で提示

第2回	源 ・職業としての看護の誕生からナイチンゲールまで		された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料と教科書を見直す。
第3回	【現代における看護】 ・近代アメリカにおける看護の発展と日本の看護の発展		予習90分：前回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料と教科書を見直す。
第4回	【看護の対象の理解①】 ・人間のさまざまなとらえ方	ワークシートを配布し、看護を必要としているのはどのような人々なのか、記述する。	予習90分：前回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料と教科書を見直す。
第5回	【看護の対象の理解②】 ・看護を必要としている人々	ワークシートを配布し、看護の対象である家族についてどのようにとらえるのか、記述する。	予習90分：前回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料と教科書を見直す。
第6回	【健康と病気】 ・健康のとらえ方の変遷と健康の指標	ワークシートを配付し、現在の健康状態について、健康と判断した理由、どのような状態を「健康」と考えるかについて記述してもらう。記述した内容をFoamsで提出する。	予習90分：前回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料と教科書を見直す。
第7回	【看護活動の場と看護実践】 ・保健医療システム ・保健医療福祉サービスの場 ・医療施設における看護 ・医療施設以外の看護の場と役割		予習90分：前回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料と教科書を見直す。
第8回	【看護理論概説】 ・看護理論に関連した用語の定義 ・主な看護理論 ・看護の諸定義	紹介された理論家の考え方にはどのような特徴があるか、ワークシートに記入し提出する。	予習90分：前回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料と教科書を見直す。
	【看護の概		予習90分：前回の授業で提示

第9回	念①】 ・看護の諸定義	紹介された理論家の考え方にはどのような特徴があるか、ワークシートに記入し提出する。	された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料と教科書を見直す。
第10回	【看護の概念②】 ・看護の諸定義	紹介された理論家の考え方にはどのような特徴があるか、ワークシートに記入し提出する。	予習90分：前回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料と教科書を見直す。
第11回	【Ｆ．ナイチンゲールの考え方①】 ①理論的背景 ②看護理論の特徴 ③対象の捉え方	Ｆ．ナイチンゲールの考え方にはどのような特徴があるか、ワークシートに記入し提出する。	予習90分：前回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料と教科書を見直す。
第12回	【Ｆ．ナイチンゲールの考え方②】 ①理論的背景 ②看護理論の特徴 ③対象の捉え方	Ｆ．ナイチンゲールの考え方にはどのような特徴があるか、ワークシートに記入し提出する。	予習90分：前回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料と教科書を見直す。
第13回	【Ｆ．ナイチンゲールの考え方③】 ・グループ学習	「看護覚え書」を精読し、各章ごとにグループ学習を行う。グループでまとめた用紙を期限までに提出する。	予習90分：「看護覚え書」を読む。復習90分：グループで話し合った内容について記録用紙にまとめる。
第14回	【Ｆ．ナイチンゲールの考え方④】 ・グループ発表	「看護覚え書」について各章ごとにグループ学習でまとめた内容を発表する。	予習90分：グループごとに発表に向けて準備する。復習90分：看護学概論で学んだことを教科書や配布資料で見直す。
第15回	【科目のまとめ】		予習90分：看護学概論で学んだことを教科書や配布資料で見直す。復習90分：看護学概論で学んだことを教科書や配布資料で見直す。

教科書

茂野香おる他著『系統看護学講座 専門分野 基礎看護学１ 看護学概論』医学書院
F.ナイチンゲール著、湯槇ます・薄井坦子・小玉香津子他訳『看護覚え書 改訂第８版』現代社
V.ヘンダーソン著、湯槇ます・小玉香津子訳『看護の基本となるもの』日本看護協会出版会

参考書

田中幸子編著、『看護学概論 看護追求へのアプローチ 第5版』医歯薬出版株式会社
その他、授業時に紹介します

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上とする 筆記試験70%、授業への参加度（ワークシート・グループ学習を含む）30%で評価する
課題等に対する フィードバックの方法
授業内でワークシートの記述等の課題を課すことがあります。また毎回、その日の授業の感想や学んだことなどについて提出を求めます。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します
オフィス・アワー
在室時、随時対応します。10号館2階 研究室7
科目区分
専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R210

講義コード	10540001
講義名	看護倫理学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての実務経験をもとに、看護倫理の基礎的理解が図れるよう解説する
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし

授業の概要と教育目標

看護倫理の歴史的発展、今日の医療における看護職者の立場から担っていくべき倫理的責任、看護倫理アプローチとしての「原則の倫理」と「徳の倫理」の側面からの検討を通して、看護専門職組織の社会的役割および日本の文化における倫理的問題解決について探求し、看護職者としての倫理観を養い看護倫理の基礎的理解を目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、医療者の倫理および看護職者の倫理について遵守すべき項目を挙げることができるよう、看護倫理に関する基礎的知識を身につけることを目指すものとする。

到達目標

１．倫理とはなにか、看護倫理とはなにかを理解し、自分の言葉で説明できる
２．倫理に関わる用語とその意味を理解し、説明できる
３．倫理的課題に気づき、そのことに対して判断・行動するために考える姿勢がもてる
４．日々の生活において、倫理的課題に対して根拠をもって行動する姿勢が高められる

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	科目ガイダンス 看護倫理とは		予習90分：科目のシラバスを確認し、教科書全体に目を通す。復習90分：配布資料の見直し、授業内容を振り返る。
第2回	徳の倫理		予習90分：教科書の該当ページを読む。復習90分：配布資料の見直し、授業内容を振り返る。
	看護の倫理原則		

第3回	専門職の倫理 看護職の倫理綱領	看護職の倫理綱領について事例をもとに理解を深める。	予習90分：教科書の該当ページを読む。 復習90分：配布資料の見直し、授業内容を振り返る。
第4回	看護の倫理原則 専門職の倫理 看護職の倫理綱領	看護職の倫理綱領について事例をもとに理解を深める。	予習90分：教科書の該当ページを読む。 復習90分：配布資料の見直し、授業内容を振り返る。
第5回	看護学生における倫理	基礎看護学実習に向けて、看護学生における倫理についてグループで検討する。	予習90分：教科書の該当ページを読む。 復習90分：配布資料の見直し、授業内容を振り返る。
第6回	看護研究の倫理		予習90分：教科書の該当ページを読む。 復習90分：配布資料の見直し、授業内容を振り返る。
第7回	倫理的問題へのアプローチ		予習90分：教科書の該当ページを読む。 復習90分：配布資料の見直し、授業内容を振り返る。
第8回	看護倫理とはなにか 授業のまとめ		予習90分：教科書の該当ページを読む。 復習90分：配布資料の見直し、授業内容を振り返る。

教科書

宮坂道夫著 『系統看護学講座 別巻 看護倫理』 医学書院

参考書

小西恵美子編集 『看護学テキストNICE 看護倫理 改訂第3版 よい看護・よい看護師への道しるべ』
南江堂
その他、授業時に紹介します

成績評価の方法・基準

単位認定 60点以上
毎回の授業時に課すワークシート 20%、最終課題 80%で評価します

課題等に対するフィードバックの方法

授業時間内に課されるワークシート（出席カードを兼ねる）等は適時返却しますので、学習の振り返りに活用してください

履修のポイント

倫理的な視点をもつことは、看護の質を高めるだけでなく、日々の生活の中にも生かされると思います。普段から、自分の行動の指針となるものは何かと問いかける習慣がつくよう、取り組んで欲しいと思います。

オフィス・アワー

在室時、随時対応します。 10号館2階 研究室7

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R332

講義コード	10550001
講義名	看護技術学概論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに、看護技術の概念や看護技術の構成要素を具体例を挙げながら解説する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし
教員	長谷川 真美	指定なし

授業の概要と教育目標

看護技術の概念、看護技術を構成する要素は何か、その対象を学習し、看護技術の修得が、より効果的な看護を展開するためにいかに重要であるかを理解することが必要である。本科目は、看護技術の提供に共通する、安全・安楽の技術、対象を自立に向けて支援する技術など看護技術学の特徴をオムニバス方式で学習することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、科学的な根拠に基づいた知識・技術を習得し、安全・安心に配慮した看護の実践ができるよう、看護の基礎技術を学ぶための共通概念について理解することを目指すものとする。

到達目標

１．看護技術とはなにか、構成要素・対象・用語について説明する
２．看護技術における安楽の意義、安楽確保の技術について説明する
３．看護技術における安全の意義、安全管理の技術について説明する
４．看護技術における自立に向けた学習支援の意義、学習支援技術について説明する
５．看護場面に必要なコミュニケーション技術について説明する
５．看護過程の基本について説明する

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	三木園生	看護技術学概説	看護について自分の体験を振り返る。講義の内容を踏まえ、自身の体験と結び付けて考える。	予習90分：教科書I序章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
	三			

第2回	木園生	安全管理の技術②	感染予防の技術、日常的手洗いの解説を聞き、自身の体験と結び付けて考える。	予習90分：教科書I第2章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第3回	三木園生	安全管理の技術①	安全の意義、療養環境における危険防止策を想起する。	予習90分：教科書I第3章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第4回	三木園生	安楽確保の技術①	安楽とはどのようなことか自分の体験を振り返る。その内容を踏まえて、講義を受け、自身の体験と結び付けて考える。	予習90分：教科書II第5章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第5回	三木園生	安楽確保の技術②	自分の身体の動きを考える。基本的活動の基礎知識に関する講義を受け、自身の体験と結び付けて考える。	予習90分：教科書II第4章「A基本的活動の援助」を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第6回	長谷川真美	自立に向けた学習支援	自立して生活するとはとはどのような状態か自分の体験を振り返る。その内容を踏まえて、講義を受け、自身の体験と結び付けて考える。	予習90分：教科書I第6章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第7回	長谷川真美	コミュニケーション	日常的なコミュニケーションと看護場面におけるそれとの違いは何か、自身の体験と結びつけて考える。	予習90分：教科書I第1章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第8回	三木園生	看護過程展開の技術・問題解決過程・クリティカルシンキング・倫理的配慮・リフレクション	日常における問題解決過程やクリティカルシンキングについて、自身の体験と結び付けて考える。	予習90分：教科書I第5章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。

教科書

系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 ［2］ 基礎看護技術I
系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 ［3］ 基礎看護技術II

参考書

医療情報科学研究所編『看護がみえる vol.1 基礎看護技術』メディックメディア
医療情報科学研究所編『看護がみえる vol.2 臨床看護技術』メディックメディア

成績評価の方法・基準

筆記試験で評価する。総合得点が60点以上で単位認定とする

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内で課題を課すことがあります。返却しますので学習の振り返りに活用してください。

履修のポイント
主体的に学習することを望みます。
オフィス・アワー
在室中であればいつでも対応します。 三木：10号館2階 研究室7 長谷川：10号館2階 研究室8
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R211

講義コード	10560001
講義名	看護技術学I（Aクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに、日常生活行動の基本的な支援技術を習得できるよう関わる。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし
教員	本島 茉那美	指定なし
教員	長谷川 真美	指定なし
教員	柿谷 絵理	指定なし
教 員	櫻井 通恵	指定なし

授業の概要と教育目標

様々な健康レベルや環境下で生活している人々の生活環境を整え、自然治癒力を高めるための支援技術を学習する。その支援技術は、環境を調整する、清潔を保持する、安楽な体位を保持する、栄養状態を保つ、排泄の支援と調整、衣類の選択と更衣など、対象の生活に必要な支援技術である。その技術は対象の生活機能を維持・促進し自立に向けて支援するための技術で、科学的根拠をもとに学習する。本科目において、日常生活行動の基本的な支援技術を習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、科学的な根拠に基づいた知識・技術を修得し、安全・安心を配慮した看護の実践に応用できるよう、その基本を身につけることを目指すものとする。

到達目標

１．自力で日常生活行動が行えない患者に、安全・安楽な日常生活行動の援助を提供するための技術を行う方法を根拠とともに説明する
２．自力で日常生活行動が行えない患者に、自立に向けた教育的支援を考慮した日常生活行動の援助を提供するための技術を行う方法を説明する
３．自力で日常生活行動が行えない患者に、個別性を考慮した日常生活行動の援助を提供するための技術を行う方法を説明する
４．決められた手順に則って日常生活行動の援助技術を実施する
５．日常生活行動の援助の技術修得に向けた自己の課題を明らかにする

授業計画

	担	授業内容		

	当者	と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	三木園生	【科目ガイダンス】【環境調整技術】・入院患者を取り巻く生活環境・病床環境の整調に必要な基礎知識・環境調整における看護の役割と看護技術	自身の環境について考える。 講義を受け、日常生活における環境と病床環境の違いはどのようなことか考える。	予習90分：教科書II第1章・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第2回	三木園生	【環境調整技術】・同上【実習室の使方について】	環境を整える技術についてグループで話し合い、演習に向けて準備する。	同上
	三木園生本			

第3回	島茉那美長谷川真美柿谷絵理櫻井通恵	【環境調整技術】・ベッドメーキング	・演習 ①グループで話合った方法でベッドメーキングをする。 ②教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 ③グループごとに援助を実施する。 ④実施後に振り返りを行う。	予習90分：教科書I第1章・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの概要箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第4回	三木園生本島茉那美長谷川真美柿谷絵理櫻井通恵	【環境調整技術】・同上	同上	同上
第5回	三木園生	【感染防止の技術】・感染予防とは・感染予防の意義・重要性・ス	自身の感染予防の状況を想起する。 講義を受け、日常生活における感染対策と看護場面における感染対策との相違点を考える。	予習90分：教科書I第2章・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。

		ンタダードリプコーション		
第6回	三木園生	【感染防止の技術】・同上	感染予防の技術についてグループで話し合い、演習に向けて準備する。	同上
第7回	三木園生本島茉那美長谷川真美柿谷絵理櫻井通恵	【感染防止の技術】・日常的手洗い・感染防護具の着脱・無菌操作	・演習 ①グループで準備したことを踏まえ、教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法をと重要点を確認する。 ②グループに分かれて援助を実施する。③実施後に振り返りを行う。	予習90分：教科書I第2章・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの概要箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第8回	三木園生本島茉那美長谷川真美柿谷絵理櫻井	【感染防止の技術】・同上	同上	同上

	通恵			
第9回	三木園生	【バイタルサインの観察】・バイタルサインとは？・バイタルサインの観察方法・記録、報告	自身の生命の兆候を想起する。講義を受け、看護場面におけるバイタルサインの必要性を考える。	予習90分：教科書I第4章・参考書③の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第10回	三木園生	【バイタルサインの観察】・同上	バイタルサインの測定についてグループで話し合い、演習に向けて準備する。	同上
第11回	三木園生本島茉那美長谷川真美柿谷絵理櫻井通恵	【バイタルサインの観察】・バイタルサインの測定、記録、報告	・演習 ①グループで準備したことを踏まえ、教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 ②グループに分かれて援助を実施する。③実施後に振り返りを行う。	予習90分：教科書I第4章・参考書③の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの概要箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
	三			

第12回	木園生本島茉那美長谷川真美長谷川真美櫻井通恵	【バタサン観察】・同上	同上	同上
第13回	三木園生	【活動・休息援助技術】・基本的活動の援助・睡眠・休息の援助	自身の運動と休息の体験を想起する。講義を受け、看護場面における活動と休息の意義について考える。	予習90分：教科書II第4章・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第14回	三木園生	【活動・休息援助技術】・同上	基本的活動の援助についてグループで話し合い、演習に向けて準備する。基本的活動の援助が、対象者の身体にどのような影響を及ぼすか、また、これらの援助を安全・安楽に実施できたかどうかをどのような方法で判断するか考える。	同上
	三木園生本島茉那	【活動・休息援助技	・演習 ①グループで話し合った	予習90分：教科書II第4章・参考書①の該当

第15回	美長谷川真美柿谷絵理櫻井通恵	術】・基本的動作の援助（体位変換、移動）	内容を踏まえ、教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。②グループに分かれて援助を実施する。③実施後に振り返りを行う。	部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの概要箇所を視聴する。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第16回	三木園生本島茉那美長谷川真美柿谷絵理櫻井通恵	【活動・休息援助技術】・同上	同上	同上
第17回	三木園生	【清潔・衣生活援助技術】・病床での衣生活の援助	自身の衣生活の状況を想起する。講義を受け、看護場面における衣生活の意義について考える。	予習90分：教科書II第6章B・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの概要箇所を視聴する。衣生活の援助技術についてグループで話し合い、演習に向けて準備する。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
	三木園生本島茉那	【清潔・	・演習 ①教員によるデモンスト	

第18回	美長谷川真美柿谷絵理櫻井通恵	衣生活援助技術】・寝交換	レーションに注目し、実施方法をと重要点を確認する。 ②グループに分かれて援助を実施する。 ③実施後に振り返りを行う。	同上
第19回	柿谷絵理	【清潔・衣生活援助技術】・皮膚の清潔、粘膜の清潔・清潔の義と援助方法	自身の清潔に対する体験を想起する。講義を受け、看護場面における清潔の意義について考える。	予習90分：教科書II第6章A・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第20回	柿谷絵理	【清潔・衣生活援助技術】・同上	清潔の援助についてグループで話し合い、演習に向けて準備する。 清潔の援助が、対象者の身体にどのような影響を及ぼすか、また、これらの援助を安全・安楽に実施できたかどうかをどのような方法で判断するか考える。	同上
第21回	三木園生本島茉那美長谷川真	【清潔・衣生活援助技術】・清の助援	・演習 ①グループで話し合った内容を踏まえ、教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 ②グループに分かれて援	予習90分：教科書II第6章A・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの概要箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポー

	美柿谷絵理櫻井通恵	の実際（全身清拭）	助を実施する。③実施後に振り返りを行う。	トで振り返る。
第22回	三木園生本島茉那美長谷川真美柿谷絵理櫻井通恵	【清潔・衣生活援助技術】・同上	同上	同上
第23回	三木園生	【食事援助技術】・食事の意義・食生活の基本的援助	自身の食生活の体験を想起する。講義を受け、看護場面における食事の意義について考える。	予習90分：教科書II第2章・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの概要箇所を視聴する。食事援助技術についてグループで話し合い、演習に向けて準備する。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第24回	三木園生本島茉那美長谷川真	【食事援助技術】・食摂事	・演習 ①教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法をと重要点を確認する。 ②グループに分かれて援助を実施する。	同上

	美柿谷絵理櫻井通恵	取の介助	③実施後に振り返りを行う。	
第25回	本島茉那美	【排泄援助技術】・人間にとっての排泄の意義・排泄のメカニズム・基本的援助	自身の排泄の状況を想起する。講義を受け、看護場面における排泄の意義について考える。	予習90分：教科書II第3章・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第26回	本島茉那美	【排泄援助技術】・同上	自然排尿および自然排便の介助の実際についてグループで話し合い、演習に向けて準備する。 自然排尿および自然排便の介助が、対象者の身体にどのような影響を及ぼすか、また、これらの援助を安全・安楽に実施できたかどうかをどのような方法で判断するか考える。	同上
第27回	三木園生本島茉那美長谷川真美柿谷	【排泄援助技術】・自然排尿および自然排便の介	・演習 ①教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法をと重要点を確認する。 ②グループに分かれて援助を実施する。 ③実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第3章・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの概要箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。

	絵理櫻井通恵	助		
第28回	三木園生本島茉那美長谷川真美柿谷絵理櫻井通恵	【排泄援助技術】・陰部洗浄	同上	同上
第29回	三木園生本島茉那美長谷川真美柿谷絵理櫻井通恵	【実技試験】	技術テスト	空き時間を使用して実習室で技術の練習を十分に行い、試験に臨む。
	三木園生本島			

第30回	茉那美長谷川真美柿谷絵理櫻井通恵	【実技試験】	技術テスト	空き時間を使用して実習室で技術の練習を十分に行い、試験に臨む。

教科書

系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 [2] 基礎看護技術I 医学書院
系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 [3] 基礎看護技術II 医学書院

参考書

看護がみえる vol.1 基礎看護技術 医療情報科学研究所編集 メディックメディア
看護がみえる vol.2 臨床看護技術 医療情報科学研究所編集 メディックメディア
看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント 医療情報科学研究所編集 メディックメディア

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。筆記試験60%、実技試験30%、課題レポート10%を総合して評価する

課題等に対する
フィードバックの方法

日常生活行動の援助の項目ごとに演習があり、毎回、課題レポートを課します。返却しますので学習の振り返りと技術の習得に活用してください

履修のポイント

主体的・積極的な学習への取り組みがのぞまれる

オフィス・アワー

在室時、随時対応します。
三木：10号館2階 研究室7
長谷川：10号館2階 研究室8
本島：10号館2階 研究室4
櫻井：
柿谷：

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R212

講義コード	10560002
講義名	看護技術学I（Bクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに、日常生活行動の基本的な支援技術を習得できるよう関わる。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし
教員	本島 茉那美	指定なし
教員	長谷川 真美	指定なし
教員	柿谷 絵理	指定なし
教 員	櫻井 通恵	指定なし

授業の概要と教育目標

様々な健康レベルや環境下で生活している人々の生活環境を整え、自然治癒力を高めるための支援技術を学習する。その支援技術は、環境を調整する、清潔を保持する、安楽な体位を保持する、栄養状態を保つ、排泄の支援と調整、衣類の選択と更衣など、対象の生活に必要な支援技術である。その技術は対象の生活機能を維持・促進し自立に向けて支援するための技術で、科学的根拠をもとに学習する。本科目において、日常生活行動の基本的な支援技術を習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、科学的な根拠に基づいた知識・技術を修得し、安全・安心を配慮した看護の実践に応用できるよう、その基本を身につけることを目指すものとする。

到達目標

１．自力で日常生活行動が行えない患者に、安全・安楽な日常生活行動の援助を提供するための技術を行う方法を根拠とともに説明する
２．自力で日常生活行動が行えない患者に、自立に向けた教育的支援を考慮した日常生活行動の援助を提供するための技術を行う方法を説明する
３．自力で日常生活行動が行えない患者に、個別性を考慮した日常生活行動の援助を提供するための技術を行う方法を説明する
４．決められた手順に則って日常生活行動の援助技術を実施する
５．日常生活行動の援助の技術修得に向けた自己の課題を明らかにする

授業計画

	担	授業内容		

	当者	と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	三木園生	【科目ガイダンス】【環境調整技術】・入院患者を取り巻く生活環境・病床環境の整調に必要な基礎知識・環境調整における看護の役割と看護技術	自身の環境について考える。 講義を受け、日常生活における環境と病床環境の違いはどのようなことか考える。	予習90分：教科書II第1章・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第2回	三木園生	【環境調整技術】・同上【実習室の使方について】	環境を整える技術についてグループで話し合い、演習に向けて準備する。	同上
	三木園生本			

第3回	島茉那美長谷川真美柿谷絵理櫻井通恵	【環境調整技術】・ベッドメーキング	・演習 ①グループで話合った方法でベッドメーキングをする。 ②教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 ③グループごとに援助を実施する。 ④実施後に振り返りを行う。	予習90分：教科書I第1章・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの概要箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第4回	三木園生本島茉那美長谷川真美柿谷絵理櫻井通恵	【環境調整技術】・同上	同上	同上
第5回	三木園生	【感染防止の技術】・感染予防とは・感染予防の意義・重要性・ス	自身の感染予防の状況を想起する。 講義を受け、日常生活における感染対策と看護場面における感染対策との相違点を考える。	予習90分：教科書I第2章・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。

		ンープローションタダドリコシン		
第6回	三木園生	【感染防止の技術】・同上	感染予防の技術についてグループで話し合い、演習に向けて準備する。	同上
第7回	三木園生本島茉那美長谷川真美柿谷絵理櫻井通恵	【感染防止の技術】・日常的手洗い・感染防具着脱・無菌操作	・演習 ①グループで準備したことを踏まえ、教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法をと重要点を確認する。 ②グループに分かれて援助を実施する。③実施後に振り返りを行う。	予習90分：教科書I第2章・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの概要箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第8回	三木園生本島茉那美長谷川真美柿谷絵理櫻井	【感染防止の技術】・同上	同上	同上

	通恵			
第9回	三木園生	【バイタルサインの観察】・バイタルサインとは？・バイタルサインの観察方法・記録、報告	自身の生命の兆候を想起する。講義を受け、看護場面におけるバイタルサインの必要性を考える。	予習90分：教科書I第4章・参考書③の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第10回	三木園生	【バイタルサインの観察】・同上	バイタルサインの測定についてグループで話し合い、演習に向けて準備する。	同上
第11回	三木園生本島茉那美長谷川真美柿谷絵理櫻井通恵	【バイタルサインの観察】・バイタルサインの測定、記録、報告	・演習 ①グループで準備したことを踏まえ、教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 ②グループに分かれて援助を実施する。③実施後に振り返りを行う。	予習90分：教科書I第4章・参考書③の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの概要箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
	三			

第12回	木園生本島茉那美長谷川真美柿谷絵理櫻井通恵	【バタサインイルの観察】・同上	同上	同上
第13回	三木園生	【活動・休息援助技術】・基本的活動の援助　・睡眠・休息の援助	自身の運動と休息の体験を想起する。講義を受け、看護場面における活動と休息の意義について考える。	予習90分：教科書II第4章・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第14回	三木園生	【活動・休息援助技術】・同上	基本的活動の援助についてグループで話し合い、演習に向けて準備する。基本的活動の援助が、対象者の身体にどのような影響を及ぼすか、また、これらの援助を安全・安楽に実施できたかどうかをどのような方法で判断するか考える。	同上
	三木園生本島茉那美	【活動・休息援助技術】	・演習 ①グループで話し合った内容を踏まえ、教員によ	予習90分：教科書II第4章・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組

第15回	長谷川真美柿谷絵理櫻井通恵	・基本的活動の援助（体位変換、移動）	るデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。②グループに分かれて援助を実施する。③実施後に振り返りを行う。	む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの概要箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第16回	三木園生本島茉那美長谷川真美柿谷絵理櫻井通恵	【活動・休息援助技術】・同上	同上	同上
第17回	三木園生	【清潔・衣生活援助技術】・病床での衣生活の援助	自身の衣生活の状況を想起する。講義を受け、看護場面における衣生活の意義について考える。	予習90分：教科書Ⅱ第6章B・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの概要箇所を視聴する。衣生活の援助技術についてグループで話し合い、演習に向けて準備する。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
	三木園生本島茉那美	【清潔・衣生	・演習 ①教員によるデモンストレーションに注目し、実	

第18回	長谷川真美柿谷絵理櫻井通恵	活援助技術】・寝交換	施方法をと重要点を確認する。 ②グループに分かれて援助を実施する。 ③実施後に振り返りを行う。	同上
第19回	柿谷絵理	【清潔・衣生活援助技術】・皮膚の清潔、粘膜の清潔・清潔の意義と援助方法	自身の清潔に対する体験を想起する。講義を受け、看護場面における清潔の意義について考える。	予習90分：教科書II第6章A・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第20回	柿谷絵理	【清潔・衣生活援助技術】・同上	清潔の援助についてグループで話し合い、演習に向けて準備する。 清潔の援助が、対象者の身体にどのような影響を及ぼすか、また、これらの援助を安全・安楽に実施できたかどうかをどのような方法で判断するか考える。	同上
第21回	三木園生本島茉那美長谷川真美	【清潔・衣生活援助技術】・清潔援助の実	・演習 ①グループで話し合った内容を踏まえ、教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 ②グループに分かれて援助を実施する。③実施後	予習90分：教科書II第6章A・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの概要箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。

	柿谷絵理櫻井通恵	際（全身清拭）	に振り返りを行う。	
第22回	三木園生本島茉那美長谷川真美柿谷絵理櫻井通恵	【清潔・衣生活援助技術】・同上	同上	同上
第23回	三木園生	【食事援助技術】・食事の意義・食生活の基本的援助	自身の食生活の体験を想起する。講義を受け、看護場面における食事の意義について考える。	予習90分：教科書II第2章・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの概要箇所を視聴する。食事援助技術についてグループで話し合い、演習に向けて準備する。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第24回	三木園生本島茉那美長谷川真美	【食事援助技術】・食摂取の	・演習 ①教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法をと重要点を確認する。 ②グループに分かれて援助を実施する。 ③実施後に振り返りを行	同上

	柿谷絵理櫻井通恵	介助	う。	
第25回	本島茉那美	【排泄援助技術】・人間にとっての排泄の意義・排泄のカズム・基本的援助	自身の排泄の状況を想起する。講義を受け、看護場面における排泄の意義について考える。	予習90分：教科書II第3章・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第26回	本島茉那美	【排泄援助技術】・同上	自然排尿および自然排便の介助の実際についてグループで話し合い、演習に向けて準備する。 自然排尿および自然排便の介助が、対象者の身体にどのような影響を及ぼすか、また、これらの援助を安全・安楽に実施できたかどうかをどのような方法で判断するか考える。	同上
第27回	三木園生本島茉那美長谷川真美柿谷絵	【排泄援助技術】・自然排尿および自然排便の介助	・演習 ①教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法をと重要点を確認する。 ②グループに分かれて援助を実施する。 ③実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第3章・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの概要箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。

	理櫻井通恵			
第28回	三木園生本島茉那美長谷川真美柿谷絵理櫻井通恵	【排泄援助技術】・陰部洗浄	同上	同上
第29回	三木園生本島茉那美長谷川真美柿谷絵理櫻井通恵	【実技試験】	技術テスト	空き時間を使用して実習室で技術の練習を十分に行い、試験に臨む。
	三木園生本島茉			

第30回	那美長谷川真美柿谷絵理櫻井通恵	【実技試験】	技術テスト	空き時間を使用して実習室で技術の練習を十分に行い、試験に臨む。

教科書

系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 ［2］ 基礎看護技術I 医学書院
系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 ［3］ 基礎看護技術II 医学書院

参考書

看護がみえる vol.1 基礎看護技術 医療情報科学研究所編集 メディックメディア
看護がみえる vol.2 臨床看護技術 医療情報科学研究所編集 メディックメディア
看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント 医療情報科学研究所編集 メディックメディア

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。筆記試験60%、実技試験30%、課題レポート10%を総合して評価する

課題等に対する
フィードバックの方法

日常生活行動の援助の項目ごとに演習があり、毎回、課題レポートを課します。返却しますので学習の振り返りと技術の習得に活用してください

履修のポイント

主体的・積極的な学習への取り組みがのぞまれる

オフィス・アワー

在室時、随時対応します。
三木：10号館2階 研究室7
長谷川：10号館2階 研究室8
本島：10号館2階 研究室4
櫻井：
柿谷：

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R212

講義コード	10570001
講義名	看護技術学II（Aクラス）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに、対象者の健康状態を実際にアセスメントできる基本的技術と看護者としての基本的態度を修得できるよう関わる。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 櫻井 通恵	指定なし
教員	三木 園生	指定なし
教員	本島 茉那美	指定なし
教員	長谷川 真美	指定なし
教員	柿谷 絵理	指定なし

授業の概要と教育目標

看護におけるヘルスアセスメントの目的・意義を理解し、対象者の健康状態を身体的・心理的・社会的側面から統合的にアセスメントするための知識と基本的技術を学ぶ。特に身体的アセスメントについては、ヘルスアセスメントの中でも実践的な看護実践の基盤となる観察技術であるフィジカルイグザミネーション【問診】【視診】【打診】【触診】【聴診】を中心に正確な身体情報を把握する。さらにそのアセスメント技術を実施する看護者として望ましい基本的態度を修得する。なお本科目は、対象者の健康状態を実際にアセスメントできる基本的技術と看護者としての基本的態度を修得できるようにすることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシー〈科学的な根拠に基づいた知識・技術を習得し、安全・安心を配慮した看護ができる〉に関連し、看護におけるヘルスアセスメントの目的・意義を理解し、あらゆる健康レベルにある人々の身体構造と機能の系統的観察・測定技術の必要性と方法を学べるようにする。将来的な展望としては、対象者の健康状態を実際にアセスメントできるようにすることを目指すものとする。

到達目標

1. ヘルスアセスメントの意義および必要性を述べる。
2. 人間を身体的・心理・社会的存在としてとらえる必要性を述べる。
3. 身体的アセスメントの実践的方法としてのフィジカルイグザミネーションの基本的技術を学ぶ。
4. ヘルスアセスメント時の看護者としての基本的態度について考える。

授業計画

	担			

	当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	櫻井通恵	ヘルスアセスメントの概要[講義]	ヘルスアセスメントとは何か、ヘルスアセスメントにおけるフィジカルアセスメントの目的について解説する。	予習90分：教科書「ヘルスアセスメント」、看護がみえるvol.3「フィジカルアセスメント総論」を読む。 復習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。
第2回	櫻井通恵三木園生本島茉那美柿谷絵理	看護面接【問診】の進め方[講義]	看護面接【問診】の目的・ポイント、進め方を解説する。 各自、演習時に使用する問診用紙の作成を行う。	予習90分：教科書「健康歴とセルフケア能力のアセスメント」、看護がみえるvol.3「フィジカルアセスメント総論」を読む。 復習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。
第3回	櫻井通恵三木園生長谷川真美本島茉那美柿谷絵理	フィジカルアセスメント【バイタルサイン測定】[試験]	フィジカルアセスメントの基本であるバイタルサイン測定が確実に行えるように試験を行う。	予習90分：身の回りの人のバイタルサイン測定を実施する。教科書「バイタルサインの観察とアセスメント」、看護がみえるvol.3「バイタルサイン」を読む。 復習90分：身の回りの人のバイタルサイン測定を実施し技術を獲得する。
	櫻井通恵三木園生			予習90分：身の回りの人のバイタ

第4回	長谷川真美本島茉那美柿谷絵理	フィジカルアセスメント【バイタルサイン測定】[試験]	フィジカルアセスメントの基本であるバイタルサイン測定が確実に行えるように試験を行う。	ルサイン測定を実施する。教科書「バイタルサインの観察とアセスメント」、看護がみえるvol.3「バイタルサイン」を読む。 復習90分：身の回りの人のバイタルサイン測定を実施し技術を獲得する。
第5回	櫻井通恵三木園生本島茉那美柿谷絵理	看護面接【問診】[演習]	看護面接【問診】の実際を教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 第3回授業の内容および作成した問診用紙を使用し学生は実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める。	予習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの「総論・問診･視診のポイント」を視聴する。 復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料、ナーシングチャンネルを見直す。
第6回	櫻井通恵	系統別アセスメント：皮膚・頭頸部のフィジカルアセスメントの進め方[講義]	皮膚・頭頸部のフィジカルアセスメントの目的・ポイント、進め方を解説する。	予習90分：教科書「系統別：頭頸部、外皮系のフィジカルアセスメント」、看護がみえるvol.3「頭頸部のアセスメント」を読む。 復習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。
第7回	櫻井通恵	系統別アセスメント：呼吸器系のフィジカルアセスメントの進め方[講義]	呼吸器系のフィジカルアセスメントの目的・ポイント、進め方を解説する。	予習90分：教科書「系統別：呼吸器系のフィジカルアセスメント」、看護がみえるvol.3「呼吸器系のアセスメント」を読む。ナーシングチャンネルの「呼吸器のアセスメント その2」を視聴する。 復習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。
第8回	櫻井通恵三木園生本	系統別アセスメント：呼吸器系のフィジカルアセスメント【視	呼吸器系のフィジカルアセスメント【視診・触診・打診・聴診】の実際を教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認す	予習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。

	島茉那美柿谷絵理	診・触診・打診・聴診】[演習]	る。 第7回授業の内容を実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める。	復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。
第9回	櫻井通恵	系統別アセスメント：循環器系のフィジカルアセスメントの進め方[講義]	循環器系のフィジカルアセスメントの目的・ポイント、進め方を解説する。	予習90分：教科書「系統別：循環器系のフィジカルアセスメント」、看護がみえるvol.3「循環器系のアセスメント」を読む。ナーシングチャンネルの「循環器のアセスメント」を視聴する。 復習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。
第10回	櫻井通恵三木園生本島茉那美柿谷絵理	系統別アセスメント：循環器系のフィジカルアセスメント【視診・触診・聴診】[演習]	循環器系のフィジカルアセスメント【視診・触診・聴診】の実際を教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 第9回授業の内容を実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める。	予習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。
第11回	櫻井通恵	系統別アセスメント：腹部のフィジカルアセスメントの進め方[講義]	腹部のフィジカルアセスメントの目的・ポイント、進め方を解説する。	予習90分：教科書「系統別：腹部のフィジカルアセスメント」、看護がみえるvol.3「腹部のアセスメント」を読む。ナーシングチャンネルの「消化機能のアセスメント」を視聴する。 復習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。
第12回	櫻井通恵三木園生本島	系統別アセスメント：腹部のフィジカルアセスメント【視診・聴診・打	腹部のフィジカルアセスメント【視診・聴診・打診・触診】の実際を教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 第11回授業の内容を実際	予習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直

	茉那美柿谷絵理	診・触診】[演習]	に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める。	す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。
第13回	櫻井通恵	系統別アセスメント：筋・骨格系のフィジカルアセスメントの進め方[講義]	筋・骨格系のフィジカルアセスメントの目的・ポイント、進め方を解説する。	予習90分：教科書「系統別：筋・骨格系のフィジカルアセスメント」、看護がみえるvol.3「筋・骨格系のアセスメント」を読む。ナーシングチャンネルの「第１４巻 運動系〔１〕 骨格系」を視聴する。 復習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。
第14回	櫻井通恵	系統別アセスメント：脳・神経系のフィジカルアセスメントの進め方[講義]	脳・神経系のフィジカルアセスメントの目的・ポイント、進め方を解説する。	予習90分：教科書「系統別：神経系のフィジカルアセスメント」、看護がみえるvol.3「脳・神経系のアセスメント」を読む。ナーシングチャンネルの「感覚機能のアセスメント」「高次脳機能のアセスメント」を視聴する。 復習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。
第15回	櫻井通恵三木園生本島茉那美柿谷絵理	系統別アセスメント：筋・骨格系、脳・神経系のフィジカルアセスメント【視診・触診・測定】[演習]	筋・骨格系、脳・神経系のフィジカルアセスメント【視診・触診・測定】の実際を教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 第13回授業の内容を実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める。	予習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。

教科書

系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術I 基礎看護学[2] 茂野かおる 医学書院 2022.
看護がみえるvol.3フィジカルアセスメント 岡庭豊 メディックメディア 2015.

参考書

はじめてのフィジカルアセスメント第２版 横山美樹 メジカルフレンド社

成績評価の方法・基準

講義・演習参加状況・演習事後課題用紙20%、筆記試験80%を総合して評価する。

総合得点が60点以上で単位認定とする。
課題等に対する フィードバックの方法
系統別フィジカルアセスメント毎に講義後、演習を行います。演習用紙を使用し演習を実施。 演習後課題として用紙を完成させ提出します。返却しますので各自の学習に活用してください。
履修のポイント
演習前に系統別に人体の構造についての事前学習用のプリントを配布するので事前学習をし講義・演習に臨む。 講義・演習前に該当箇所のナーシングチャンネルを視聴する。 主体的・積極的に参加すること。記録類の提出は時間厳守すること。
オフィス・アワー
在室時随時対応します。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R230

講義コード	10570002
講義名	看護技術学II（Bクラス）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに、対象者の健康状態を実際にアセスメントできる基本的技術と看護者としての基本的態度を修得できるよう関わる。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 櫻井 通恵	指定なし
教員	三木 園生	指定なし
教員	本島 茉那美	指定なし
教員	長谷川 真美	指定なし
教員	柿谷 絵理	指定なし

授業の概要と教育目標

看護におけるヘルスアセスメントの目的・意義を理解し、対象者の健康状態を身体的・心理的・社会的側面から統合的にアセスメントするための知識と基本的技術を学ぶ。特に身体的アセスメントについては、ヘルスアセスメントの中でも実践的な看護実践の基盤となる観察技術であるフィジカルイグザミネーション【問診】【視診】【打診】【触診】【聴診】を中心に正確な身体情報を把握する。さらにそのアセスメント技術を実施する看護者として望ましい基本的態度を修得する。なお本科目は、対象者の健康状態を実際にアセスメントできる基本的技術と看護者としての基本的態度を修得できるようにすることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシー〈科学的な根拠に基づいた知識・技術を習得し、安全・安心を配慮した看護ができる〉に関連し、看護におけるヘルスアセスメントの目的・意義を理解し、あらゆる健康レベルにある人々の身体構造と機能の系統的観察・測定技術の必要性と方法を学べるようにする。将来的な展望としては、対象者の健康状態を実際にアセスメントできるようにすることを目指すものとする。

到達目標

1. ヘルスアセスメントの意義および必要性を述べる。
2. 人間を身体的・心理・社会的存在としてとらえる必要性を述べる。
3. 身体的アセスメントの実践的方法としてのフィジカルイグザミネーションの基本的技術を学ぶ。
4. ヘルスアセスメント時の看護者としての基本的態度について考える。

授業計画

	担			

	当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	櫻井通恵	ヘルスアセスメントの概要[講義]	ヘルスアセスメントとは何か、ヘルスアセスメントにおけるフィジカルアセスメントの目的について解説する。	予習90分：教科書「ヘルスアセスメント」、看護がみえるvol.3「フィジカルアセスメント総論」を読む。 復習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。
第2回	櫻井通恵三木園生本島茉那美柿谷絵理	看護面接【問診】の進め方[講義]	看護面接【問診】の目的・ポイント、進め方を解説する。 各自、演習時に使用する問診用紙の作成を行う。	予習90分：教科書「健康歴とセルフケア能力のアセスメント」、看護がみえるvol.3「フィジカルアセスメント総論」を読む。 復習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。
第3回	櫻井通恵三木園生長谷川真美本島茉那美柿谷絵理	フィジカルアセスメント【バイタルサイン測定】[試験]	フィジカルアセスメントの基本であるバイタルサイン測定が確実に行えるように試験を行う。	予習90分：身の回りの人のバイタルサイン測定を実施する。教科書「バイタルサインの観察とアセスメント」、看護がみえるvol.3「バイタルサイン」を読む。 復習90分：身の回りの人のバイタルサイン測定を実施し技術を獲得する。
	櫻井通恵三木園生			予習90分：身の回りの人のバイタ

第4回	長谷川真美本島茉那美柿谷絵理	フィジカルアセスメント【バイタルサイン測定】[試験]	フィジカルアセスメントの基本であるバイタルサイン測定が確実に行えるように試験を行う。	ルサイン測定を実施する。教科書「バイタルサインの観察とアセスメント」、看護がみえるvol.3「バイタルサイン」を読む。 復習90分：身の回りの人のバイタルサイン測定を実施し技術を獲得する。
第5回	櫻井通恵三木園生本島茉那美柿谷絵理	看護面接【問診】[演習]	看護面接【問診】の実際を教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 第3回授業の内容および作成した問診用紙を使用し学生は実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める。	予習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの「総論・問診･視診のポイント」を視聴する。 復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料、ナーシングチャンネルを見直す。
第6回	櫻井通恵	系統別アセスメント：皮膚・頭頸部のフィジカルアセスメントの進め方[講義]	皮膚・頭頸部のフィジカルアセスメントの目的・ポイント、進め方を解説する。	予習90分：教科書「系統別：頭頸部、外皮系のフィジカルアセスメント」、看護がみえるvol.3「頭頸部のアセスメント」を読む。 復習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。
第7回	櫻井通恵	系統別アセスメント：呼吸器系のフィジカルアセスメントの進め方[講義]	呼吸器系のフィジカルアセスメントの目的・ポイント、進め方を解説する。	予習90分：教科書「系統別：呼吸器系のフィジカルアセスメント」、看護がみえるvol.3「呼吸器系のアセスメント」を読む。ナーシングチャンネルの「呼吸器のアセスメント その2」を視聴する。 復習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。
第8回	櫻井通恵三木園生本	系統別アセスメント：呼吸器系のフィジカルアセスメント【視	呼吸器系のフィジカルアセスメント【視診・触診・打診・聴診】の実際を教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認す	予習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。

	島茉那美柿谷絵理	診・触診・打診・聴診】[演習]	る。 第7回授業の内容を実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める。	復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。
第9回	櫻井通恵	系統別アセスメント：循環器系のフィジカルアセスメントの進め方[講義]	循環器系のフィジカルアセスメントの目的・ポイント、進め方を解説する。	予習90分：教科書「系統別：循環器系のフィジカルアセスメント」、看護がみえるvol.3「循環器系のアセスメント」を読む。ナーシングチャンネルの「循環器のアセスメント」を視聴する。 復習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。
第10回	櫻井通恵三木園生本島茉那美柿谷絵理	系統別アセスメント：循環器系のフィジカルアセスメント【視診・触診・聴診】[演習]	循環器系のフィジカルアセスメント【視診・触診・聴診】の実際を教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 第9回授業の内容を実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める。	予習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。
第11回	櫻井通恵	系統別アセスメント：腹部のフィジカルアセスメントの進め方[講義]	腹部のフィジカルアセスメントの目的・ポイント、進め方を解説する。	予習90分：教科書「系統別：腹部のフィジカルアセスメント」、看護がみえるvol.3「腹部のアセスメント」を読む。ナーシングチャンネルの「消化機能のアセスメント」を視聴する。 復習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。
第12回	櫻井通恵三木園生本島	系統別アセスメント：腹部のフィジカルアセスメント【視診・聴診・打	腹部のフィジカルアセスメント【視診・聴診・打診・触診】の実際を教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 第11回授業の内容を実際	予習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直

	茉那美柿谷絵理	診・触診】[演習]	に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める。	す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。
第13回	櫻井通恵	系統別アセスメント：筋・骨格系のフィジカルアセスメントの進め方[講義]	筋・骨格系のフィジカルアセスメントの目的・ポイント、進め方を解説する。	予習90分：教科書「系統別：筋・骨格系のフィジカルアセスメント」、看護がみえるvol.3「筋・骨格系のアセスメント」を読む。ナーシングチャンネルの「第１４巻 運動系〔１〕 骨格系」を視聴する。 復習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。
第14回	櫻井通恵	系統別アセスメント：脳・神経系のフィジカルアセスメントの進め方[講義]	脳・神経系のフィジカルアセスメントの目的・ポイント、進め方を解説する。	予習90分：教科書「系統別：神経系のフィジカルアセスメント」、看護がみえるvol.3「脳・神経系のアセスメント」を読む。ナーシングチャンネルの「感覚機能のアセスメント」「高次脳機能のアセスメント」を視聴する。 復習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。
第15回	櫻井通恵三木園生本島茉那美柿谷絵理	系統別アセスメント：筋・骨格系、脳・神経系のフィジカルアセスメント【視診・触診・測定】[演習]	筋・骨格系、脳・神経系のフィジカルアセスメント【視診・触診・測定】の実際を教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 第13回授業の内容を実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める。	予習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。

教科書

系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術I 基礎看護学[2] 茂野かおる 医学書院 2022.
看護がみえるvol.3フィジカルアセスメント 岡庭豊 メディックメディア 2015.

参考書

はじめてのフィジカルアセスメント第２版 横山美樹 メジカルフレンド社

成績評価の方法・基準

講義・演習参加状況・演習事後課題用紙20%、筆記試験80%を総合して評価する。

総合得点が60点以上で単位認定とする。
課題等に対する フィードバックの方法
系統別フィジカルアセスメント毎に講義後、演習を行います。演習用紙を使用し演習を実施。 演習後課題として用紙を完成させ提出します。返却しますので各自の学習に活用してください。
履修のポイント
演習前に系統別に人体の構造についての事前学習用のプリントを配布するので事前学習をし講義・演習に臨む。 講義・演習前に該当箇所のナーシングチャンネルを視聴する。 主体的・積極的に参加すること。記録類の提出は時間厳守すること。
オフィス・アワー
在室時随時対応します。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R230

講義コード	10580001
講義名	看護技術学III
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	５時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに、対象者の健康状態を実際にアセスメントできる基本的技術と看護者としての基本的態度を修得できるよう関わる。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 櫻井 通恵	指定なし
教員	三木 園生	指定なし
教員	本島 茉那美	指定なし
教員	長谷川 真美	指定なし
教員	柿谷 絵理	指定なし

授業の概要と教育目標

看護におけるヘルスアセスメントの目的・意義を理解し、対象者の健康状態を身体的・心理的・社会的側面から統合的にアセスメントするための知識と基本的技術を学ぶ。特に身体的アセスメントについては、看護実践の基盤となる観察技術を中心に正確な身体情報を把握する。さらにその情報から対象者の健康レベルや正常・異常を理解できるまでの一連のアセスメント技術と看護者として望ましい基本的態度を修得する。なお本科目は、対象者の健康状態を実際にアセスメントできる基本的技術と看護者としての基本的態度を修得できるようにすることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシー〈看護の基礎技術を理解した上での実践的な援助を実施する〉に関連し、看護におけるヘルスアセスメントの目的・意義を理解し、あらゆる健康レベルにある人々の身体構造と機能の系統的観察・測定技術の必要性と方法を学べるようにする。将来的な展望としては、対象者の健康状態を実際にアセスメントできるようにすることを目指すものとする。

到達目標

1. ヘルスアセスメントの意義および必要性を述べる。
2. 人間を身体的－心理・社会的存在としてとらえる必要性を述べる。
3. 対象者を総合的にアセスメントするために、ヘルスアセスメントの基本的技術を実施する。
4. ヘルスアセスメント時の看護者としての基本的態度について考える。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間

第1回	櫻井通恵三木園生本島茉那美柿谷絵理	ヘルスアセスメントの概要[講義]	ヘルスアセスメントの目的・意義と基本的技法を解説する。適宜、質問と発問を実施しながら進める。	予習90分：「ヘルスアセスメントの目的・意義と基本的技法」との関連事項を読む。復習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。
第2回	櫻井通恵三木園生本島茉那美柿谷絵理	看護面接の進め方[講義]	看護面接の進め方を解説する。適宜、質問と発問を実施しながら進める。	予習90分：「看護面接の進め方」との関連事項を読む。復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。
第3回	櫻井通恵三木園生本島茉那美柿谷絵理	系統的アセスメント：看護面接[演習]	看護面接の実際：クラス別 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 第2回授業の内容を学生は実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める	予習90分：配布課題の実施。教科書の関連事項を読む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：事後レポートの実施。
第4回	櫻井通恵	皮膚・頭頸部のフィジカルアセスメント[講義]	皮膚・頭頸部のフィジカルアセスメントの進め方を解説する。適宜、質問と発問を実施しながら進める。	予習90分：「皮膚・頭頸部のフィジカルアセスメントの進め方」との関連事項を読む。課題の実施。復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。

第5回	櫻井通恵三木園生本島茉那美柿谷絵理	系統別アセスメント：皮膚・頭頸部のフィジカルアセスメントと身体各部の計測の実際［演習］	皮膚・頭頸部のフィジカルアセスメントと身体各部の計測の実際：クラス別 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 第4回授業の内容を学生は実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める	予習90分：配布課題の実施。教科書の関連事項を読む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：事後レポートの実施。
第6回	櫻井通恵三木園生本島茉那美柿谷絵理	呼吸器系のフィジカルアセスメント[講義]	呼吸器系のフィジカルアセスメントの進め方を解説する。適宜、質問と発問を実施しながら進める。	予習90分：「呼吸器系のフィジカルアセスメント」の関連事項を読む。 復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。
第7回	櫻井通恵三木園生本島茉那美柿谷絵理	系統別アセスメント：呼吸器系のフィジカルアセスメント[演習]	呼吸器系のフィジカルアセスメントの実際：クラス別 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 第6回授業の内容を学生は実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める	予習90分：配布課題の実施。教科書の関連事項を読む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：事後レポートの実施。
	櫻井通恵三			

第8回	木園生本島茉那美柿谷絵理	循環器系のフィジカルアセスメント［講義］	循環器系のフィジカルアセスメントの進め方を解説する。適宜、質問と発問を実施しながら進める。	予習90分：「循環器系のフィジカルアセスメント」の関連事項を読む。 復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。
第9回	櫻井通恵三木園生本島茉那美柿谷絵理	系統別アセスメント：循環器系のフィジカルアセスメント[演習]	循環器系のフィジカルアセスメントの実際：クラス別 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 第8回授業の内容を学生は実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める	予習90分：配布課題の実施。教科書の関連事項を読む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：事後レポートの実施。
第10回	櫻井通恵三木園生本島茉那美柿谷絵理	消化器系のフィジカルアセスメント[講義]	消化器系のフィジカルアセスメントの進め方を解説する。適宜、質問と発問を実施しながら進める。	予習90分：「消化器系のフィジカルアセスメント」の関連事項を読む。 復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。
第11回	櫻井通恵三木園生本島	系統別アセスメント：消化器系のフィジカルアセスメント[演	消化器系のフィジカルアセスメントの実際：クラス別 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。	予習90分：配布課題の実施。教科書の関連事項を読む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。

	茉那美柿谷絵理	習]	第10回授業の内容を学生は実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める	復習90分：事後レポートの実施。
第12回	櫻井通恵三木園生本島茉那美柿谷絵理	感覚器・運動器・中枢神経系のフィジカルアセスメント[講義]	感覚器系・運動器系・中枢神経系のフィジカルアセスメントの進め方を解説する。適宜、質問と発問を実施しながら進める。	予習90分：「感覚器系・運動器系・中枢神経系のフィジカルアセスメント」の関連事項を読む。復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。
第13回	櫻井通恵三木園生本島茉那美柿谷絵理	系統別アセスメント：感覚器・運動器・中枢神経系のフィジカルアセスメント[演習]	感覚器系・運動器系・中枢神経系のフィジカルアセスメントの実際①：クラス別 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 第13回授業の内容を学生は実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める	予習90分：配布課題の実施。教科書の関連事項を読む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。復習90分：事後レポートの実施。
第14回	櫻井通恵三木園生本島茉那美柿谷	情報収集からアセスメントを行い問題を抽出し、看護過程に結び付ける[講義]	情報収集および解釈・分析：ゴードンの機能的健康パターンを用いて あらかじめ配布した事例展開の内容を用いて解説する。適宜、質問と発問を実施しながら進める。	予習90分：配布課題の実施。看護技術学Iのヘルスアセスメント関連事項とゴードンの機能的健康パターンについて読む。復習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。

	絵理			
第15回	櫻井通恵三木園生本島茉那美柿谷絵理	情報収集からアセスメントを行い問題を抽出し、看護過程に結び付ける[演習]	情報収集および解釈・分析：ゴードンの機能的健康パターンを用いて あらかじめ配布した事例展開の内容を学生は実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める	予習90分：配布課題の実施。看護技術学Iのヘルスアセスメント関連事項とゴードンの機能的健康パターンについて読む。復習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。事後レポートの実施。

教科書

基礎看護学②基礎看護技術I 深井喜代子 メヂカルフレンド社 2023.
看護がみえるvol.3フィジカルアセスメント 岡庭豊 メディックメディア 2015.

参考書

はじめてのフィジカルアセスメント第2版 横山美樹 メジカルフレンド社
系統看護学講座 基礎看護技術I 茂野香おる他 医学書院 2023.
ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断 江川隆子 ヌーベルヒロカワ 2019.

成績評価の方法・基準

講義・演習参加状況・演習レポート30%、事例レポート20%、筆記試験50%を総合して評価する。
総合得点が60点以上で単位認定とする。ただし、事例レポートが合格することを必須とする。

課題等に対する
フィードバックの方法

系統別アセスメントの演習を効果的に行うために人体の構造のレポートを作成する。
演習前にフィジカルアセスメントのナーシンクチャンネルおよび教科書添付の動画を視聴する。

履修のポイント

事前事後の学習課題を行い、主体的・積極的に参加すること。記録類の提出は、時間厳守すること。

オフィス・アワー

在室時随時対応します。10号館3階09研究室です。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R230

講義コード	10590001
講義名	看護技術学V
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師及び保健師としての国内外での医療施設並びに地域での活動経験を活かして、実践を踏まえた講義を展開する。適宜事例を用いて、グループによる検討を行い、学習を深める。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 酒井 幸子	指定なし

授業の概要と教育目標

疾病構造の変化は少子高齢化をもたらし、近年の保健医療行政においては、システムの改変が繰り返されている。これに伴って療養の場も医療施設から在宅へと移行しており、個人の状況によって、移行の段階も様々となっている。このような現代において、主体性を尊重したケアを実施するためには、多様な対象者への理解を深め、セルフケア技術の獲得を支援することが重要となる。
本講義においては、対象者の健康問題を日常生活と結び付けて捉え、発達段階や生活環境等の様々な状況に応じた支援を計画できるようになることを目標とし、医療施設と地域ケアの連携に関する基礎的な知識と基本的な教育支援技術の習得を目指す。
※受講生の関心及び学習進度により、内容調整及び内容の変更をすることがあります。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	酒井幸子	１．受講に関する説明 ２．看護における学習支援の意義と理論 ①エンパワーメント・エデュケーション ②セルフマネージメントの推進 ③自己効力の向上	講義内で個人ワークに取り組みます。	復習：今回分の教科書や資料を用いて個人ワークを完了する。 教科書や資料中に、既に学習した概念やモデルがあれば、いつ、どの科目で学習した概念か参考書を確認する。
第2回	酒井幸子	１．療養の場を移行する人の困難について理解する ２．事例から学習支援の実践について理解を深める ３．健康課題と資源について	講義内で個人ワークに取り組みま	予習：前回分の授業内容を振り返る。 復習：今回分の教科書や資料を用いて個人ワークを完了する。 教科書や資料中に、既に学習した概念やモデルがあれば、いつ、ど

		ディスカッションを行う	す。	の科目で学習した概念か参考書を確認する。
第3回	酒井幸子	入院、退院、外来等の場面と健康状態の変化について理解し、治療目的とライフステージに応じた学習支援について理解する ①教育支援プロセス（指導計画） ②コンプライアンスについて患者の視点から考える	講義内で個人ワークに取り組みます。	予習：前回分の授業内容を振り返る。 復習：今回分の教科書や資料を用いて個人ワークを完了する。 教科書や資料中に、既に学習した概念やモデルがあれば、いつ、どの科目で学習した概念か参考書を確認する。
第4回	酒井幸子	（第３回より継続学習） 過去の国家試験における事例問題等を題材に、理論的な視座から理解を深める	講義内で個人ワークに取り組みます。	予習：前回分の授業内容を振り返る。 復習：今回分の教科書や資料を用いて個人ワークを完了する。 教科書や資料中に、既に学習した概念やモデルがあれば、いつ、どの科目で学習した概念か参考書を確認する。
第5回	酒井幸子	【演習】事例を通した学習支援 ①事例を基にした実施計画と指導案の作成 ②グループディスカッション	講義内でグループワークに取り組みます。	予習：前回分の授業内容を振り返る。 復習：これまでの講義で用いた概念と各自が調べた内容を用いて、グループワークの学びを深める。積極的参加が求められます。 既に学習した概念やモデルも参考に、グループワークの内容を拡張する。
第6回	酒井幸子	（第５回より継続学習） 実施計画及び指導案の作成、提出	講義内でグループワークに取り組みます。	予習：前回分の授業内容を振り返る。 復習：これまでの講義で用いた概念と各自が調べた内容を用いて、グループワークを完了する。 既に学習した概念やモデルも参考に、グループワークの内容を拡張する。
第7回	酒井幸子	【演習】事例を通した学習支援 ①グループ発表と質疑応答 ②振り返り	講義内で個人ワークに取り組みます。	予習：前回分の授業内容を振り返る。 復習：今回分の教科書や資料を用いて個人ワークを完了する。 教科書や資料中に、既に学習した概念やモデルがあれば、いつ、どの科目で学習した概念か参考書を確認する。
第8回	酒井幸子	（第７回より継続学習） 実施計画及び指導案の修正	講義内で個人ワークに取り組みます。	予習：前回分の授業内容を振り返る。 復習：今回分の教科書や資料を用いて個人ワークを完了する。 教科書や資料中に、既に学習した概念やモデルがあれば、いつ、どの科目で学習した概念か参考書を確認する。

教科書

小松浩子他 系統看護学講座 専門II 成人看護学総論 成人看護学I 医学書院

日本保健医療行動科学会 教科書 講義と演習で学ぶ保健医療行動科学 日本保健医療行動科学会

参考書

深井喜代子他 新体系看護学全書 基礎看護学２ 基礎看護技術I メヂカルフレンド社
安酸史子 ナーシング・グラフィカ セルフマネジメント 成人看護学③ メディカ出版
その他、講義内で適宜提示します。

成績評価の方法・基準

基本的には課題40%、最終レポート60%とし、出席状況も考慮に入れて判断します。
特にグループワークにおける消極的な態度は、マイナス評価とします。
総合的に60点以上を合格とします。

課題等に対する
フィードバックの方法

各回の講義冒頭は、前回講義の復習を兼ねて、課題の振り返りを行います。
全体へ向けたフィードバックで疑問が残る場合は、個別指導を設けますので、希望者は担当教員へ申し出てください。

履修のポイント

講義中に個人ワークやグループワークに取り組み、最終レポートは授業中で行ったワークを基盤に出題します。最終レポートに活かせるよう、他者の発表内容についても学習を深める等、ご自身の発表する内容に留まらずに自己学習を進めてください。また、ワークと関連のない私語は、他の履修生の学習の妨げとなりますので厳禁とします。

オフィス・アワー

非常勤講師による集中講義となりますので、質問や相談がある方は事前連絡をお願いします。
講義は原則的に対面を予定しておりますが、新型感染症の市中感染状況により、Microsoft Teamsを用いたリアルタイム遠隔授業へ変更する可能性があります。その場合、予約されたアポイントメントもオンラインで行います。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R231

講義コード	10600001
講義名	対人援助方法
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	５時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに、コミュニケーション技術の修得と看護者としての基本的態度を修得できるよう関わる。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 長谷川 真美	指定なし

授業の概要と教育目標

看護学科は、医療保健の高度化・専門化・複雑化・多様化に伴い、社会が求める看護に生涯にわたって対応し、活躍できる人材の基盤を養うために、対人援助方法を提供する。
本科目は既習のコミュニケーションの学習経験を基盤とする。看護としての対人援助技術（対人コミュニケーション、治療的コミュニケーション）を修得していく。具体的には、効果的なコミュニケーションの方法および看護におけるコミュニケーションについて看護理論を踏まえて学習する。さらに、実際にコミュニケーション技術を実施し、その内容を学んでいく。教育目標である「対象の健康レベルやライフステージに応じた支援を展開する能力」の基盤となる知識・技術の習得を目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシー１.生命の尊厳に基づき、人を価値ある存在として認めることができる、2.多様な価値観を認め、倫理感をもって看護を実践できる、3.科学的な根拠に基づいた知識・技術を修得し、安全・安心を配慮した看護の実践に応用できるに対応し、コミュニケーションの面から他者を理解し、さらには良好な関係を結び、看護職者として対人援助技術を提供できることを目指している。

到達目標

１．言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションの特徴について説明できる。
２．対人関係における効果的コミュニケーションとは何か説明できる。
４．コミュニケーションを促進し、よい人間関係を築くために必要な要素を説明できる。
５. 相手の話を傾聴することができる
６. 看護理論家がコミュニケーションをどのようにとらえているかを知り、看護実践に応用する方法を述べる。
７．自分のコミュニケーションの特徴を知り、対人援助者としての自己の課題に気づき言語化できる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間

第1回	対人関係・人間関係 1）対人関係とは 2）対人関係の成立に不可欠な条件 3）対人関係のプロセス 4）看護における対人関係	「対人関係とは何か」についてディスカッション	予習90分：教科書を読む。該当箇所のナーシングチャンネルを視聴する。 復習90分：ディスカッション内容からわかったことをノートにまとめる
第2回	コミュニケーションとは 1）言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション 2）双方向的なコミュニケーション 3）人間のコミュニケーションの特徴	「言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション」についてペアワーク	予習90分：教科書を読む。該当箇所のナーシングチャンネルを視聴する。 復習90分：言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションについて調べ、ノートにまとめる
第3回	看護・医療におけるコミュニケーション 1）看護医療におけるコミュニケーションの目的 2）看護・医療におけるコミュニケーションの特徴 3）看護・医療におけるコミュニケーションの重要性	「自分の受診時に感じたコミュニケーション」についてディスカッション	予習90分：教科書を読む。 復習90分：ディスカッション結果をもとに看護・医療におけるコミュニケーションについて考えをノートにまとめる
第4回	自己理解と他者理解 1）自己理解 2）他者理解 3）傾聴とは 4）コーチング	ペアで傾聴の体験	予習90分：「傾聴」について調べる 復習90分：傾聴をする上で重要なことおよびコーチングについて調べ、重要な要素をノートにまとめる
第5回	集団でのコミュニケーション 1）ディスカッション 2）聞くこと 3）伝えること	グループワークでの自身の振り返り	予習90分：グループディスカッションを円滑に行うためのメンバーの役割について調べる 復習90分：自分自身の集団でのコミュニケーションの特徴について振り返りレポートにまとめる
第6回	看護における対人関係の理論 1）ペプロウ 2）オーランド 3	理論に合わせた事例の分析（ペアワーク）	予習90分：1）2）3）のいづれかの看護理論を読む 復習90分：1）2）3）のいづれかの看護理論に基づき、提示事例について対人

	）トラベルビー		関係のプロセスをノートにまとめる
第7回	看護場面の再構成 1）再構成の目的と意義 2）再構成の方法 3）再構成から見えてくるもの	グループになり実際にコミュニケーション技法を学生同士で実施し、再構成を作成する	予習90分：これまでに学習したコミュニケーション技法について使用できるように復習する 復習90分：場面の再構成を完成させる
第8回	コミュニケーション障害がある人への対応 コミュニケーション演習	前回作成した再構成に基づき、自己のコミュニケーションの気づきをグループで共有する	予習90分：コミュニケーション障害について教科書の当該箇所を読み、ノートにまとめる 復習90分：対人援助とはどのようなことか、また、対人援助者として自分はどのようにあるべきかについてレポートにまとめる

教科書

◆系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 [2] 基礎看護技術I

参考書

◆深井喜代子編：新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術I，メヂカルフレンド社，2017.
◆渡辺富栄：対人コミュニケーション入門 看護のパワーアップにつながる理論と技術，ライフサポート社，2011.
◆平井さよ子：改訂版 看護職のキャリア開発，日本看護協会出版会，2009.
◆平田オリザ：わかりあえないことから－コミュニケーション能力とは何か，講談社,2012.
◆シラバス
◆配布資料

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。筆記試験および課題レポート

課題等に対するフィードバックの方法

授業を効果的にするためにコミュニケーション論の授業を復習することを勧める。自身が日常経験している身近な人々とのコミュニケーション内容を内省する。
提出されたノートやレポートは随時授業内でコメントする

履修のポイント

授業後の復習を行い、主体的・積極的に講義及びワークにに参加すること。

オフィス・アワー

月・火・金の在室時 10号館2階研究室8で受け付ける

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R223

講義コード	10600002
講義名	対人援助方法（編入生）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	５時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに、コミュニケーション技術の修得と看護者としての基本的態度を修得できるよう関わる。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 長谷川 真美	指定なし

授業の概要と教育目標

看護学科は、医療保健の高度化・専門化・複雑化・多様化に伴い、社会が求める看護に生涯にわたって対応し、活躍できる人材の基盤を養うために、対人援助方法を提供する。
本科目は既習のコミュニケーションの学習経験を基盤とする。看護としての対人援助技術（対人コミュニケーション、治療的コミュニケーション）を修得していく。具体的には、効果的なコミュニケーションの方法および看護におけるコミュニケーションについて看護理論を踏まえて学習する。さらに、実際にコミュニケーション技術を実施し、その内容を学んでいく。教育目標である「対象の健康レベルやライフステージに応じた支援を展開する能力」の基盤となる知識・技術の習得を目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシー１.生命の尊厳に基づき、人を価値ある存在として認めることができる、2.多様な価値観を認め、倫理感をもって看護を実践できる、3.科学的な根拠に基づいた知識・技術を修得し、安全・安心を配慮した看護の実践に応用できるに対応し、コミュニケーションの面から他者を理解し、さらには良好な関係を結び、看護職者として対人援助技術を提供できることを目指している。

到達目標

１．言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションの特徴について説明できる。
２．対人関係における効果的コミュニケーションとは何か説明できる。
４．コミュニケーションを促進し、よい人間関係を築くために必要な要素を説明できる。
５. 相手の話を傾聴することができる
６. 看護理論家がコミュニケーションをどのようにとらえているかを知り、看護実践に応用する方法を述べる。
７．自分のコミュニケーションの特徴を知り、対人援助者としての自己の課題に気づき言語化できる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間

第1回	対人関係・人間関係 1）対人関係とは 2）対人関係の成立に不可欠な条件 3）対人関係のプロセス 4）看護における対人関係	「対人関係とは何か」についてディスカッション	予習90分：教科書を読む。該当箇所のナーシングチャンネルを視聴する。 復習90分：ディスカッション内容からわかったことをノートにまとめる
第2回	コミュニケーションとは 1）言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション 2）双方向的なコミュニケーション 3）人間のコミュニケーションの特徴	「言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション」についてペアワーク	予習90分：教科書を読む。該当箇所のナーシングチャンネルを視聴する。 復習90分：言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションについて調べ、ノートにまとめる
第3回	看護・医療におけるコミュニケーション 1）看護医療におけるコミュニケーションの目的 2）看護・医療におけるコミュニケーションの特徴 3）看護・医療におけるコミュニケーションの重要性	「自分の受診時に感じたコミュニケーション」についてディスカッション	予習90分：教科書を読む。 復習90分：ディスカッション結果をもとに看護・医療におけるコミュニケーションについて考えをノートにまとめる
第4回	自己理解と他者理解 1）自己理解 2）他者理解 3）傾聴とは 4）コーチング	ペアで傾聴の体験	予習90分：「傾聴」について調べる 復習90分：傾聴をする上で重要なことおよびコーチングについて調べ、重要な要素をノートにまとめる
第5回	集団でのコミュニケーション 1）ディスカッション 2）聞くこと 3）伝えること	グループワークでの自身の振り返り	予習90分：グループディスカッションを円滑に行うためのメンバーの役割について調べる 復習90分：自分自身の集団でのコミュニケーションの特徴について振り返りレポートにまとめる
第6回	看護における対人関係の理論 1）ペプロウ 2）オーランド 3	理論に合わせた事例の分析（ペアワーク）	予習90分：1）2）3）のいづれかの看護理論を読む 復習90分：1）2）3）のいづれかの看護理論に基づき、提示事例について対人

	）トラベルビー		関係のプロセスをノートにまとめる
第7回	看護場面の再構成 1）再構成の目的と意義 2）再構成の方法 3）再構成から見えてくるもの	グループになり実際にコミュニケーション技法を学生同士で実施し、再構成を作成する	予習90分：これまでに学習したコミュニケーション技法について使用できるように復習する 復習90分：場面の再構成を完成させる
第8回	コミュニケーション障害がある人への対応 コミュニケーション演習	前回作成した再構成に基づき、自己のコミュニケーションの気づきをグループで共有する	予習90分：コミュニケーション障害について教科書の当該箇所を読み、ノートにまとめる 復習90分：対人援助とはどのようなことか、また、対人援助者として自分はどのようにあるべきかについてレポートにまとめる

教科書

◆系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 [2] 基礎看護技術I

参考書

◆深井喜代子編：新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術I，メヂカルフレンド社，2017.
◆渡辺富栄：対人コミュニケーション入門 看護のパワーアップにつながる理論と技術，ライフサポート社，2011.
◆平井さよ子：改訂版 看護職のキャリア開発，日本看護協会出版会，2009.
◆平田オリザ：わかりあえないことから－コミュニケーション能力とは何か，講談社,2012.
◆シラバス
◆配布資料

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。筆記試験および課題レポート

課題等に対するフィードバックの方法

授業を効果的にするためにコミュニケーション論の授業を復習することを勧める。自身が日常経験している身近な人々とのコミュニケーション内容を内省する。
提出されたノートやレポートは随時授業内でコメントする

履修のポイント

授業後の復習を行い、主体的・積極的に講義及びワークにに参加すること。

オフィス・アワー

月・火・金の在室時 10号館2階研究室8で受け付ける

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R223

講義コード	10610001
講義名	早期体験実習
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	実験・実習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院おける実務経験をもとに、看護実践の理論とその基盤となる概念について、具体例を挙げながら解説する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし
教員	柿谷 絵理	指定なし

授業の概要と教育目標

学習初期の時期に、医療提供の場を知り、健康障害を体験している人々について理解を深める。また、自己の専攻する専門職の役割について考えることで、今後の学習の動機づけとし、主体的に学ぶための方法を理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、生命の尊厳に基づき、人を価値ある存在として認めることができる、多様な価値観を認め、倫理観を持って看護ができること等に関する基本的な考え方を獲得することを目指すものとする。

到達目標

1．医療が提供される場としての病院の環境およびサービスについて知る
2．療養の場である病棟・病室の環境を知る
3．入院患者の療養生活を観察する
4．看護活動の場面を観察する
5．看護職の役割について考える
6．目標１～５を通し、看護学の学習上の課題を明らかにする

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	学内実習① ・オリエンテーション ・事前課題		復習90分：オリエンテーションを受け、実習に臨む姿勢について考える。事前課題に取り組む。
第2回	学内実習② ・施設別演習 ・グループ別演	グループディスカッションにより、事前学習した内容を確認しあい、翌日からの臨地実	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。復習90分：グループ別演習を通して学んだことをまとめ、振り

	習	習に向けて準備する	返る。
第3回	臨地実習① ・医療が提供される場としての病院の環境およびサービスについて知る ・療養の場である病棟・病室の環境を知る ・入院患者の療養生活を観察する ・看護活動の場面を観察する	カンファレンス ・観察した現象を踏まえ、テーマに沿ってカンファレンスを行う	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。復習90分：観察したことをまとめ、振り返る。
第4回	臨地実習② ・医療が提供される場としての病院の環境およびサービスについて知る ・療養の場である病棟・病室の環境を知る ・入院患者の療養生活を観察する ・看護活動の場面を観察する	カンファレンス ・観察した現象を踏まえ、テーマに沿ってカンファレンスを行う	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。復習90分：観察したことをまとめ、振り返る。
第5回	臨地実習③ ・医療が提供される場としての病院の環境およびサービスについて知る ・療養の場である病棟・病室の環境を知る ・入院患者の療養生活を観察する ・看護活動の場面を観察する	カンファレンス ・観察した現象を踏まえ、テーマに沿ってカンファレンスを行う ・実習目標の達成状況について発表する	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。復習90分：観察したことをまとめ、振り返る。
第6回	学内実習③ ・グループ別演習 ・実習のまとめ	グループディスカッションにより、実習のまとめを行う	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。臨地実習で学んだことをまとめ、グループ別演習に向けて準備する。復習90分：実習全体を振り返り、レポートにまとめる。

教科書

別途指示します。

参考書

別途指示します。

成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。 事前課題・日々の記録・事後レポート等により、総合的に評価します
課題等に対する フィードバックの方法
事前課題を行ない、臨地実習前のグループ別演習および臨地実習に臨む必要があります。さらに、臨地実習では、日々学んだことを記録し、次の日の学習目標を明確化すること、さらにこの授業で学んだことについてレポート作成します。実習の記録物は返却しますので学習の振り返りに活用してください。
履修のポイント
事前学習、学内におけるグループ別演習、臨地実習で構成されています。臨地実習前の事前学習やグループ別演習が重要です。積極的に各々参加してください。
オフィス・アワー
曜日に関わらず、在室時は随時対応します。 三木：10号館2階 研究室7 柿谷：
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-R111

講義コード	10620001
講義名	基礎看護学実習I
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	実験・実習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに、患者の健康上の問題および基本的ニーズを満たすための日常生活行動の援助を実施することを目標達成できるよう関わる。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 長谷川 真美	指定なし
教員	三木 園生	指定なし
教員	本島 茉那美	指定なし
教員	柿谷 絵理	指定なし
教 員	櫻井 通恵	指定なし

授業の概要と教育目標

看護の対象である患者および患者を取り巻く生活の場を理解し、実際に観察、コミュニケーションの技術を活用しながら、対象者の基本的ニーズを満たすための援助の必要性を考え、日常生活行動の援助を実践する。また、看護の主要な対象である患者がどのような健康上の問題をもって生活しているかを理解し、看護が担う役割と責任について理解する。本科目は、看護者の立場から患者の健康上の問題について考え、基本的ニーズを満たすために日常生活行動の援助を実施することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、生命の尊厳に基づき、看護の対象である人を価値ある存在として認めることができる、また対象である人びとの多様な価値観を認め、倫理観を持って看護を実践する、更には科学的な根拠に基づいた知識・技術を修得し、安全・安心に配慮した看護の実践に応用できるようになるために、看護者としての基本精神・基本技術を理解することを目指すものとする。

到達目標

1．患者に必要な日常生活行動の援助について、原理・原則に基づき実施方法を計画する
2．患者に必要な日常生活行動の援助を実施する
3．患者との関わりを通して、自己の言動が相手に与える影響について気づきを示す
4．患者に質の高い技術を提供するための看護師のあり方について考える

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間

第1回	基礎看護学実習Iオリエンテーション	*オリエンテーションを受講し、わからないことは質問する	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。
第2回	技術練習等事前学習	*事前に技術練習を行う *実習に向けての抱負をレポートにまとめる" *指定されたナーシィングチャンネルを視聴し技術についての理解を深める	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。
第3回	技術練習等事前学習	*事前に技術練習を行う *実習に向けての抱負をレポートにまとめる" *指定されたナーシィングチャンネルを視聴し技術についての理解を深める	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。
第4回	技術練習等事前学習	*事前に技術練習を行う *実習に向けての抱負をレポートにまとめる" *指定されたナーシィングチャンネルを視聴し技術についての理解を深める	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。
第5回	臨地実習	日常生活行動の援助の実施 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。
第6回	臨地実習	日常生活行動の援助の実施 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。
第7回	臨地実習	日常生活行動の援助の実施 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。
第8回	臨地実習	病棟オリエンテーション、日常生活行動の観察 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。
第9回	臨地実習	日常生活行動および援助の観察、健康状態の観察 必要な援助の抽出、日常生活行動の援助計画立案	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。
第10回	実習終了後報告会	実習での学びと今後の課題をグループ毎にまとめる 実習での学びと今後の課題をグループ毎にわかりやすく発表する	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。

教科書

使用せず

参考書

『看護学概論』、『看護技術学概論』、『看護技術学I』、『対人援助方法』で使用した教科書および参考書、授業プリントなど

成績評価の方法・基準

行動目標の達成状況により評価し、60点以上を合格とする。

課題等に対する
フィードバックの方法

実習中は毎日、学習計画表に記載し、提出が求められます。また、基礎看護学実習Iの記録用紙も複数あります。これらの記録物は返却されますので、学習の振り返りに活用してください。

履修のポイント

主体的・積極的な学習への取り組みを期待します

オフィス・アワー

在室時、随時対応します。
三木：10号館2階 研究室7
長谷川：10号館2階 研究室8
本島：10号館2階 研究室4
櫻井：
柿谷：

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R224

講義コード	10630001
講義名	基礎看護学実習II
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	実験・実習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに、看護過程の一連の過程を体験することができるよう関わる。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし
教員	本島 茉那美	指定なし
教員	長谷川 真美	指定なし
教員	柿谷 絵理	指定なし
教 員	櫻井 通恵	指定なし

授業の概要と教育目標

健康障害を体験している一人の患者を受け持ち、患者を全人的にとらえ、ニーズの充足を目指して科学的根拠に基づく日常生活行動の援助を計画・実施・評価するプロセスを学習する。実施においては修得した技術の提供を通し、看護技術の個別化の意義を学ぶ。さらに、看護者としてふさわしい態度を考え、自己を振り返り、看護への理解と関心を深める。本科目は、一人の患者を受け持ち、看護家庭に一連の流れを体験することを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、看護の基本精神・基礎技術を理解した上で一人の患者を受け持ち看護過程を展開することで、様々な健康レベル、あらゆる発達段階における人々へ提供する看護介入方法の基本について学ぶことを目指すものとする。

到達目標

１．一人の患者を受け持ち、アセスメント、診断、計画、実施、評価の一連の過程を経験する。
２．看護理論に基づいて個別性のある看護を行うための方法を理解する。
３．患者との援助関係を発展させるよう自発的に行動する。
４．質の高い看護を提供するために、倫理観や科学的根拠に基づき、看護を展開することの看護師の責任を確認する。
５．目標１～４を通し、看護学学習上の自己の課題を明らかにする。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	患者紹介		予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解す

第1回	情報収集 事前学習	学内実習	る。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとまる
第2回	病棟オリエンテーション 情報収集 情報の解釈・分析	臨地実習 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとまる
第3回	情報の解釈・分析 関連図の作成	臨地実習 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとまる
第4回	情報の解釈・分析 関連図の修正 問題の明確化（クラスタリング）	学内実習	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとまる
第5回	問題の明確化（クラスタリング） 看護診断の選択 目標設定 看護計画（案）	臨地実習 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとまる
第6回	問題の明確化（クラスタリング） 看護診断の選択 目標設定 看護計画立案	臨地実習 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとまる
第7回	目標設定 看護計画実施 SOAPの記入	臨地実習 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとまる
第8回	看護計画の修正 SOAPの記入	学内実習 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとまる
第9回	看護計画の実施 看護介入の結果・評価 看護計画の修正	臨地実習 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとまる
第10回	看護計画の実施 看護介入の結果、評価 看護計画の修正 まとめ	臨地実習 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとまる

教科書

看護技術学IVで使用した教科書

看護技術学IVで配布した「看護過程1」、「看護過程2」

参考書

看護技術学IVで使用した参考書
看護学原論で使用した教科書、参考書およびプリント
看護技術学概論で使用した教科書、参考書およびプリント
看護技術学I～III・VIで使用した教科書、参考書およびプリント

成績評価の方法・基準

行動目標の達成可否により評価し、60点以上を合格とする

課題等に対する
フィードバックの方法

実習中は毎日、学習計画表に記載し、提出が求められます。また看護過程展開に関する記録用紙が複数あります。これらの記録物は返却されますので、学習の振り返りに活用してください。

履修のポイント

主体的・積極的な学習への取り組みを期待します。
根拠をもって判断し行動することを求めます。

オフィス・アワー

在室時、随時対応します。
三木：10号館2階研究室7
長谷川：10号館2階 研究室8
本島：10号館2階 研究室4
櫻井：
柿谷：

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R240

講義コード	10640001
講義名	母性看護学概論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	助産師としての実務経験を活かし、母性の概念と生理、家族の機能と取り巻く社会的背景について解説し女性のライフサイクルにおける特徴と健康課題および健康支援について理解できるように基礎知識について解説する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 久保田 隆子	指定なし

授業の概要と教育目標

教育目標:人間の性と生殖のメカニズムとその意義を理解し、ライフサイクルを通した女性の健康的な発達や母子の成長と安全を支援する母性看護を展開するための基礎知識を深めることを目標とする。
授業の概要: 母性をめぐる様々な定義を理解し母性のとらえ方について幅広く考え、母性看護の対象や視点について理解し質の高い母性看護を追究する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、女性の発達段階に沿った生理的、および心理・社会的変化を学び、ライフサイクルの変化に応じた看護援助を行うための基盤となる視野と知識の修得を目指すものである。

到達目標

1. 母性看護の基盤となる母性性や概念について概説できる。
2. 女性の月経周期、卵巣の周期的変化について理解できる。
3. ライフステージ各期における身体的・心理的・社会的特徴と健康問題や看護の展望について理解できる。
4. リプロダクティブヘルス・ライツについての認識を高めることができる。
5. 母子を取り巻く統計的指標をもとに、現状や課題について考察できる。
6. 産科の歴史や産育習俗の地域特性や意義を理解することができる。
7. 母性看護に関する法律や施策について説明できる。
8. 母子を取り巻く産科医療安全について考察し看護の役割を理解することができる。
9. 倫理的視点を持ち法的責任や社会制度について理解することができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間

第1回	久保田隆子	第1章:母性看護の基盤となる概念p.2～p.33 母性看護学概論および母性看護領域の講義について案内、母性看護学とは、母性とは、母性の概念 課題:母性概論学習ノート(提出:概論講義最終日)	事例展開を通して、討論する。	予習90分：テキスト第1章を読む 復習90分：配布資料を見直す 課題レポート作成
第2回	久保田隆子	第1章:母性看護の基盤となる概念p.34～p.51 母性看護の目的、母性をめぐる様々な定義を理解し母性のとらえ方について幅広く考え、母性看護の対象や視点について理解する。		予習90分：テキスト第1章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第3回	久保田隆子	第2章:母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状p.54～p.85 母性看護の変遷、母子保健動向、母性支援組織と法律、母子保健の施策について学ぶ。		予習90分：テキスト第２章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第4回	久保田隆子	第2章:母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状p.86～p.93 母性看護の対象と環境、母性看護の対象者を看護する上で重要な概念であるヘルスプロモーションの考え方を理解する。		予習90分：テキスト第2章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第5回	久保田隆子	第3章:母性看護の対象理解p.97～p.123 生殖器の解剖と生理、性行動、性反応、受胎のメカニズム、女性については月経周期による変化について理解する。性分化のしくみ生殖器の発育過程を理解し、おもな性分化疾患についても学ぶ。		予習90分：テキスト第３章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第6回	久保田隆子	第3章:母性看護の対象理解p.124～p.143 女性のライフサイクルと家族。母性の発達・成熟・継承、女性性の発達、母性・父性・新生児の発達・母子関係と愛着、母性の世代間伝達について学ぶ。		予習90分：テキスト第3章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第7回	久保田隆子	第4章:母性看護に必要な看護技術p.146～p.159 母性看護における看護過程・情報収集・アセスメント技術について学ぶ。		予習90分：テキスト第4章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第8回	久保田隆子	第4章:母性看護に必要な看護技術p.160～p.178 母性看護に使われる看護技術、ストレス・不快症状・苦痛を緩和する看護技術・次世代の成長・発達を促す看護技術、リプロダクティブヘルスの健康障害への対応、周産期の死に対する看護技術について学ぶ。		予習90分：テキスト第5章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第9回	久保田隆子	第5章:女性のライフステージ各期における看護p.180～p.217 思春期・性成熟期月経随伴症状、月経困難症、子宮筋腫、子宮内膜症、生殖器腫瘍、高齢妊娠、不妊、と看護について学ぶ。		予習90分：テキスト第5章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第10回	久保田隆子	第5章:女性のライフステージ各期における看護p.217～p.245 ・更年期・老年期の健康と看護 更年期と症状、尿失禁、骨粗鬆症、更年期うつ等について学ぶ。		予習90分：テキスト第5章を読む 復習90分：配布資料を見直す
	久			予習90分：テキ

第11回	保田隆子	第6章:リプロダクティブヘルスケアp.250～p.299 性感染症・HIＶ・人工妊娠中絶について学ぶ。		スト第6章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第12回	久保田隆子	第6章:リプロダクティブヘルスケア.301～p.315 喫煙・性暴力・児童虐待・国際化社会と看護について学ぶ。		予習90分：テキスト第6章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第13回	久保田隆子	家族計画について学ぶ。 各避妊法の学習。	月経周期の最大・最小周期の計算方法	予習90分：テキスト第6章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第14回	久保田隆子	母性における安全・事故予防p.55 産科医療安全について リスクマネジメント・事故への対応 産科医療補償制度について学ぶ。	事故事例の検討	予習90分：テキストp.55.p.56を読みリスクについて原因を調べる 復習90分：配布資料を見直す
第15回	久保田隆子	まとめ・テスト		予習90分：テキスト配付資料を読む 復習90分：テスト解説と見直し

教科書

森恵美他：系統看護学講座 専門分野II 母性看護学概論 医学書院

参考書

母性看護学I 概論 医歯薬出版
母性看護学II 各論 医歯薬出版
病気が見えるvol.9 第４版（婦人科 乳腺外科） メデイックメディア 病気がみえるvol.10 産科4版 メディックメディア
我が国の母子保健 母子保健事業団
母子保健の主なる統計 母子保健事業団

成績評価の方法・基準

試験(80%)・課題(20%)の結果を統合し60点以上を単位認定とする

課題等に対する
フィードバックの方法

毎時ミニテストを実施し講義内で解説してゆく。

履修のポイント

成人期・性・生殖器期にある自分自身の発達や課題を意識しつつ、セクシュアリティやリプロダクティブヘルス・ライツに関心を持って学習してほしい。自分自身についての客観的理解が、看護の対象理解につながることを期待します。

オフィス・アワー

水曜日14時00分～16時00分 11号館3階第4研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R233

講義コード	10640002
講義名	母性看護学概論（2021年度入学生）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	助産師としての実務経験を活かし、母性の概念と生理、家族の機能と取り巻く社会的背景について解説し女性のライフサイクルにおける特徴と健康課題および健康支援について理解できるように基礎知識について解説する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 久保田 隆子	指定なし

授業の概要と教育目標

教育目標:人間の性と生殖のメカニズムとその意義を理解し、ライフサイクルを通した女性の健康的な発達や母子の成長と安全を支援する母性看護を展開するための基礎知識を深めることを目標とする。
授業の概要: 母性をめぐる様々な定義を理解し母性のとらえ方について幅広く考え、母性看護の対象や視点について理解し質の高い母性看護を追究する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、女性の発達段階に沿った生理的、および心理・社会的変化を学び、ライフサイクルの変化に応じた看護援助を行うための基盤となる視野と知識の修得を目指すものである。

到達目標

1. 母性看護の基盤となる母性性や概念について概説できる。
2. 女性の月経周期、卵巣の周期的変化について理解できる。
3. ライフステージ各期における身体的・心理的・社会的特徴と健康問題や看護の展望について理解できる。
4. リプロダクティブヘルス・ライツについての認識を高めることができる。
5. 母子を取り巻く統計的指標をもとに、現状や課題について考察できる。
6. 産科の歴史や産育習俗の地域特性や意義を理解することができる。
7. 母性看護に関する法律や施策について説明できる。
8. 母子を取り巻く産科医療安全について考察し看護の役割を理解することができる。
9. 倫理的視点を持ち法的責任や社会制度について理解することができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間

第1回	久保田隆子	第1章:母性看護の基盤となる概念p.2～p.33 母性看護学概論および母性看護領域の講義について案内、母性看護学とは、母性とは、母性の概念 課題:母性概論学習ノート(提出:概論講義最終日)	事例展開を通して、討論する。	予習90分：テキスト第1章を読む 復習90分：配布資料を見直す 課題レポート作成
第2回	久保田隆子	第1章:母性看護の基盤となる概念p.34～p.51 母性看護の目的、母性をめぐる様々な定義を理解し母性のとらえ方について幅広く考え、母性看護の対象や視点について理解する。		予習90分：テキスト第1章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第3回	久保田隆子	第2章:母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状p.54～p.85 母性看護の変遷、母子保健動向、母性支援組織と法律、母子保健の施策について学ぶ。		予習90分：テキスト第２章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第4回	久保田隆子	第2章:母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状p.86～p.93 母性看護の対象と環境、母性看護の対象者を看護する上で重要な概念であるヘルスプロモーションの考え方を理解する。		予習90分：テキスト第2章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第5回	久保田隆子	第3章:母性看護の対象理解p.97～p.123 生殖器の解剖と生理、性行動、性反応、受胎のメカニズム、女性については月経周期による変化について理解する。性分化のしくみ生殖器の発育過程を理解し、おもな性分化疾患についても学ぶ。		予習90分：テキスト第３章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第6回	久保田隆子	第3章:母性看護の対象理解p.124～p.143 女性のライフサイクルと家族。母性の発達・成熟・継承、女性性の発達、母性・父性・新生児の発達・母子関係と愛着、母性の世代間伝達について学ぶ。		予習90分：テキスト第3章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第7回	久保田隆子	第4章:母性看護に必要な看護技術p.146～p.159 母性看護における看護過程・情報収集・アセスメント技術について学ぶ。		予習90分：テキスト第4章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第8回	久保田隆子	第4章:母性看護に必要な看護技術p.160～p.178 母性看護に使われる看護技術、ストレス・不快症状・苦痛を緩和する看護技術・次世代の成長・発達を促す看護技術、リプロダクティブヘルスの健康障害への対応、周産期の死に対する看護技術について学ぶ。		予習90分：テキスト第5章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第9回	久保田隆子	第5章:女性のライフステージ各期における看護p.180～p.217 思春期・性成熟期月経随伴症状、月経困難症、子宮筋腫、子宮内膜症、生殖器腫瘍、高齢妊娠、不妊、と看護について学ぶ。		予習90分：テキスト第5章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第10回	久保田隆子	第5章:女性のライフステージ各期における看護p.217～p.245 ・更年期・老年期の健康と看護 更年期と症状、尿失禁、骨粗鬆症、更年期うつ等について学ぶ。		予習90分：テキスト第5章を読む 復習90分：配布資料を見直す
	久			予習90分：テキ

第11回	保田隆子	第6章:リプロダクティブヘルスケアp.250～p.299 性感染症・HIＶ・人工妊娠中絶について学ぶ。		スト第6章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第12回	久保田隆子	第6章:リプロダクティブヘルスケア.301～p.315 喫煙・性暴力・児童虐待・国際化社会と看護について学ぶ。		予習90分：テキスト第6章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第13回	久保田隆子	家族計画について学ぶ。 各避妊法の学習。	月経周期の最大・最小周期の計算方法	予習90分：テキスト第6章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第14回	久保田隆子	母性における安全・事故予防p.55 産科医療安全について リスクマネジメント・事故への対応 産科医療補償制度について学ぶ。	事故事例の検討	予習90分：テキストp.55.p.56を読みリスクについて原因を調べる 復習90分：配布資料を見直す
第15回	久保田隆子	まとめ・テスト		予習90分：テキスト配付資料を読む 復習90分：テスト解説と見直し

教科書

森恵美他：系統看護学講座 専門分野II 母性看護学概論 医学書院

参考書

母性看護学I 概論 医歯薬出版
母性看護学II 各論 医歯薬出版
病気が見えるvol.9 第４版（婦人科 乳腺外科） メデイックメディア 病気がみえるvol.10 産科4版 メディックメディア
我が国の母子保健 母子保健事業団
母子保健の主なる統計 母子保健事業団

成績評価の方法・基準

試験(80%)・課題(20%)の結果を統合し60点以上を単位認定とする

課題等に対する
フィードバックの方法

毎時ミニテストを実施し講義内で解説してゆく。

履修のポイント

成人期・性・生殖器期にある自分自身の発達や課題を意識しつつ、セクシュアリティやリプロダクティブヘルス・ライツに関心を持って学習してほしい。自分自身についての客観的理解が、看護の対象理解につながることを期待します。

オフィス・アワー

水曜日14時00分～16時00分 11号館3階第4研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R233

講義コード	10650001
講義名	母性看護方法
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	助産師としての病院における実務経験をもとに、看護過程の展開や周産期ケアについて実践指導する。
学年	２学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 久保田 隆子	指定なし
教員	櫻井 加奈	指定なし

授業の概要と教育目標

教育目標:マタニティサイクルにある女性の特徴を理解し、看護を実践するために必要な知識、技術、態度を学ぶ。妊娠期・分娩期および産褥期にある女性と新生児期の看護について理解を深めることを目標とする。
授業の概要:妊婦、産婦、褥婦および新生児の生理的変化、家族を含めた対象の心理、社会的特性について学習する。また、対象者が正常からの逸脱を予防するためのセルフケアができ、更に家族の協力を得て新しい家族を迎えた生活に円滑に適応していくための支援方法について演習やグループワークを通して看護の実践方法を学ぶ。母子および家族に対するアセスメントスキルを修得し質の高い周産期ケアを追究する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、人間のライフサイクルの中でも成熟期および周産期に起こる様々な現象を科学的に分析し、看護ケアの実践能力を学修することを目指すものとする。

到達目標

1.妊婦・産婦の身体的、心理的、社会的特徴を理解できる。
2.妊娠・分娩の生理的な経過とその診断、検査等を理解し、正常に経過させるための看護を理解できる。
3.妊娠期、分娩期に起こりやすい異常徴候を理解し、その早期発見と回復に向けた看護を理解できる。
4.妊婦、産婦に対して必要な看護技術について理解できる。
5.妊婦、産婦の家族に対して必要な看護を理解できる。
6.褥婦の身体的、心理的、社会的特徴を説明できる。
7.褥婦の生理的な経過とその診断、検査等を理解しその早期発見と健康の回復の援助について説明できる。
8.褥婦の退行性・進行性変化が理解でき、促進のための援助を理解できる。
9.褥婦の看護に必要な特有の技術を身に着け実践できる。
10. 産褥期に起こりやすい異常徴候を理解しその早期発見と健康を回復させるための援助について説明できる。

11.新生児の身体的、心理的、社会的特徴を理解できる。
12.新生児の生理的な経過とその診断、検査を理解し、正常に発育させるための看護を理解できる。
13.新生児に起こりやすい異常徴候を理解し、正常に発育させるための看護を理解できる。
14. 母子・父子関係、家族関係構築を促す援助について理解できる。
15. 看護過程の展開ができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	久保田隆子	第1章：子供を産み育てることとその看護を学ぶにあたってp.2～p.10 母親になるということ、不妊治療を受けて妊娠した妊産褥婦の姿		予習90分：テキスト第1章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第2回	久保田隆子	第2章：出生前からのリプロダクティブヘルスケアp.14～p.59 リプロダクティブヘルスケアの必要性、遺伝相談、不妊治療と看護 家族法や特別養子制度		予習90分：テキスト第2章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第3回	久保田隆子	事例検討：不妊症事例について検討 自己理解・他者理解・価値観・倫理的問題・看護としてのジレンマ	参加型意見交換	予習90分：テキスト第2章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第4回	久保田隆子	第3章：妊娠期における看護1： p.62～p.180 62－92 妊婦の経過診断とアセスメント 妊婦健康診査の項目と内容、検査、感染症 母体のアセスメント（子宮底長・腹囲測定、体重管理、栄養）		予習90分：テキスト第3章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	久保田隆子	第3章：妊娠期における看護2： p.62～p.180 92-132 胎児の発育と健康状態の診断 NST、BPS		予習90分：テキスト第3章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	久保田隆子	第3章：妊娠期における看護3： p.62～p.180 133-166 妊婦が受ける母子保健サービス 妊娠の届け出 妊婦の健康相談・教育の実際		予習90分：テキスト第3章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	久保田隆子	第3章：妊娠期における看護4： p.62～p.180 168-180 親になるための準備教育 出産準備教育 育児準備教育 家族役割調整の為の健康相談・教育 バースプラン	参加型意見交換	予習90分：テキスト第3章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第8回	久保田	第3章：妊娠期における看護4： p.62～p.180 指導案作成		予習90分：テキスト第3章を読む。

	隆子	健康教育		復習90分：配布資料を見直す。
第9回	久保田隆子	第4章：分娩期における看護1： p.184～p.259 184－211 分娩の三要素、分娩の経過、陣痛 骨産道と軟産道 バースレビュー、産婦の心理・社会的変化 分娩期のアセスメント		予習90分：テキスト第4章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第10回	久保田隆子	第4章：分娩期における看護2： p.184～p.259 211-246 娩出物（胎児と付属物）、児頭応形機能、児頭の回旋、破水（羊水）の種類と観察		予習90分：テキスト第4章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第11回	久保田隆子	第4章：分娩期における看護3： p.184～p.259 247-258 産婦と胎児の健康状態のアセスメント、胎児心拍陣痛図、胎児機能不全、産通緩和、産婦の心理、		予習90分：テキスト第4章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第12回	久保田隆子	第4章：分娩期における看護4： p.184 ～p.259 259 無痛分娩	参加型 意見交換	予習90分：テキスト第4章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第13回	久保田隆子	第5章：新生児期における看護１：p.262～p.320 新生児の定義と分類、新生児の子宮外適応現象（呼吸、循環、体温、消化と吸収、排泄、免疫、反射と感覚機能）、胎外環境への適応生理新生児の診断、健康状態のアセスメント、出生直後の看護、アプガースコア、シルバーマンスコア		予習90分：テキスト第5章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第14回	久保田隆子	第5章：新生児期における看護２：p.262～p.320 出生後から退院までの看護 身体の清潔、臍帯、栄養 医療事故、医療安全、感染予防		予習90分：テキスト第5章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第15回	久保田隆子	第5章：新生児期における看護３：p.262～p.320 生後2週間健診、生後1か月健診 乳幼児健康診査		予習90分：テキスト第5章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第16回	久保田隆子	第6章：産褥期における看護１： p.322～p.377 産褥とは 退行性変化（子宮復古、悪露、後陣痛）、 進行性変化と乳汁分泌のしくみ、母乳栄養の特徴		予習90分：テキスト第6章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第17回	久保田隆子	第6章：産褥期における看護2： p.322～p.377 母親への適応過程（ルービンの母性論） 褥婦の全身変化（バイタルサイン値） バースレビュー（出産体験の振り返り）		予習90分：テキスト第6章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第18回	久保田隆	第6章：産褥期における看護3： p.322～p.377 産褥経過のアセスメントと援助 退行性変化を促す援助、進行性変化を促す援助、授乳状況の観察、母乳栄養確立への支援		予習90分：テキスト第6章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。

	子	家族関係再構築への看護		
第19回	櫻井加奈	第6章：産褥期における看護4： p.322～p.377 施設退院後の看護 産後の生活調整 育児不安、産後の健康生活と子育て支援 職場復帰		予習90分：テキスト第6章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第20回	櫻井加奈	第7章：新生児の異常と看護1： p.489～p.513 新生児黄疸の種類、生理的黄疸、高ビリルビン血症、溶血性黄疸、検査と治療、新生児ビタミンK欠乏性出血症		予習90分：テキスト第7章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第21回	久保田隆子	第7章：妊娠の異常と看護2：p.380～p.548 380-405 ハイリスク妊娠、悪阻、流産、早産、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、 妊娠期の感染症		予習90分：テキスト第7章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第22回	久保田隆子	第7章：妊娠の異常と看護3：p.380～p.548 406-422 ハイリスク妊婦の看護、高齢妊婦、若年妊婦、肥満 血液型不適合妊娠、多胎		予習90分：テキスト第７章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第23回	久保田隆子	第7章：分娩の異常と看護4：p.380～p.548 423-488 産道の異常（児頭骨盤不均衡）、陣痛の異常（微弱・過強陣痛）、分娩時異常出血、分娩誘発と促進、帝王切開術前後の看護		予習90分：テキスト第7章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第24回	久保田隆子	第7章：産褥の異常と看護4：p.380～p.548 514-545 子宮復古不全、産褥熱、乳房トラブル、マタニティブルーズと産褥うつ病、産褥血栓症		予習90分：テキスト第７章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第25回	久保田隆子	第7章：産褥の異常と看護5：p.380～p.548 545 児をなくした褥婦・家族の支援	参加型 意見交換	予習90分：テキスト第７章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第26回	久保田隆子	事例検討1（看護過程） 553 妊娠期の看護・妊娠36週の事例から情報収集、分析・解釈、診断名を記述する。		予習90分：妊娠期配布資料を読む。 復習90分：展開した事例に修正・追加する。
第27回	久保田隆子	事例展開2（看護過程） 567 分娩期の看護・分娩の事例から情報収集、解釈・分析、診断名を記述する。		予習90分：分娩期配布資料を読む。 復習90分：展開した事例に修正・追加する。
第28回	久保田隆子	事例展開3（看護過程） 575 新生児の看護・出生～日齢3日目の事例から情報収集、解釈・分析、診断名を記述する。		予習90分：新生児の配布資料を読む。復習90分：展開した事例に修正・追加する。
第29回	久保田	事例展開4（看護過程） 581 褥婦への看護・分娩～産褥3日目の事例から情報収		予習90分：産褥期配布資料を読む。 復習90分：展開し

	隆子	集、解釈・分析、診断名を記述する。		た事例に修正・追加する。
第30回	久保田隆子	まとめ・テスト		予習90分：テキスト配付資料を読む 復習90分：テスト解説を見直す。

教科書

森恵美編集：系統看護学講座 専門分野II 母性看護学各論,医学書院.
岡庭豊:病気が見えるvol.10産科第4版,メディックメディア

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
筆記試験80%、課題提出物10%、講義への参加度10%

課題等に対する
フィードバックの方法

講義内ミニテストを行う。

履修のポイント

周産期における看護で重要なことは、地域や家庭で生活する対象者に対して、セルフケアによって安全で快適な妊娠期・分娩期が過ごせ、新しい家族関係が構築できるよう支援することです。妊・産・褥婦が健康を維持・増進することができるよう、看護について学びを深めることを期待します。

オフィス・アワー

水曜日14時00分～18時00分 11号館3階第4研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R241

講義コード	10660001
講義名	母性看護学実習
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	実験・実習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	助産師としての病院における実務経験をもとに、看護過程の展開や周産期ケアについて実践指導する。
学年	３学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 久保田 隆子	指定なし
教員	櫻井 加奈	指定なし

授業の概要と教育目標

周産期にある対象者の身体・心理・社会的変化を理解したうえで、母児を受け持ち、看護過程を展開する。情報収集から分析解釈し看護計画立案（実施・評価）するプロセスを通し、周産期にある母子の生理的変化や適応状態を把握し、対象のニーズの充足や親役割獲得への看護実践を学ぶことを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、妊娠・分娩・産褥・新生児期にある対象者の特徴を理解し、ウェルネスの視点に基づく看護実践について学修することを目指すものとする。

到達目標

1. 周産期にある対象者の身体・心理・社会的変化について情報を収集し、個別性に応じたアセスメントができる。
2. 周産期にある対象者の健康維持・増進、正常からの逸脱を予防するための援助ができる。
3. 母子関係を促進し、母親役割獲得への援助について理解できる。
4. 周産期における看護の役割とチーム医療について理解できる。
5. 周産期にある対象者への看護技術を安全・安楽に実施できる。
6. 対象者の人権を尊重または擁護でき、プライバシーや看護倫理に配慮した看護を理解できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	久保田	学内実習 実習目的、目標の確認、記録用紙配布と記載方法説明、実習施設と実習内容、事前学習課題の確認と修正・	技術演習 グループメンバーにて新生児の沐浴、新生児のバイ	予習90分：母性看護学実習事前課題の実施と再確認。復習：実施した技術演習を

	隆子	追加（不足点を調べる）、グループメンバーにて役割を決定する。知識確認テスト。	タルサイン測定、妊婦の子宮底測定、腹囲測定を実施する。	教科書で再確認し、自己のノートにまとめる。
第2回	久保田隆子	臨地実習 病院オリエンテーション、受け持ち褥婦と新生児の選定と紹介、カルテやコミュニケーションにより情報収集を母児共に実施し、得られた情報は記録用紙に記載する	受け持ち褥婦・新生児の紹介と気づきについてカンファレンスを行う。	予習90分：昨日の復習を行う。復習：得られた情報を記録用紙に記載し、アセスメントする。
第3回	久保田隆子	臨地実習 受け持ち褥婦・新生児とコミュニケーションを図りながら、バイタルサイン測定を実施する。褥婦の子宮復古状態を確認、授乳状況を観察し、アセスメントする。記録を教員に提出し個別指導を受け、看護計画を立案する。	新生児：バイタルサイン測定と沐浴実施、褥婦：バイタルサイン測定、子宮復古確認、授乳状況確認、指導同席 受け持ち褥婦・新生児の状態と問題点の有無についてカンファレンスを行う。	予習90分：昨日の復習を行う。復習：得られた情報を記録用紙に記載し、アセスメントし、計画立案する。
第4回	久保田隆子	臨地実習 受け持ち褥婦・新生児とコミュニケーションを図りながら、バイタルサイン測定を実施する。褥婦の子宮復古状態を確認、授乳状況を観察し、再アセスメントし、計画立案した内容を実践する。	新生児：バイタルサイン測定と沐浴実施、褥婦：バイタルサイン測定、子宮復古確認、授乳状況確認、指導、診察同席 受け持ち褥婦・新生児の状態と問題点の有無についてカンファレンスを行う。	予習90分：昨日の復習を行う。復習：得られた情報の追加と実施した計画の評価を行う。
第5回	久保田隆子	学内実習 受け持ち褥婦、新生児の記録を全てまとめる。 ハイリスク妊娠褥婦の学習発表会	技術演習 グループメンバーにて新生児の沐浴、新生児のバイタルサイン測定、妊婦の子宮底測定、腹囲測定を実施する。	予習90分：昨日の復習を行う。復習：記録をまとめる。
第6回	久保田隆子	学内実習 知識確認テストの解答解説発表会	母親学級の学びについてカンファレンスを行う。	予習90分：昨日の復習を行う。復習：記録をまとめる。
第7回	久保田隆子	臨地実習 産科外来にて妊婦健康診査の実際（医師の診察、子宮底・腹囲測定、浮腫確認方法、超音波検査、児心音確認方法等）について学ぶび、記録する。	産科外来実習にての気づき、学びについてカンファレンスを行う。	予習90分：昨日の復習を行う。復習：記録をまとめる。
	久	臨地実習	腰部マッサージ、呼吸法等実践す	

第8回	保田隆子	分娩期（I期～IV期）にある女性のアセスメントとケア計画を立案し、実践する。また、実践内容と学びについて記録する。	る。 分娩室実習にての気づき、学びについてカンファレンスを行う。	予習90分：昨日の復習を行う。復習：記録をまとめる。
第9回	久保田隆子	臨地実習 分娩期（I期～IV期）にある女性のアセスメントとケア計画を立案し、実践する。また、実践内容と学びについて記録する。 集団指導（母親学級）の運営方法、手順について学ぶ。	腰部マッサージ、呼吸法等実践する。 分娩室実習にての気づき、学びについてカンファレンスを行う。	予習90分：昨日の復習を行う。復習：記録をまとめる。
第10回	久保田隆子	学内実習 看護過程・関連図発表会 受け持ち褥婦、新生児の記録、分娩室、外来実習における記録をまとめる。母性看護学実習を通しての学びをレポートとして作成する。指定時間に記録物全てを提出する。		予習90分：昨日の復習を行う。復習：看護師としての自己を振り返り、看護観について考察する。

教科書

森恵美編集：系統看護学講座 専門分野II 母性看護学各論,医学書院.
岡庭豊:病気が見えるvol.10産科第4版,メディクメディア

参考書

適宜紹介する。
吉沢豊予子,鈴木幸子編著:マタニティアセスメントガイド,真興交易（株）医書出版部
日本助産診断・実践研究会編著：実践マタニティ診断，医学書院

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。

課題等に対する
フィードバックの方法

記録物については適宜確認し、不足点を伝えるので修正し学習の参考にする。

履修のポイント

実習前後に母性看護学概論・方法におけるポイントを振り返り、学びを深めることが知識・技術の定着につながる。また臨地実習にて対象者を理解（分析・解釈）するために、活用できる基礎的な知識をまとめた事前学習を勧める。

オフィス・アワー

水曜日14時00分～16時00分 11号館3階第4研究室
実習期間中は帰学日

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R250

講義コード	10670001
講義名	小児看護学概論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	国立高度専門医療センターおよび国立病院機構での小児看護師と看護管理者の経験を活かし、小児看護の楽しさと感動を共有し、小児特有の看護実践に必要な学習を教授する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 吉田 幸子	指定なし

授業の概要と教育目標

子どもが健やかに成長することは人類共通の願いである。小児看護学は障がいの有無に関わらず子どもの健康を守り維持、増進する役割がある。小児看護学概論では胎児期を含めて出生から青年期に至るまでの成長・発達・評価を修得すること、また、子どもと家族を取り巻く社会の要請を踏まえ、看護者としての基礎的知識を修得し、看護方法論、小児看護学実習の学習と連携して小児看護を実践できる基礎的能力の習得を目指すことを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

卒業認定・学位授与の方針との関連 健康保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーと関連して、小児看護学の理念と成長・発達の知識を修得し、発達段階に応じた子どもと家族への看護を理解できる学習を目指す。また、倫理を常に念頭においた健康レベル別看護の基礎知識を修得する。

到達目標

１．小児看護学の理念・目標・特徴を説明できる。
２．発達理論を説明できる。
３．胎児期から青年期までの発達段階を説明できる。
４．子どもと家族の倫理的課題を踏まえて、健康レベル別看護を述べることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	吉田幸子	小児看護の概要：特徴と理念、小児看護の役割，小児看護・医療の変遷と現状理解、諸統計	グループワークディスカッション適宜	予習・復習に90分（課題有）
第2回	吉田	発達理論	グループワークディスカッショ	予習・復習に90分（課題

	幸子	DVD（認知の発達）	ン適宜	有）
第3回	吉田幸子	小テスト１ 成長発達概要、発達評価	グループワーク ディスカッション適宜	予習・復習に90分（課題有）
第4回	吉田幸子	成長発達：呼吸・循環・消化器・免疫	グループワーク ディスカッション適宜	予習・復習に90分（課題有）
第5回	吉田幸子	成長発達：神経・睡眠・視覚・運動 DVD（運動機能の発達）	グループワーク ディスカッション適宜	予習・復習に90分（課題有）
第6回	吉田幸子	小テスト２ 成長発達：コミュニケーション・情緒・社会・言葉 DVD（言葉の発達）	グループワーク ディスカッション適宜	予習・復習に90分（課題有）
第7回	吉田幸子	学童・思春期の発達 DVD（社会性の発達）	グループワーク ディスカッション適宜	予習・復習に90分（課題有）
第8回	吉田幸子	小児の栄養	グループワーク ディスカッション適宜	予習・復習に90分（演習含）
第9回	吉田幸子	小テスト３ 小児の倫理	グループワーク ディスカッション適宜	予習・復習に90分
第10回	吉田幸子	小児の虐待と看護	グループワーク ディスカッション適宜	予習・復習に90分
第11回	吉田幸子	小児の救急１：主要症状を示す子どもと家族の看護	グループワーク ディスカッション適宜	予習・復習に90分
第12回	吉田幸子	小テスト４ 小児の救急２：主要症状を示す子どもと家族の看護	グループワーク ディスカッション適宜	予習・復習に90分
第13回	吉田幸子	医療的ケア児の看護（重症心身障害児へのアプローチ・チーム医療）DVD	グループワーク ディスカッション適宜	予習・復習に90分（課題有）
第14回	吉田幸子	災害時の子どもと家族の看護	メディア学習 グループワーク・発表	予習・復習に90分
第15回	吉田幸	子どもと家族を取り巻く社会と家族支援	グループワーク・発表	予習・復習に90分

	子			

教科書

教科書 奈良間美保他：小児看護学概論・小児臨床看護総論
医学書院

参考書

１．中野綾美他：小児看護学（１）小児の発達と看護 第7版 メディカ出版
２．小林京子他：小児看護学概論、小児保健 メヂカルフレンド社

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上
定期試験60% 課題 20%
授業内小テスト 20%

課題等に対する
フィードバックの方法

課題等に対するフィードバックの方法 授業内で課した課題は締切日を提示するので、遅延のないように提出すること。後日、コメントを付けて返却するので学習の参考にすること。成績評価に該当する。

履修のポイント

配布資料および授業内の討議
教科書を充分に理解し、マイノートを作成して予習復習を実施してください。

オフィス・アワー

授業終了後または出勤日に随時

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R234

講義コード	10670002
講義名	小児看護学概論（2021年度入学生）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	国立高度専門医療センターおよび国立病院機構での小児看護師と看護管理者の経験を活かし、小児看護の楽しさと感動を共有し、小児特有の看護実践に必要な学習を教授する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 吉田 幸子	指定なし

授業の概要と教育目標

子どもが健やかに成長することは人類共通の願いである。小児看護学は障がいの有無に関わらず子どもの健康を守り維持、増進する役割がある。小児看護学概論では胎児期を含めて出生から青年期に至るまでの成長・発達・評価を修得すること、また、子どもと家族を取り巻く社会の要請を踏まえ、看護者としての基礎的知識を修得し、看護方法論、小児看護学実習の学習と連携して小児看護を実践できる基礎的能力の習得を目指すことを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

卒業認定・学位授与の方針との関連 健康保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーと関連して、小児看護学の理念と成長・発達の知識を修得し、発達段階に応じた子どもと家族への看護を理解できる学習を目指す。また、倫理を常に念頭においた健康レベル別看護の基礎知識を修得する。

到達目標

１．小児看護学の理念・目標・特徴を説明できる。
２．発達理論を説明できる。
３．胎児期から青年期までの発達段階を説明できる。
４．子どもと家族の倫理的課題を踏まえて、健康レベル別看護を述べることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	吉田幸子	小児看護の概要：特徴と理念、小児看護の役割，小児看護・医療の変遷と現状理解、諸統計	グループワークディスカッション適宜	予習・復習に90分（課題有）
第2回	吉田	発達理論	グループワークディスカッショ	予習・復習に90分（課題

	幸子	DVD（認知の発達）	ン適宜	有）
第3回	吉田幸子	小テスト１ 成長発達概要、発達評価	グループワーク ディスカッション適宜	予習・復習に90分（課題有）
第4回	吉田幸子	成長発達：呼吸・循環・消化器・免疫	グループワーク ディスカッション適宜	予習・復習に90分（課題有）
第5回	吉田幸子	成長発達：神経・睡眠・視覚・運動 DVD（運動機能の発達）	グループワーク ディスカッション適宜	予習・復習に90分（課題有）
第6回	吉田幸子	小テスト２ 成長発達：コミュニケーション・情緒・社会・言葉 DVD（言葉の発達）	グループワーク ディスカッション適宜	予習・復習に90分（課題有）
第7回	吉田幸子	学童・思春期の発達 DVD（社会性の発達）	グループワーク ディスカッション適宜	予習・復習に90分（課題有）
第8回	吉田幸子	小児の栄養	グループワーク ディスカッション適宜	予習・復習に90分（演習含）
第9回	吉田幸子	小テスト３ 小児の倫理	グループワーク ディスカッション適宜	予習・復習に90分
第10回	吉田幸子	小児の虐待と看護	グループワーク ディスカッション適宜	予習・復習に90分
第11回	吉田幸子	小児の救急１：主要症状を示す子どもと家族の看護	グループワーク ディスカッション適宜	予習・復習に90分
第12回	吉田幸子	小テスト４ 小児の救急２：主要症状を示す子どもと家族の看護	グループワーク ディスカッション適宜	予習・復習に90分
第13回	吉田幸子	医療的ケア児の看護（重症心身障害児へのアプローチ・チーム医療）DVD	グループワーク ディスカッション適宜	予習・復習に90分（課題有）
第14回	吉田幸子	災害時の子どもと家族の看護	メディア学習 グループワーク・発表	予習・復習に90分
第15回	吉田幸	子どもと家族を取り巻く社会と家族支援	グループワーク・発表	予習・復習に90分

	子			

教科書

教科書 奈良間美保他：小児看護学概論・小児臨床看護総論
医学書院

参考書

１．中野綾美他：小児看護学（１）小児の発達と看護 第7版 メディカ出版
２．小林京子他：小児看護学概論、小児保健 メヂカルフレンド社

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上
定期試験60% 課題 20%
授業内小テスト 20%

課題等に対する
フィードバックの方法

課題等に対するフィードバックの方法 授業内で課した課題は締切日を提示するので、遅延のないように提出すること。後日、コメントを付けて返却するので学習の参考にすること。成績評価に該当する。

履修のポイント

配布資料および授業内の討議
教科書を充分に理解し、マイノートを作成して予習復習を実施してください。

オフィス・アワー

授業終了後または出勤日に随時

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R234

講義コード	10680001
講義名	小児看護方法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	病院現場での実務経験を活かし、疾患の理解及び看護の知識を深める授業を展開する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 吉田 幸子	指定なし
教員	丸本 真理	指定なし

授業の概要と教育目標

成長・発達過程で抱える健康問題（疾病・治療）を学び、子どもの発達段階と健康段階にあった基本的援助方法を見出せるよう、学習する。疾病と治療そして発達段階を総合的に理解し、看護方法を学ぶ。また、３年次の実習の準備段階ということもふまえ、実習の際に疾患及び看護が理解できることを目標とする。また、積極的にアクティブラーニングを取り入れ、モデル人形やDVDを視聴することでより学習が深まるようことを期待する。授業をとおして学生の自主性学びの育成や促進をめざす。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ・ポリシーとの関連として、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識の習得を目指し、小児看護学概論で学んだ知識を基に、成長・発達を理解したうえで、健康問題（疾病・治療）を学び、子どもとその家族に及ぼす影響を理解する。そして、成長・発達段階と健康段階に応じた子どもと家族への基本的な援助を提供できるよう知識の習得をめざす。

到達目標

1.様々な発達段階、健康状態にある子どもについて理解できる。
2.子どもの健康問題の病態生理と治療、処置について理解し、看護について記述することができる。
3.様々な状況にある子どもとその家族への看護について考えることができる。
4.病態生理を基に根拠を考え、看護を理解することができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	吉田幸子	オリエンテーション 子どもの日常生活援助と病院で関わる子どもへのプレパレーション		予習90分 復習90分 配付資料を

		やディストラクション		見直す
第2回	吉田幸子	染色体異常 病的新生児の看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第3回	丸本真理	アレルギー疾患と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第4回	吉田幸子	感染症と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第5回	丸本真理	呼吸器疾患と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第6回	吉田幸子	循環器疾患と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第7回	吉田幸子	消化器疾患と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第8回	丸本真理	腎・泌尿器疾患と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第9回	吉田幸子	周手術期の看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第10回	吉田幸子	周手術期の看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第11回	吉田幸子	血液・造血器疾患と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第12回	吉田幸子	血液・造血器疾患と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第13回	吉田幸子	神経疾患と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第14回	吉田幸子	運動器疾患と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す

第15回	丸本真理	耳鼻咽喉科疾患と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第16回	吉田幸子 丸本真理	低出生体重児の看護	新生児集中ケア認定看護師による講義	予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第17回	吉田幸子 丸本真理	発達障害と特別支援教育	特別支援学校専門アドバイザーの講義	予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第18回	吉田幸子	事故・外傷と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第19回	吉田幸子 丸本真理	事故・外傷と看護	小児心肺蘇生の演習	予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第20回	吉田幸子	事故防止		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第21回	吉田幸子 丸本真理	看護過程演習 小児における看護過程作成方法と関連図	配付資料を見直す 看護過程をペーパーペイシェント を行う。	予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第22回	吉田幸子 丸本真理	看護過程演習 分析・解釈・統合の考えかたと記入方法	配付資料を見直す 看護過程をペーパーペイシェント を行う。	予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第23回	吉田幸子 丸本真理	看護過程演習 分析・解釈・統合の考えかたと記入方法	配付資料を見直す 看護過程をペーパーペイシェント を行う。	予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第24回	吉田幸子 丸本真理	看護過程演習 分析・解釈・統合から導きだした個別性を考慮した立案 と具体策	配付資料を見直す 看護過程をペーパーペイシェント を行う。	予習90分 復習90分 看護過程の作成を行う
第25回	吉田幸子 丸本真理	看護過程演習 分析・解釈・統合から導きだした個別性を考慮した立案 と具体策	配付資料を見直す 看護過程をペーパーペイシェント を行う。	予習90分 復習90分 看護過程の作成を行う
第26回	吉田幸子 丸本真理	看護過程演習 分析・解釈・統合から導きだした個別性を考慮した立案 と具体策	配付資料を見直す 看護過程をペーパーペイシェント を行う。	予習90分 復習90分
第27回	吉田幸子 丸本真理	小児の基本的な看護技術 バイタルサインズ、着脱の演習	ロールプレイ	予習90分 復習90分 配布資料を見直す

第28回	吉田幸子 丸本真理	小児の基本的な看護技術 バイタルサインズ、着脱の演習	ロールプレイ	予習90分 復習90分 配布資料を見直す
第29回	吉田幸子 丸本真理	小児の基本的な看護技術 バイタルサインズ、着脱の演習	ロールプレイ	予習90分 復習90分 配布資料を見直す
第30回	吉田幸子 丸本真理	小児の基本的な看護技術 バイタルサインズ、着脱の演習	ロールプレイ	予習90分 復習90分 配布資料を見直す

教科書

小児臨床看護各論(医学書院)

参考書

小児看護学II 小児看護支援論 子どもと家族の主体性を支える（南江堂）
小児疾患（南江堂）
子どもの病気の地図帳（講談社）
子どものフィジカルアセスメント（金原書店）
小児看護技術（医学書院）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上：テスト60%、レポート・課題30%、演習10% にて評価します。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

授業内でレポートや課題を課すことがあります。返却するので学習の参考にして下さい。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します。

オフィス・アワー

火曜日 12：30〜13：20（昼休み、）授業終了後、適宜対応します。10号館10、11研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R242

講義コード	10690001
講義名	小児看護学実習
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	実験・実習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	病院現場での実務経験を活かし、医療従事者としての役割及び看護過程の展開及び看護を教授する。
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 吉田 幸子	指定なし
教員	丸本 真理	指定なし

授業の概要と教育目標

健全な育成をめざし、小児の成長発達を理解し、あらゆる健康段階にいる小児と家族に対して適切な看護が実践できる基礎能力を養う。
医療従事者の役割、責任を理解し、アドボカシーについて考えることができる。
・病棟実習では、病態生理を理解し、必要な看護援助が導きだせるよう看護過程を展開する。
・特別支援学校実習では、障害について学び、特別支援学校教育を理解し、
医療従事者となる自己の立場・役割を考える。
・保育園・幼稚園実習では、健康な小児の発達段階、健康な児を理解する。
小児及び家族をとりまく環境を理解し、小児観を育む。

卒業認定・学位授与の方針との関連

看護学科のディプロマ・ポリシーは人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から理解することから、子ども、家族とのコミュニケーションを通して、各発達段階においてのコミュニケーションスキルを学ぶ。健康生活及び社会とこどもの関係についてを理解する。医療従事者としての倫理、法令を理解し、医療従事者として責任や役割の目指す。
また、小児看護技術における科学的知識を習得し、実践に必要な援助技術を習得することを目指す。

到達目標

1. 小児を個として尊重し、権利を有する存在であることを理解し、個別的な関わりができる。
1) 小児の発達段階や背景を理解したうえでコミュニケーションを図ることができる。

2.健康障害や入院が、患児と家族に与える影響について理解することができる。
1) 患児と家族の抱えている問題やその影響を理解した上で意識したかかわりを行い、アセスメントを行うことができる。

3. 患児の病態や発達段階をふまえ、援助することができる。

1) 患児の疾患や発達段階をとらえ、アセスメントから分析・解釈・統合を行い、看護問題の立案ができる。
2) 個別性を見出し、患児・家族のニーズを理解し、具体策の修正及び追加ができる。
3) 看護計画の具体策を日々評価し、修正することで安全・安楽な看護援助を提供することができる。
4) 小児の生活習慣を把握し、児や養育者に向けて必要な援助を考えることができる。

4. 様々な状況にある子どもについて理解できる。
1) 対象を理解し、子どもの治療や発達への促進、将来に向けた教育的関わりについて理解することができる。
2) 各発達段階や疾患においての事故を予測し、事故防止に努めることができる。

5. 小児看護及び医療従事者に期待される責任と役割を理解することができる。
1） 様々な状況にある子どものニーズ及び看護師に期待される役割を理解することができる。
2) 子どもや実習で関わった人々の姿を通して自己の課題を明確にし、主体的・積極的に学習できる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	病棟にて実習を行う。患児を受け持ち、患児の病態生理や治療を理解し、看護過程を作成し、必要な看護援助を行う。	小児看護技術ついては実習前演習を行う。また実習直前にバイタルサイン測定のビデオ学習、演習を再度を行う。アセスメント技術については看護過程の作成及び指導をうけ、書き方や考え方の整理を行う。日々の実習終了後、カンファレンスを行い、グループメンバーとの意見交換をしながら自己の看護について考える。	予習については、バイタルサインズの正常値、測定方法、発達段階及び小児特有の疾患についてノート作成を行う。復習については、実習においての看護過程を日々追加・修正することで、自己の看護について考え、必要な学習を行う。 予習90分、復習90分。
第2回	特別支援学校、保育園、幼稚園で実習を行う。 発達段階、障がいについて学ぶ。 看護者に求められる責任と役割を考える。	特別支援学校の実習準備としては発達障害、知的障害についてノートに整理する。また、自閉症のビデオ視聴を行い、カンファレンスをもつことで意見交換を行う。最終の学内カンファレンスにおいては、ビデオ学習、カンファレンス、障がいについて看護者に求められる役割について意見交換を行う。	予習については、発達障害について調べる。 復習については、実習記録を作成し、援助者の行動の意図を理解し、自己の課題についても考える。 予習90分、復習90分。

教科書

医学書院 小児臨床看護各論
看護学テキストNiCE 小児看護学概論(改訂版) 南江堂 （小児看護学概論の授業で使用した教科書）

参考書

医学書院 小児看護技術
医学書院 小児看護過程

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上、事前学習、看護過程、実施をふまえ実習評価表に沿って評定します。

課題等に対する

フィードバックの方法
日々の課題やレポートが課せられる。返却の際に記録指導、実習指導を行います。 実習では、適宜アドバイスを行います。学習の参考にしてください。
履修のポイント
実習目標を意識して実習に挑んでください。 適宜教員に相談してください。 指導者及び教員から課題が出た場合は、速やかに学習し翌日教員に提出してください。
オフィス・アワー
月曜日 12：30～13：20 10号館10研究室 一日の実習終了後にも適宜受け付けます。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R251

講義コード	10700001
講義名	成人看護学概論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	病院における看護師経験を活かして、成人期にある対象の基本的な看護の知識を教授する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 北爪 明子	指定なし
教員	松沼 晶子	指定なし
教員	黒田 梨絵	指定なし

授業の概要と教育目標

成人期にある人々は幅広く人口層が厚く、社会的にも重要な役割を担っている。この時期にある人々の健康とはどのようなもので、それらはどの様な要因で危険にさらされ、破綻し、再生・回復していくのかを知り、その過程で看護は何ができるのか、なにをすべきなのかについて追及していく。
授業の中では、成人はどの様な健康問題を抱えているのか、その人らしくあることができるよう看護するためのアプローチとはどのように考えていくのか、様々な健康レベルに対応した看護とは等について基本的な知識を学ぶ。また、授業では毎回、課題を設定し、学生が問を追求、自ら考え、主体的に学べるよう展開していく。受動的に授業を受けるのではなく、課題達成にむけて自ら行動することで主体的に看護活動に活かせる態度を養うことも授業のねらいとする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、現代社会を背景とした成人各期の特徴及び健康問題に対し、成人への看護アプローチの基本を理解し、健康レベルに対応した看護を学ぶことで、急性期・慢性期を対象とした成人看護方法論I・II及成人看護学実習につながる学びを目指す。

到達目標

1.成人の生活と健康について理解する。
2.成人の健康生活の為に必要な看護についてその基本的アプローチを理解する。
3.成人の様々な健康レベルに対応した看護を理解する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	北	はじめに	・看護学の専門分野を学ぶことの意義をディスカッションをとおして考える。	復習90分：課題に

第1回	爪明子	■成人看護学分野を学ぶことの意義	・自分自身の学習に対する問題を問題解決思考で考える。 ・看護実践にも問題解決の考え方が必要であることを考える。	ついて、テキストを読みノートに記述する。
第2回	北爪明子	第1章 成人と生活 A 対象の理解 －大人になること、大人であること B 対象の生活 －働いて生活を営むこと	【課 題】 問1.現在の社会状況は成人の健康・生活をどのように脅かしているのか。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分：テキストの第1章を読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第3回	北爪明子	第2章 生活と健康 A 成人を取り巻く環境と生活からみた健康 B 生活環境をまもりはぐくむシステム	【課 題】 問2. 社会や環境の変動は健康にどのような影響を与えるのか。 問3. 健康にかかわる政策や制度など、生活と健康をまもりはぐくむシステムとは何か。 ＊問2または問3のどちらかについて検討・記述する。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分：テキストの第2章を読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第4回	北爪明子	第4章 ヘルスプロモーションと看護 A ヘルスプロモーションと看護 B ヘルスプロモーションを促進する看護の場と活動	【課 題】 問4. 成人の健康を増進できるように支援するための看護とは何か。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分:テキストの第4章を読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第5回	北爪明子	第5章 健康をおびやかす要因と看護 A 健康バランスの構成要素 B 健康バランスに影響を与える要因 C 生活行動がもたらす健康問題とその予防	【課 題】 問5. 成人はどの様な健康問題を抱えているのか。 問6. 成人の健康に影響を与える要因（危険性）と、その危険性を未然に防ぎ、日常生活行動を修正できるよう支援する看護とは何か。 ＊問5または問6のどちらかについて検討・記述する。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分：テキストの第5章を読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第6回	北爪明子	第3章 成人への看護アプローチの基本 A 生活なかで健康行動を生み、はぐくむ援助 B 症状マネジメント	【課 題】 問7. 個人の主体的な健康づくりとは何か、支援する方法には何があるか。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分：テキストの第3章ABを読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
		第3章 成人への		

第7回	北爪明子	看護アプローチの基本 C 健康問題をもつ大人と看護師の人間関係 D 人々の集団における調和や変化を促す看護アプローチ	【課 題】 問8. 患者と看護師の人間関係はどのように構築されるのか。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分：テキストの第3章CDを読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第8回	北爪明子	第3章 成人への看護アプローチの基本 E チームアプローチ F 看護におけるマネジメント	【課 題】 問9. 患者集団への相互作用を中心としたチームアプローチとは何があるか。 問10. 看護におけるマネジメントの役割・機能について看護ケアの質保証の観点から考える。 ＊問9または問10のどちらかについて検討・記述する。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分：テキストの第3章EFを読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第9回	北爪明子	第10章 さまざま健康レベルにある人の継続的な移行支援 A 移行支援の基礎知識 B 継続的な移行を支える支援の実際	【課 題】 問11. 患者が移行する療養の場とその特徴にはどのようなものがあるか。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分：テキストの第10章を読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第10回	黒田梨絵北爪明子	第3章 成人へ看護アプローチの基本 G 看護実践における倫理的判断 H 意思決定支援 I 家族支援	【課 題】 問12. 医療現場における倫理的課題にはどのようなものがあるか、またそれに対して看護師はどのように向き合っていくべきか。 問13. 患者の意思決定を支援する上で看護師の役割は何か。 ＊問12または問13のどちらかについて検討・記述する。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分：テキストの第3章GHIを読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第11回	黒田梨絵北爪明子	第6章 健康生活の急激な破綻とその回復を支援する看護 A 健康の急激な破綻 B 急性期にある人の看護	【課 題】 問14. 急性疾患などの健康の急激な破綻と回復を促す看護とは何か。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分：テキストの第6章を読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第12回	北爪明子	第7章 慢性病とともに生きる人を支える看護 A 慢性病とともに生きる人を理解する B	【課 題】 問15. 慢性疾患との共存を支えるアプローチとは何か。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。	予習90分：テキストの第7章を読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキスト

		慢性病とともに生きる人を支える	2.自分の考えをノートに整理する。	を読みノートに記述する。
第13回	松沼晶子北爪明子	第8章 障害がある人の生活とリハビリテーション A 障害がある人の生活とリハビリテーション B 障害がある人とその生活を支援する看護	【課 題】 問16. 障害がある人と関わった経験について話し合う。 障害がある人を支援する看護の特徴とは何か。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分：テキストの第8章を読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第14回	松沼晶子北爪明子	第9章 人生の最期のときを支える看護 A. 人生の最期のときをにおける医療の現状 B. 人生の最期のときを過ごしている人の理解 C. 人生最期のときを支える看護	【課 題】 問17. 喪失体験エクササイズを通して、死に逝く人の喪失を擬似体験することで喪失する・した人の気持ちを考え、記述する。	予習90分：テキストの第9章を読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第15回	北爪明子	第11章 新たな治療法、先端医療と看護 A. 新たな治療法・医療処置の開発・普及 B. 新たな治療法や医療処置を受ける患者・家族の看護 ■成人看護学概論のまとめ	【課 題】 問18. 新たな治療法、処置の出現は、医療を受ける人の健康行動にどのような変化をもたらすか。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。 問19 成人看護概論の目標達成度を確認する。	予習90分：テキストの第11章を読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。

教科書

系統看護学講座 専門分野II 成人看護学I 成人看護学総論（医学書院）

参考書

必要に応じて講義時に紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上、筆記試験100%とする。

課題等に対する
フィードバックの方法

・成人学習者であることを意識した、主体的な学びになるように、課題や自ら考えてノートに記載した内容を授業の中で発言し、ディスカッションできるようにします。
・教科書に書かれている内容やその意味を自分の体験や経験を通して理解できるようにします。
・知識として覚えるだけでなく、問題解決の思考で考える力を養えるようにします。

履修のポイント

・事前学習では、教科書の指定箇所を読み、知識を得てから講義に臨んでください。

・課題ついては、教科書の指定箇所を読み、授業の中や自己学習を通して自分の考えをノートに整理し、思考を深めてください。
・予習（90分）と復習（90分）の時間を含めて、受け身の授業ではなく、自らの思考を自ら育てられるよう、主体的に取り組ことを期待しています。

オフィス・アワー

適宜受け付けます。
北爪明子：10号館2階 研究室6
松沼晶子：10号館2階 研究室13
黒田梨絵：10号館2階 研究室3

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R235

講義コード	10700002
講義名	成人看護学概論（2021年度入学生）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	病院における看護師経験を活かして、成人期にある対象の基本的な看護の知識を教授する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 北爪 明子	指定なし
教員	松沼 晶子	指定なし
教員	黒田 梨絵	指定なし

授業の概要と教育目標

成人期にある人々は幅広く人口層が厚く、社会的にも重要な役割を担っている。この時期にある人々の健康とはどのようなもので、それらはどの様な要因で危険にさらされ、破綻し、再生・回復していくのかを知り、その過程で看護は何ができるのか、なにをすべきなのかについて追及していく。
授業の中では、成人はどの様な健康問題を抱えているのか、その人らしくあることができるよう看護するためのアプローチとはどのように考えていくのか、様々な健康レベルに対応した看護とは等について基本的な知識を学ぶ。また、授業では毎回、課題を設定し、学生が問を追求、自ら考え、主体的に学べるよう展開していく。受動的に授業を受けるのではなく、課題達成にむけて自ら行動することで主体的に看護活動に活かせる態度を養うことも授業のねらいとする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、現代社会を背景とした成人各期の特徴及び健康問題に対し、成人への看護アプローチの基本を理解し、健康レベルに対応した看護を学ぶことで、急性期・慢性期を対象とした成人看護方法論I・II及成人看護学実習につながる学びを目指す。

到達目標

1.成人の生活と健康について理解する。
2.成人の健康生活の為に必要な看護についてその基本的アプローチを理解する。
3.成人の様々な健康レベルに対応した看護を理解する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	北	はじめに	・看護学の専門分野を学ぶことの意義をディスカッションをとおして考える。	復習90分：課題に

第1回	爪明子	■成人看護学分野を学ぶことの意義	・自分自身の学習に対する問題を問題解決思考で考える。 ・看護実践にも問題解決の考え方が必要であることを考える。	ついて、テキストを読みノートに記述する。
第2回	北爪明子	第1章 成人と生活 A 対象の理解 －大人になること、大人であること B 対象の生活 －働いて生活を営むこと	【課 題】 問1.現在の社会状況は成人の健康・生活をどのように脅かしているのか。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分：テキストの第1章を読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第3回	北爪明子	第2章 生活と健康 A 成人を取り巻く環境と生活からみた健康 B 生活環境をまもりはぐくむシステム	【課 題】 問2. 社会や環境の変動は健康にどのような影響を与えるのか。 問3. 健康にかかわる政策や制度など、生活と健康をまもりはぐくむシステムとは何か。 ＊問2または問3のどちらかについて検討・記述する。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分：テキストの第2章を読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第4回	北爪明子	第4章 ヘルスプロモーションと看護 A ヘルスプロモーションと看護 B ヘルスプロモーションを促進する看護の場と活動	【課 題】 問4. 成人の健康を増進できるように支援するための看護とは何か。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分:テキストの第4章を読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第5回	北爪明子	第5章 健康をおびやかす要因と看護 A 健康バランスの構成要素 B 健康バランスに影響を与える要因 C 生活行動がもたらす健康問題とその予防	【課 題】 問5. 成人はどの様な健康問題を抱えているのか。 問6. 成人の健康に影響を与える要因（危険性）と、その危険性を未然に防ぎ、日常生活行動を修正できるよう支援する看護とは何か。 ＊問5または問6のどちらかについて検討・記述する。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分：テキストの第5章を読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第6回	北爪明子	第3章 成人への看護アプローチの基本 A 生活なかで健康行動を生み、はぐくむ援助 B 症状マネジメント	【課 題】 問7. 個人の主体的な健康づくりとは何か、支援する方法には何があるか。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分：テキストの第3章ABを読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
		第3章 成人への		

第7回	北爪明子	看護アプローチの基本 C 健康問題をもつ大人と看護師の人間関係 D 人々の集団における調和や変化を促す看護アプローチ	【課 題】 問8. 患者と看護師の人間関係はどのように構築されるのか。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分：テキストの第3章CDを読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第8回	北爪明子	第3章 成人への看護アプローチの基本 E チームアプローチ F 看護におけるマネジメント	【課 題】 問9. 患者集団への相互作用を中心としたチームアプローチとは何があるか。 問10. 看護におけるマネジメントの役割・機能について看護ケアの質保証の観点から考える。 ＊問9または問10のどちらかについて検討・記述する。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分：テキストの第3章EFを読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第9回	北爪明子	第10章 さまざま健康レベルにある人の継続的な移行支援 A 移行支援の基礎知識 B 継続的な移行を支える支援の実際	【課 題】 問11. 患者が移行する療養の場とその特徴にはどのようなものがあるか。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分：テキストの第10章を読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第10回	黒田梨絵北爪明子	第3章 成人へ看護アプローチの基本 G 看護実践における倫理的判断 H 意思決定支援 I 家族支援	【課 題】 問12. 医療現場における倫理的課題にはどのようなものがあるか、またそれに対して看護師はどのように向き合っていくべきか。 問13. 患者の意思決定を支援する上で看護師の役割は何か。 ＊問12または問13のどちらかについて検討・記述する。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分：テキストの第3章GHIを読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第11回	黒田梨絵北爪明子	第6章 健康生活の急激な破綻とその回復を支援する看護 A 健康の急激な破綻 B 急性期にある人の看護	【課 題】 問14. 急性疾患などの健康の急激な破綻と回復を促す看護とは何か。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分：テキストの第6章を読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第12回	北爪明子	第7章 慢性病とともに生きる人を支える看護 A 慢性病とともに生きる人を理解する B	【課 題】 問15. 慢性疾患との共存を支えるアプローチとは何か。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。	予習90分：テキストの第7章を読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキスト

		慢性病とともに生きる人を支える	2.自分の考えをノートに整理する。	を読みノートに記述する。
第13回	松沼晶子北爪明子	第8章 障害がある人の生活とリハビリテーション A 障害がある人の生活とリハビリテーション B 障害がある人とその生活を支援する看護	【課 題】 問16. 障害がある人と関わった経験について話し合う。 障害がある人を支援する看護の特徴とは何か。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分：テキストの第8章を読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第14回	松沼晶子北爪明子	第9章 人生の最期のときを支える看護 A. 人生の最期のときをにおける医療の現状 B. 人生の最期のときを過ごしている人の理解 C. 人生最期のときを支える看護	【課 題】 問17. 喪失体験エクササイズを通して、死に逝く人の喪失を擬似体験することで喪失する・した人の気持ちを考え、記述する。	予習90分：テキストの第9章を読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第15回	北爪明子	第11章 新たな治療法、先端医療と看護 A. 新たな治療法・医療処置の開発・普及 B. 新たな治療法や医療処置を受ける患者・家族の看護 ■成人看護学概論のまとめ	【課 題】 問18. 新たな治療法、処置の出現は、医療を受ける人の健康行動にどのような変化をもたらすか。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。 問19 成人看護概論の目標達成度を確認する。	予習90分：テキストの第11章を読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。

教科書

系統看護学講座 専門分野II 成人看護学I 成人看護学総論（医学書院）

参考書

必要に応じて講義時に紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上、筆記試験100%とする。

課題等に対する
フィードバックの方法

・成人学習者であることを意識した、主体的な学びになるように、課題や自ら考えてノートに記載した内容を授業の中で発言し、ディスカッションできるようにします。
・教科書に書かれている内容やその意味を自分の体験や経験を通して理解できるようにします。
・知識として覚えるだけでなく、問題解決の思考で考える力を養えるようにします。

履修のポイント

・事前学習では、教科書の指定箇所を読み、知識を得てから講義に臨んでください。

・課題ついては、教科書の指定箇所を読み、授業の中や自己学習を通して自分の考えをノートに整理し、思考を深めてください。
・予習（90分）と復習（90分）の時間を含めて、受け身の授業ではなく、自らの思考を自ら育てられるよう、主体的に取り組ことを期待しています。

オフィス・アワー

適宜受け付けます。
北爪明子：10号館2階 研究室6
松沼晶子：10号館2階 研究室13
黒田梨絵：10号館2階 研究室3

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R235

講義コード	10710001
講義名	成人看護方法I
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院実務経験、及びがん看護実践の経験から慢性期看護の実践力を高める教育・指導を行う。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 北爪 明子	指定なし
教員	松沼 晶子	指定なし

授業の概要と教育目標

慢性疾患のある患者及び家族の発達課題、健康問題を捉え、全人的苦痛（トータルペイン）の視点から対象を理解する。更に患者、家族の今までの暮らしや生き方を理解し、患者、家族のQOL（quality of life）の維持、向上を目指す。そのために、患者が治療を継続しながら病と共に自分らしく生きる、新たな生活を再構築するためのセルフケアを高める看護について知識と技術を身に付ける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「科学的な根拠に基づいた知識・技術を修得し、安全・安心を配慮した看護ができる」ために、慢性疾患のある成人期の患者、家族の尊厳を尊重し、今までの生き方、価値観を認め、全人的苦痛（トータルペイン）の視点から対象を理解する方法を身に付けることができる。そして慢性疾患の症状、治療、合併症に関する正しい知識と科学的な根拠に基づいた看護援助を提供できる。コミュニケーションを通して、病いと付き合いながら自分らしく生きる患者との信頼関係の援助方法を学び、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識、実践的な援助技術を習得することができる。臨床現場でチーム医療におけ多職種とのコミュニケーションを通して患者の課題と目指すべき方向性を多職種との共有し、看護過程にいかす能力の修得を目指す。

到達目標

慢性期看護の考え方を具体的に述べる。
慢性期疾患のある人の特徴を説明する。
慢性期疾患のある患者の看護援助について具体的に述べる。

慢性疾患のある患者の疾患別の病態、治療方法、看護について説明する。
慢性期にある患者とのコミュニケーションの体験をロールプレイを通して実施する。
糖尿病のある患者のペーパーペイシェントによる看護過程を展開できる。
学生自らが体験して学ぶことによって患者がどのようなつらさを体験しているのかを気づき、その苦痛を緩和するための支援について理論や考え方の知識を活かして実践する方法を述べることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	北爪明子松沼晶子	慢性病と共に生きる人を支える看護 慢性病と慢性病をもつ人の特徴 慢性病とともに生きること セルフケアおよびセルフマネジメントへの支援 生活の再構築への支援	慢性病と共に生きる人はどのような支援を必要としているをデスカッションする。	予習90分：専門分野II成人看護学総論成人看護学①教科書p240～262の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分:課題の学習
第2回	北爪明子松沼晶子	症状マネジメント：効果的な症状マネジメントを導く看護アプローチ	事例を用いて実際の症状マネジメントについて考える。	予習90分：専門分野II成人看護学総論成人看護学①教科書 p104～114の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
第3回	北爪明子松沼晶	がん看護：がん患者と家族への看護 がん患者の抱える苦痛（全人的苦痛トータルペイン）とは、がん患	事例を用いて全人的苦痛（トータルペイン）についてディスカッションを行う。	予習90分：専門分野II成人看護学総論成人看護学①教科書p201、205～207、232～236、289～291、330～333の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習

	子	者の生活上の困難とは何か		
第4回	北爪明子松沼晶子	がん看護：がん患者と家族への看護 がん患者の治療と看護、がん患者の社会参加への支援	放射線療法、化学療法を受けている患者に対する看護について考える。	予習90分：専門分野II成人看護学総論成人看護学①教科書p201、205～207、232～236、289～291、330～333の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
第5回	北爪明子松沼晶子	人生の最期のときを支える看護 緩和ケア	終末期における患者及び緩和ケアを必要とする患者と家族への看護 緩和ケアを必要とする患者と家族への看護、end of life care、臨死期の看護。トータルペインについて考える	予習90分：専門分野II成人看護学総論成人看護学①教科書p280～298の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
第6回	北爪明子松沼晶子	人生の最期のときを支える看護 緩和ケア	演習 死を迎えつつある人の看護において看護師はどのような態度であるべきか考える。もしばなゲーム。自分が最期の時にどのような看護を受けたいかを考える。	予習90分：専門分野II成人看護学総論成人看護学①教科書p280～298の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
		呼吸器：呼吸器機能障害のある患者の看護：原因と障害の程度のア		

第7回	北爪明子 松沼晶子	セスメントと看護（酸素化障害、換気障害、呼吸運動障害）、検査や処置を受ける患者の看護（動脈血液ガス分析、呼吸機能検査、気管支鏡検査、胸腔穿刺、肺生検）		予習90分：専門分野II呼吸器成人看護学②教科書p6～129、153～163 164～168、176～214、217～218、226～258、282～283、305～337、345～354の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
第8回	北爪明子 松沼晶子	呼吸器：呼吸器機能障害のある患者の看護：、治療を受ける患者への看護（酸素療法、胸腔ドレナージ、吸入による薬物療法、薬物療法、）、病期や機能障害に応じた看護（肺がん・中皮腫、肺炎、気管支炎、胸膜炎、慢性閉塞性肺疾患COPD,気管支喘息）	事例による看護過程の展開 呼吸器疾患に特徴的な症状と注意点、気管支鏡検査の看護、気道浄化の看護について考える。COPDの慢性期の患者教育について考える。	予習90分：専門分野II呼吸器成人看護学②教科書p6～129、153～163 164～168、176～214、217～218、226～258、282～283、305～337、345～354の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
		腎・泌尿器：内部環境（体液・		

第9回	北爪明子 松沼晶子	電解質・酸塩基平衡）調節機能障害のある患者の看護 慢性腎不全・慢性腎臓病の患者の看護：体液・電解質・酸塩基平衡調整機能障害の程度のアセスメントと看護		予習90分：専門分野II腎・泌尿器成人看護学⑧教科書p6～30、40～66、68～78、102～109、114～123、133～136、194～199、205～208、235～242、247～264の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
第10回	北爪明子 松沼晶子	腎・泌尿器：内部環境（体液・電解質・酸塩基平衡）調節機能障害のある患者の看護：慢性腎不全・慢性腎臓病の患者の看護：治療を受ける患者への看護（血液透析・腹膜透析）、病期や機能障害に応じた看護（慢性腎不全・慢性腎臓病）	事例による看護過程の展開 慢性腎不全患者のアセスメントのポイント、導入期血液透析患者の身体的、心理的特徴を考える。	予習90分：専門分野II腎・泌尿器成人看護学⑧教科書p6～30、40～66、68～78、102～109、114～123、133～136、194～199、205～208、235～242、250～264の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
	北爪	内分泌・代謝：内部環境（血糖）調節機能障害のある患者の看護、糖尿病患者	演習（看護過程	

第11回	明子 松沼晶子	の看護（演習）：血糖調整機能障害の程度のアセスメントと看護、検査や処置を受ける患者の看護（糖負荷試験、血糖自己測定）、	の展開）・レポート（糖尿病のある患者のペーパーペイシェント）	予習90分：専門分野II内分泌・代謝成人看護学⑥教科書p16～47、71～79、132～164、243～281の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：ペーパーペイシェントで提示された患者のデータベース、アセスメント、関連図作成、看護診断の抽出、看護計画（指導案の指導媒体を作成）
第12回	松沼晶子	内分泌・代謝：内部環境（血糖）調節機能障害のある患者の看護、糖尿病患者の看護（演習）：治療を受ける患者への看護（インスリン補充療法、糖尿病経口薬、食事・運動療法）、病期や機能障害に応じた看護（1型糖尿病、2型糖尿病）	演習（看護過程の展開）・レポート（糖尿病のある患者のペーパーペイシェント）	予習90分：専門分野II内分泌・代謝成人看護学⑥教科書p16～47、71～79、132～164、243～281の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：ペーパーペイシェントで提示された患者のデータベース、アセスメント、関連図作成、看護診断の抽出、看護計画（指導案の指導媒体を作成）
第13回	北爪明子 松沼	内分泌・代謝：内部環境（血糖）調節機能障害のある患者の看護、糖尿病患者	演習（看護過程の展開）・レポート（糖尿病のある患者のペーパーペイシェント、患者教育：内分泌・代謝の看護）指導案作成アセスメントの	予習90分：専門分野II内分泌・代謝成人看護学⑥教科書p6～14、16～47、71～79、132～164、243～281の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：ペーパーペイシェントで提示された患者のデータベース、アセスメント、関連図作成、看護診断の抽出、看護計画（指導案の指導媒体を作成）

	晶子	の看護（演習）	ポイントや慢性疾患患者の価値・信念の分析、患者の生き方を理解するということ。	
第14回	北爪明子松沼晶子	内分泌・代謝：内部環境（血糖）調節機能障害のある患者の看護、糖尿病患者の看護（演習）	演習（看護過程の展開）・レポート（糖尿病のある患者のペーパーペイシェント、患者教育：内分泌・代謝の看護）指導案作成アセスメントのポイントや慢性疾患患者の価値・信念の分析、患者の生き方を理解するということ。	予習90分：専門分野II内分泌・代謝成人看護学⑥教科書p6～14、16～47、p71～79、132～164、243～281の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：ペーパーペイシェントで提示された患者のデータベース、アセスメント、関連図作成、看護診断の抽出、看護計画（指導案の指導媒体を作成）
第15回	北爪明子松沼晶子	内分泌・代謝：内部環境（血糖）調節機能障害のある患者の看護、糖尿病患者の看護（演習）	演習（看護過程の展開）・レポート（糖尿病のある患者のペーパーペイシェント、患者教育：内分泌・代謝の看護）指導案作成	予習90分：専門分野II内分泌・代謝成人看護学⑥教科書p6～14、16～47、p71～79、132～164、243～281の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：ペーパーペイシェントで提示された患者のデータベース、アセスメント、関連図作成、看護診断の抽出、看護計画（指導案の指導媒体を作成）
第16回	北爪明子松沼晶子	内分泌・代謝：内部環境（血糖）調節機能障害のある患者の看護、糖尿病患者の看護（演習）	演習（看護過程の展開）・レポート（糖尿病のある患者のペーパーペイシェント、患者教育内分泌・代謝の看護）指導案作成	予習90分：専門分野II内分泌・代謝成人看護学⑥教科書p6～14、16～47、p71～79、132～164、243～281の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：ペーパーペイシェントで提示された患者のデータベース、アセスメント、関連図作成、看護診断の抽出、看護計画（指導案の指導媒体を作成）
		循環器：循環機能障害のある患者：		

第17回	北爪明子松沼晶子	の看護 原因と障害の程度のアセスメントと看護（ポンプ機能障害・刺激伝導障害）、検査や処置を受ける患者の看護（心電図、心臓カテーテル）		予習90分：専門分野II循環器成人看護学③教科書p6～92、115～116、122～169，175～201、238～279、310～347、357～368、391～400の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
第18回	北爪明子松沼晶子	循環器：循環機能障害のある患者の看護：治療を受ける患者への看護（経皮的冠動脈形成術PCI、大同獏内バルーンバンピングIABP、ペースメーカ、植込み型除細動器、血栓溶解療法）、病期や機能障害に応じた	事例による看護過程の展開 心不全の症状と看護活動について考える。循環器疾患で使用される薬剤の副作用と観察項目、心電図波形と観察項目について考える。虚血性心疾患患者に必要な患者教育内容をディスカッションする。	予習90分：専門分野II循環器成人看護学③教科書p6～92、115～116、122～169，175～201、238～279、310～347、357～368、391～400の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
第19回	北爪明子松	脳・神経:脳・神経機能障害のある患者の看護：原因と障害の程度のアセスメントと看護（生命		予習90分：専門分野II脳・神経成人看護学⑦教科書ｐ6～107、122～145、238～296、311～321、332～338の範囲の事前に指示された箇所を読む。

	沼晶子	維持活動機能調整障害、運動・感覚機能障害、言語機能障害、高次脳機能障害）		復習90分：課題の学習
第20回	北爪明子松沼晶子	脳・神経:脳・神経機能障害のある患者の看護：検査や処置を受ける患者の看護(脳波検査、髄液検査、脳血管造影）病期や機能障害に応じた看護（脳血管障害）	事例による看護過程の展開 頭蓋内圧亢進症状のある患者のアセスメントとは。構音障害のある患者の看護、運動麻痺のある患者の看護、嚥下障害のある患者の看護について考える。	予習90分：専門分野II脳・神経成人看護学⑦教科書ｐ6～107、122～145、238～296、311～321、332～338の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
第21回	北爪明子松沼晶子	消化器：栄養代謝障害のある患者の看護・消化・吸収機能障害のある患者の看護：原因と障害の程度のアセスメントと看護（肝機能障害、代謝機能障害、消化管機能障害、膵液分泌障害、胆汁分泌機能障害）、検査や処置を受ける患者		予習90分：専門分野II消化器成人看護学⑤教科書 ｐ6～126、210～243、257～261、268～309、316～321、396～430、447～459の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習

		の看護（腹部超音波検査、肝生検、内視鏡的逆行性胆管膵管撮影ERCP）		
第22回	北爪明子松沼晶子	消化器：栄養代謝障害のある患者の看護・消化・吸収機能障害のある患者の看護：治療を受ける患者への看護（肝庇護療法、インターフェロン療法）、病期や機能障害に応じた看護（肝炎、肝硬変、膵炎	事例による看護過程の展開 腹水、黄疸、肝性脳症のある患者の看護について考える。肝炎看護の留意点、肝臓疾患患者の食事療法について、急性肝炎患者の安静の必要性について考える。	予習90分：専門分野Ⅱ消化器成人看護学⑤教科書 ｐ6～126、210～243、257～261、268～309、316～321、396～430、447～459の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
第23回	北爪明子松沼晶子	内分泌・代謝：内部環境（血糖）調節機能障害のある患者の看護、糖尿病患者の看護（演習）	演習（看護過程の展開）・レポート（糖尿病のある患者のペーパーペイシェント、患者教育内分泌・代謝の看護）作成した指導案(パンフレット）を使って、患者役・看護師役になって、実際の指導をする、指導を受ける側を体験する。その時にお互い気づいた	

			ことを伝え合い、実習時に患者に実施することへの気づきを深め実践できるようにする。	
第24回	北爪明子松沼晶子	内分泌・代謝：内部環境（血糖）調節機能障害のある患者の看護、糖尿病患者の看護（演習）	演習（看護過程の展開）・レポート（糖尿病のある患者のペーパーペイシェント、患者教育内分泌・代謝の看護）作成した指導案(パンフレット）を使って、患者役・看護師役になって、実際の指導をする、指導を受ける側を体験する。その時にお互い気づいたことを伝え合い、実習時に患者に実施することへの気づきを深め実践できるようにする。	
第25回	北爪明子松沼晶子	SMBG（Self Monitoring Blood Glucose）演習	演習SMBGを行う患者の疑似体験から援助方法を考案できる能力を身につける。	復習90分SMBG（Self Monitoring Blood Glucose）を体験し、糖尿病患者への自己血糖の説明方法や援助方法について気づいたことを記載する。
	北爪		SMBGを行う患者の疑似体験から援助方法を考案できる能力を身につける。SMBG（Self	

第26回	明子松沼晶子	SMBG（Self Monitoring Blood Glucose）演習	Monitoring Blood Glucose）を体験し、糖尿病患者の日々の生活について感じたことや考えたことをグループディスカッションで共有する。	予習90分SMBG（Self Monitoring Blood Glucose）の手順、注意点について事前学習を行う。課題レポートを提出する。予習90分
第27回	北爪明子松沼晶子	血液・造血器：身体防御機能の障害のある患者の看護：治療を受ける患者への看護（造血幹細胞移植）、病期や機能障害に応じた看護（血液悪性疾患）	事例による看護過程の展開 貧血、出血傾向、感染リスクの高い患者の看護について考える。白血病、悪性リンパ腫患者の治療と看護、骨髄穿刺の介助法について。造血幹細胞移植後早期の感染予防の要点について考える。	予習90分：専門分野Ⅱ血液・造血器成人看護学④教科書p6～51、74～120、120～128、140～143、146～210の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
第28回	北爪明子松沼晶子	成人看護方法Iのまとめ	学習のまとめと実習に向けて。	実習に向けての事前学習を行う。
第29回	北爪明子松沼晶子	慢性疾患のある患者とのコミュニケーション	慢性疾患のある患者とのコミュニケーションについて学ぶ：演習：ロールプレイ（看護師、患者、観察者の役になって体験をする）	予習90分：配布された資料を読む
	北		慢性疾患のある	

第30回	爪明子 松沼晶子	慢性疾患のある患者とのコミュニケーション	患者とのコミュニケーションについて学ぶ：演習：ロールプレイ（看護師、患者、観察者の役になって体験をする）	：配布された資料を読む 復習90分：課題レポート

教科書

専門分野II成人看護学総論成人看護学①医学書院
専門分野II呼吸器成人看護学②医学書院
専門分野II循環器成人看護学③医学書院
専門分野II血液・造血器成人看護学④医学書院
専門分野II消化器成人看護学⑤医学書院
専門分野II内分泌・代謝成人看護学⑥医学書院
専門分野II脳・神経成人看護学⑦医学書院
専門分野II腎・泌尿器成人看護学⑧医学書院

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
筆記試験80%、演習・レポートの課題20%

課題等に対する
フィードバックの方法

既習学習である「成人看護学概論」を確認しておくこと。
3年生の実習で使用できるような自己学習ノートを作成するなど工夫してください。
演習・レポートについては、慢性疾患のある患者のペーパー・ペイシェントでの看護過程の展開を行います。各自で作業を進めますので、アセスメントや看護計画についてわからないことがあれば、積極的に教員へ相談し、3年の実習時の準備をすること。

履修のポイント

3年時の成人看護学実習I（慢性期）で必要となる知識や考え方、患者家族を理解するための関わり方及び看護援助方法について具体的に演習を通して学習していきます。また、授業におけるアクティブラーニングでは、患者や家族の体験していること感じていることを想像し、イメージしながら学生自身が感じることを大切に授業を展開します。予習、復習を行い積極的に授業に参加してください。

オフィス・アワー

金曜日、12:30〜13:20（昼休み）、10号館第13研究室。
※講義終了時前後にも、適宜受け付けます。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R243

講義コード	10720001
講義名	成人看護学実習I
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	実験・実習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院実務経験、及びがん看護看護実践の経験から慢性期看護の実践力を高める教育・指導を行う。
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 北爪 明子	指定なし
教員	松沼 晶子	指定なし

授業の概要と教育目標

慢性期にある患者と家族をトータルペイン（全人的苦痛）の視点から理解し、生活の質（QOL）の維持・向上、及び病と共に生きるために必要な行動変容を促すための看護実践能力を養う。リフレクションを通して自分の看護を振り返ることで思考と実践を繋ぎ、新たな問題や看護援助の方法について気づく（臨床判断能力も含む）力を育てる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、受け持ち患者や家族の尊厳を尊重し、今までの生き方、価値観を認め、科学的な根拠に基づいた看護過程に沿って、安全・安心を配慮した看護実践ができる。そして、トータルペインによる苦痛を緩和するために多職種と連携し看護を提供できる。

到達目標

1.慢性期にある患者の病態の特徴から病とのつきあい方・生き方などをアセスメントし、看護計画の立案、必要な評価・修正ができる。
1)慢性期にある患者の病態生理、治療、予測される主な合併症について説明できる。
2)慢性期にある患者の病とのつきあい方・生き方を説明できる。
3)慢性期にある患者と家族をトータルペイン（全人的苦痛）の視点からその苦痛を捉え、関連性について説明できる。
4)慢性期にある患者と家族のアセスメントから全体像を捉え看護問題を抽出できる。
5)慢性期にある患者と家族に対して、望ましい行動変容を促すための目標を設定し、適切に看護計画の立案、必要な評価、修正ができる。

2.病と共に生活するための行動変容を促す看護援助を患者と家族の状況に合わせて実施できる。
1)患者のQOLの維持・向上のためにセルフケア能力を活かし必要な看護援助ができる。
2)患者と家族が病と共に生活するためのセルフケアに必要な行動変容を促す看護援助ができる。

3.慢性期にある患者や家族に尊重した態度がとれる。
1)患者や家族の価値観や生活習慣に配慮し、意思を尊重した態度がとれる。

4.慢性期にある患者・家族をとりまくチーム医療について説明できる。
1)慢性期にある患者・家族をとりまくチーム医療の中での連携・協働について説明できる。

5.主体的・積極的に学習に取り組み、慢性期にある患者や家族の問題解決に臨むことができる。
1)慢性期にある患者や家族の看護援助に必要な知識・技術について主体的・積極的に学習ができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	松沼晶子	学内実習 事前課題提出。実習オリエンテーション（実習要項説明） 行動計画記入。患者情報を提示、グループ内で受け持ち患者の選定。受け持ち患者の病態関連図作成。治療・検査・症状とその看護について調べ自己学習用紙に課題を記録する。 明日からのバイタルサイン測定時の観察項目、コミュニケーション内容について記録する。 明日の行動計画を記入。明日からの実習に関する注意事項。	教員との個別面談。面談内容は、事前的評価（実習内容に関する理解度を確認）、実習に対する目標と課題について、体調面に関する情報の共有。	受け持ち患者の病態関連図作成。治療・検査・症状とその看護について調べ自己学習用紙に記録する。 明日からのバイタルサイン測定時の観察項目、コミュニケーション内容について記録する.
第2回	松沼晶子	病棟実習開始 管理者への挨拶 病棟オリエンテーション、病棟スタッフへの挨拶、受け持ち患者への挨拶、同意書の承諾。日常生活援助の食事介助の見学。バイタルサイン測定（初回は教員か実習指導者が同行し、手技の確認） 電子カルテやコミュニケーションからの情報収集。治療や検査・リハビリ等の見学。	受け持ち患者の病棟カンファレンス参加。	患者の情報を記録用紙に記録する。教員や実習指導者と相談し明日から援助を行う学生は手順書を作成する。
第3回	松沼晶子	病棟実習 患者の情報を得る。（行動計画の修正）バイタルサイン測定。日常生活援助（清潔ケア・食事介助等）や治療や検査・リハビリ等の見学。日常生活援助（清潔ケア・食事介助等）で学生が実施許可のあるケアは教員か実習指導者のもとで実施する。治療や検査・リハビリ等の見学。電子カルテやコミュニケーションから情報収集。	受け持ち患者の病棟カンファレンス参加。リフレクション。	教員や実習指導者と相談し明日から援助を行う学生は手順書を作成する。看護計画の方向性の確認カンファレンスで使用するアセスメント、全体関連図、診断リストを記録する。リフレクション用紙の記録する。
	松	病棟実習 患者の情報を得る。（行動計画の修正）バイタルサイン測定。日常生活援助（清潔ケア・食事介助等）で	受け持ち患者の病棟カンファレンス参	看護計画の方向性の確認カンファレンスでディスカッショ

第4回	沼晶子	学生が実施許可のあるケアは教員か実習指導者のもとで実施する。治療や検査・リハビリ等の見学。電子カルテやコミュニケーションからの情報収集。	加。看護計画の方向性の確認カンファレンス。 リフレクション。	ンした内容をアセスメント、全体関連図、診断リストに反映し記録を追加、修正する。
第5回	松沼晶子	病棟実習 患者の情報を得る。（行動計画の修正）バイタルサイン測定。日常生活援助（清潔ケア・食事介助等）で学生が実施許可のあるケアは教員か実習指導者のもとで実施する。治療や検査・リハビリ等の見学。電子カルテやコミュニケーションからの情報収集。受け持ち患者の情報の記録内容を学生は教員から指導を受ける。その後、優先順位の高い看護診断の中から看護計画を１つ立案する。患者教育の指導案を作成する予定の学生は色付きの用紙を教員から受け取る。	教員と学生との面談。形成的評価（中間評価）各学生の実習目標の達成状況を教員が把握、週末の自宅での課題に対する助言、指導を受ける。来週に向けて実習目標を達成するための学習活動を確認する。	看護援助が必要なものは看護計画を全て立案し、来週月曜日に提出できるように、週末自宅で取り組む。
第6回	松沼晶子	病棟実習 患者の情報を得る。（行動計画の修正）バイタルサイン測定。看護計画の実施許可のある学生は計画に沿って看護援助を教員か実習指導者のもとで実施。治療や検査・リハビリ等の見学。電子カルテやコミュニケーションからの情報収集。実施内容を行動計画の実施結果・評価を記録し看護計画の追加・修正・を行う。	受け持ち患者の病棟カンファレンス参加。 リフレクション。	実施内容を行動計画の実施結果・評価を記録し看護計画の追加・修正の行う。再アセスメントからの全体関連図および診断リストとの追加・修正を記録する。
第7回	松沼晶子	病棟実習 患者の情報を得る。（行動計画の修正）バイタルサイン測定。看護計画の実施許可のある学生は計画に沿って看護援助を教員か実習指導者のもとで実施。治療や検査・リハビリ等の見学。電子カルテやコミュニケーションからの情報収集。実施内容を行動計画の実施結果・評価を記録し看護計画の追加・修正・を行う。	受け持ち患者の病棟カンファレンス参加。ケースカンファレンス①受け持ち患者と家族をトータルペインの視点から理解することによってどのような看護援助に繋がるのか。リフレクション。	実施内容を行動計画の実施結果・評価を記録し看護計画の追加・修正の行う。再アセスメントからの全体関連図および診断リストとの追加・修正を記録する。
第8回	松沼晶子	病棟実習 患者の情報を得る。（行動計画の修正）バイタルサイン測定。看護計画の実施許可のある学生は計画に沿って看護援助を教員か実習指導者のもとで実施。治療や検査・リハビリ等の見学。電子カルテやコミュニケーションからの情報収集。実施内容を行動計画の実施結果・評価を記録し看護計画の追加・修正・を行う。	受け持ち患者の病棟カンファレンス参加。ケースカンファレンス②慢性期にある患者・家族をとりまくチーム医療について（連携・協働）～臨床で行われているチーム医療を学び、効果的なチーム医療のために大切な事は何か、看護師の役割等～。リフレクション。	実施内容を行動計画の実施結果・評価を記録し看護計画の追加・修正の行う。再アセスメントからの全体関連図および診断リストとの追加・修正を記録する。

第9回	松沼晶子	病棟実習 患者の情報を得る。（行動計画の修正）バイタルサイン測定。看護計画の実施許可のある学生は計画に沿って看護援助を教員か実習指導者のもとで実施。治療や検査・リハビリ等の見学。電子カルテやコミュニケーションからの情報収集。実施内容を行動計画の実施結果・評価を記録し看護計画の追加・修正・を行う。	病棟実習終了カンファレンス	実施内容を行動計画の実施結果・評価を記録し看護計画の追加・修正の行う。再アセスメントからの全体関連図および診断リスとの追加・修正を記録する。
第10回	松沼晶子	学内実習 カンファレンス30分程度 （実習について教員と学生で振り返り、共有する） その後、受け持ち患者に対して、実施した計画に対する結果を評価する。 （具体策や目標に対しての結果を照らし合わせ、計画の修正、変更について考える）その後、受け持ち患者の継続看護のため看護サマリーには、自分の行った看護計画の内容、その結果・評価も含めて、今後、継続する必要のある看護や予測される問題と今時点で考えられる看護援助について記録する。 各学生は教員から記録内容の指導を受ける。 16：30の記録物の提出時間までに、実習記録用紙の提出方法に沿ってファイルに閉じる。授業評価。グループ全員の記録物を教員へ提出し、実習終了。	各学生と総括的評価の面談：実習終了時に目標の達成状況を判断し、学習終了の認定のために行う。 また、学生は今後の課題について、次の実習に活かせるよう具体的に対処方法を考える。	

教科書

専門分野II成人看護学総論成人看護学①医学書院
専門分野II呼吸器成人看護学②医学書院
専門分野II循環器成人看護学③医学書院
専門分野II血液・造血器成人看護学④医学書院
専門分野II消化器成人看護学⑤医学書院
専門分野II内分泌・代謝成人看護学⑥医学書院
専門分野II脳・神経成人看護学⑦医学書院
専門分野II腎・泌尿器成人看護学⑧医学書院
専門分野IIアレルギー膠原病感染症成人看護学⑪医学書院

参考書

エビデンスに基づく症状別看護ケア関連図改訂版 中央法規
エビデンスに基づく疾患別看護ケア関連図改訂版 中央法規
実習でよく挙げる看護診断計画ガイド 照林社
ゴードン博士の看護診断アセスメント指針 照林社
がん放射線治療と看護の実践 金原出版
やさしくわかる抗がん剤の副作用とその対処法 法研
がん化学療法ケアガイド 中山書店
がん化学療法患者説明ガイド メディカ出版
はじめての糖尿病看護 メディカ出版
糖尿病の？がわかるイラストBOOK メディカ出版
慢性疾患患者の闘病記等の書籍

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。

成人看護学実習Iの評価表ルーブリックの項目に沿って達成の可否により評価する。

課題等に対する
フィードバックの方法

実習前に清潔ケア・血圧測定等の援助技術について確認が必要な学生は各自演習を行う。事前学習課題のレポートについては、実習期間中、常に携帯し活用する。実習指導者や教員から各学生の状況に合わせた課題が出されるため、学習したものについては、必ず報告し提出する。

履修のポイント

成人看護学実習I（慢性期）では、治ることのない病いと共に生きる人々、そしてその家族が対象となります。学生として、目の前の患者さんのつらさにどのように寄り添えるのか、日々考え悩むことがあります。直ぐに解決できる問題ばかりではありませんが、問題解決に目を向けるだけではなく、人の苦しみを理解することはどのようなことなのか一緒に学んでいきましょう。また、実習では、リフレクションを取り入れ、援助場面を振り返り、自身の課題や新たな援助を発見できるようにしていきます。

オフィス・アワー

月曜日もしくは金曜日12:30～13:20（昼休み）10号館第13研究室。
※研究室在室時は適宜受け付けます。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R252

講義コード	10730001
講義名	成人看護方法II
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	成人急性期領域の大学教員としての教育経験ならびに看護師としての病院の急性期病棟における実務経験をもとに授業を行う。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 北爪 明子	指定なし
教員	黒田 梨絵	指定なし

授業の概要と教育目標

≪授業の概要≫
・成人期にあり、生命の危機的状況にある対象およびその家族に焦点をあて、その病態生理・治療を理解し、生命の維持、苦痛の緩和、セルフケアの回復、退院後の社会的役割遂行に向けた援助方法を学ぶ。特に、手術療法を受ける成人期にある人と家族の理解を深め、全人的な看護実践を学ぶ。
・周手術期および急性期における看護に関する基本的知識、手術・麻酔などの身体侵襲、生命の危機的状態にある成人期の対象と家族に対する看護に必要な理論と方法について学ぶ。
・外科的治療と看護について疾患別に学修し、対象と家族に必要な看護について学ぶ。
≪教育目標≫
１．急性期や重症な状態にある対象と家族の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、看護が必要な状態をアセスメントできる。
２．対象の疾病や治療（手術療法等）を理解し、異常を早期に発見する観察と合併症を予防し、回復を促進する看護について説明できる。
３．周手術期および急性期にある対象を理解し、看護計画を基に基本的技術を実践できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

・医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーの関連として、周手術期および急性期にある成人期の患者と家族を理解し、医療・看護に関する知識と技術の習得を目指す。

到達目標

1. 周手術期および急性期にある人と家族の特徴を理解することができる。
2. 周手術期および急性期にある人の看護援助を理解することができる。
3. 周手術期および急性期にある人の疾患別の病態生理、治療、看護を理解することができる。
4. 急性運動機能障害のある患者のペーパーペイシェントによる看護過程を記述することができる。
5. ペーパーペイシェントにて立案した看護計画を技術演習にて実践することができる。

授業計画

			アク	

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	黒田梨絵	授業オリエンテーション 急性期にある患者と家族の特徴と看護 1．健康危機状況にある成人の理解 2．急性期にある患者・家族の特徴と看護の基本		予習90分：教科書の該当ページを読んでおく。 復習90分：講義内容について、教科書や配布資料を見直す。
第2回	黒田梨絵	救命救急看護① 1．救急医療の歴史的変遷 2．救急医療体制の特徴 3．救急医療の対象者と看護師の役割		予習90分：教科書の該当ページを読んでおく。 復習90分：講義内容について、教科書や配布資料を見直す。
第3回	黒田梨絵	救命救急看護② 1．救急医療について 2．外傷とは 3．出血への対応		予習90分：教科書の該当ページを読んでおく。 復習90分：講義内容について、教科書や配布資料を見直す。
第4回	黒田梨絵	救命救急看護③ 1．心肺蘇生法、AED（自動体外式除細動器） 2．ドクターヘリにおける看護師の役割		予習90分：教科書の該当ページを読んでおく。 復習90分：講義内容について、教科書や配布資料を見直す。
第5回	黒田梨絵	周手術期看護①（術前） 1．周手術期看護 2．術前患者の看護 3．術前訪問		予習90分：教科書の該当ページを読んでおく。 復習90分：講義内容について、教科書や配布資料を見直す。
第6回	黒田梨絵	周手術期看護②（術中・術直後） 1．安全な手術のための患者管理と看護 2．手術室看護師の役割 3．術直後の看護		予習90分：教科書の該当ページを読んでおく。 復習90分：講義内容について、教科書や配布資料を見直す。
第7回	北爪明子	呼吸機能障害のある患者の看護① 1．呼吸器系の構造と機能 2．人工呼吸器を装着する患者の看護		予習90分：教科書の該当ページを読んでおく。 復習90分：講義内容について、教科書や配布資料を見直す。
第8回	北爪明子	呼吸機能障害のある患者の看護② 1．胸腔ドレナージを受ける患者の看護 2．肺がんの手術を受ける患者の看護		予習90分：教科書の該当ページを読んでおく。 復習90分：講義内容について、教科書や配布資料を見直す。
第9回	北爪明子	排泄機能障害のある患者の看護① 1．腎・泌尿器系の構造と機能 2．膀胱の手術を受ける患者の看護		予習90分：教科書の該当ページを読んでおく。 復習90分：講義内容について、教科書や配布資料を見直す。

第10回	北爪明子	排泄機能障害のある患者の看護② 1．前立腺の手術を受ける患者の看護 2．腎臓の手術を受ける患者の看護		予習90分：教科書の該当ページを読んでおく。 復習90分：講義内容について、教科書や配布資料を見直す。
第11回	黒田梨絵	周手術期看護③（術後） 1．手術侵襲に伴う生体反応 2．麻酔覚醒、意識レベル 3．術後合併症の看護（呼吸器合併症・循環器合併症、深部静脈血栓症）		予習90分：教科書の該当ページを読んでおく。 復習90分：講義内容について、教科書や配布資料を見直す。
第12回	黒田梨絵	周手術期看護④（術後） 1．術後合併症の看護（消化器合併症） 2．術後合併症の看護（術後感染、ドレーン管理） 3．疼痛管理と早期離床		予習90分：教科書の該当ページを読んでおく。 復習90分：講義内容について、教科書や配布資料を見直す。
第13回	黒田梨絵	循環機能障害のある患者の看護① 1．循環器系の構造と機能 2．虚血性心疾患で手術・保存療法を受ける患者の看護		予習90分：教科書の該当ページを読んでおく。 復習90分：講義内容について、教科書や配布資料を見直す。
第14回	黒田梨絵	循環機能障害のある患者の看護② 1．弁膜症で手術・保存療法を受ける患者の看護 2．大動脈解離で手術・保存療法を受ける患者の看護		予習90分：教科書の該当ページを読んでおく。 復習90分：講義内容について、教科書や配布資料を見直す。
第15回	北爪明子	栄養代謝機能障害のある患者の看護 1．肝臓の手術を受ける患者の看護 2．膵臓の手術を受ける患者の看護		予習90分：教科書の該当ページを読んでおく。 復習90分：講義内容について、教科書や配布資料を見直す。
第16回	黒田梨絵	脳神経機能・脳血管障害のある患者の看護① 1．脳神経系・血管系の構造と機能 2．脳出血、クモ膜下出血		予習90分：教科書の該当ページを読んでおく。 復習90分：講義内容について、教科書や配布資料を見直す。
第17回	黒田梨絵	脳神経機能・脳血管障害のある患者の看護② 1．腰椎椎間板ヘルニアの手術を受ける患者の看護 2．脊椎損傷患者の看護		予習90分：教科書の該当ページを読んでおく。 復習90分：講義内容について、教科書や配布資料を見直す。
第18回	黒田梨絵	脳神経機能・脳血管障害のある患者の看護③ 1．脳腫瘍 2．ドレーン管理 3．輸血療法の看護		予習90分：教科書の該当ページを読んでおく。 復習90分：講義内容について、教科書や配布資料を見直す。
第19回	黒田梨絵	運動機能障害のある患者の看護① 1．筋骨格系の構造と機能 2．骨折で手術・保存療法を		予習90分：教科書の該当ページを読んでおく。 復習90分：講義内容について、教科書や配布資料を見直す。

		受ける患者の看護		
第20回	黒田梨絵	運動機能障害のある患者の看護② 1．膝関節の手術を受ける患者の看護 2．股関節の手術を受ける患者の看護		予習90分：教科書の該当ページを読んでおく。 復習90分：講義内容について、教科書や配布資料を見直す。
第21回	黒田梨絵 北爪明子	【演習】看護過程① 1．ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程 2．THA事例の看護過程：情報整理・フェイスシート 3．アセスメント①：栄養・代謝パターン	発見学習・体験学習 グループワーク グループディスカッション	予習90分：看護過程について復習する。事例を読んでくる。 ・栄養・代謝パターンの「S情報」「O情報」の欄に分析に必要な情報を記載する。 ・アセスメントに必要な情報とそのために必要な知識を学習し、分析する。 復習90分：フェイスシート、栄養・代謝パターンのアセスメントを記述し完成する。
第22回	黒田梨絵 北爪明子	【演習】看護過程② 1．アセスメント②：活動・運動パターン（呼吸・循環・活動） 2．アセスメント③：認知・知覚パターン	発見学習・体験学習 グループワーク グループディスカッション	予習90分：看護過程について復習する。事例を読んでくる。 ・活動/運動パターンと認知・知覚パターンの「S情報」「O情報」の欄に分析に必要な情報を記載する。 ・アセスメントに必要な情報とそのために必要な知識を学習し、分析する。 復習90分：活動・運動パターン、認知・知覚パターンのアセスメントを記述し完成する。
第23回	黒田梨絵 北爪明子	【演習】看護過程③ 1．全体関連図・看護計画：目標、具体策の立案方法 2．全体関連図の作成 3．看護計画の立案	発見学習・体験学習 グループワーク グループ	予習90分：全体関連図、看護計画について復習する。 ・全体関連図の骨子を記載してくる。看護計画のPES、目標、具体策を考えてくる。 復習90分：全体関連図、看護計画を完成する。

			ディスカッション	
第24回	黒田梨絵北爪明子	【演習】看護過程④ 1．全体関連図の作成 2．看護計画立案	発見学習・体験学習グループワークグループディスカッション	予習90分：全体関連図、看護計画について復習する。 ・全体関連図の骨子を記載してくる。看護計画のPES、目標、具体策を考えてくる。 復習90分：全体関連図、看護計画を完成する。
第25回	黒田梨絵北爪明子	【技術演習】看護計画の実践① 1．術後における全身観察・全身管理 バイタルサイン測定、呼吸音・心音・腸蠕動音聴取、瞳孔所見、DVT所見、弾性ストッキングの着脱、輸液・輸血の観察・管理、創部・ドレーン・カテーテル類の観察・管理 2．患者体験：ロールプレイ 3．ベッドサイドモニター、心肺蘇生法	発見学習・体験学習グループワークロールプレイグループディスカッション	復習90分：技術演習の事前課題（バイタルサイン測定、呼吸音・心音・腸蠕動音聴取、瞳孔所見、DVT所見、弾性ストッキングの着脱方法、輸液・輸血の観察、創部・ドレーン・カテーテル類の観察、ベッドサイドモニターの取り扱い、心肺蘇生法）を実施する。 復習90分：術後における全身観察・全身管理の方法について振り返る。 ・技術演習を実施し、看護計画の内容として不足していたO-P、T-P、E-Pを見直し、追記・修正する。 ・技術演習の事後課題を実施する。
第26回	黒田梨絵北爪	【技術演習】看護計画の実践① 1．術後における全身観察・全身管理 バイタルサイン測定、呼吸音・心音・腸蠕動音聴取、瞳孔所見、DVT所見、弾性ストッキングの着脱、輸液・輸血の観察・管理、創	発見学習・体験学習グループワークロールプ	復習90分：技術演習の事前課題（バイタルサイン測定、呼吸音・心音・腸蠕動音聴取、瞳孔所見、DVT所見、弾性ストッキングの着脱方法、輸液・輸血の観察、創部・ドレーン・カテーテル類の観察、ベッドサイドモニターの取り扱い、心肺蘇生法）を実施する。 復習90分：術後における全身観察・全身管

	明子	部・ドレーン・カテーテル類の観察・管理 2. 患者体験：ロールプレイ 3. ベッドサイドモニター、心肺蘇生法	レイグループディスカッション	理の方法について振り返る。 ・技術演習を実施し、看護計画の内容として不足していたO-P、T-P、E-Pを見直し、追記・修正する。 ・技術演習の事後課題を実施する。
第27回	北爪明子	消化・吸収機能障害のある患者の看護① 1. 消化器系の構造と機能 2. 消化器系の検査を受ける患者の看護 3. 食道の手術を受ける患者の看護		予習90分：教科書の該当ページを読んでおく。 復習90分：講義内容について、教科書や配布資料を見直す。
第28回	北爪明子	消化・吸収機能障害のある患者の看護② 1. 胃の治療を受ける患者の看護 2. 大腸の手術を受ける患者の看護 3. 胆石症の治療を受ける患者の看護		予習90分：教科書の該当ページを読んでおく。 復習90分：講義内容について、教科書や配布資料を見直す。
第29回	黒田梨絵	消化・吸収機能障害のある患者の看護③ ≪最先端の医療と看護≫ 1. 臓器移植とは 2. 臓器移植を受ける患者の看護		予習90分：教科書の該当ページを読んでおく。 復習90分：講義内容について、教科書や配布資料を見直す。
第30回	黒田梨絵	消化・吸収機能障害のある患者の看護④ ≪最先端の医療と看護≫ 1. 臓器移植とは 2. 臓器移植を受ける患者の看護		予習90分：教科書の該当ページを読んでおく。 復習90分：講義内容について、教科書や配布資料を見直す。

教科書

医学書院：成人看護学 2呼吸器、3循環器、4血液・造血器、5消化器、6内分泌・代謝、7脳・神経、8腎・泌尿器、10運動器

参考書

急性期看護:クリティカルケア / 編:明石恵子、益田美津美 / メヂカルフレンド / 2018
周術期看護 / 編:明石恵子、蔦田理佳 / メヂカルフレンド / 2018

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
定期試験60％、演習40％にて総合的に評価
大学の規程により、本試験・再試験まで

課題等に対する
フィードバックの方法

既習知識を基に、看護過程および技術演習の実施に向け、課題に取り組んでください。
課題は添削し、次週の授業の開始前に返却します。
わからないことや疑問点は、主体的、積極的に教員へ質問することを期待します。

履修のポイント

成人看護学概論の履修を確認すること
講義をよく聴き、演習での実践につなげること
演習では、意欲と協調性、主体性と積極性をもって取り組むこと
本科目は成人看護学実習Ⅱ（急性期）にて必須となる学習であることを意識し授業に臨むこと

オフィス・アワー

適宜受け付けます。
北爪 明子：10号館 2階 研究室6
黒田 梨絵：10号館 2階 研究室3

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R244

講義コード	10740001
講義名	成人看護学実習II
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	実験・実習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	成人急性期領域の大学教員としての教育経験ならびに看護師としての病院の急性期病棟における実務経験をもとに実習指導を行う。
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 北爪 明子	指定なし
教員	黒田 梨絵	指定なし

授業の概要と教育目標

授業の概要
急性期および周術期にある患者の状態と起こりうる状況を、理論を用いて科学的に分析し、合併症予防の援助や回復を促進する援助の実際を学ぶ。

教育目標
急性期および周手術期にある患者の特徴を理解し、合併症予防と回復促進に向けた基礎的な看護実践能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、急性期および周手術期にある成人期の患者と家族を理解し、医療や看護に関する知識や実践的な援助技術、態度の習得を目指す。

到達目標

1．急性期および周手術期にある患者の合併症予防・回復促進への援助ができる。
1）急性期および周手術期にある患者の病態生理、治療、予測される主な合併症について説明できる。
①患者の病態生理が記述できる。
②治療および予測される合併症について記述できる。
2）急性期および周手術期にある患者の特徴を踏まえてアセスメントし、看護上の問題を明確にできる。
①情報を整理し、分析・解釈（統合）し、予測される問題が記述できる。
②問題の優先順位が記述できる。
3）問題解決のための目標を設定し、適切に看護計画立案、必要な評価、修正ができる。
①問題解決のための目標が記述できる。
②根拠に基づき、個別性のある看護計画が立案できる。
③結果・評価から必要な修正ができる。
4）急性期および周手術期にある患者の侵襲に対する生体反応に対応する合併症予防や回復促進の看護援助ができる。

①観察を通して、予測される合併症や回復促進の援助ができる。
5) 急性期および周手術期にある患者の退院後の生活に必要な支援ができる。
①手術前と手術後を比較し、身体機能の変化が説明できる。
②身体機能の変化が生活に及ぼす影響を理解して支援ができる。
2. 急性期および周手術期にある患者の苦痛緩和の援助ができる。
1) 急性期および周手術期にある患者の苦痛や不安、及びコーピングが説明できる。
①患者の体験している苦痛や不安が説明できる。
②患者のコーピングについて説明できる。
2) 患者の苦痛や不安を緩和する援助ができる。
①患者の苦痛や不安の緩和について患者の状態に応じた援助ができる。
3. 急性期および周手術期にある患者や家族に尊重した態度がとれる。
1) 患者や家族の価値観や生活習慣に配慮し、意思を尊重した態度がとれる。
①患者や家族の価値観、生活習慣、慣習、信条等について思考できる。
②患者や家族の意思を尊重した態度がとれる。
4. 急性期および周手術期にある患者・家族をとりまくチーム医療について説明できる。
1) 急性期および周手術期にある患者・家族をとりまくチーム医療の中での連携・協働について説明できる。
①患者・家族の問題解決にむけて、チームメンバーとの連携・協働について説明できる。
5. 主体的・積極的に学習に取り組み、急性期および周手術期にある患者の問題解決に臨むことができる。
1) 急性期および周手術期にある患者の看護援助に必要な知識・技術・態度について主体的・積極的に学習ができる。
①自ら疑問や不明な点を発信し、相談・指導を受け学習できる。
②疑問や不明な点を自ら教科書や文献等で調べ、課題解決への取り組みができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	黒田梨絵	【学内実習】実習ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ、記録用紙の説明、事前課題提出、知識確認、患者情報提示、事前学習追加		予習90分：成人看護方法IIの実習前課題を見直す。復習90分：No1.行動計画、No2.基礎情報、No3.ｱｾｽﾒﾝﾄを記述する。
第2回	黒田梨絵	【臨地実習】病棟ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ、患者選定、同意書の説明、情報収集・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ、情報の解釈・分析		予習90分：昨日の復習を行う。復習90分：No1.行動計画、No2.基礎情報、No3.ｱｾｽﾒﾝﾄ、No6.SOAPを記述する。
第3回	黒田梨絵	【臨地実習】ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝ測定・観察、援助の一部実施、情報の解釈・分析、関連図作成		予習90分：昨日の復習を行う。復習90分：No1.行動計画、No2.基礎情報、No3.ｱｾｽﾒﾝﾄ、No4.関連図、No6.SOAPを記述する。
第4回	黒田梨	【臨地実習】ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝ測定・観察、援助の一部実施、全体関連図作成、看護		予習90分：昨日の復習を行う。復習90分：No1.行動計画、No3.ｱｾｽﾒﾝﾄ、No4.関連図、No5.看護計画、No6.SOAP、評価表を記述

	絵	問題の明確化		する。指導を基にNo2.基礎情報、No3.ｱｾｽﾒﾝﾄ、No4.関連図を修正する。
第5回	黒田梨絵	【臨地実習】 ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝ測定・観察、援助の一部実施、全体関連図修正、問題の明確化、看護計画立案、評価の面接	ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ：関連図を用いて、優先度の高い順に抽出された看護診断名とその根拠（ｱｾｽﾒﾝﾄ）を発表し、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽを実施することで、患者の侵襲に対する生体反応および看護上の問題を明確にする。	予習90分：昨日の復習を行う。 復習90分：No1.行動計画、No3.ｱｾｽﾒﾝﾄ、No4.関連図、No5.看護計画、No6.SOAPを記述する。指導を基にNo2.基礎情報、No3.ｱｾｽﾒﾝﾄ、No4.関連図、No5.看護計画を修正する。
第6回	黒田梨絵	【臨地実習】 ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝ測定・観察、計画の実施・評価・修正	ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ：立案した看護計画を用いて発表し、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽを実施することで問題解決のための目標の設定や、適切に看護計画を立案する。	予習90分：昨日の復習を行う。 復習90分：No1.行動計画、No5.看護計画、No6.SOAPを記述する。指導を基にNo2.基礎情報、No3.ｱｾｽﾒﾝﾄ、No4.関連図、No5.看護計画を修正する。
第7回	黒田梨絵	【臨地実習】 ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝ測定・観察、計画の実施・評価・修正		予習90分：昨日の復習を行う。 復習90分：No1.行動計画、No5.看護計画、No6.SOAPを記述する。指導を基にNo2.基礎情報、No3.ｱｾｽﾒﾝﾄ、No4.関連図、No5.看護計画を修正する。
第8回	黒田梨絵	【臨地実習】 ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝ測定・観察、計画の実施・評価・修正	ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ：受け持ち患者のﾁｰﾑ医療について発表し、振り返る。	予習90分：昨日の復習を行う。 復習90分：No1.行動計画、No5.看護計画、No6.SOAP、No.7課題ﾚﾎﾟｰﾄを記述する。指導を基にNo2.基礎情報、No3.ｱｾｽﾒﾝﾄ、No4.関連図、No5.看護計画を修正する。
第9回	黒田梨絵	【臨地実習】 ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝ測定・観察、計画の実施・評価・修正	最終ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ：実習の学びと、患者の問題解決に主体的・積極的に取り組めたかを振り返る。	予習90分：昨日の復習を行う。 復習90分：No1.行動計画、No5.看護計画、No6.SOAP、評価表を記述する。指導を基にNo2.基礎情報、No3.ｱｾｽﾒﾝﾄ、No4.関連図、No5.看護計画を修正する。
第10回	黒田梨絵	【学内実習】 実習記録の整理、評価の面接 ※16：00 記録の提出		予習90分：昨日の復習を行う。 復習90分：急性期の実習を通して自己を振り返る。

教科書
医学書院：系統看護学講座 専門分野II 成人看護学
参考書
成人看護方法IIで配布した資料
成績評価の方法・基準
単位認定：60点以上 成人看護学実習II（急性期）評価表を用いて行う。 最終評価は教員が行う。
課題等に対する フィードバックの方法
既習知識を基に、主体的に実習に取り組んでください。 記録用紙No1～7を毎日添削するため、提出してください。 添削した記録については、返却する際にフィードバックします。 わからないことや疑問点は、主体的・積極的に教員や実習指導者に質問することを期待します。
履修のポイント
成人看護学概論、成人看護方法IIの履修を確認すること バイタルサイン測定や合併症予防のための援助技術は各自練習を行い実習にのぞむこと 実習前に事前学習を見直し、復習を行うこと 実習では、意欲と協調性、主体性と積極性をもって取り組むこと
オフィス・アワー
随時受け付けます。 黒田梨絵：10号館 2階 研究室3
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R253

講義コード	10750001
講義名	セルフケア論
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	２時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに、看護実践の理論とその基盤となる概念について、具体例を挙げながら解説する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし

授業の概要と教育目標

【授業概要】セルフケア論の概要と背景を理解することで、その成り立ちと看護への活用方法を学ぶ
【教育目標】健康の保持増進のための正しい知識を理解し自らの健康を守るという「セルフケア論」を理解する。本授業ではオレムの看護理論を中心にその理論的背景や概要を学ぶことでセルフケア論を理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ・ポリシーとの関連は、さまざまな健康レベルや発達段階にある人々に対して行われる看護活動の展開の実際を通して看護職の役割や支援方法を理解することで目的達成に資する知識を養う。

到達目標

１．セルフケアの援助で必要とされる看護職の能力について理解できる。
２．セルフケアを促進するために必要な理論について理解できる。
３．事例演習を通してオレムの看護理論の活用方法を理解できる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	科目ガイダンス 看護理論の中におけるセルフケア論の位置づけ ・看護の本質と看護理論 ・各理論家における理論の紹介 ・各理論家における理論の中でのセルフケア論		【予習90分】「看護理論」について学んでおく【復習90分】1年次の資料を見直す

	・オレムセルフケア論について （セルフケア不足理論と看護システム）		
第2回	オレムの看護理論 ・セルフケア理論 ・セルフケア不足理論 ・看護システム理論		【予習90分】前回提示された1年次の資料を見直しておく【復習90分】配布資料を見直す
第3回	セルフケアとセルフマネジメント ・セルフマネジメントとは セルフケアの低下と再獲得 ・生命維持レベル、生活基本行動レベル、社会生活レベルのセルフケアの低下と再獲得		【予習90分】セルフケアが低下した状態とはどんなことを指すか？学んでおく 【復習90分】配布資料を見直す
第4回	セルフケアを目指す看護の実際① オレムの看護理論を理解しよう ・事例から考えるセルフケア支援 ・事例紹介 ・対象の把握 ・オレムの看護理論を使った看護計画（目標・計画）の立て方	オレムの看護理論を使って看護問題を考える	【予習90分】今までの授業内容について配布資料を確認しておく。【復習90分】本日の配布資料を見直す
第5回	セルフケアを目指す看護の実際② オレムの看護理論を理解しよう ・事例から考えるセルフケア支援 ・事例紹介 ・対象の把握 ・オレムの看護理論を使った看護計画（目標・計画）の立て方	オレムの看護理論を使って看護問題を考える	【予習90分】予告された事例について事前学習しておく【復習90分】配布資料を見直す
第6回	患者が持っているセルフケア能力に着目しよう ・ストレス・コーピング理論 ・ヘルスプロモーション理論 ・保健行動理論		【予習90分】セルフケアを促すためにどんな方法（どんな関わり方）があるか調べておく【復習90分】配布資料を見直す
第7回	まとめ ・今までの授業の振り返り 小テスト	小テストを受け知識の確認をする	【予習90分】今まで配布した資料を復習しておく【復習90分】講義資料を見直す
第8回	国家試験問題にTRY ・看護理論・セルフケア論に関する国家試験	セルフケア論、看護理論に関する国家試験問題	【予習90分】授業での配布資料を再確認しておく【復習90分】授業で説明した内

	を実際に説いてみよう 最終課題について	を解き、発表する	容について国家試験の勉強に活用できるようなノートを作成しておく。

教科書

指定する教科書は特にありません。
必要な教材は、授業資料として毎回配布します。

参考書

成人看護学(3)：セルフマネジメント 第4版 メディカ出版
オレムのセルフケアモデル 事例を用いた看護過程の展開［第2版］ ヌーヴェルヒロカワ
実践に生かす看護理論 城ケ端初子 サイオ出版
実習記録の書き方がわかる 第2版 看護過程展開ガイド 照林社

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上
授業内の小テスト40%、リアクションペーパー20%、最終課題40%を合計して評価します。
再試験は行いません。

課題等に対する
フィードバックの方法

毎回の授業をしっかり聞くことが大事です。
わからないことがあったら、授業後必ず質問をしてください。

履修のポイント

①看護理論は看護実践の道しるべとなるもので、さまざまな現象場面で揺るぎない考え方を示唆してくれます。積極的に授業に参加することで主体的に学び取って、自己の看護実践の礎にしていきましょう。②適宜、「リアクションペーパー」の提出を求めます。その日の授業内容に即した感想・意見・要望・質問などが書かれていることによって授業に出席したことを認めます。したがって白紙で提出された場合（出席証明にならない）や学籍番号と氏名が不一致の場合（個人の特定ができない）は「欠席扱い」となります。リアクションペーパーは決められた期限内のみ受領します。後日の提出はできません。

オフィス・アワー

在室時、適宜対応します。10号館2階 研究室7

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-C236

講義コード	10760001
講義名	クリティカルケア論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	集中治療室の看護師として10年以上、集中ケア認定看護師を取得して5年以上が経過した。重症患者を看護していくために必要な知識などを具体的な事例を通じて学生がイメージできるように授業を進めていく。
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 竹部 久美子	指定なし
教 員	伊藤 佑司	指定なし

授業の概要と教育目標

重症患者の多いクリティカルケア看護で最も重要なことは全身管理の知識とその応用方法である。特に中枢神経、呼吸、循環、水・電解質その他に関する最新理論・知識を深める。また、過大侵襲を受け、クリティカルな状態に陥った患者および家族に対して必要な看護とは何かを論理的、かつ潜在的問題を客観的に判断・解決する方法を学ぶ。クリティカルケア看護の知識と実践能力を身につけることを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部の方針のひとつである看護の基本精神・基礎技術を理した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を修得し、実践的な援助技術を修得していることが明示されている。このことを達成するために本論では、生命を脅かす問題をもつ患者を対象にクリィティカルケア看護に関する知識を習得し、実践的な技術を習得させることが医療保健学部の方針と関連することになる。

到達目標

・クリティカルケアについて理解できる
・クリティカルケアを必要とする患者家族のニーズが理解できる
・クリティカル患者のアセスメント、主要病態の特徴とケアが理解できる
・クリティカルケアの看護実践を支える理論的枠組みを説明できる

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	クリティカル看護の役割や看護実践の本質を理解する	講義などのあとに気づいたこと、感じたことなどをグループで議論し、クリティカルケア看護についてイメージ化する。	予習90分：看護とは何かを振り返る 復習90分：講義の内容、グループワーク後の感じたことなどをレポートに

			まとめる
第2回	・ICU患者の心理的な過程を理解する ・家族のニードを理解する	自分や身近な人の体験をグループで議論し、患者や家族のニードが理解できるようにする。	予習90分：事前に提示した資料、教科書などを読んで授業に臨む 復習90分：配布資料と授業の内容を整理する
第3回	臨床において原因を考える場合の思考法の特徴を理解する ・EBPとは何かを理解する	臨地実習の経験や事例をとおして、グループで議論し、EBPとは何かを深める。	予習90分：事前に提示した資料、教科書などを読んで授業に臨む 復習90分：配布資料と授業の内容を整理する
第4回	中枢神経系・循環動態・呼吸器系のアセスメントの実際を理解する	意識レベルの見方について、事例をとおしてグループで議論する。	予習90分：事前に提示した資料、教科書などを読んで授業に臨む 復習90分：配布資料と授業
第5回	体液管理の基本と輸液療法について理解する		予習90分：事前に提示した資料、教科書などを読んで授業に臨む 復習90分：配布資料と授業の内容を整理する
第6回	・安楽を確保することとの重要性を理解する ・適切な疼痛評価を理解する ・せん妄の特徴を理解する	DVD鑑賞後、せん妄ケアについてグループで議論する	予習90分：事前に提示した資料、教科書などを読んで授業に臨む 復習90分：配布資料と授業の内容を整理する
第7回	・酸素療法の種類とそれぞれの種類の長所と短所を理解する ・自然呼吸と人工呼吸の違いを理解する ・調節呼吸の違いを理解する		予習90分：事前に提示した資料、教科書などを読んで授業に臨む 復習90分：配布資料と授業の内容を整理する
第8回	・人工呼吸器関連肺炎(VAP)とは何かを知る ・人工呼吸器関連肺炎(VAP)の一般的な予防法を理解する		予習90分：事前に提示した資料、教科書などを読んで授業に臨む 復習90分：配布資料と授業の内容を整理する

教科書

・・道叉元裕ら．クリィティカルケア看護学．医学書院
・授業時に資料を配布する

参考書

・卯野木健．クリィティカルケア看護入門．学研メディカル秀潤社
・安酸史子ら．健康危機状況 ナーシング・グラフィカ．MCメディカ出版

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上（定期試験100％）
課題等に対する フィードバックの方法
レポートはコメントし返却する。
履修のポイント
臨床場面をイメージ化させながら、授業を進めていく。また国家試験に出るポイントもおさえる。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じます。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-C270

講義コード	10770001
講義名	精神看護学概論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	５時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師として精神科病院に勤務経験があり、実務経験をふまえ実践と理論を関連づけながら講義を展開する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 片野 吉子	指定なし

授業の概要と教育目標

メンタルヘルスの現状から、さまざまな体験が人間の身体・精神、人間関係に影響をおよぼすことを理解する。精神に障がいのあるひとの治療の歴史を踏まえ、地域精神保健活動を推進していくうえでの精神看護師の役割と課題を見出す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から対象理解につなげていく。また、看護学の基礎となる健康の諸側面、人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解を深める。さらに、医療者として必要な倫理、守るべき法令を理解し行動につなげることができることを目指す。

到達目標

1.メンタルヘルスの現状から、現代社会のメンタルヘルスの課題と対策について考える。
2.精神機能および精神機能の障害から、こころの仕組みと働きを理解する。
3.ライフサイクルにおけるこころの危機とストレスを理解する。
4.地域精神保健看護から、生活を支えるための社会資源・サービスを考える。
5.精神に障がいのあるひとの精神保健から、リエゾン看護師の役割を理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	精神の健康 ①こころを病むとは ②精神機能と障害 ③入院形態	・こころを病んだら、どのように感じるのかを考え、その時に、どのように接することがよいのかグループ間で話し合う。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①偏見、差別、スティグマ、②精神症状、③入院形態 について学習ノートにまとめる。
	こころの健康と不健康 ①ライフサ		

第2回	イクルにおけるこころの健康と不健康 ②精神に障がいを持つひと・家族のこころの健康 ③こころの危機		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：人のこころを見る視点、こころの防衛機能、その危機の回復、ストレスと対処方法について調べ学習ノートにまとめる。
第3回	ライフサイクルと精神保健① ①ﾗｲﾌｻｲｸﾙと発達段階・発達課題 ②エリクソン・ハヴィガースト・カプラン	・グループ間で、ﾗｲﾌｻｲｸﾙ各期における特徴と危機について話し合う。 ・話し合った内容を発表し、その時期に必要な援助について考える。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①人間の成長発達やライフイベントに伴うストレスについて考え、メンタルヘルスに及ぼす影響について調べ学習ノートにまとめる。
第4回	ライフサイクルと精神保健② ①こころのしくみと人格の発達 ②こころの危機とストレス	・グループ間で、ﾗｲﾌｻｲｸﾙ各期における特徴と危機について話し合う。 ・話し合った内容を発表し、その時期に必要な援助について考える。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①家族とは何か、家族を見る視点、家族の在り方が精神に障がいがあるひとの治療に及ぼす影響について調べ学習ノートにまとめる。
第5回	精神科医療看護の歴史・法律 ①精神に障がいを持つひとの治療の歴史 ②日本における精神医学・精神医療の流れ ③世界と日本におけるメンタルヘルスの現状		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①諸外国における精神医療の変遷、②日本における精神医療の変遷、精神医療福祉における看護師の役割について調べ学習ノートにまとめる。
第6回	精神看護における人権ー看護倫理と法 ①精神看護における人権 ②看護倫理 ③安全管理	・事例をとおして、共感から生じる効果やストレスについて考え、対象との対応に反映することができる。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①精神看護に求められる安全管理、②精神医療におけるアドボカシー（自己決定権の尊重、入院患者の基本的な処遇、精神医療審査会）について学習ノートにまとめる。
	リエゾン精		

第7回	神看護と看護者のメンタルヘルス ①リエゾン精神看護の歴史 ②リエゾン精神看護の役割 ③看護師のメンタルヘルス ④精神科で働く看護師のストレス	・事例をとおして、リエゾン看護師の働きについて考え、グループ間で討議する。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①保健医療福祉に従事する者の精神の健康、②リエゾン精神看護について学習ノートにまとめる。
第8回	精神の健康とマネジメント ①精神の健康とマネジメント ②患者と家族の精神の健康 ③家族の役割と家族のリカバリー	・家族のなかで形成される普通の物差しについて考え、グループ間で討議する。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①心身相関と健康、②心身相関の考え方に基づくホリスティックケア、患者と家族の精神の健康について学習ノートにまとめる。
第9回	社会とメンタルヘルス ①少子高齢化・IT社会 ②さまざまな社会病理現象 ③移住と精神保健・宗教体験と精神保健	・対象の気持ちに寄り添う方法について考え、精神科における治療的環境とは何かグループ間で話し合う。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①さまざまな社会病理現象について分かりやすく学習ノートにまとめる。
第10回	災害時の地域における精神保健活動 ①災害時のアウトリーチと精神看護の役割 ②ストレス反応 ③災害時のこころのケア		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①災害時の精神保健医療活動、②災害時の精神保健に関する初期活動、③災害時の精神障害者への治療継続について分かりやすく学習ノートにまとめる。
	精神保健と社会・看護師のメンタルヘルス ①家族の課		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①配偶者間暴力、②児童

第11回	題（虐待） ②空の巣症候群・キッチンドリンカー		虐待、高齢者虐待について調べ学習ノートにまとめる。
第12回	学校におけるメンタルヘルス・職場におけるメンタルヘルス ①学校におけるメンタルヘルス ②職場におけるメンタルヘルス		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①学校や職場で生じやすいメンタルヘルス上の問題とその支援について学習ノートにまとめる。
第13回	精神科チーム医療 ①精神科におけるチーム医療 ②集団生活へのインプット ③チーム医療に必要な職種との連携	・事例をとおして、精神科チーム医療にかかわる職種の働きについてグループ間で話し合う。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：精神科多職種連携と看護の役割について調べ学習ノートにまとめる。
第14回	地域における精神保健と精神看護① ①地域精神保健活動 ②生活を支えるための社会資源・サービス ③リカバリ ④エンパワメント	・事例をとおして、精神科における社会資源の活用についてグループ間で話し合う。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①治療を継続するためのリハビリテーションの場、②生活を支えるための社会資源・サービス、③住むための施設、④働くための施設について調べ学習ノートにまとめる。
第15回	地域における精神保健と精神看護② ①地域精神保健活動 ②生活を支えるための社会資源・サービス ③リカバリ ④エンパワメント	・事例をとおして、精神科における社会資源の活用についてグループ間で話し合う。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①治療を継続するためのリハビリテーションの場、②生活を支えるための社会資源・サービス、③住むための施設、④働くための施設について調べ学習ノートにまとめる。

教科書
専門分野 精神看護の基礎 精神看護学1 医学書院 2022 専門分野 精神看護の展開 精神看護学2 医学書院 2022
参考書
授業中に紹介します。
成績評価の方法・基準
単位認定：60点以上 筆記試験（60%）、課題提出（10%）、学習ノート提出（30%）による総合評価で60%以上を単位認定とします。
課題等に対する フィードバックの方法
授業計画に示されている課題は必ず確認し、復習をして分からない部分は授業で解決するようにしてください。 課題は提出後にコメントを記入し返却します。
履修のポイント
講義により、こころのしくみと働きを理解し精神に障がいを持つひとのメンタルヘルス上の課題について考えられるように授業を展開していきます。
オフィス・アワー
在室時、随時対応します。(研究室：10号館2階研究室5)
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R237

講義コード	10770002
講義名	精神看護学概論（2021年度入学生）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	５時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師として精神科病院に勤務経験があり、実務経験をふまえ実践と理論を関連づけながら講義を展開する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 片野 吉子	指定なし

授業の概要と教育目標

メンタルヘルスの現状から、さまざまな体験が人間の身体・精神、人間関係に影響をおよぼすことを理解する。精神に障がいのあるひとの治療の歴史を踏まえ、地域精神保健活動を推進していくうえでの精神看護師の役割と課題を見出す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から対象理解につなげていく。また、看護学の基礎となる健康の諸側面、人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解を深める。さらに、医療者として必要な倫理、守るべき法令を理解し行動につなげることができることを目指す。

到達目標

1.メンタルヘルスの現状から、現代社会のメンタルヘルスの課題と対策について考える。
2.精神機能および精神機能の障害から、こころの仕組みと働きを理解する。
3.ライフサイクルにおけるこころの危機とストレスを理解する。
4.地域精神保健看護から、生活を支えるための社会資源・サービスを考える。
5.精神に障がいのあるひとの精神保健から、リエゾン看護師の役割を理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	精神の健康 ①こころを病むとは ②精神機能と障害 ③入院形態	・こころを病んだら、どのように感じるのかを考え、その時に、どのように接することがよいのかグループ間で話し合う。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①偏見、差別、スティグマ、②精神症状、③入院形態 について学習ノートにまとめる。
	こころの健康と不健康 ①ライフサ		

第2回	イクルにおけるこころの健康と不健康 ②精神に障がいを持つひと・家族のこころの健康 ③こころの危機		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：人のこころを見る視点、こころの防衛機能、その危機の回復、ストレスと対処方法について調べ学習ノートにまとめる。
第3回	ライフサイクルと精神保健① ①ﾗｲﾌｻｲｸﾙと発達段階・発達課題 ②エリクソン・ハヴィガースト・カプラン	・グループ間で、ﾗｲﾌｻｲｸﾙ各期における特徴と危機について話し合う。 ・話し合った内容を発表し、その時期に必要な援助について考える。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①人間の成長発達やライフイベントに伴うストレスについて考え、メンタルヘルスに及ぼす影響について調べ学習ノートにまとめる。
第4回	ライフサイクルと精神保健② ①こころのしくみと人格の発達 ②こころの危機とストレス	・グループ間で、ﾗｲﾌｻｲｸﾙ各期における特徴と危機について話し合う。 ・話し合った内容を発表し、その時期に必要な援助について考える。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①家族とは何か、家族を見る視点、家族の在り方が精神に障がいがあるひとの治療に及ぼす影響について調べ学習ノートにまとめる。
第5回	精神科医療看護の歴史・法律 ①精神に障がいを持つひとの治療の歴史 ②日本における精神医学・精神医療の流れ ③世界と日本におけるメンタルヘルスの現状		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①諸外国における精神医療の変遷、②日本における精神医療の変遷、精神医療福祉における看護師の役割について調べ学習ノートにまとめる。
第6回	精神看護における人権ー看護倫理と法 ①精神看護における人権 ②看護倫理 ③安全管理	・事例をとおして、共感から生じる効果やストレスについて考え、対象との対応に反映することができる。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①精神看護に求められる安全管理、②精神医療におけるアドボカシー（自己決定権の尊重、入院患者の基本的な処遇、精神医療審査会）について学習ノートにまとめる。
	リエゾン精		

第7回	神看護と看護者のメンタルヘルス ①リエゾン精神看護の歴史 ②リエゾン精神看護の役割 ③看護師のメンタルヘルス ④精神科で働く看護師のストレス	・事例をとおして、リエゾン看護師の働きについて考え、グループ間で討議する。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①保健医療福祉に従事する者の精神の健康、②リエゾン精神看護について学習ノートにまとめる。
第8回	精神の健康とマネジメント ①精神の健康とマネジメント ②患者と家族の精神の健康 ③家族の役割と家族のリカバリー	・家族のなかで形成される普通の物差しについて考え、グループ間で討議する。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①心身相関と健康、②心身相関の考え方に基づくホリスティックケア、患者と家族の精神の健康について学習ノートにまとめる。
第9回	社会とメンタルヘルス ①少子高齢化・IT社会 ②さまざまな社会病理現象 ③移住と精神保健・宗教体験と精神保健	・対象の気持ちに寄り添う方法について考え、精神科における治療的環境とは何かグループ間で話し合う。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①さまざまな社会病理現象について分かりやすく学習ノートにまとめる。
第10回	災害時の地域における精神保健活動 ①災害時のアウトリーチと精神看護の役割 ②ストレス反応 ③災害時のこころのケア		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①災害時の精神保健医療活動、②災害時の精神保健に関する初期活動、③災害時の精神障害者への治療継続について分かりやすく学習ノートにまとめる。
	精神保健と社会・看護師のメンタルヘルス ①家族の課		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①配偶者間暴力、②児童

第11回	題（虐待） ②空の巣症候群・キッチンドリンカー		虐待、高齢者虐待について調べ学習ノートにまとめる。
第12回	学校におけるメンタルヘルス・職場におけるメンタルヘルス ①学校におけるメンタルヘルス ②職場におけるメンタルヘルス		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①学校や職場で生じやすいメンタルヘルス上の問題とその支援について学習ノートにまとめる。
第13回	精神科チーム医療 ①精神科におけるチーム医療 ②集団生活へのインプット ③チーム医療に必要な職種との連携	・事例をとおして、精神科チーム医療にかかわる職種の働きについてグループ間で話し合う。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：精神科多職種連携と看護の役割について調べ学習ノートにまとめる。
第14回	地域における精神保健と精神看護① ①地域精神保健活動 ②生活を支えるための社会資源・サービス ③リカバリ ④エンパワメント	・事例をとおして、精神科における社会資源の活用についてグループ間で話し合う。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①治療を継続するためのリハビリテーションの場、②生活を支えるための社会資源・サービス、③住むための施設、④働くための施設について調べ学習ノートにまとめる。
第15回	地域における精神保健と精神看護② ①地域精神保健活動 ②生活を支えるための社会資源・サービス ③リカバリ ④エンパワメント	・事例をとおして、精神科における社会資源の活用についてグループ間で話し合う。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①治療を継続するためのリハビリテーションの場、②生活を支えるための社会資源・サービス、③住むための施設、④働くための施設について調べ学習ノートにまとめる。

教科書
専門分野 精神看護の基礎 精神看護学1 医学書院 2022 専門分野 精神看護の展開 精神看護学2 医学書院 2022
参考書
授業中に紹介します。
成績評価の方法・基準
単位認定：60点以上 筆記試験（60%）、課題提出（10%）、学習ノート提出（30%）による総合評価で60%以上を単位認定とします。
課題等に対する フィードバックの方法
授業計画に示されている課題は必ず確認し、復習をして分からない部分は授業で解決するようにしてください。 課題は提出後にコメントを記入し返却します。
履修のポイント
講義により、こころのしくみと働きを理解し精神に障がいを持つひとのメンタルヘルス上の課題について考えられるように授業を展開していきます。
オフィス・アワー
在室時、随時対応します。(研究室：10号館2階研究室5)
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R237

講義コード	10780001
講義名	精神看護方法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師として精神科病院に勤務経験があり、実務経験をふまえ実践と理論を関連づけながら講義を展開する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 片野 吉子	指定なし

授業の概要と教育目標

精神に障がいのあるひとの特徴を知り、こころを病む人を理解する過程を理解し、治療ならびに看護を踏まえ、そのひとを支える社会資源の活用について学ぶ。
事例展開をとおして、精神の健康課題に直面しているひととその家族のQOLを高める看護と展開方法を理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロ・マポリシーとの関連として、精神に障がいのあるひとを、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から理解する。看護の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解につなげる。さらに、医療者として必要な倫理、守るべき法令を理解し行動につなげることができる。看護の基本精神を理解し、精神に障がいを持つひとの健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を深め、実践的な援助技術を実践することができる。また、症状や状態によってもたらされる生活の変化の把握と治療、看護について理解することを目指すものとする。

到達目標

1. 精神に障がいのあるひとの特徴を理解する。
2. 精神に障がいのあるひとの治療と看護について理解する。
3. 精神科看護における看護師の役割を理解する。
4. 精神看護に求められるコミュニケーション技法について理解する。
5. 精神に障がいのあるひとのストレングスに着目した看護計画の立案ができる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	ケアの人間関係① ・ケアの原則 ・ケアの方法	看護師に求められるコミュニケーションについてグループ間で意見交換を行	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①精神症状が対人関係に及ぼす影響、②看護師に求められるコミュニケーションについて学習ノー

	・患者ー看護師間でおこること	う。	トにまとめる。
第2回	主な疾患と看護① (精神科救急看護)		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：精神科救急医療、入院の適応、行動制限について学習ノートにまとめる。
第3回	主な疾患と看護② (精神に障がいのあるひとの急性期から回復期、慢性期の看護)		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：統合失調症の急性期、回復期、慢性期の看護について学習ノートにまとめる。
第4回	主な疾患と看護③ （幻覚・妄想・意欲減退)		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：幻覚・妄想・意欲減退にある患者の看護および陽性症状・陰性症状について学習ノートにまとめる。
第5回	主な疾患と看護④ (気分障害)		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：気分障害にある患者の看護について学習ノートにまとめる。
第6回	精神症状と看護⑤ (依存)		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：依存のある患者の看護について学習ノートにまとめる。
第7回	精神症状と看護⑥ (児童・青年期の精神障害)		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：児童・青年期の精神障害のある患者の看護について学習ノートにまとめる。
第8回	精神症状と看護⑦ (大人の注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害〔ADHD〕)		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）： 注意欠如・多動性障害〔ADHD〕のある患者の看護について学習ノートにまとめる。
第9回	精神看護における看護師の役割① （薬物療法・電気けいれん療法)		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：統合失調症、気分障害の薬物の作用・有害事象について学習ノートにまとめる。
第10回	精神看護における看護師の役割② （行動制限と看護)		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①精神保健福祉法における入院形態、行動制限について、②精神科における安全管理、③精神医療における権利擁護について学習ノートにまとめる。
	精神看護に		

第11回	おける看護師の役割③ ・精神療法 ・認知行動療法 ・生活技能訓練（SST）		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①精神療法、②個人精神療法、③認知行動療法、④生活技能訓練（SST）について学習ノートにまとめる。
第12回	精神看護における看護師の役割④（精神精神科リハビリテーション療法）		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①リハビリテーションの概念、②精神科リハビリテーション、③作業療法、④レクリエーション療法について学習ノートにまとめる。
第13回	精神看護における看護師の役割⑤ ・ストレングスモデル ・エンパワメント ・リカバリ		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①ストレングスモデル、②エンパワメント、③リカバリ、④ピアサポートについて学習ノートにまとめる。
第14回	多職種のつながり① 地域での自立・統合への支援		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①障害者総合支援法に基づくサービス、②精神障害者福祉手帳、③インフォーマルなサポート（セルフヘルプグループ、ボランティアサービス）について学習ノートにまとめる。
第15回	多職種のつながり② 多職種によるアウトリーチ（訪問支援）		予習（90分）：教科書を熟読し、地域連携包括ケアについて調べておく。 復習（90分）：①精神科訪問看護の機能、訪問看護に必要な力、②多職種アウトリーチについて、③作業療法士、ピアサポーターの役割について学習ノートにまとめる。
第16回	精神看護における看護理論		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①精神看護とストレングス、②日常生活行動の援助のポイントについて学習ノートにまとめる。
第17回	精神看護におけるセルフケア ・オレムアンダーウッド ・日常生活行動 ・生活のしづらさ		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：精神看護におけるセルフケア理論、精神に障害のあるひとの日常生活行動について学習ノートにまとめる。
第18回	精神看護における看護過程		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：精神看護に求められる観察項目、アセスメントの視点および社会機能を知る尺度について学習ノート

			にまとめる。
第19回	ケアの人間関係②患者ー看護師関係 ・対人関係 ・再構成 ・自己洞察 ・プロセスレコード人間関係②患者ー看護師関係	プロセスレコードの再構成から、自己の感情の動きに気づくことができる。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①自己の関りについて記録用紙に記入する。②プロセスレコードを通して自己の性格特性や行動の傾向について振り返り課題を明らかにする。
第20回	ケアの人間関係③患者ー看護師関係 ・再構成 ・自己洞察 ・ロールプレイング	プロセスレコードの再構成から、自己の感情の動きに気づくことができる。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①自己の関りについて記録用紙に記入する。②ロールプレイングを行い、自己・他者理解につなげる。③プロセスレコードを通して自己の性格特性や行動の傾向について振り返り課題を明らかにする。
第21回	ケアの人間関係④患者ー看護師関係 ・再構成 ・自己洞察 ・ロールプレイング	プロセスレコードをもとにロールプレイングを実施し、自己の課題に気づくことができる。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①自己の関りについて記録用紙に記入する。②プロセスレコードの再構成から、自己の性格特性や行動の傾向について振り返り課題を明らかにする。
第22回	看護過程の展開①（統合失調症：急性期・慢性期）	看護過程の展開（個人ワーク） アセスメントガイドを参照にして、事例を読み解きアセスメントを行う。	予習（90分）：精神看護における看護過程における資料を熟読する。 復習（120分）：統合失調症：慢性期における看護過程の展開を実施する。
第23回	看護過程の展開②（統合失調症：急性期・慢性期）	看護過程の展開（個人ワーク） アセスメントガイドを参照にして、事例を読み解きアセスメントを行う。	予習（90分）：精神看護における看護過程における資料を熟読する。 復習（120分）：統合失調症：慢性期における看護過程の展開を実施する。
第24回	看護過程の展開③（統合失調症：急性期・慢性期）	看護過程の展開（個人ワーク） アセスメントガイドを参照にして、事例を読み解きアセスメントを行う。	予習（90分）：精神看護における看護過程における資料を熟読する。 復習（120分）：統合失調症：慢性期における看護過程の展開を実施する。
第25回	看護過程の展開④（統合失調症：急性期・慢性期）	看護過程の展開（グループワーク・修正）個人で導き出したアセスメントをもとに、グループ間でディスカッションし、ワークシートに追加・修正を行う。	予習（90分）：精神看護における看護過程における資料を熟読する。 復習（120分）：統合失調症：慢性期における看護過程の展開を実施する。
	看護過程の	看護過程の展開（グループ	

第26回	展開⑤（統合失調症：急性期・慢性期）	ワーク・修正）個人で導き出したアセスメントをもとに、グループ間でディスカッションし、ワークシートに追加・修正を行う。	予習（　分）：精神看護における看護過程における資料を熟読する。 復習（120分）：統合失調症：慢性期における看護過程の展開を実施する。
第27回	看護過程の展開⑥（統合失調症：急性期・慢性期）	看護過程の展開（グループワーク・修正）個人で導き出したアセスメントをもとに、グループ間でディスカッションし、ワークシートに追加・修正を行う。	予習（90分）：精神看護における看護過程における資料を熟読する。 復習（120分）：統合失調症：慢性期における看護過程の展開を実施する。
第28回	看護過程の展開⑦（統合失調症：急性期・慢性期）	看護過程の展開（グループワーク・修正）個人で導き出したアセスメントをもとに、グループ間でディスカッションし、ワークシートに追加・修正を行う。	予習（90分）：精神看護における看護過程における資料を熟読する。 復習（120分）：統合失調症：慢性期における看護過程の展開を実施する。
第29回	看護過程の展開・発表①（統合失調症：急性期）	グループワーク発表①（統合失調症：慢性期）	予習（90分）：精神看護における看護過程における資料を熟読する。 復習（120分）：統合失調症：慢性期における看護過程の展開を実施する。
第30回	看護過程の展開・発表②（統合失調症：慢性期）	グループワーク発表②（統合失調症：慢性期）	予習（90分）：精神看護における看護過程における資料を熟読する。 復習（120分）：統合失調症：慢性期における看護過程の展開を実施する。

教科書

専門分野 精神看護の基礎 精神看護学1 医学書院 2022
専門分野 精神看護の展開 精神看護学2 医学書院 2022

参考書

授業中に紹介します。

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上
筆記試験（60%）、課題レポート（30%）、学習ノート提出（10%）による総合評価で60%以上を単位認定とします。

課題等に対するフィードバックの方法

課題レポートおよび学習ノートは提出後にコメントを記入して返却します。

履修のポイント

精神看護学演習、精神看護学実習の基盤となる知識であるため、配布資料やテキストの熟読を予習・復習として勧めます。

オフィス・アワー

在室時、随時対応します。(研究室：10号館2階研究室5)

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

講義コード	10790001
講義名	精神看護学実習
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	実験・実習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師として精神科病院に勤務経験があり、実務経験をふまえ実践と理論を関連づけながら講義を展開する。
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 片野 吉子	指定なし

授業の概要と教育目標

精神に障がいのあるひととの関係構築を図り、生活の視点から対象に求められる援助を思惟し看護を実践する。さらに、精神に障がいのあるひとが地域で生活を営むうえで必要な支援について理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学学部看護学科のディプロマポリシーの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から精神に障がいを持つひとの理解につなげることができる。臨地実習において看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識、実践可能な援助技術を既習の学習と統合し実践することができる。さらに、臨床現場でチーム医療の一員として、調整能力及び問題解決する能力を養うことを目指す。

到達目標

1. 対象が安心して生活できる生活環境について考えることができる。
2. 対象との関わりから自己洞察を深め、対人関係の構築ができる。
3. 対象の発達課題をふまえ、対象のストレングスを見出すことができる。
4. 対象参画のもと、対象の自律（立）に向けた援助が実践できる。
5. 保健医療福祉チームの一員として地域生活を送る対象の支援が理解できる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	1日目（学内・臨地） 1）対象が安心して生活できる生活環境について考えることができる。	①対象の入院形態から処遇について考えられる。 ②精神科における安全管理について ③治療的環境について考える。	・実習記録（No1～3）に記入する。 ・対象を観察した内容等を記録し、アセスメントする。 ・プロセスレ

			コード用紙への記載
第2回	2日目（臨地） 1）対象との関わりから自己洞察を深め、対人関係の構築ができる。	①対象の言動をあるがままに受け止めることができる。 ②対象の感情の動きから、その意味について考えられる。 ③メンバーの意見を聴き、対人プロセスの過程から、自己の課題に気づくことができる。 ④対象が安心できる距離を保ちながら、状況に合わせたコミュニケーション技法が活用できる。	・実習記録（No1～4、7）に記入する。 ・対象から得られた情報をアセスメントする。 ・プロセスレコード用紙への記載
第3回	3日目（臨地） 1）対象の発達課題をふまえ、対象のストレングスを見出すことができる。 2）対象の処遇、隔離室の見学・身体拘束体験から安全と人権についてグループ間でディスカッションできる。	①対象の発達段階から課題を見出すことができる。 ②対象の価値観や考えを尊重できる。 ③対象の日常生活の状況や治療への取り組みから、実現可能な目標・計画を相談しながら立案できる。 ④隔離室の見学・身体拘束体験から安全と人権について考える。	・実習記録（No1～4）に記入する。 ・アセスメントから得られた結果を関連図に記載する。 ・関連図の内容をもとにカンファレンスを実施する。
第4回	4日目（臨地） 1）対象の発達課題をふまえ、対象のストレングスを見出すことができる。 2）対象参画のもと、対象の自律（立）に向けた援助が実践できる。 3）対象の処遇、隔離室・身体拘束体の見学から安全と人権についてグループ間でディスカッションできる。	①対象の背景から、健康障害の発生につながる関連図を作成し、目標や課題が導き出せる。 ②対象の希望や願望をふまえ、今後の生活に向けてともに考えられる。 ③対象にとって、継続が可能な目標がともに立案できる。 ④カンファレンスで意見交換を行い、計画の妥当性について検討する。	・実習記録（No1～6）に記入する。 ・カンファレンスでの検討内容を整理する。 ・カンファレンスの内容をもとに、計画を立案する。
第5回	5日目 （学内）	①「安全と人権について」合同カンファレンスを行う。 ②対象の情報整理 ③看護援助に必要な知識・技術の補足 ④翌週の実習計画作成	・実習記録（No1～6）に記入する。 ・合同カンファレンスの準備 ・計画の妥当性を再検討 ・計画立案 ・形成的評価
第6回	6日目（臨地） 1）対象参画のもと、対象の自律（立）に向けた援助が実践できる。	①立案した計画を対象とともに実践し、対象の思いを尊重できる。 ②対象とのかかわりから、対象の状況に即した看護を展開する。 ③対象とともに計画を振り返る。	・実習記録（No1～7）に記入する。 ・計画の評価・修正 ・プロセスレコード用紙に記載
		①立案した計画を対象ととも	

第7回	7日目（臨地） 1）対象参画のもと、対象の自律（立）に向けた援助が実践できる。	に実践し、対象の思いを尊重できる。 ②対象とのかかわりから、対象の状況に即した看護を展開する。 ③対象とともに計画を振り返る。 ④対象の状況をふまえ、計画が修正ができる。	・実習記録（No1～7）に記入する。 ・計画の評価・修正 ・プロセスレコード用紙に記載
第8回	8日目（臨地） 5）保健医療福祉チームの一員として地域生活を送る対象の支援が理解できる。	①利用者が地域で生活するために必要な保健医療福祉サービスについて考えられる。 ②精神に障がいのあるひとが地域で暮らすための支援について、論点を明確にレポートにまとめられる。 ③多職種の連携から、職種間の連携の必要性について考えられる。	・実習記録（No1～6、8）に記入する。 ・計画の評価・修正
第9回	9日目（臨地） 1）対象参画のもと、対象の自律（立）に向けた援助が実践できる。	①対象とのかかわりから、対象の状況に即した看護を展開する。 ②対象とともに計画を振り返る。 ③対象とともに計画を評価する。 ④対象のストレングスが維持・継続できる計画立案を修正ができる。	・実習記録（No1～6、8）に記入する。 ・計画の評価・修正 ・精神看護学実習振り返り
第10回	10日目（学内） 実習のまとめ	1）面接およびまとめ 2）レポート課題 「精神看護学実習で感じたこと・考えたこと」 3）記録のまとめ	・実習記録に記入する。 ・総括的評価

教科書

精神看護学I 精神保健学 第6版 ヌーヴェルヒロカワ 2018
精神看護学II 精神臨床看護学 第6版 ヌーヴェルヒロカワ 2018

参考書

実習中に紹介します。

成績評価の方法・基準

単位認定：60%以上
学習状況、実習状況、記録物、出席状況等をもとに、実習目標の到達度を評価基準を用いて評価します。

課題等に対するフィードバックの方法

実習記録にコメントを随時入れます。

履修のポイント

1.実習要項を参照に実習に臨んでください。
2.対象の個人情報の取り扱いには十分配慮し注意して取り扱ってください。
3.精神看護における安全管理について再確認し実習に臨んでください。
3.学内で学んできたことを活かし、精神に障がいのあるひとの関わりをとおして積極的に学習に取り組んでください。

4.一つひとつの事柄に対して自己の知識や感情・思考・行動の傾向を確認し、自己の在り方を考える機会としてください。
5.体調管理をして実習に臨んでください。

オフィス・アワー
臨地および学内にて、随時対応する。(研究室：10号館2階研究室5)
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R254

講義コード	10800001
講義名	高齢期看護学概論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師の臨床経験を活かしてテキストに沿った集中講義を展開していく
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田中 光子	指定なし

授業の概要と教育目標

人生100年時代と言われるようになった昨今、目まぐるしく変わる社会状況の中で心身ともにその人らしく生きていく援助をいかに行うのか、熟慮する必要がある。高齢期看護学を学ぶ若い人にとっては、ジェネレーションギャップも手伝い、高齢者について理解を得難いこともあることと思う。しかしケアをされる関係性においては、経験を積み重ねた人々（看護対象）が持つ寛容性に助けられながら、援助者として成長することが大いに期待できると考えられる。
「老いを支える」看護とはどのようなことなのか。今授業では、高齢者の自我発達を基本において、1. 「老いを生きるということ」2.超高齢社会と社会保障3. 老年看護のなりたちに着眼した講義を展開したいと考える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本学看護学科のデイプロマ・ポリシーである「人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から理解している」「看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康諸側面、健康生活社会との関係について理解している。さらに医療者としての必要な倫理、守るべき法令を理解しそれに沿って行動ができる」および「看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を習得し、実践的な援助技術を習得している」の項目に則って、高齢期看護学の概論的な学修を目指す。

到達目標

1. 高齢期看護の対象特性として、生物学的な老化とその主観的意味を意味を理解して、高齢者政策などの社会的な変化の中での高齢者をとらえることができる。
2. 人生が凝縮された高齢者の、多様性および個別性を受け止めていく視点を理解することができる。
3. 高齢者を常に環境との相互関連がある存在としてとらえ、個別性だけではなく家族へのケア更には、地域包括的観点からもケアを発展していくことへの意識を持つことができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
		第1章老いる		

第1回	田中光子	ということと、老いをいきるということ A 高齢者を知る B 「老いる」ということ ・加齢と老化 ・加齢に伴う身体的側面の変化 ・加齢に伴う心理的側面の変化 C 老いを生きるということ ・高齢者の定義 ・高齢者の発達課題	・高齢者とはどのようなものか、身近にいる高齢者について隣近所の人たちと話してみよう！	予習90分：「老年看護 学」P.2～P.20を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。
第2回	田中光子	第1章老いるということと、老いをいきるということ A 高齢者を知る B 「老いる」ということ ・加齢と老化 ・加齢に伴う身体的側面の変化 ・加齢に伴う心理的側面の変化 C 老いを生きるということ ・高齢者の定義 ・高齢者の発達課題	・高齢者の疑似体験をしてみよう1	予習90分：「老年看護 学」P.2～P.20を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。
		第1章老いるということと、老いをいきるということ A 高齢者を知る B 「老いる」ということ		予習90分：「老年

第3回	田中光子	・加齢と老化 ・加齢に伴う身体的側面の変化 ・加齢に伴う心理的側面の変化 C 老いを生きるということ ・高齢者の定義 ・高齢者の発達課題	・高齢者の疑似体験をしてみよう2	看護 学」P.2～P.20を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。
第4回	田中光子	第1章老いるということ、おいをいきるということ C 発達と成熟 ・発達理論 ・スピリチュアリティ ・健康と生活 第2章超高齢社会と社会保障 A 超高齢社会の統計的輪郭 ・高齢化率 ・平均寿命 ・日本の将来像 ・高齢者と家族 ・高齢者の健康状態 ・高齢者の死亡 ・高齢者の暮らし	・理想とする50年先の自分を想像し、隣近所の人たちと語り合おう。その際になぜそうなりたいのかという理由も述べてみよう。	予習90分：「老年看護学」P.24～P.35を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。
第5回	田中光	第2章超高齢社会と社会保障 B 高齢社会における医療保健福祉の動向 ・高齢者にかかわる保健医療福祉のシステム		予習90分：「老年看護 学」P.36～P.53を読む。 復習90分：配布資

	子	の構築 保健医療福祉の変遷 介護保険制度 ・高齢者を支える多職種連携と看護活動		料を基に再度範囲内のテキストを読む。
第6回	田中光子	第2章超高齢社会と社会保障 C 高齢者の権利擁護 ・高齢者に対する烙印 ・高齢者虐待 ・身体拘束 ・権利擁護	・高齢者に対してネガティブな印象を持ったことがあるかどうか、正直に隣近所の人たちと話し合ってみよう。また、なぜそのような思いになったのかも述べてみよう	予習90分：「老年看護学」P.54～P.66を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。
第7回	田中光子	第3章 老年看護のなりたち A 老年看護のなりたち ・老年看護学教育の発展 ・老年看護の定義 B 老年看護の役割 ・注目すべき4つの側面 ・老年看護の特徴		予習90分：「老年看護学」P.70～P.77を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。
第8回	田中光子	第3章 老年看護のなりたち C 老年看護における理論・概念の活用 ・離脱理論と活動理論 ・サクセスフルエイジング ・選択最適化補償理論 ・ニード論 ・危機理論 ・セルフケア理論 ・コンフォート理	・セルフケア理論・コンフォート理論・ストレングスモデルの中から一つを選び詳細にレポートしてみよう。（課題）	予習90分：「老年看護学」P.78～P82を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。

		論 ・ストレングスモデル		
第9回		第8章 エンドオブライフケア A エンドオブライフケアの概念 B 「生きる」ことを支えるケア ・日本人の死生観 ・希望する最期 ・望ましい死		予習90分：「老年看護学」P.348～P357を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。
第10回		第8章 エンドオブライフケア C意思決定への支援 ・アドバンスケアプランニング D 末期段階に求められる援助	自分のエンディングノート（わたしのきぼう）を記入してみよう 。 それをもとに隣近所の人へ伝えてみよう。	予習90分：「老年看護学」P.348～P357を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。
第11回		第9章 生活・療養の場における看護 A 高齢者とヘルスプロモーション ・老年期のヘルスプロモーション ・介護予防とヘルスプロモーション B 保健医療福祉施設と居住施設 ・介護保険施設 ・地域密着型サービス C 治療・介護を必要とする高齢者を含む家族の看護 ・家族の健康と生活		予習90分：「老年看護学」P.360～P.383を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。

		・家族への援助		
第12回		第9章 生活・療養の場における看護 ・老年期のヘルスプロモーション ・介護予防とヘルスプロモーション B 保健医療福祉施設と居住施設 ・介護保険施設 ・地域密着型サービス C 治療・介護を必要とする高齢者を含む家族の看護 ・家族の健康と生活 ・家族への援助	大学周辺（群馬県内）にある地域密着型サービスを提供している施設について詳細にレポートをしてみよう。（課題）	予習90分：「老年看護学」P.360～P.383を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。
第13回		第10章 高齢者のリスクマネジメント A 高齢者と医療安全 ・高齢者と医療事故 ・高齢者特有のリスク要因 ・高齢者が見舞われやすい医療事故と実際		予習90分：「老年看護学」P.388～P.394を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。
第14回		第10章 高齢者のリスクマネジメント B 高齢者と救命救急 ・救急を受診する高齢者の特徴 ・救命救急場面における看護師の役割	DVD 目で見る老年看護学 看護援助「急性期から症状安定までの看護」を視聴し、看護師の動きで気づいたことを書き出そう。	予習90分：「老年看護学」P.395～P.397を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。

第15回		第10章 高齢者のリスクマネジメント C 高齢者と災害 ・災害における高齢者の脆弱性 ・災害フェーズと高齢者支援 ・看護職に求められる役割 高齢期看護学概論のまとめ		予習90分：「老年看護学」P.397～P.405を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。

教科書
系統別看護学講座専門分野 老年看護学 北川公子（代表著者）医学書院 系統別看護学講座専門分野 老年看護 病態・疾患論 鳥羽研二（代表著者）医学書院
参考書
高齢社会白書 最新版
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 筆記テスト100％（授業参加率も加味する）
課題等に対する フィードバックの方法
提出されたリアクションーペーパーは添削して返却する。
履修のポイント
積極的に授業参加する。他人への迷惑行為はしない。教科書に目を通す。
オフィス・アワー
臨地実習日以外の学内日で授業以外。9：20～16：30 10号館 田中研究室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R238

講義コード	10800002
講義名	高齢期看護学概論（2021年度入学生）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師の臨床経験を活かしてテキストに沿った集中講義を展開していく
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田中 光子	指定なし

授業の概要と教育目標

人生100年時代と言われるようになった昨今、目まぐるしく変わる社会状況の中で心身ともにその人らしく生きていく援助をいかに行うのか、熟慮する必要がある。高齢期看護学を学ぶ若い人にとっては、ジェネレーションギャップも手伝い、高齢者について理解を得難いこともあることと思う。しかしケアをされる関係性においては、経験を積み重ねた人々（看護対象）が持つ寛容性に助けられながら、援助者として成長することが大いに期待できると考えられる。
「老いを支える」看護とはどのようなことなのか。今授業では、高齢者の自我発達を基本において、1. 「老いを生きるということ」2.超高齢社会と社会保障3. 老年看護のなりたちに着眼した講義を展開したいと考える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本学看護学科のデイプロマ・ポリシーである「人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から理解している」「看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康諸側面、健康生活社会との関係について理解している。さらに医療者としての必要な倫理、守るべき法令を理解しそれに沿って行動ができる」および「看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を習得し、実践的な援助技術を習得している」の項目に則って、高齢期看護学の概論的な学修を目指す。

到達目標

1. 高齢期看護の対象特性として、生物学的な老化とその主観的意味を意味を理解して、高齢者政策などの社会的な変化の中での高齢者をとらえることができる。
2. 人生が凝縮された高齢者の、多様性および個別性を受け止めていく視点を理解することができる。
3. 高齢者を常に環境との相互関連がある存在としてとらえ、個別性だけではなく家族へのケア更には、地域包括的観点からもケアを発展していくことへの意識を持つことができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
		第1章老いる		

第1回	田中光子	ということと、老いをいきるということ A 高齢者を知る B 「老いる」ということ ・加齢と老化 ・加齢に伴う身体的側面の変化 ・加齢に伴う心理的側面の変化 C 老いを生きるということ ・高齢者の定義 ・高齢者の発達課題	・高齢者とはどのようなものか、身近にいる高齢者について隣近所の人たちと話してみよう！	予習90分：「老年看護 学」P.2～P.20を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。
第2回	田中光子	第1章老いるということと、老いをいきるということ A 高齢者を知る B 「老いる」ということ ・加齢と老化 ・加齢に伴う身体的側面の変化 ・加齢に伴う心理的側面の変化 C 老いを生きるということ ・高齢者の定義 ・高齢者の発達課題	・高齢者の疑似体験をしてみよう1	予習90分：「老年看護 学」P.2～P.20を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。
		第1章老いるということと、老いをいきるということ A 高齢者を知る B 「老いる」ということ		予習90分：「老年

第3回	田中光子	・加齢と老化 ・加齢に伴う身体的側面の変化 ・加齢に伴う心理的側面の変化 C 老いを生きるということ ・高齢者の定義 ・高齢者の発達課題	・高齢者の疑似体験をしてみよう2	看護 学」P.2～P.20を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。
第4回	田中光子	第1章老いるということ、おいをいきるということ C 発達と成熟 ・発達理論 ・スピリチュアリティ ・健康と生活 第2章超高齢社会と社会保障 A 超高齢社会の統計的輪郭 ・高齢化率 ・平均寿命 ・日本の将来像 ・高齢者と家族 ・高齢者の健康状態 ・高齢者の死亡 ・高齢者の暮らし	・理想とする50年先の自分を想像し、隣近所の人たちと語り合おう。その際になぜそうなりたいのかという理由も述べてみよう。	予習90分：「老年看護学」P.24～P.35を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。
第5回	田中光	第2章超高齢社会と社会保障 B 高齢社会における医療保健福祉の動向 ・高齢者にかかわる保健医療福祉のシステム		予習90分：「老年看護 学」P.36～P.53を読む。 復習90分：配布資

	子	の構築 保健医療福祉の変遷 介護保険制度 ・高齢者を支える多職種連携と看護活動		料を基に再度範囲内のテキストを読む。
第6回	田中光子	第2章超高齢社会と社会保障 C 高齢者の権利擁護 ・高齢者に対する烙印 ・高齢者虐待 ・身体拘束 ・権利擁護	・高齢者に対してネガティブな印象を持ったことがあるかどうか、正直に隣近所の人たちと話し合ってみよう。また、なぜそのような思いになったのかも述べてみよう	予習90分：「老年看護学」P.54～P.66を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。
第7回	田中光子	第3章 老年看護のなりたち A 老年看護のなりたち ・老年看護学教育の発展 ・老年看護の定義 B 老年看護の役割 ・注目すべき4つの側面 ・老年看護の特徴		予習90分：「老年看護学」P.70～P.77を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。
第8回	田中光子	第3章 老年看護のなりたち C 老年看護における理論・概念の活用 ・離脱理論と活動理論 ・サクセスフルエイジング ・選択最適化補償理論 ・ニード論 ・危機理論 ・セルフケア理論 ・コンフォート理	・セルフケア理論・コンフォート理論・ストレングスモデルの中から一つを選び詳細にレポートしてみよう。（課題）	予習90分：「老年看護学」P.78～P82を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。

		論 ・ストレングスモデル		
第9回		第8章 エンドオブライフケア A エンドオブライフケアの概念 B 「生きる」ことを支えるケア ・日本人の死生観 ・希望する最期 ・望ましい死		予習90分：「老年看護学」P.348～P357を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。
第10回		第8章 エンドオブライフケア C意思決定への支援 ・アドバンスケアプランニング D 末期段階に求められる援助	自分のエンディングノート（わたしのきぼう）を記入してみよう 。 それをもとに隣近所の人へ伝えてみよう。	予習90分：「老年看護学」P.348～P357を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。
第11回		第9章 生活・療養の場における看護 A 高齢者とヘルスプロモーション ・老年期のヘルスプロモーション ・介護予防とヘルスプロモーション B 保健医療福祉施設と居住施設 ・介護保険施設 ・地域密着型サービス C 治療・介護を必要とする高齢者を含む家族の看護 ・家族の健康と生活		予習90分：「老年看護学」P.360～P.383を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。

		・家族への援助		
第12回		第9章 生活・療養の場における看護 ・老年期のヘルスプロモーション ・介護予防とヘルスプロモーション B 保健医療福祉施設と居住施設 ・介護保険施設 ・地域密着型サービス C 治療・介護を必要とする高齢者を含む家族の看護 ・家族の健康と生活 ・家族への援助	大学周辺（群馬県内）にある地域密着型サービスを提供している施設について詳細にレポートをしてみよう。（課題）	予習90分：「老年看護学」P.360～P.383を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。
第13回		第10章 高齢者のリスクマネジメント A 高齢者と医療安全 ・高齢者と医療事故 ・高齢者特有のリスク要因 ・高齢者が見舞われやすい医療事故と実際		予習90分：「老年看護学」P.388～P.394を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。
第14回		第10章 高齢者のリスクマネジメント B 高齢者と救命救急 ・救急を受診する高齢者の特徴 ・救命救急場面における看護師の役割	DVD 目で見る老年看護学 看護援助「急性期から症状安定までの看護」を視聴し、看護師の動きで気づいたことを書き出そう。	予習90分：「老年看護学」P.395～P.397を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。

第15回		第10章 高齢者のリスクマネジメント C 高齢者と災害 ・災害における高齢者の脆弱性 ・災害フェーズと高齢者支援 ・看護職に求められる役割 高齢期看護学概論のまとめ		予習90分：「老年看護学」P.397～P.405を読む。 復習90分：配布資料を基に再度範囲内のテキストを読む。

教科書
系統別看護学講座専門分野 老年看護学 北川公子（代表著者）医学書院 系統別看護学講座専門分野 老年看護 病態・疾患論 鳥羽研二（代表著者）医学書院
参考書
高齢社会白書 最新版
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 筆記テスト100％（授業参加率も加味する）
課題等に対する フィードバックの方法
提出されたリアクションーペーパーは添削して返却する。
履修のポイント
積極的に授業参加する。他人への迷惑行為はしない。教科書に目を通す。
オフィス・アワー
臨地実習日以外の学内日で授業以外。9：20～16：30 10号館 田中研究室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R238

講義コード	10810001
講義名	高齢期看護方法
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師の臨床経験を活かしてテキストに沿った集中講義を展開していく
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田中 光子	指定なし
教員	武井 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

老年期にある対象の特徴が基盤となるので十分に理解を深めたうえで、高齢者へのアセスメントの視点を身体・精神・心理・社会面からとらえる。高齢者における生活の場を把握し、高齢者特有の疾患および具体的な看護展開の方法について理解を深めることを目標とする。また、高齢者と社会保障、高齢者を支える医療連携について知識を習得することを目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科ディプロマ・ポリシーに関連して看護の基本精神・基本技術を理解した上で、様々な健康レベル、高齢期の発達段階における科学的知識を習得し、実践的な援助技術の学修となることを目指す。

到達目標

1.高齢者に劣っての生活および療養の場における看護の展開について習得する。
2. 高齢者の健康逸脱からの回復などを支える看護について検討ができる。
3. 高齢者を支える多職種チーム医療について把握する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	武井直樹	第IV章 高齢者のヘルスアセスメント A. ヘルスアセスメントの枠組み 1. 身体的健康 2. 生活自立状態 3. 心理・社会的健康のアセスメン	既習のヘルスアセスメントに加え、加齢による変化を考慮しつつ、健康状態のアセスメントを学ぶ。	予習90分：概論範囲のテキストを読み返す。さらにテキスト第4章Aを読む。 復習90分布資料などを読み返す。

		ト状態		
第2回	武井直樹	第IV章 高齢者のヘルスアセスメント B.身体の加齢変化とアセスメント 1．皮膚とその付属器 2．視聴覚とその他の感覚器	収集した情報は「加齢による変化」なのか、「病気による変化」なのか常に考えながらアセスメントしていく。	予習90分：テキスト第4章を読む。 復習90分：配布資料などを読み返す。
第3回	武井直樹	第IV章 高齢者のヘルスアセスメント B.身体の加齢変化とアセスメント 3.脳・神経系 4.運動器系	収集した情報は「加齢による変化」なのか、「病気による変化」なのか常に考えながらアセスメントしていく。	予習90分：テキスト第4章Bを読む。 復習90分：配布資料などを読み返す。
第4回	武井直樹	第4章 高齢者のヘルスアセスメント B.身体の加齢変化とアセスメント 5.呼吸器系 6.循環器系 7.消化器系	収集した情報は「加齢による変化」なのか、「病気による変化」なのか常に考えながらアセスメントしていく。	予習90分：テキスト第4章Bを読む。 復習90分：配布資料などを読み返す。
第5回	武井直樹	第4章 高齢者のヘルスアセスメント B.身体の加齢変化とアセスメント 8.泌尿器系 9.血液・造血器系	収集した情報は「加齢による変化」なのか、「病気による変化」なのか常に考えながらアセスメントしていく。	予習90分：テキスト第4章Bを読む。 復習90：テキストを読み返す。
第6回	武井直樹	第4章 健康アセスメントに基づく加齢変化と生活支援 B.身体機能・構造の加齢変化と生活への影響 10.免疫系 11.内分泌代謝系 12.性・生殖器系	収集した情報は「加齢による変化」なのか、「病気による変化」なのか常に考えながらアセスメントしていく。	予習90分：テキスト第4章Bを読む。 復習90分：テキスト第4章Bおよび配布資料を読み返す。
第7回	田中光子	第5章高齢者の生活機能を支える看護 A 日常生活を支える基本的活動 1.基本動作と環境のアセスメント 2．転倒のアセスメントと看護 ・高齢者と転倒 ・転倒リスクアセスメント ・転倒予防に向けた看護 ・転倒した高齢者への看護		予習90分：テキスト第4章Cを読む。 復習：90分：テキスト第4章Cおよび配布資料を読み返す。

		3．廃用症候群のアセスメントと看護 ・高齢者と廃用症候群 ・廃用症候群の早期発見・予防		
第8回	田中光子	第5章高齢者の生活機能を支える看護 B.食事・食生活 1．高齢者における食事の意義 2．高齢者に特徴的な変調 3．食生活のアセスメント 4．食生活の支援 ・食事前のケア ・食事中のケア ・食事後のケア	・自分の体脂肪率・基礎エネルギー消費量・1日の水分必要量を計算してみよう。 ・過去3日以内のうち丸1日の食事を詳細に列記し食品交換表を完成させよう。	予習90分：テキスト第5章A・Bをよく読む。 復習90分：テキスト第5章A・Bおよび配布資料を読み返す。
第9回	田中光子	第5章高齢者の生活機能を支える看護 C.排泄 1．高齢者の排泄ケアの基本 2．排尿障害のアセスメントとケア 3．排便障害のアセスメントと ケア	・実際におむつ交換をしよう！	予習90分：テキスト第5章Cを読む。 復習90分：テキスト第5章Cまたは配布資料を読み返す。
第10回	田中光子	第5章高齢者の生活機能を支える看護 C.排泄 1．高齢者の排泄ケアの基本 2．排尿障害のアセスメントとケア 3．排便障害のアセスメントと ケア	・実際におむつ交換をしよう！	予習90分：テキスト第5章Cを読む。 復習90分：テキスト第5章Cまたは配布資料を読み返す。
第11回	田中光	第5章高齢者の生活機能を支える看護 D.清潔 1．清潔の意義 2．高齢者に生じ		予習：90分テキスト第5章Dを読む。 復習90分：テキスト第5章D及び配布資料を

	子	やすい清潔に関する健康問題 3．清潔のアセスメント		読み返す。
第12回	田中光子	第5章高齢者の生活機能を支える看護 E.生活リズム 1．高齢者と生活リズム 2．高齢者に特徴的な変調 ・睡眠と覚醒の変化 3．生活リズムのアセスメント 4．生活リズムを整える看護第5章高齢者の生活機能を支え る看護 F.コミュニケーション 1．高齢者とのコミュニケーションと関わり方の原則 2．コミュニケーション能力のアセスメント 3．高齢者の状態・状況に応じたコミュニケーションの方法 G. セクシュアリティ 1．高齢者におけるセクシュアリティ 2．高齢者ケアの場における性に関する問題 H．社会参加 1．高齢化の現状と目指す社会の方向 2．地域における高齢者の社会参加		予習90分：テキスト第5章E～Hをよく読む。 復習90分：テキスト第5章E～H及び配布資料を読み返す。
第13回	田中光子	第6章健康逸脱からの回復を促す看護 A．症候のアセスメントと看護 1．痛み 2．発熱 3．掻痒 4．脱水		予習90分：テキスト第6章Aを読む。 復習90分：テキスト第6章A及び配布資料を読み返す。

第14回	田中光子	第6章健康逸脱からの回復を促す看護 A．症候のアセスメントと看護 5．嘔吐 6．浮腫 7．倦怠感 8．褥瘡		予習90分：テキスト第6章Aを読む。 復習90分：テキスト第6章A及び配布資料を読み返す。
第15回	武井直樹	第6章健康逸脱からの回復を促す看護 B．身体疾患のある高齢者の看護 1．脳卒中	症状が出にくい、苦痛を訴えられない高齢者の異常にいかに早く気づき、早期発見できるか。事例をもとに考える。	予習90分：テキスト第6章Bを読む。 復習90分：テキスト第6章B及び配布資料を読み返す。
第16回	武井直樹	第6章健康逸脱からの回復を促す看護 B．身体疾患のある高齢者の看護 2．心不全	症状が出にくい、苦痛を訴えられない高齢者の異常にいかに早く気づき、早期発見できるか。事例をもとに考える。	予習90分：テキスト第6章Bを読む。 復習90分：テキスト第6章B及び配布資料を読み返す。
第17回	武井直樹	第6章健康逸脱からの回復を促す看護 B．身体疾患のある高齢者の看護 3．糖尿病 4.慢性閉塞性肺疾患	症状が出にくい、苦痛を訴えられない高齢者の異常にいかに早く気づき、早期発見できるか。事例をもとに考える。	予習90分：テキスト第6章Bを読む。 復習90分：テキスト第6章B及び配布資料を読み返す。
第18回	武井直樹	第6章健康逸脱からの回復を促す看護 B．身体疾患のある高齢者の看護 5．がん 6．パーキンソン病 7．インフルエンザ	症状が出にくい、苦痛を訴えられない高齢者の異常にいかに早く気づき、早期発見できるか。事例をもとに考える。	予習90分：テキスト第6章Bを読む。 復習90分：テキスト第6章B及び配布資料を読み返す。
第19回	武井直樹	第6章健康逸脱からの回復を促す看護 B．身体疾患のある高齢者の看護 8．肺炎	症状が出にくい、苦痛を訴えられない高齢者の異常にいかに早く気づき、早期発見できるか。事例をもとに考える。	予習90分：テキスト第6章Bを読む。 復習90分：テキスト第6章B及び配布資料を読み返す。
第20回	武井直樹	第6章健康逸脱からの回復を促す看護 B．身体疾患のある高齢者の看護 9．骨粗しょう症 10．骨折	症状が出にくい、苦痛を訴えられない高齢者の異常にいかに早く気づき、早期発見できるか。事例をもとに考える。	予習90分：テキスト第6章Bを読む。 復習90分：テキスト第6章B及び配布資料を読み返す。
		第7章治療を必要		

第21回	武井直樹	とする高齢者の看護 A 検査を受ける高齢者の看護 B 薬物療法を受ける高齢者の看護 D リハビリテーションを受ける高齢者の看護 E 入院治療を受ける高齢者の看護		予習90分：テキスト第6章Bを読む。 復習90分：テキスト第6章B及び配布資料を読み返す。
第22回	武井直樹	第7章治療を必要とする高齢者の看護 A 検査を受ける高齢者の看護 B 薬物療法を受ける高齢者の看護 D リハビリテーションを受ける高齢者の看護 E 入院治療を受ける高齢者の看護		予習90分：テキスト第7章を読む。 復習90分：テキスト第7章及び配布資料を読み返す。
第23回	田中光子	第6章健康逸脱からの回復を促す看護 C．認知機能障害のある高齢者の看護 1．うつ病 2．せん妄		予習90分：テキスト第6章C①②を読む。 復習90分：テキスト第6章①②及び配布資料を読み返す。
第24回	田中光子	第6章健康逸脱からの回復を促す看護 C．認知機能障害のある高齢者の看護 3．認知症 ・認知症高齢者とのコミュニケーション ・認知症高齢者の家族の看護 ・ユマニチュードケア（DVD視聴）	・在宅認知症高齢者におけるユマニチュードケアの実際を視聴しよう！（DVD)	予習90分：テキスト第6章C③を読む。 復習90分：テキスト第6章C③及び配布資料を読み返す。
第25回	田中光子	高齢者看護過程1 1．紙上事例紹介 2．記録用紙確認 3．事例展開	紙上事例を読み実際に看護過程を展開する	予習90分：これまでのまでのテキストをよみ返す。 復習90分：テキスト及び配布資料を読み返す。
第26回	田中光	高齢者看護過程2 ・事例展開	紙上事例を読み実際に看護過程を展開する	予習90分：これまでのまでのテキストをよみ返す。 復習90分：テキスト及

	子			び配布資料を読み返す。
第27回	田中光子	高齢者看護過程3 ・事例展開	紙上事例を読み実際に看護過程を展開する	予習90分：これまでのまでのテキストをよみ返す。 復習90分：テキスト及び配布資料を読み返す。
第28回	田中光子	高齢者看護過程4 ・事例展開	紙上事例を読み実際に看護過程を展開する	予習90分：これまでのまでのテキストをよみ返す。 復習90分：テキスト及び配布資料を読み返す。
第29回	田中光子	高齢者看護過程5 ・事例展開	紙上事例を読み実際に看護過程を展開する	予習90分：これまでのまでのテキストをよみ返す。 復習90分：テキスト及び配布資料を読み返す。
第30回	田中光子	高齢者看護過程6 ・事例展開	紙上事例を読み実際に看護過程を展開する。要提出。	予習90分：これまでのまでのテキストをよみ返す。 復習90分：テキスト及び配布資料を読み返す。

教科書
系統看護学講座 老年看護学 医学書院
参考書
看護学テキストナイス 老年看護学技術 真田弘美 編集 南江堂 生活機能からみた老年看護過程+病態・生活機能関連図 山田律子編集 医学書院 他
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。筆記試験60%、演習課題記録40%
課題等に対する フィードバックの方法
授業内で課題を出すので返却後学習の参考にする。また、演習時は随時質疑応答体制をとるので、学習の理解につなげてほしい。
履修のポイント
授業への積極的な姿勢を期待します。
オフィス・アワー
研究室所在時に対応します。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R246

講義コード	10820001
講義名	高齢期看護学実習I
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	実験・実習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	高齢者看護の臨床経験を活かした事前オリエンテーションを行う
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田中 光子	指定なし
教員	武井 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

地域で生活している健康寿命を維持している高齢者とふれあい、客観的QOL（身体的状態・家庭・社会的状態など）と主観的QOL（高齢者自身の主観的満足感・生きがいなど）の両面を把握する。また高齢者のその人らしさ（個別性）・エンパワメント・生きる価値観を知ることで、医療倫理面の原則で重要な自己決定権の必要性を把握する。この2点の理解を深めることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連において、人間に対して社会・環境・コミュニケーションの諸側面から、社会に貢献してきた高齢者の理解を深めることを目指すものとする。

到達目標

1. 高齢期にある人の生活史を理解する。
2. 高齢期にある人の生活状態を理解する。
3. 高齢期にある人の健康状態と健康増進への取り組みについて理解する。
4. 高齢者への社会支援の役割を理解する。
5. 高齢者の個別性を理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	学内実習	オリエンテーションを受け、グループ別に課題演習に取り組む。不明な点は各グループで調べ解明につなげる。	予習90分：実習要項の確認。復習90分高齢期看護学方法論配布資料の確認をする。テキストを読む。

第2回	臨地実習	地域の高齢者の活動、コミュニケーションを通して高齢期にある人の生活史、生活状態、健康状態と健康増進への理解を深める取り組みをする。 学内に戻り各自の取り入れた情報や学びをグループ内で共有する。	予習90分：実習要項の確認。 復習90分高齢期看護学方法論配布資料の確認をする。テキストを読む。
第3回	臨地実習	1．デイサービスおよびデイケアを利用している高齢者の健康状態や生活状況を把握し理解を深める。 2．デイサービスおよびデイケアの役割について理解を深め、高齢者の通所目的を知り理解を深める。 3．アクティビティケアに参加し観察を行う。	予習90分：実習要項の確認。 復習90分高齢期看護学方法論配布資料の確認をする。テキストを読む。
第4回	臨地実習	1．デイサービスおよびデイケアを利用している高齢者の健康状態や生活状況を把握し理解を深める。 2．デイサービスおよびデイケアの役割について理解を深め、高齢者の通所目的を知る。 3．アクティビティケアに参加し観察を行う。	予習90分：実習要項の確認。 復習90分高齢期看護学方法論配布資料の確認をする。テキストを読む。
第5回	学内実習	グループ別演習・実習のまとめを行う。	復習90分：5日間の実習を振り返り疑問個所は解決するように調べておく。

教科書

専門分野 老年看護学 系統学講座
老年看護 病態・疾患論 系統看護学講座 医学書院

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。実習評価・実習態度を総合的に判断する。

課題等に対するフィードバックの方法

提出記録内において添削後返却する。

履修のポイント

実習への積極的な取り組みを期待する。

オフィス・アワー

学内日の昼休み時間および10号館田中研究室所在時。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R247

講義コード	10830001
講義名	高齢期看護学実習II
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	実験・実習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	高齢者看護の臨床経験を活かした臨地における指導を行っていく
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田中 光子	指定なし
教員	武井 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

健康障害をもつ高齢者を受け持ち看護過程を展開する。高齢者にとっての健康障害の状況や生活機能障害の状況を踏まえたうえで、個別性のある看護計画を立案し、実施・評価・修正をする。高齢者への看護実践を通して、高齢者の自己決定の尊重やその人らしい生き方および尊厳について理解を深めることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーに掲げてある「看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的技術を習得し、実践的な援助技術を習得している」に関連し、高齢期における看護過程の理解を深めることを目指す。

到達目標

1. 高齢期にある対象の発達課題と特徴、高齢者を取り巻く環境に基づいて対象を理解する。
2. 高齢期にある対象の顕在・潜在する看護問題を身体・心理・社会的側面からアセスメントする。
3. 高齢期にある対象の顕在・潜在する看護問題の解決にむけた個別的看護計画を立案・実施・評価する。
4. 看護実践をとおして看護の意義を理解する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	田中光子	・学内実習オリエンテーション（施設別）・臨地実習	・事前課題の追加または修正・オリエンテーション（病棟）・情報収集	予習：90分実習要綱を熟読する。 復習（必要分）：受け持ち患者の疾患の理解を深める。
	田			予習（必要分）：実習行動計画のイ

第2回	中光子	臨地実習	受け持ち患者の情報収集・アセスメント・カンファレンス	メージトレーニング 復習（必要分）：受け持ち患者の疾患の理解を深める。記録
第3回	田中光子	臨地実習	受け持ち患者の情報収集・アセスメント・カンファレンス	予習（必要分）：実習行動計画のイメージトレーニング 復習（必要分）：受け持ち患者の疾患の理解を深める。記録
第4回	田中光子	臨地実習	受け持ち患者の関連図作成・看護問題抽出・カンファレンス	予習（必要分）：受け持ち患者のデータベースを熟慮する。 復習（必要分）：看護問題に対しての具体的援助を考察する。
第5回	田中光子	学内実習	受け持ち患者の看護計画の立案・教員による個別指導	予習（必要分）：看護問題に対しての具体的援助を考察する。技術援助の再確認。 復習（必要分）：看護問題の優先順位を考察する。
第6回	田中光子	臨地実習	受け持ち患者の看護計画実施・評価・修正を行う。カンファレンス	予習（必要分）：看護問題の優先順位を考察する。技術援助の再確認。 復習（必要分）：看護計画実施後の修正・記録する。
第7回	田中光子	臨地実習	受け持ち患者の看護計画実施・評価・修正を行う。カンファレンス	予習・復習（必要分）：修正した看護計画に乗っ取ったイメージトレーニング、技術援助の再確認をする。
第8回	田中光子	臨地実習	受け持ち患者の看護計画実施・評価・修正を行う。カンファレンス	予習・復習（必要分）：修正した看護計画に乗っ取ったイメージトレーニング、技術援助の再確認をする。
第9回	田中光子	臨地実習	受け持ち患者の看護計画実施・評価・修正を行う。臨地における最終まとめのカンファレンス。	予習・復習（必要分）：修正した看護計画に乗っ取ったイメージトレーニング、技術援助の再確認をする。看護過程の振り返りをする。
第10回	田中光子	学内実習	合同振り返り・記録の完成・個人面接	予習・復習（必要分）：受け持ち患者について振り返る

教科書

系統看護学講座 専門分野 老年看護

参考書

・看護師・看護学生のための なぜ？どうして？6 老年看護 医療情報科学研究所メディックメディア

・ウエルネスの視点にもとづく老年看護過程 生活機能に焦点をあてたアセスメント 奥宮暁子編著 医歯薬出版（株）

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上。教員・指導者による実習評価・実習態度・実習記録・面接において総合的に評価する。

課題等に対する
フィードバックの方法

実習時間中における疑問においては、助言を付し自発的探究心を促し確認をする。

履修のポイント
一歩先の行動を予測して、積極的に実習へ臨んでください。
オフィス・アワー
学内日12：30〜13：20、16:20 〜17:50 10号館 田中研究室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R255

講義コード	10840001
講義名	地域・在宅看護学概論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	医療連携の相談員や訪問看護師、また保健師の経験を在宅看護教育に応用し、社会資源の活用、その人がのぞむ生活を維持できるような支援方法に活用する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 佐藤 光栄	指定なし
教員	風間 順子	指定なし

授業の概要と教育目標

わが国は少子、超高齢社会となり、人口の減少や医療資源の有効活用など様々な課題を抱えている。国の医療等制度改革においても、療養者はできる限り住み慣れた地域や家庭で家族や友人に囲まれた生活をし続ける体制、病院から在宅への円滑な移行などが進められている。これらの社会情勢や療養者のニーズに対応するために在宅看護の必要性が高まっている。在宅看護の特徴、展開方法、活用する社会資源、制度など、在宅で療養する人々を看護するうえで必要な基本的知識を修得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとして、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を修得し、在宅看護学に関連する基本的考え方を包括的に理解することを目指す。

到達目標

１．在宅看護が目指す方向性と看護師の役割について理解できる
２．在宅看護の対象者の特徴と看護の必要性について理解できる
３．在宅看護に必要な制度とその活用について理解できる
４．在宅での療養者と家族を支える社会資源や関係職種を理解し、連携の必要性がわかる
５．在宅看護の現状を学ぶことにより、在宅看護が抱える問題について考えることができる

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	佐藤光	授業ガイダンス（授業の進め方と評価、課題と資料の活用など） 在宅看護の目的と特徴	最新データやDVD視聴後、これからの在宅看護についてグループディスカッ	予習：60分教科書第1、２章を読む 復習：90分グ

	栄	地域で暮らすことについて、暮らしている人々について理解する	ションする。	ループ討議を踏まえて自分の考えをまとめる。
第2回	佐藤光栄	在宅看護の対象の捉え方・対象者の特徴 共に生きる家族への支援 在宅療養を支えるケアーチーム ・地域包括ケアシステムと在宅看護	ケアチームのメンバーとなる職種について調べ、どのような役割があるか、グループメンバーと共有する。	予習：90分教科書第３章4章を読みケアーチームメンバーと役割について調べる 復習：90分グループメンバーと共有したことをまとめる
第3回	佐藤光栄	療養の場の移行支援 外来看護、退院支援と退院調整	退院支援・退院調整について違いを知り、退院に向けた援助時の考え方について検討する。退院調整における多職種連携について検討する。また、外来と在宅における看護について検討する。	予習：90分教科書第５章を読み退院支援・退院調整の違いについて調べる。 復習：90分グループメンバーと意見交換したことをまとめる
第4回	風間順子	在宅看護に関わる法令と制度 ・介護保険制度 ・医療保険制度 ・障がい者総合支援法 ・医療介護総合確保推進法 ・医療法	法令・社会保障制度の活用について、身近な例をグループメンバーに紹介する	予習：90分教科書第６章ABDEFGを読む 復習：90分グループメンバーから出された事例をまとめる
第5回	風間順子	訪問看護の歴史 訪問看護の制度 ・訪問看護の仕組み ・訪問看護ステーションに関する規定 ・訪問看護の利用方法	「訪問看護ステーションの管理者となるためには」というテーマで話し合いをする。	予習：90分教科書第4章Cを読む 復習：90分グループメンバーと話し合ったことをまとめる
第6回	佐藤光栄	在宅療養上のリスクマネジメント ・リスクマネジメントの考え方 ・環境整備による安全の確保	転倒予防対策の必要性と環境整備について、グループディスカッションする。	予習：90分教科書第４章FGを読む 復習：90分グループメンバーと意見交換したことをまとめる
第7回	佐藤光栄	在宅看護における権利養護 ・個人の尊重と自己決定支援 ・個人情報の保護と看護職の守秘義務 ・成年後見制度	自己決定を支援すること、家族との希望のずれに対する看護職の態度についてグループディスカッションする。	予習：90分教科書第６章Hを読む 復習：90分グループメンバーと意見交換したことをまとめる
第8回	佐藤光	在宅看護研究の動向 在宅看護、訪問看護を行うにあたり留意すべき点について検討、及び在宅看護実習の心構	事例をもとに話し合う。 実習時の心構えについて意見交換する。	予習：90分資料、教科書第１章Bを読む 復習：90分実習の心構えについ

	栄	え、マナーについて 本科目のまとめ		て自分の考えを まとめる

教科書
河原加代子著 地域・在宅看護の基盤 第6版 医学書院
参考書
授業内にて紹介する。
成績評価の方法・基準
単位認定は60点以上 筆記試験80%、課題レポート20%
課題等に対する フィードバックの方法
課題レポートは速やかに採点し、後期の方法論につなげる
履修のポイント
休まず出席すること。グループワークが多いので、自己の健康管理と自分の役割意識、メンバー間の協力、協働が必要です。グループメンバー、クラスメートの意見を集約しながら、授業の振り返りを必ずしましょう。
オフィス・アワー
事前メールにて、日時を調整しましょう。Sato-mi@kiryu-u.ac.jp研究室9（看護棟2階）
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R239

講義コード	10840002
講義名	地域・在宅看護学概論（2021年度入学生
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	医療連携の相談員や訪問看護師、また保健師の経験を在宅看護教育に応用し、社会資源の活用、その人がのぞむ生活を維持できるような支援方法に活用する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 佐藤 光栄	指定なし
教員	風間 順子	指定なし

授業の概要と教育目標

わが国は少子、超高齢社会となり、人口の減少や医療資源の有効活用など様々な課題を抱えている。国の医療等制度改革においても、療養者はできる限り住み慣れた地域や家庭で家族や友人に囲まれた生活をし続ける体制、病院から在宅への円滑な移行などが進められている。これらの社会情勢や療養者のニーズに対応するために在宅看護の必要性が高まっている。在宅看護の特徴、展開方法、活用する社会資源、制度など、在宅で療養する人々を看護するうえで必要な基本的知識を修得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとして、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を修得し、在宅看護学に関連する基本的考え方を包括的に理解することを目指す。

到達目標

１．在宅看護が目指す方向性と看護師の役割について理解できる
２．在宅看護の対象者の特徴と看護の必要性について理解できる
３．在宅看護に必要な制度とその活用について理解できる
４．在宅での療養者と家族を支える社会資源や関係職種を理解し、連携の必要性がわかる
５．在宅看護の現状を学ぶことにより、在宅看護が抱える問題について考えることができる

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	佐藤光	授業ガイダンス（授業の進め方と評価、課題と資料の活用など） 在宅看護の目的と特徴	最新データやDVD視聴後、これからの在宅看護についてグループディスカッ	予習：60分教科書第1、２章を読む 復習：90分グ

	栄	地域で暮らすことについて、暮らしている人々について理解する	ションする。	ループ討議を踏まえて自分の考えをまとめる。
第2回	佐藤光栄	在宅看護の対象の捉え方・対象者の特徴 共に生きる家族への支援 在宅療養を支えるケアーチーム ・地域包括ケアシステムと在宅看護	ケアチームのメンバーとなる職種について調べ、どのような役割があるか、グループメンバーと共有する。	予習：90分教科書第３章4章を読みケアーチームメンバーと役割について調べる 復習：90分グループメンバーと共有したことをまとめる
第3回	佐藤光栄	療養の場の移行支援 外来看護、退院支援と退院調整	退院支援・退院調整について違いを知り、退院に向けた援助時の考え方について検討する。退院調整における多職種連携について検討する。また、外来と在宅における看護について検討する。	予習：90分教科書第５章を読み退院支援・退院調整の違いについて調べる。 復習：90分グループメンバーと意見交換したことをまとめる
第4回	風間順子	在宅看護に関わる法令と制度 ・介護保険制度 ・医療保険制度 ・障がい者総合支援法 ・医療介護総合確保推進法 ・医療法	法令・社会保障制度の活用について、身近な例をグループメンバーに紹介する	予習：90分教科書第６章ABDEFGを読む 復習：90分グループメンバーから出された事例をまとめる
第5回	風間順子	訪問看護の歴史 訪問看護の制度 ・訪問看護の仕組み ・訪問看護ステーションに関する規定 ・訪問看護の利用方法	「訪問看護ステーションの管理者となるためには」というテーマで話し合いをする。	予習：90分教科書第4章Cを読む 復習：90分グループメンバーと話し合ったことをまとめる
第6回	佐藤光栄	在宅療養上のリスクマネジメント ・リスクマネジメントの考え方 ・環境整備による安全の確保	転倒予防対策の必要性と環境整備について、グループディスカッションする。	予習：90分教科書第４章FGを読む 復習：90分グループメンバーと意見交換したことをまとめる
第7回	佐藤光栄	在宅看護における権利養護 ・個人の尊重と自己決定支援 ・個人情報の保護と看護職の守秘義務 ・成年後見制度	自己決定を支援すること、家族との希望のずれに対する看護職の態度についてグループディスカッションする。	予習：90分教科書第６章Hを読む 復習：90分グループメンバーと意見交換したことをまとめる
第8回	佐藤光	在宅看護研究の動向 在宅看護、訪問看護を行うにあたり留意すべき点について検討、及び在宅看護実習の心構	事例をもとに話し合う。 実習時の心構えについて意見交換する。	予習：90分資料、教科書第１章Bを読む 復習：90分実習の心構えについ

	栄	え、マナーについて 本科目のまとめ		て自分の考えを まとめる

教科書
河原加代子著 地域・在宅看護の基盤 第6版 医学書院
参考書
授業内にて紹介する。
成績評価の方法・基準
単位認定は60点以上 筆記試験80%、課題レポート20%
課題等に対する フィードバックの方法
課題レポートは速やかに採点し、後期の方法論につなげる
履修のポイント
休まず出席すること。グループワークが多いので、自己の健康管理と自分の役割意識、メンバー間の協力、協働が必要です。グループメンバー、クラスメートの意見を集約しながら、授業の振り返りを必ずしましょう。
オフィス・アワー
事前メールにて、日時を調整しましょう。Sato-mi@kiryu-u.ac.jp研究室9（看護棟2階）
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R239

講義コード	10850001
講義名	地域・在宅看護方法
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	医療連携の相談員や訪問看護師、また保健師の経験を在宅看護教育に応用し、社会資源の活用、その人がのぞむ生活を維持できるような支援方法に活用する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 佐藤 光栄	指定なし
教員	風間 順子	指定なし

授業の概要と教育目標

在宅における看護展開方法と技術について学ぶ。在宅におけるケア用品の工夫について実践を通して学ぶ。また、在宅酸素療法（HOT)、在宅人工呼吸器の管理について実際を学ぶ。
療養者と家族を対象に、基礎看護学、成人看護学、老年看護学等で学んだ内容を応用して、在宅における看護援助を考える。演習では事例をもとに看護過程を展開する。グループで療養者と家族を対象にした看護援助方法について話し合い、看護計画を立案し発表する。なお本科目は、在宅看護の技術について学び、事例をもとに看護過程を展開することにより、在宅看護を実践するための基礎的知識と技術を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、様々な健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識と技術を習得することについて、在宅看護学に関する知識と実践的な援助技術を取得することを目指すものとする。

到達目標

1. 療養者と家族の生活を尊重した在宅での援助が理解できる。
2. 地域包括ケアシステムを踏まえた援助が理解できる。
2. 家族の介護負担が軽減できるような援助を説明することができる。
3. 在宅で求められる看護技術について理解できる。
4. 在宅における医療管理を必要とする看護について理解できる。
5. 事例をもとに在宅看護過程を考えることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	佐	在宅看護学概論振り返り	療養者、家族との信頼関係の構築に必要なこと、につ	予習９０分：本日学習する内容を教科書で確

第1回	藤光栄	在宅看護の目的と特徴、訪問看護のプロセスと技術、医療的管理と看護	いてグループ間で話し合う。さらにクラス全体で共有する（発表）	認 復習９０分：本日学んだことを配布した資料を用いて整理する
第2回	佐藤光栄	在宅看護におけるコミュニケーション 認知症 服薬管理 家族支援 多職種、地域連携	他看護学と重なるところがある為、在宅における課題や多職種連携方法について、整理しながら学習を進める。	予習；本日学習する内容を教科書で確認する。 復習：本日学んだことを配布した資料を用いて整理し、在宅における課題についてまとめる。
第3回	風間順子	生活を支える技術と医療ケア① 呼吸に関する在宅看護技術 在宅酸素療法と疾病の自己管理 生活のセルフケア	クラス別で時間を変えて実際を知る。呼吸管理を要する療養者への訪問看護についてリアクションペーパーを記入し、在宅看護へ理解を促し思考の整理を図る	予習９０分：本日学習する内容を教科書で確認 復習９０分：本日学んだことを配布した資料を用いて整理する
第4回	佐藤光栄	生活を支える技術と医療ケア② 食食生活・嚥下に関する在宅看護技術 食形態と支援、口腔リハビリ	クラス別で時間を変えて実際を知る。 食・栄養管理についてヴィデオ	予習；在宅看護の教科書で栄養管理について精読し疑問をもって、授業に臨む。 復習；疑問が解決したか、不明な点についてまとめ、次回質問する。
第5回	風間順子	非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）在宅酸素療法（HOT）在宅人工呼吸療法（HMV）の実査と管理（業者と連携）と排痰法、呼吸リハビリの実際	医療的ケアを要する療養者への訪問看護についてリアクションペーパーを記入し、在宅看護へ理解を促し思考の整理を図る	予習９０分：本日学習する内容を教科書で確認 復習９０分：本日学んだことを配布した資料を用いて整理する
第6回	佐藤光栄	生活を支える技術と医療ケア① 栄養管理方法の実際 食形態と支援、口腔リハビリ 経管栄養法（経鼻・経管・胃瘻）、中心静脈栄養法 （HPN）	栄養管理を要する療養者への訪問看護についてリアクションペーパー記入等により、在宅看護へ理解を促し思考の整理を図る。	予習９０分：本日学習する内容を教科書で確認 復習９０分：本日学んだことを配布した資料を用いて整理する
第7回	佐藤光栄	在宅におけるケア用品の工夫① 福祉用具・住宅改修について ケア用品・物品の工夫	グループで在宅におけるケア用品の工夫し作成する。その後、発表できるようにする。 介護保険のサービスについては調べておき、工夫のアイディアとする。	予習；介護保険制度における介護サービスを中心とした社会資源について調べておく
第8回	佐藤光栄	〃	〃	復習；発表する機会までに、プレゼン資料を準備しておく。
		生活を支える技術と医療ケア③		

第9回	佐藤光栄	排泄に関する在宅看護技術 尿道留置カテーテル 、ストーマ（人工肛門、人工膀胱 災害時に向けた支援計画、災害からの復活（体験談）	排泄管理を要する療養者への訪問看護についてリアクションペーパーを記入し、在宅看護へ理解を促し思考の整理を図る	予習９０分：本日学習する内容を教科書で確認 復習９０分：本日学んだことを配布した資料を用いて整理する
第10回	風間順子	生活を支える技術と医療ケア④ 清潔に関する在宅看護援助 褥瘡管理	清潔援助等を要する療養者についてリアクションペーパーを記入し、在宅看護へ理解を促し思考の整理を図る	予習９０分：本日学習する内容を教科書で確認 復習９０分：本日学んだことを配布した資料を用いて整理する
第11回	風間順子佐藤光栄	生活を支える技術と医療ケア⑤ 移動・移乗に関する在宅看護技術	移動援助等を要する療養者についてリアクションペーパーを記入し、在宅看護へ理解を促し思考の整理を図る	予習９０分：本日学習する内容を教科書で確認 復習９０分：本日学んだことを配布した資料を用いて整理する
第12回	風間順子佐藤光栄	在宅における日常生活援助演習① メディカルチェック、排泄ケア・清潔ケア、リハビリの実際	日常生活援助について、在宅の特徴を踏まえ実践する。 実習においても行うことがある内容であること、他看護学の復習応用であるため、スキルアップできるように参加する。	予習９０分：本日学習する内容を教科書で確認 復習９０分：本日学んだことを配布した資料を用いて整理する
第13回	風間順子佐藤光栄	医療的ケア児と家族の成長発達のアセスメント 医療的ケアと教育制度 精神疾患を有する生活者への援助、生活リハビリ	医療的ケアを要する療養者への訪問看護についてリアクションペーパーを記入し、在宅看護へ理解を促し思考の整理を図る	予習；90分医療的ケア児、精神障害のある人の在宅看護に難する内容を小児看護学の教科書、精神看護学の教科書を精読する。
第14回	風間順子佐藤光栄	在宅における日常生活援助演習② 工夫したケア用品に関する学びの共有（発表）	他のグループの発表を聞き、積極的に質疑応答し、さらなる工夫について検討する。	事前；各グループで工夫したケア用品についてプレゼンできるように準備しておくこと。6分前後の発表とする。
第15回	風間順子佐藤光栄	終末期ケア：外部講師 人生会議、自己決定支援、ACP 群馬県看護協会訪問看護ステーション前橋 管理者 山路聡子先生	終末期ケアについてリアクションペーパーを記入し、在宅看護へ理解を促し思考の整理を図る	予習９０分：本日学習する内容を教科書で確認 復習９０分：本日学んだことを配布した資料を用いて整理する
				事前；講義、演習、人

第16回	佐藤光栄	在宅における看取り 在宅での看取り、グリーフケア、多職種連携とチームケア、緩和ケアの実際（実際）	在宅においてその人がのぞむ死を迎えることができるか、ACPについて検討する。	生劇場、グリーフケアについて地域で行われている実際を調べてくること 事後；各自で学んだことを整理する。
第17回	佐藤光栄風間順子	在宅における危機管理① 災害時のケア、多職種連携	講義を中心とするが、ｸﾞﾙｰﾌﾟワークにて、在宅における災害について話し合う。	事前；災害看護ついて教科書の該当部分を調べておく 復習；在宅における危機管理に関する在宅看護へ理解を促し思考の整理を図る。
第18回	佐藤光栄	在宅における危機管理② 災害時に向けた支援計画、災害からの復活	ｸﾞﾙｰﾌﾟわーにて、在宅における防災に関する計画を検討する。	事前；教科書の防災に関するページの精読 事後；防災に関して、検討後の自分の考えをレポートする。
第19回	風間順子佐藤光栄	在宅看護過程の展開① 在宅看護過程のポイントと展開方法、ケアプランとの関連	在宅看護過程の展開についてリアクションペーパーを記入し、在宅看護へ理解を促し思考の整理を図る	予習９０分：本日学習する内容を教科書で確認 復習９０分：本日学んだことを配布した資料を用いて整理する
第20回	風間順子佐藤光栄	在宅看護過程の展開 ②（個人ワーク、グループワーク） 在宅看護介入時期別の特徴事例 情報収集・情報の整理	看護過程アセスメントガイドを参照して、事例を読み解きアセス メントを行う	〃
第21回	風間順子佐藤光栄	在宅看護過程の展開 ③（個人ワーク、グループワーク） アセスメント・計画立案	個別に看護過程の展開をした事例を持ち寄りグループでカンファレンスを行う	〃
第22回	風間順子佐藤光栄	在宅看護過程の展開 ④（グループワーク）	〃	〃
	風間順子	ロールプレイング計画立	グループ毎で行った看護過程の展開を元に、30分間の	予習９０分：本日学習する内容を効果的なグループワークとなるよ

第23回	佐藤光栄	案① 30分間訪問看護援助	訪問看護援助シナリオ作成について話し合う	う記録用紙に記入する 復習９０分：本日学んだこと記録用紙に整理する
第24回	風間順子佐藤光栄	ロールプレイング計画立案② 30分間訪問看護援助	〃	〃
第25回	風間順子佐藤光栄	ロールプレイング計画立案③ 30分間訪問看護援助	〃	〃
第26回	風間順子佐藤光栄	ロールプレイング発表・まとめ②	代表グループによるロールプレイを通して実践的な看護援助を学ぶ	予習９０分：本日学習する内容を効果的なロールプレイとなるよう記録用紙に記入する 復習９０分：本日学んだこと記録用紙に整理する
第27回	風間順子佐藤光栄	ロールプレイング発表・まとめ③	〃	〃
第28回	風間順子佐藤光栄	ロールプレイング発表・まとめ③	〃	〃
第29回	風間順子佐藤光栄	ロールプレイング発表・まとめ④	〃	〃
	風間			

第30回	順子 佐藤光栄	ロールプレイング全体のまとめ	ロールプレイの振り返り	〃

教科書

『河原加代子著 地域・在宅看護の実践 第6版 医学書院』
『河原加代子著 地域・在宅看護の基盤 第6版 医学書院』

参考書

河野あゆみ編集『強みと弱みからみた在宅看護過程』（医学書院）
正野逸子・本田彰子編著『関連図で理解する在宅看護過程』（メヂカルフレンド社 ）
岡崎美智子『根拠がわかる在宅看護技術』(メヂカルフレンド社)
臺有桂・他編『ナーシング・グラフィカ在宅看護論：地域療養を支えるケア』(メディカ出版)

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上 定期試験70%、事例検討記録・発表資料の作成と発表態度 30%

課題等に対する
フィードバックの方法

各自で行った事例展開の記録は、健康問題別実習の前に返すので、実習に活用してください。

履修のポイント

在宅における看護技術と看護過程について学びます。グループワークを行いますので、積極的に参加してください。

オフィス・アワー

授業日ならびに在室時、随時対応します。会議等で不在のこともあるので、事前にメールをください。
佐藤光栄：sato-mi@kiryu-u.ac.jp
風間順子：kazama-ju@kiryu-u.ac.jp

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R248

講義コード	10860001
講義名	在宅看護学実習
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	実験・実習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	訪問看護師、保健師の勤務経験および医療連携の相談員での実務経験を踏まえて実習指導を行う。
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 佐藤 光栄	指定なし
教員	風間 順子	指定なし

授業の概要と教育目標

在宅看護の特徴は、対象となる人々の「生活」の場で看護を展開するという点にある。そのため、人々の生き方、生活、健康に対する価値観や主体性を尊重しながら、自立支援や自己決定という視点をもち、療養生活の維持と質の向上を図ることが在宅看護の目的となる。在宅看護学実習では、在宅看護の対象者である療養者とその家族の特徴や援助方法、地域包括ケアシステムや社会資源の活用・調整方法、保健医療福祉の様々な職種との連携や協働の必要性、その中での看護の役割について学修する。なお本科目は、在宅療養者及び家族における健康障害と生活への影響を総合的にとらえ、在宅看護の特徴を理解し、療養者と家族の特性に応じた看護を実践するための基礎的能力を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、様々な健康レベル、あらゆる発達段階における実践的な援助技術の修得、知識と技術の統合、臨床現場でのチーム医療の一員として役割を担う能力、問題を解決する能力を修得することを目指すものとする。

到達目標

1.療養者の疾患・障害が、療養生活に及ぼしている影響を総合的に理解できる。
2.療養者と家族の生活・健康に関する価値観や主体性を尊重することの重要性が理解できる。
3.在宅療養における家族の状況と役割を知り、家族を対象とした看護の必要性が理解できる。
4.療養者と家族のケアニーズと個別性を尊重した援助計画が立案できる。
5.療養者と家族の意向を踏まえ、生活を支援するために必要な社会保障制度及び社会資源を理解し、その活用方法が理解できる。
6.地域包括ケアシステムにおける関係機関との連携・協働と、在宅ケアチームにおける看護職の役割・機能が理解できる。
7.療養者の権利の擁護、人権の尊重の重要性について理解できる。
8.看護学生として看護専門職になる自覚を持ち、実習に積極的に取り組むことができる。

授業計画

	担当	授業内容と方	アクティブラーニングの内容	予習・復習と

	者	法、課題		そのために必要な時間
第1回	佐藤光栄風間順子	〔臨地実習1週目〕 ①学内オリエンテーション2日 ・実習施設オリエンテーション ・実習の心構え ・基礎看護技術の復習（動画視聴） ・在宅看護で必要な看護技術の復習および疾患に対する理解（シミュレーション、ロールプレイ等） ②訪問看護ステーション実習2日 ・同行訪問 ・訪問看護師業務理解 ・療養者・家族１事例の看護過程展開（情報収集、アセスメント、計画立案） ③桐生市地域包括支援センターもしくは居宅介護支援事業所0.5日 ・地域および地域住民の特性を知る。 ・社会資源の活用および多職種連携の実際を知る	実習に出るための心構え、マナー、身支度について、グループメンバーと話し合う。実習にふさわしい態度を全員で確認する。在宅看護に必要な援助方法や疾患に関する知識の強化を図る。 臨地実習では実際の療養者とその家族における看護過程を展開する。	予習（事前学習）270時間 提出された課題を実習初日に提出する。 復習：180分 事前学習の不足を補う。
	佐藤	〔臨地実習2週目〕 ①訪問看護ステーション実習4日 ・同行訪問 訪問看護師業務理解		

第2回	光栄風間順子	・療養者・家族１事例の看護過程展開（情報収集、アセスメント、計画立案、実施、評価） ②学内でのまとめ1日 全体カンファレンス、学びの整理	臨地実習では実際の療養者とその家族における看護過程を展開する。臨地実習での学びを整理し、在宅看護の目指すもの、求められてものを考える。カンファレンスを行い。学習の 共有を図る。	予習：90分/日 次に行う実習課題について調べる。復習：90分/日 今日行った実習から学んだことをまとめる。

教科書

在宅看護学実習要項、記録用紙を配布する。
『河原加代子著 地域・在宅看護の基盤 第6版 医学書院』『河原加代子著 地域・在宅看護の実践 第6版 医学書院』

参考書

河野あゆみ編集『強みと弱みからみた在宅看護過程』医学書院
正野逸子・本田彰子編著『関連図で理解する在宅看護過程』メヂカルフレンド社
岡崎美智子『根拠がわかる在宅看護技術』(メヂカルフレンド社) 臺有桂・他編『ナーシング・グラフィカ 在宅看護論：地域療養を支えるケア』(メディカ出版)

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上 到達目標の達成状況：60％以上 出席は5分の4以上とする。

課題等に対する
フィードバックの方法

実習記録に関して、個別に指導を行う。実習記録は実習終了後に返却する。

履修のポイント

在宅看護学実習の対象者は小児から高齢者まで幅広く、疾患もさまざまである。また、対象者の家族、取り巻く環境、地域も看護の対象となる。病院や施設における実習で学んだ知識・技術を最大限に活用し、在宅療養生活を援助する看護について学びを深める。事前学習課題は、実習初日に持参する。また日常生活援助技術を経験することが多いため、練習を行っておく。

オフィス・アワー

学内日、臨地実習巡回時に対応します。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R256

講義コード	10870001
講義名	公衆衛生看護学概論
(副題)	【教職必修】【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	行政保健師としての実務経験を活かし、エピソードを取りれながら授業を展開する
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 増田 さゆり	指定なし
教員	髙橋 美砂子	指定なし

授業の概要と教育目標

公衆衛生看護は、公衆衛生を基盤にした看護活動であり、地域に住むすべての人々を対象とし、健康レベルやＱＯＬの向上を目指し、住民自身が主体的に取り組めるよう専門的な支援を行う。公衆衛生看護学の理念、歴史的背景や地域保健活動の変遷等を踏まえ、公衆衛生看護の果たす役割や期待される能力について学習する。また、諸外国の公衆衛生看護活動や国際協力のあり方について学習し、異なる文化や価値観に対して柔軟に対応しながら健康課題の解決を図るための取り組みを学習する。本科目は、地域を基盤とした公衆衛生看護の対象の捉え方、活動の場、活動方法に焦点をあてながら、多様化する社会現象と健康課題に対応する保健師の役割について理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

看護学科ディプロマ・ポリシーに鑑み、対象の価値観を認め、倫理観をもった看護の実践および多職種との連携・協働を理解し良好な人間関係の構築、さまざまな地域で生活する人々の多様性の理解と発達課題健康レベルに対応した、公衆衛生看護活動を通して保健師の役割について理解する。

到達目標

１）個人・家族・集団・地域を対象とした看護領域であることを理解する。
２）地域で生活する人々の健康課題について考えることができるようになる。
３）地域の健康課題と保健計画について理解する。
４）公衆衛生看護活動における集団的支援・個別的支援について説明することができるようになる。
５）公衆衛生看護活動における現状の問題を踏まえて今後の課題について説明することができるようになる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間

第1回	髙橋美砂子	1．公衆衛生とは 2．健康の概念 3．公衆衛生看護の理念	「公衆」「公衆衛生」で何をイメージするか、意見交換する。	予習90分：教科書第1章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第2回	髙橋美砂子	1．基本的人権の尊重 2．権利擁護（アドボカシー） 3．公衆衛生看護活動の倫理とは 4．看護職の倫理綱領	社会的公正の定義＝公平な分配について意見交換し、レポートを作成する。	予習90分：教科書第1章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を参考にレポと課題を仕上げる
第3回	髙橋美砂子	1．公衆衛生看護の対象 ・個人、家族 ・集団、組織、地域 2．公衆衛生看護の場	保健師が働いている場所5か所とそこでの主な仕事内容について調べてみましょう。ワークシートを用いる。	予習90分：教科書2章を読む。 復習90分：教科書P．30を参考にワークシートに記入する
第4回	髙橋美砂子	地域アセスメント（地域診断） ・地域診断で使用する理論モデル ・コミュニティ・アズ・パートナーモデル（CAP) ・PDCAサイクル	わが町の地域診断演習の情報収集の方法を話し合う	予習90分：教科書第6.7章を読む。 復習90分：地域診断に基礎情報の収集
第5回	髙橋美砂子	地域診断ワークショップ① ・自分の生活している町の情報収集と整理（CAPモデル）	町のHP、町から発行して広報誌、県の統計、厚労省、総務省のHP、住民としての自分の知っていること、観察したことなどを情報としてまとめる	予習90分：教科書第6,7章を読む。 復習90分：地域診断新聞作成
第6回	髙橋美砂子	地域診断ワークショップ② 収集した情報の分析、健康課題に抽出 町の強み、弱みを知る	わが町の地域診断演習の情報収集の方法を話し合う 収集した情報をCAPを活用して8つのカテゴリーに分類、そこからアセスメントをし、わが町の健康課題を抽出する	予習90分：教科書第6,7 章を読む。 復習90分：地域診断新聞作成
第7回	髙橋美砂子	地域診断ワークショップ③ 健康課題の解決方法を保健事業に繋げる	課題解決方法について、皆から意見を聞く。 地域診断新聞の作成	予習90分：教科書第6,7 章を読む。 復習90分：地域診断新聞作成
				予習90分：教科

第8回	髙橋美砂子	地域診断ワークショップ④ 地域診断のまとめと発表、評価 （中間試験）	地域特徴や健康課題、課題解決の取組等を盛り込んだ地域診断新聞を作成する。出来上がった地域診断新聞の発表（内覧会）と評価。わかりやすい新聞はどれか全員で評価する	書第6,7章を読む。 復習90分：ここまでの学習のまとめと中間試験の振り返り
第9回	増田さゆり	公衆衛生看護の場 ・行政機関 ・職域（産業保健） ・学校 ・医療施設 ・福祉施設 など	保健師が活動しているところを学生間で共有し整理する（表の作成）	予習90分：教科書第３章を読む。 復習60分：教科書P.34～68を参考に課題に取り組む
第10回	増田さゆり	１．社会環境の変化 ・人口と疾病構造の変化 ・社会構造と文化的背景の変化 ・社会情勢、政治、経済、産業の変化 ２．環境の変化と健康課題	日本の少子化の背景として考えられることは何か。グループディスカッションをする。	予習90分：教科書第4.5章を読む。 復習60分：教科書P.71を参考に課題に取り組む
第11回	増田さゆり	１．医療モデルと生活モデル ２．予防（医学）の概念 ３．公衆衛生看護活動のアプローチ方法 ４．保健師の就業の場と役割	ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチについて、話し合いながら、ワークシートを用いて要約する	予習90分：教科書第2章を読む。 復習90分：教科書P.98を参考に課題を仕上げる
第12回	増田さゆり	・健康危機管理とリスクマネージメント 災害時の保健活動 感染時の保健活動	〈外部講師〉	予習90分：教科書９章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第13回	増田さゆり	１．公衆衛生看護と研究の動向 ２．研究方法 ３．関連研究論文を読む	グループで論文を読み、内容をについてディスカッションする	予習90分：教科書８章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第14回	増田さゆり	１．公衆衛生看護の歴史		予習90分：教科書第10章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
	増田	１．諸外国の公衆衛生の発達と		予習90分：教科書第8章を読む。

第15回	さゆり	活動 ２．定期試験対策	〈授業評価〉	復習90分：配付資料と教科書を見直す。

教科書

標美奈子・他『標準保健師講座１ 公衆衛生看護学概論（第６版）』（医学書院）

参考書

⑴国民衛生の動向（厚生労働統計協会）
⑵保健師業務要覧（日本看護協会保健師職能委員会）
⑶公衆衛生（MCメディカ出版）
※補足資料を適宜配布します。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
課題提出（地域診断）20% 中間試験 ３０％ 定期試験 ５０％

課題等に対する
フィードバックの方法

提出課題は、できる限り早く確認して返却します。

履修のポイント

配布資料は自らの書き込みをして、完成しますので、毎回しっかり取り組むこと。ワークショップも取り入れますので、休まず出席してください。
積極的な授業への参加を期待します。

オフィス・アワー

本科目の講義日は対応します。なお研究室に在室している時は対応します。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R330

講義コード	10880001
講義名	公衆衛生看護活動論I
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	保健師としての実務経験を活かし事例をあげながら授業展開する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 増田 さゆり	指定なし

授業の概要と教育目標

公衆衛生看護活動は、地域の健康課題の改善・解決に向けた看護実践の中で、個人・家族、集団、地域への支援を行っている。本科目は、地域の人々の健康な生活を支援するために必要な基本的な援助方法と援助技術を習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ・ポリシーとの関連は、さまざまな健康レベルや発達段階にある人々に対して行われる公衆衛生看護活動を通して保健師の役割及び支援方法について理解することで目的達成に資する知識を養う。

到達目標

１）公衆衛生看護活動の実践のための基本的な技術、方法について理解する。
２）公衆衛生看護の基盤となるさまざまな理論を理解する。
３）地域診断の意義と方法について理解する。
４）家庭訪問および健康教育の意義と方法について理解する。
５）グループ支援・地区組織育成支援の意義と方法について理解する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	増田 さゆり	公衆衛生看護に求められるもの 公衆衛生看護を取り巻く状況の変化 公衆衛生看護に求められる機能と技術 公衆衛生看護の技術を発展させる能力 公衆衛生看護における保健指導	予習90分：教科書第1章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第2回	増田 さゆり	地域保健活動 地域保健活動の基盤となるもの	予習90分：教科書1章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見

		地域保健活動の展開	直す。
第3回	増田 さゆり	公衆衛生看護の対象の理解 個人の理解と支援技法 家族を単位とした理解と支援技法 グループ・組織の理解と支援技法 地域の健康問題の構造	予習90分：教科書第2章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第4回	増田 さゆり	同上	予習90分：教科書第2章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第5回	増田 さゆり	同上	予習90分：教科書第2章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第6回	増田 さゆり	公衆衛生看護の基盤となる理論（1） 保健行動理論 行動を取り巻く要因 保健行動とは 保健行動理論の基盤 保健行動理論とモデル	予習90分：教科書第3章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第7回	増田 さゆり	同上	予習90分：教科書第3章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第8回	増田 さゆり	同上	予習90分：教科書第3章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第9回	増田 さゆり	公衆衛生看護の基盤となる理論(2) 保健行動と健康行動 ヘルスリテラシー 自己効力感	予習90分：教科書第3章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第10回	増田 さゆり	公衆衛生看護の基盤となる理論(3) 地域活動の理論 コミュニティエンパワメント コミュニティアズパートナーモデル プリシードプロシードモデル	予習90分：教科書第3章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第11回	増田 さゆり	対人支援活動の展開 対人支援の基本 対人支援の技術 ケースマネジメント 健康相談 健康診査	予習90分：教科書第4章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第12回	増田 さゆり	同上	予習90分：教科書第4章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
			予習90分：教科書第4章を熟読す

第13回	増田 さゆり	同上	る。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第14回	増田 さゆり	同上	予習90分：教科書第4章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第15回	増田 さゆり	家庭訪問による支援の展開 家庭訪問とは 家庭訪問の役割・機能 家庭訪問のプロセス 受入れ困難事例への対応 家庭訪問による支援の実際	予習90分：教科書第5章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第16回	増田 さゆり	同上	予習90分：教科書第5章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第17回	増田 さゆり	同上	予習90分：教科書第5章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第18回	増田 さゆり	同上	予習90分：教科書第5章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第19回	増田 さゆり	同上	予習90分：教科書第5章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第20回	増田 さゆり	健康教育の展開 健康教育の位置づけ 健康教育の技術 教育媒体 健康教育の展開過程	予習90分：教科書第6章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第21回	増田 さゆり	同上	予習90分：教科書第6章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第22回	増田 さゆり	健康教育の実際 健康教育演習 企画書作成	予習90分：教科書第6章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第23回	増田 さゆり	健康教育演習 企画書作成	予習90分：教科書第6章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第24回	増田 さゆり	健康教育演習 企画書作成、媒体選択、実施準備	予習90分：教科書第6章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第25回	増田 さゆり	健康教育演習 健康教育実施準備 健康教育実施、評価	予習90分：教科書第6章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見

			直す。
第26回	増田 さゆり	健康教育演習 健康教育実施、評価	予習90分：教科書第6章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第27回	増田 さゆり	地域組織活動の展開 公衆衛生看護における地域組織活動	予習90分：教科書第7章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第28回	増田 さゆり	地域組織活動の歴史 地域組織活動の展開と保健師の役割	予習90分：教科書第7章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第29回	増田 さゆり	当事者組織とその支援 地域組織活動の実際	予習90分：教科書第7章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第30回	増田 さゆり	地域ケアシステムの構築 地域ケアシステムの概念と構築過程 地域ケアシステムの評価	予習90分：教科書第8章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。

教科書

中村裕美子・他『標準保健師講座２ 公衆衛生看護技術』（医学書院）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
筆記試験70%、演習への参加態度等（健康教育企画書・発表・報告書等）20%、
レポート課題10% なお再試験は実施しません。

課題等に対する
フィードバックの方法

各回の講義終了の直前に学習の振り返りとして学びをリアクションペーパーに記述し提出すること。その記述内容を次回の講義時、全体にフィードバックする。

履修のポイント

既習科目と連動させながら学習を深めましょう。

オフィス・アワー

研究室に在室している時は対応します。10号館2階6研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-C340

講義コード	10890001
講義名	公衆衛生看護活動論II
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	行政保健師としての実務経験を活かし、エピソードを取りれながら授業を展開する
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 髙橋 美砂子	指定なし
教員	増田 さゆり	指定なし

授業の概要と教育目標

さまざまな健康レベル、発達段階にある対象者と課題別の活動展開として、母子保健活動、成人保健活動、高齢者保健活動、精神保健活動、障害者（児）保健活動、難病の保健活動、感染症の保健活動、災害や健康危機管理対策などの実際を学習する。本科目は対象別・課題別に活動の基盤となる法律や制度と関連させながら保健師の役割とその活動内容を具体的に理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連は、住民の多様な価値観を認め、倫理観のある看護を目指し、多職種連携・協働を理解し良好な関係構築の上で公衆衛生看護が成り立つことを理解する。根拠の基づいた看護活動を理解する。国際的な視野を持ちさまざまな地域で生活する人々の多様性を理解し発達課題・健康レベルに応じた支援が提供できることを実習を通して理解する。

到達目標

1）生涯を通じた健康の出発点である母子保健活動を理解する。
2）生活習慣を見直す時期である成人保健活動を理解する。
3）住み慣れた地域で自立して生活ができるよう高齢者保健活動を理解する。
4）心の健康づくりを目指した精神保健活動を理解する。
5）地域における障害者（児）、難病、感染症など課題別の保健活動を理解する。
6）地域における危機管理対策について理解する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	髙橋美	・母子保健の動向 ・母子保健活動の理念および歴史的変遷		予習90分：教科書第1章を読む。

	砂子	・母子保健に関する健康指標の動向と母子保健施策の変遷を理解する。		復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第2回	髙橋美砂子	・乳幼児期の成長発達と健康課題への支援	乳幼児の発達段階の振り返り	予習90分：教科書第１章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第3回	髙橋美砂子	・支援のニーズが高い親子の健康課題と支援 ・子ども虐待とのその対応	子ども虐待のニュースをみて、感じたことを述べる（レポート）	予習90分：教科書第１章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第4回	髙橋美砂子	・成人保健活動 ・健康日本21（第2次） ・成人保健の対象、 ・活動の基盤となる法律と制度		予習90分：教科書第2章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第5回	髙橋美砂子	・生活習慣予防対策 ・特定健診、特定保健指導 ・がん対策		予習90分：教科書第2章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第6回	髙橋美砂子	高齢者保健活動⑴ ・高齢者保健医療福祉の動向 ・生涯にわたる健康づくり ・地域包括ケアにおける保健師活動	介護保険制度の振り返り	予習90分：教科書第3・11章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第7回	髙橋美砂子	高齢者保健活動⑵ ・要介護高齢者の家族支援と社会資源の活用 ・認知症、高齢者虐待の対策 ・高齢者の権利擁護	高齢者介護をめぐる社会問題をテーマに意見を述べる（レポート）	予習90分：教科書第3・11章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第8回	髙橋美砂子	精神保健活動 ・現状と保健師の役割 ・地域の中の自殺予防対策 （中間試験）	身近な精神保健医療福祉対策について学生間の情報を共有する （中間試験）これまでの学習を振り返る	予習90分：教科書第4章を読む。国民衛生の動向、第3編第2章4精神保健、６自殺対策を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第9回	髙橋美砂子増	・地域の中の自殺予防対策の実際 （外部講師） ゲートキーパーの	保健所保健師によるゲートキーパーの研修を受講し、相談者の立場を体験するなどロールプレイを行う。 ゲートキーパーの役割についてレ	予習90分：教科書第4章を読む。国民衛生の動向、第3編第2章4精神保健、６自殺対策を読む。

	田さゆり	役割	ポートを書く。	復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第10回	髙橋美砂子	障がい者（障がい児）保健活動 ・健康課題と社会背景、活動の基盤となる法律と制度 ・保健師の役割		予習90分：教科書第5章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第11回	増田さゆり	難病対策の動向 •難病保健施策と保健師活動 •難病患者・家族への支援		予習90分：教科書第6章を読む。国民衛生の動向 第3編第4章難病対策を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第12回	増田さゆり	我が国の感染症保健の動向 ・感染症保健施策と保健師活動 ・結核対策の変遷 ・結核管理の体系、法的根拠 ・HIV・AIDS、肝炎などの保健施策と保健師の役割		予習90分：教科書第7章を読む。国民衛生の動向、第3編第3章感染症対策を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第13回	髙橋美砂子	・生涯を通じた歯科口腔保健、摂食嚥下機能低下予防対策、自己管理（セルフケア）		予習90分：教科書第８章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第14回	増田さゆり	・健康危機管理対策 ・健康危機管理の４段階 ・健康危機管理の要素とその展開方法 ・感染症集団発生と保健活動	健康危機の発生防止のために平常時の保健活動の充実が重要であるが、その理解を促すために自身の生活を振り返り何か予防対策を行っているか、意見交換する。	予習90分：教科書第12章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第15回	増田さゆり	・災害の定義・分類 ・災害サイクルとフェーズおよび災害医療・災害保健 ・災害支援制度とシステム ・災害サイクルにおける災害対策と保健師活動 ・まとめ	【授業評価】	予習90分：教科書第12章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。

教科書

①標準保健師講座「対象別公衆衛生看護活動」医学書院
②国民衛生の動向（厚生統計協会）2022/2023

参考書

・第４版公衆衛生看護学概論．医学書院（2年前期に使用したもの）
・授業時に適宜、紹介する

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
中間試験２０％ レポート課題２０％ 定期試験６０％

課題等に対する
フィードバックの方法

ゲートキーパーのレポート課題については、外部講師（ゲートキーパー）に（コピー）提出します。その他の提出物は、確認後コメントして返却します。

履修のポイント

積極的な授業への参加を期待します。
既習科目と連動させ学習を深めましょう。

オフィス・アワー

本科目の講義日、および研究室（11号館研究室１）に在室している時は対応します。メールやチャットでも可。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-C360

講義コード	10900001
講義名	公衆衛生看護活動論III
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	行政保健師としての実務経験を活かし、エピソードを取り入れながら授業を展開する
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 増田 さゆり	指定なし

授業の概要と教育目標

看護管理や公衆衛生看護管理の「管理」という用語から、管理的立場にある保健師や看護師に求められる能力と思われがちである。しかし、管理は新人にも経験豊富な保健師・看護師にも求められるものであり、看護職が行う活動（ケア）の質を高める活動でもあり、看護の専門性を発揮するためには不可欠である。本科目は、職務遂行上何らかの責任をもつすべての看護職に必要な管理的機能についての基礎知識を習得し、公衆衛生看護管理の目的や機能、および健康危機管理における法律・制度を理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ・ポリシーとの関連は、看護職としての必要な倫理、法令を理解するとともに、組織の一員として調整する能力および問題の解決方法について理解することを通して目的達成に資する知識を養う。

到達目標

１．公衆衛生看護管理の目的、機能を理解する。
２．公衆衛生看護管理に関する法律・制度を説明することができるようになる。
３．地域ケアの質を保証するために行う公衆衛生看護管理について理解する。
４．事例を通して健康危機管理の目的と方法を理解する。
５．地域保健計画の施策化、事業化の過程を理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	公衆衛生看護の対象・目的保健所の保健師活動の実際	実際の活動例を紹介するので、それについて学生間で意見交換する。	予習90分：教科書第５章を熟読する。復習90分：配付資料と教科書を見直す。
	公衆衛生看護としての地域		予習90分：教科書第５・10章を熟読す

第2回	保健活動 地域包括ケアシステムの構築	実際の活動例を紹介するので、それについて学生間で意見交換する。	る。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第3回	地域ケアシステムにおける保健師の役割	実際の活動例を紹介するので、それについて学生間で意見交換する。	予習90分：教科書第10章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第4回	公衆衛生看護における対人支援の技術 地域診断（地域アセスメント）	実際の活動例を紹介するので、それについて学生間で意見交換する。	予習90分：教科書第４・６章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第5回	地区活動 地区組織の育成・支援	実際の活動例を紹介するので、それについて学生間で意見交換する。	予習90分：教科書第７・８章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第6回	公衆衛生看護活動における事業化と施策化	実際の活動例を紹介するので、それについて学生間で意見交換する。	予習90分：教科書第９章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第7回	公衆衛生看護活動における事業化と施策化 保健計画・予算・評価	自分が暮らす市町村の保健計画等に関する情報を調べ、それについて学生間で意見交換する。	予習90分：教科書第９章、公衆衛生看護学概論７章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第8回	公衆衛生看護管理の目的、諸機能 地区管理 組織運営・管理 事例管理、業務管理、予算管理 情報管理、人事管理 地域ケアの質保証	管理の諸側面を理解するために、就職を希望している施設に関する情報を調べ、管理的な情報が含まれていることをイメージできるよう課題学習する。	予習90分：教科書第11章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第9回	専門的自律と人材育成	実際の活動例を紹介するので、それについて学生間で意見交換する。	予習90分：教科書第12章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第10回	健康危機管理における保健師の役割	実際の活動例を紹介するので、それについて学生間で意見交換する。	予習90分：公衆衛生看護学概論第９章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
	公衆衛生看護活動グループ		

第11回	ワーク① 「地域診断に基づく事業計画の策定」（演習） 事業化を前提とした地域診断 グループワークの手順	ある地域を事例として、地域診断を行い、健康課題を抽出する。 グループ内で役割、作業工程を話し合い、決める。	予習90分：教科書６・９章、公衆衛生看護学概論７章を熟読する 復習90分：本日したGWの内容を各自理解し、次回の作業手順を考える
第12回	公衆衛生看護活動グループワーク② 「地域診断に基づく事業計画の策定」（演習） 事業計画の策定	ある地域（事例）の地域診断から抽出した健康課題を解決するための保健事業について計画を策定する。 作業工程に従って進める。	予習90分：事例をしっかり読んで、次にすることをイメージする 復習90分：本日したGWの内容を各自理解し、次回の作業手順を考える
第13回	公衆衛生看護活動グループワーク③ 「地域診断に基づく事業計画の策定」（演習） プレゼンテーションの準備	ある地域（事例）の保健事業計画についてプレゼンテーションを行うため準備を進める。	予習90分：必要な情報・知識を収集する 復習90分：本日したGWの内容を各自理解し、次回の発表準備を考える
第14回	公衆衛生看護活動グループワーク④ 「地域診断に基づく事業計画の策定」（演習） 各グループからのプレゼンテーション	自分たちの保健事業計画が上司や議会に通るようなつもりでわかりやすいプレゼンテーションを行う。	予習90分：必要な情報・知識を収集する 復習90分：本日の発表について自己評価する
第15回	公衆衛生看護活動グループワーク⑤ 「地域診断に基づく事業計画の策定」（演習） 発表のまとめ	各グループの発表について評価項目に沿って各自が評価を行う。	予習90分：必要な情報・知識を収集する 復習90分：本日発表について自己評価する

教科書

①村嶋幸代他 監修 公衆衛生看護支援技術 メヂカルフレンド社
②標 美奈子他 公衆衛生看護学概論 医学書院（2年次購入したもの）

参考書

①第５版 公衆衛生看護学.jp インターメディカル
②藤内修二他 保健医療福祉行政論 医学書院

＊補足資料として適宜使用します。

成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。 提出課題、グループワークの成果：40% 定期試験：60%
課題等に対する フィードバックの方法
提出課題については確認後、できる限り早く返却する。グループワークで作成した資料は教員が保存し、 返却しない（希望があれば、その限りではない）
履修のポイント
科目内容がやや難しいかもしれませんが、保健師にならない人も行政のことを知ることは看護師として社会に出た時に役立ちますので、授業へ積極的に取り組み、既習科目と関連づけて学習を深めましょう。
オフィス・アワー
研究室に在室している時は対応します。（10号館研究室２増田）
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R370

講義コード	10910001
講義名	公衆衛生看護活動論Ⅳ
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	保健師としての保健指導経験を踏まえ、授業を通して受講生に伝えていく
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 髙橋 美砂子	指定なし

授業の概要と教育目標

産業保健、産業看護の目的、対象、かかわる専門職とその役割について理解する。さまざまな環境下で就労する人々が主体的に健康保持・増進に向けた行動がとれるように支援する方法や労働衛生の管理体制、労働環境の測定評価について学習する。近年の労働者が置かれている問題（過重労働、メンタルヘルス等）に着目し、看護職としての役割を考えていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本学のディプロマ・ポリシーである医療保健分野に関する幅広い知識と確かな技術を修得するための基本的な科目である。産業保健の変遷と社会的背景、制度を踏まえて産業保健活動の実際を学び看護職の役割や支援方法を理解・説明できることを目指す。

到達目標

①産業保健、産業看護の目的と役割を理解する。
②産業保健にかかわる専門職の役割を理解する。
③労働関係法規ならびに労働衛生管理体制を理解する。
④労働者を取り巻く健康課題を理解する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	髙橋美砂子	産業保健、産業看護の理念と目的 産業保健、看護の歴史と現状 ・産業看護職の役割		予習：90分 授業シラバスを読む 授業を受けるにあたり資料整理するファイルとノートを準備する 復習：90分 本日の授業内容を整理する。わからなかっ

				たことは次回質問する
第2回	髙橋美砂子	産業構造の変遷と現状 ・産業構造と職業 ・労働衛生の現状 産業保健に関する法律 ・労働安全衛生法等		予習：90分 前回の授業ノートを完成させる 本日の授業内容についてハンドブックを見ておく 復習：90分 本日の授業内容を整理する。わからなかったことは次回質問する
第3回	髙橋美砂子	産業保健のシステムとかかわる組織・専門職 ・労働衛生管理体制と関連機関 ・労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS) ・産業保健にかかわる専門職の役割 〈ゲスト講師による講義〉	産業保健の専門職から実際の業務について話を聞き、多職種連携についてグループで話し合い、レポートを作成。	予習：90分 前回の授業ノートを完成させる 本日の授業内容についてハンドブックを見ておく 復習：90分 本日の授業内容を整理する。わからなかったことは次回質問する
第4回	髙橋美砂子	労働衛生管理(3管理/5管理) ・健康管理 ・一般健康診断、特殊健康診断 ・健康診断の事後対応 ・健康管理手帳 ・健康情報の管理		予習：90分 前回の授業ノートを完成させる 本日の授業内容についてハンドブックを見ておく 復習：90分 本日の授業内容を整理する。わからなかったことは次回質問する
第5回	髙橋美砂子	産業保健における健康課題⑴ ・職業性疾患と作業関連疾患 ・労働災害と安全対策 ・作業環境測定		予習：90分 前回の授業ノートを完成させる 本日の授業内容についてハンドブックを見ておく 復習：90分 本日の授業内容を整理する。わからなかったことは次回質問する
		産業保健における健康課題⑵		

第6回	髙橋美砂子	・トータルヘルスプロモーション指針（THP指針） ・高齢・女性労働者への健康支援 ・ワークライフバランス	グループディスカッション 〈テーマ〉 ワークライフバランスについて	予習：90分 前回の授業ノートを完成させる 本日の授業内容についてハンドブックを見ておく 復習：90分 本日の授業内容を整理する。わからなかったことは次回質問する
第7回	髙橋美砂子	産業保健における健康課題(3) ・職場のメンタルヘルスケア ・ストレスチェック制度 ・ハラスメント対策 ・過重労働・長時間労働 ・職場復帰支援(リワーク支援)	グループディスカッション 〈テーマ〉 ハラスメントのない職場について	予習：90分 前回の授業ノートを完成させる 本日の授業内容についてハンドブックを見ておく 復習：90分 本日の授業内容を整理する。わからなかったことは次回質問する
第8回	髙橋美砂子	産業保健の展望 ・心身ともに快適な職場を目指して まとめ 試験対策		予習：90分 前回の授業ノートを完成させる 復習：90分 本日の授業内容を整理し、試験対策を行う

教科書

産業保健ハンドブック（産業保健ハンドブックシリーズ①） 労働調査会 森 晃爾 編
保健師課程の実習時にも使用しますので、必ず購入してください。

参考書

適宜紹介します。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
筆記試験 80%
課題、ノート 20%

課題等に対する
フィードバックの方法

提出した課題は、採点後速やかに返却する

履修のポイント

8回の授業なので休まず出席してください。身近な話題を取り上げますので、皆で考えていきましょう。

オフィス・アワー

授業開講日は対応可。

不在もあるので事前にメールかチャットで連絡いただけるとよいです。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-C361

講義コード	10920001
講義名	公衆衛生看護学実習
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	実験・実習
基準単位数	5
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	行政保健師としての実務経験を活かし、実習時に必要な知識・技術を享受する
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 増田 さゆり	指定なし
教員	髙橋 美砂子	指定なし

授業の概要と教育目標

地域で生活するあらゆる人々の健康を支援するために行政、産業、学校が提供している保健活動の実際について実習を通して学ぶ。本科目では、地域住民の健康レベルやQOLの向上を目指し、健康課題の解決や改善のために展開される公衆衛生看護活動を通して保健師の役割や支援方法、関係機関や関係者との連携・協働について理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連は住民の多様な価値観を認め、多職種連携・協働を理解し良好な関係構築の上で公衆衛生看護が成り立つことを理解する。国際的な視野を持ちさまざまな地域で生活する人々の多様性を理解し発達課題・健康レベルに応じた支援が提供できることを実習を通して理解する。

到達目標

1）地域で生活する個人・家族・集団の健康課題とそれに対応する保健圧胴の展開方法を理解する。
2）行政・産業・学校等の地域保健活動の保健師の支援技術の特徴を理解する。
3）地域での保健活動における関係機関・職種との連携・協働の実際と保健師の役割を理解する。
4）産業保健における健康課題とそれに対応する支援方法を理解する。
5）専門職として、また組織の一員としての責任と態度ある行動をとることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	増田さ	・地域診断：実習する市町村の地域診断を行う。各種統計資料の収集と分析、地区踏査		予習： ・家庭訪問事例の配付資料を熟読し、疑問点をまとめておく。

第1回	ゆり髙橋美砂子	・家庭訪問、乳児健康診査の一連を演習する。 ・健康教育の準備と中間発表の実施 （1週間のうち実習地域踏査１日、学内実習４日）	地域踏査にの計画をグループに話し合って作成する。	・乳幼児健康診査に関する配付資料を熟読し、疑問点をまとめておく。 復習： ・配付資料と教科書を見直す。 ・健康教育の準備、援助技術を習得しておく。
第2回	増田さゆり髙橋美砂子	（１）臨地において各施設のオリエンテーションを受ける。地域の概要、各種保健事業を理解する。 （２）保健師が行う家庭訪問に同行する。 （３）各種保健事業へ参加し、一連の事業を通して保健師の役割、支援の実際を具体的に理解する。 （４）健康教育を実施する。 （５）地域の健康課題を解決するために地域診断に基づくPDCAサイクルの展開方法を理解する。さらに、関係機関や関係者との連携・協働、調整について理解する。 （６）健康増進計画、保健福祉計画等の説明を受ける。 （７）窓口相談、電話相談など事務室で行われている保健活動について理解する。 （８）保健師が行う事務的な業務を理解する。 （3週間のうち臨地実習13日、学内実習2日）	臨地実習では、可能な限り毎日カンファレンスを行い、体験した保健事業などについて意見交換し、学びを共有する。	予習： 公衆衛生看護学実習に関連する既習科目の見直し、実習要項を熟読し、実習目的・目標が達成されるために必要な知識と技術を確認し実習に臨む。 復習： 毎日実習目的・目標が達成されているか振り返り、達成できていないところは課題とし、実習最終日までに達成できるようにする。
第3回	増田さゆり髙橋美砂子	・産業保健総合支援センター、健康管理センターにおける保健師の役割等について理解しレポートする。 ・実習成果報告会実施（１日） （1週間のうち臨地実習2日、学内実習3日） 【授業評価】	保健所・市町村保健センターでの学びを実習目標に照らし合わせてグループ発表し、学びを共有する。	予習： ・産業保健活動や健康管理センターの活動について関係する教科書や資料を読み、疑問点や課題をまとめておく。 ・行政機関での学びの発表の準備をする。 復習： 実習での実際と理論を統合させ学習を深めておく。

教科書

・国民衛生の動向（厚生統計協会）
・群馬県健康福祉統計2019（CD-ROM）

参考書

・対象別公衆衛生看護活動論 医学書院
・公衆衛生看護支援技術 医学書院
・公衆衛生看護学概論 医学書院
・国民衛生の動向2022/2023

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。 事前学習10%、サブノートの活用10%、記録内容20%、実習中の態度や参加状況50%、報告会10%で評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
課題に対しては健康教育の中間発表、実習の成果報告会を行い全体へフィードバックする。
履修のポイント
・既習科目と連動させ学習を深めましょう。 ・健康教育の準備と発表はメンバーと協力して行ってください。
オフィス・アワー
・実習中は、担当教員といつでも連絡できるように連絡方法を確認しておく。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-C362

講義コード	10930001
講義名	養護概論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	公立学校において教員として学校保健活動の推進に従事した経験を活かし、事例を取り入れながら、学校現場の今を捉え、児童生徒の多様な健康課題と支援について理解を深めていく授業を行う。
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 間戸 美恵	指定なし

授業の概要と教育目標

本科目は、教育職員免許法に示された「養護概説」の趣旨に基づき、養護教諭の責務と保健室の機能を生かした養護教諭の職務を概説する。学校保健の推進にあたって中核的役割を担う養護教諭の職務と役割、機能を理解し、児童生徒の健康の保持増進や健康問題の解決の方法と技術について、専門的･実践的に学修することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ･ポリシーとの関連は、対象の発達段階や健康レベルをふまえて、個や集団への適切な養護活動を展開するための基盤となる資質･能力を養うものである。

到達目標

1. 養護教諭の職務内容について理解し、説明できる。
2. 養護活動を実践するための基本的技術、方法について理解する。
3. 児童生徒の健康の保持増進と安全・安心を守るための組織的な養護活動の必要性について理解する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	間戸美恵	オリエンテーション 養護教諭の職務と役割(1)	養護教諭の職務内容と法的根拠、求められる役割や資質能力について、グループワークを通して学ぶ。	予習（90分）：教科書第1章を事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第2回	間戸	養護教諭の職務と役	養護教諭の職務内容と法的根拠、求められる役割や資質能力について、グ	予習（90分）：教科書第4章を事前学習

	美恵	割(2)	ループワークを通して学ぶ。	復習（90分）：配布資料等の見直し
第3回	間戸美恵	保健教育の実際(1)	調べ学習 （保健教育における効果的な教材活用、保健だよりの作成）	予習（90分）：教科書第6章を事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し 課題テーマに取り組む
第4回	間戸美恵	保健教育の実際(2)	模擬授業の参観 （教職実践演習を履修する4年生の模擬授業を児童生徒の立場になって参観し、評価シートを用いて授業評価）	予習（90分）：教科書第6章を事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第5回	間戸美恵	特別講師による講話 （学校における教育相談）		予習（90分）：参考書や資料で事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第6回	間戸美恵	健康診断の実際(1) －健康診断項目と実施、事後措置について		予習（90分）：教科書第5章2節を事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第7回	間戸美恵	健康診断の実際(2) －主な健康診断項目の演習	ロールプレイング （グループに分かれて、児童生徒役、先生役になって演習）	予習（90分）：教科書第5章2節を事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第8回	間戸美恵	疾病管理(1) －個別支援が必要な子どもの把握と対応について	グループ･ディスカッションと発表	予習（90分）：教科書 第5章3・4節を事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第9回	間戸美恵	疾病管理(2) －個別支援が必要な子どもの把握と対応について	グループ･ディスカッションと発表	予習（90分）：教科書 第5章3・4節を事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第10回	間戸美恵	保健室経営 －養護教諭の職務と保健室の機能を生かした保健室経営について	グループワーク	予習（90分）：教科書第11章を事前学習 復習（90分）：配布資料等の見

				直し
第11回	間戸美恵	保健組織活動と養護教諭の役割		予習（90分）：教科書第12章を事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第12回	間戸美恵	学校環境衛生活動の実際(1)	学校における環境衛生検査の演習をロールプレイで行う。	予習（90分）：教科書第5章5節を事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第13回	間戸美恵	学校環境衛生活動の実際(2)	学校における環境衛生検査の演習をロールプレイで行う。	予習（90分）：教科書第5章5節を事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第14回	間戸美恵	保健教育の実際(3)	グループワークと発表 （保健だよりを活用した保健教育の実践）	予習（90分）：参考書や資料で事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第15回	間戸美恵	保健教育の実際(4) まとめ	グループワークと発表 （保健だよりを活用した保健教育の実践） これまでの学習の振り返り･まとめ	予習（90分）：参考書や資料で事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し

教科書

「新養護概説－第12版－」少年写真新聞社

参考書

「新版 学校保健－チームとしての学校で取り組むヘルスプロモーション－」東山書房

成績評価の方法・基準

授業の取り組み（参加･貢献度）60%、課題提出40%とし、60点以上で単位認定とする。

課題等に対する
フィードバックの方法

リアクションペーパーを適宜活用し、次回の講義時に解説するので、授業資料等も含めて振り返りをし、学習内容の理解に役立てること。

履修のポイント

養護教諭養成コースの中核的な科目です。積極的･主体的に授業に参加して、養護教諭の職務の基礎基本を学び取ることが大切です。自己学習を合わせて行い、理解を深めてください。
尚、この科目は「学校保健I（学校保健の概要）」を履修していることを前提とします。

オフィス・アワー

在室時に随時対応します。10号館第1研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-C363

講義コード	10940001
講義名	学校保健I
(副題)	【教職必修】【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	公立学校において教員として学校保健活動の推進に従事した経験を活かし、事例を取り入れながら、学校現場の今を捉え、児童生徒の多様な健康課題と支援について理解を深めていく授業を行う。
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 間戸 美恵	指定なし

授業の概要と教育目標

学校保健の中核的役割を担う養護教諭並びに保健師や看護師の基礎教養となる。学校保健の目的・意義を理解し、保健管理・安全、保健教育、組織活動、ヘルスプロモーションの理念に基づいた学校保健の推進等について、法的根拠を踏まえながら概説する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ･ポリシーは、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人間に対する理解を深めることを目指している。本講義は、学校保健の領域からこの目標達成を目指すものである。

到達目標

1. 学校保健の目的・意義と変遷について理解し説明できる。
2. 学校保健の関連法規について理解し説明できる。
3. 学校保健の構造と関わる組織について考え、説明できる。
4. ヘルスプローションの理念に基づいた学校保健活動の推進について理解する。
5. 学校保健の今日的課題を見つけ、説明できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	間戸美恵	オリエンテーション 学校保健概説（学校保健の目的、領域構造、関連法規・学校関係職員）	調べ学習（学校保健の3領域、学校保健関係職員について）	予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し課題テーマに取り組む
第2回	間戸美	学校保健経営－学校保健計画と学校安全計画 ヘルスプロモーションの	ワークシートの活用（学校保健計画の作成） 調べ学習（学校におけるヘ	予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：教科書

	恵	概念を取り入れた学校保健活動の展開	ルスプロモーションについて）	及び参考資料を見直し課題テーマに取り組む
第3回	間戸美恵	子どもの現代的健康課題	グループワーク（子どもの現代的な健康課題の実態と支援について）	予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直しグループワークのテーマに取り組む
第4回	間戸美恵	学校保健活動① 健康観察と健康診断		予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し
第5回	間戸美恵	学校保健活動② 健康相談	ワークシートの活用（学校における健康相談事例の検討） 調べ学習（健康相談と保健管理、保健教育、保健指導との関連について）	予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し課題テーマに取り組む
第6回	間戸美恵	学校保健活動③ 学校環境衛生、感染症予防		予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し
第7回	間戸美恵	学校保健活動④ 保健教育、保健指導	グループワーク（効果的な保健教育の方法について）	予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第8回	間戸美恵	まとめ、小テスト	これまでの学習の振り返り･まとめをし、小テストを行う。	予習（50分）：これまでの配布資料や課題ノート等の見直し

教科書

「新版 学校保健－チームとしての学校で取り組むヘルスプロモーション－」東山書房

参考書

とくに指定しない。

成績評価の方法・基準

授業の取り組み40%、課題提出30%、小テスト30%とし、60点以上で単位認定とする。

課題等に対するフィードバックの方法

リアクションペーパーを適宜活用し、次回の講義時に解説するので、授業資料等も含めて振り返りをし、学習内容の理解に役立てること。

履修のポイント

児童生徒の健康課題や教育に関する時事問題に関心を持って臨むことで学びが深まります。

オフィス・アワー

在室時に随時対応します。10号館第1研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-C364

講義コード	10950001
講義名	学校保健II
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	公立学校において教員として学校保健活動の推進に従事した経験を活かし、事例を取り入れながら、学校現場の今を捉え、児童生徒の多様な健康課題と支援について理解を深めていく授業を行う。
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 間戸 美恵	指定なし

授業の概要と教育目標

本科目は、養護教諭の日々の実践の集積を研究的に捉え、発信していくことの重要性について学ぶ。児童生徒の実態や健康課題に対する問いへの答えを、推測や想像に留めるのではなく客観的な事実や理論的な根拠をもって探索していこうとする資質･能力を身につけることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本科目は、看護並びに学校保健の専門領域における知識と技術の統合、問題を解決する能力を修得することを目指すものである。

到達目標

1. 養護教諭の実践活動を研究的に捉えることの目的と意義について理解する。
2. 保健室に集積される保健情報の適切な管理と活用の実際について理解する。
3. 個々の保健情報の集積から対象集団の特徴や健康課題について考察し、説明することができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	間戸美恵	オリエンテーション 学校保健の今日的課題	グループワーク （身近な健康問題や健康情報に関する発表テーマを決める）	復習（90分）：参考資料等の見直し 課題テーマに取り組む
第2回	間戸美恵	保健室における情報の管理と活用 －保健管理、保健教育の観点からの効果的な活用について		予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し

第3回	間戸美恵	保健統計データを活用する(1) －健康診断における情報活用	模擬データを用いて演習を行う。	予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第4回	間戸美恵	保健統計データを活用する(2) －保健室利用状況管理	模擬データを用いて演習を行う。	予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第5回	間戸美恵	保健統計データを活用する(3) －保健教育への活用	各自が統計処理したデータを活用し、保健だよりや保健教育教材を作成する。	予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第6回	間戸美恵	研究力を高める(1) －実践活動の研究的な捉え方について		予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し 課題テーマに取り組む
第7回	間戸美恵	研究力を高める(2) －学校保健に関する論文抄読の基本的手法	グループワーク （児童生徒の健康課題や養護実践に関する論文を題材として文献検討を行う）	予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第8回	間戸美恵	プレゼンテーション力を磨く まとめ	各自の発表テーマでプレゼンテーションを行う。 これまでの学習の振り返り、まとめを行う。	予習（140分）：課題テーマに取り組む

教科書

とくに指定しない。必要に応じて、プリント等を配布する。

参考書

「新養護概説－第11版－」少年写真新聞社

成績評価の方法・基準

授業の取り組み（参加･貢献度）60%、課題提出40%とし、60点以上で単位認定とする。

課題等に対するフィードバックの方法

リアクションペーパーを適宜活用し、次回の講義時に解説するので、授業資料等も含めて振り返りをし、学習内容の理解に役立てること。

履修のポイント

予習や講義･演習の振り返りを欠かさずに行い、積極的に取り組んでください。

オフィス・アワー

在室時に随時対応します。10号館第1研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-C380

講義コード	10960001
講義名	学校保健III
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	公立学校において教員として学校保健活動の推進に従事した経験を活かし、事例を取り入れながら、学校現場の今を捉え、児童生徒の多様な健康課題と支援について理解を深めていく授業を行う。
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 間戸 美恵	指定なし

授業の概要と教育目標

本科目では、養護教諭が行う健康相談の概念と特質、健康相談をすすめるための理論と技法について理解を深める。さらに、養護教諭の職務や役割と保健室の機能を生かした健康相談活動に必要な実践力を身に付けることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ･ポリシーは、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人間に対する理解を深めることを目指している。本講義は、学校保健の領域からこの目標達成を目指すものである。

到達目標

1. 健康相談に関する基礎的な知識･理解を深める。
2. 健康相談の対象となる児童生徒の健康課題について考えることができる。
3. 健康相談を行うにあたっての基本的な態度、技法を身につける。
4. 教職員や保護者との連携、関係機関との連携のあり方を具体的に述べることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	間戸美恵	オリエンテーション 健康相談の目的、関連法規、実施者と対象	ワークシートの活用（養護教諭の役割や特徴について）	復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し
第2回	間戸美恵	養護教諭が行う健康相談の基本的な考え方 健康相談のプロセス		予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し 課題テーマに取り組む
				予習（90分）：教科書等

第3回	間戸美恵	対象理解と見立て	ワークシートの活用（児童生徒理解について）	で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し
第4回	間戸美恵	健康相談を支える諸理論(1)	相談活動の際に用いる基本技法について演習を行う。	予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し
第5回	間戸美恵	健康相談を支える諸理論(2)	相談活動の際に用いる基本技法について演習を行う。	予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し 課題テーマに取り組む
第6回	間戸美恵	健康相談の実際 -継続的な支援を要する児童生徒への対応	ワークシートの活用 調べ学習	予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し 課題テーマに取り組む
第7回	間戸美恵	健康相談模擬事例の検討(1)	個人及びグループワーク	予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し
第8回	間戸美恵	健康相談模擬事例の検討(2)、まとめ	個人及びグループワーク これまでの学習の振り返り、まとめを行う。	復習（140分）：これまでの配布資料等の見直し 課題レポートに取り組む

教科書

とくに指定しない。必要に応じて、プリント等を配付する。

参考書

「教職員のための子どもの健康相談及び保健指導の手引」文部科学省
「新版養護教諭の行う健康相談」東山書房

成績評価の方法・基準

授業の取り組み（参加･貢献度）60％、レポート･課題40％とし、60点以上で単位認定とする。

課題等に対するフィードバックの方法

リアクションペーパーを適宜活用し、次回の講義時に解説するので、授業資料等も含めて振り返りをし、学習内容の理解に役立てること。

履修のポイント

予習や講義･演習の振り返りを欠かさずに行い、積極的に取り組んでください。

オフィス・アワー

在室時に随時対応します。10号館第1研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-C371

講義コード	10970001
講義名	学校保健IV
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	公立学校において教員として学校保健活動の推進に従事した経験を活かし、事例を取り入れながら、学校現場の今を捉え、児童生徒の多様な健康課題と支援について理解を深めていく授業を行う。
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 間戸 美恵	指定なし

授業の概要と教育目標

学校において起こり得る児童生徒の傷病について知り、養護教諭が行う救急処置活動及び教育的な側面と関連づけた対応の実際について、講義及び演習を通して学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講義は、対象の発達段階や健康レベルに関わる科学的知識をもち、基本的看護技術を既に修得していることが必須であり、さらに学校における養護教諭の専門性を活かした援助技術や対応能力を養うものである。

到達目標

1．学校における救急処置の基本的技術を身につける。
2．学校種別の児童生徒の傷病の特徴について知り、対象の発達段階を踏まえた的確な処置及び対応について考えることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	間戸美恵	＜オリエンテーション＞ 授業概要の説明 ＜学校における救急処置活動のプロセス＞ 傷病を訴えた児童生徒に養護教諭が行う救急処置活動のアセスメントプロセスについて学ぶ		予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第2回	間戸美恵	＜校内救急体制と地域連携について＞ 学校の救急対応に関わる組織体制と、学校と地域の関係機関との連携について理解する	グループワーク	復習（90分）：参考資料等の見直し

第3回	間戸美恵	＜学校における看護的技術と養護教諭＞ 看護のスキルを活かした、学校における援助技術について基本的知識と理解を深める	ロールプレイング（児童生徒役、先生役になって演習）	予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第4回	間戸美恵	＜学校における援助技術の実際(1)＞ 具体的な傷病への救急処置活動について演習を通して学ぶ	ロールプレイング（児童生徒役、先生役になって演習）	予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第5回	間戸美恵	＜学校における援助技術の実際(2)＞ 具体的な傷病への救急処置活動について演習を通して学ぶ	ロールプレイング（児童生徒役、先生役になって演習）	予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第6回	間戸美恵	＜学校種別の救急処置活動＞ 学校種別の対象によって発生しやすい傷病とその対応について学ぶ	調べ学習	予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直す
第7回	間戸美恵	＜模擬事例検討＞ 学校における典型的な救急事例について、個人ワーク及びグループワークでアセスメントプロセスと対応を検討する	グループワーク、グループディスカッション	予習（140分）：これまでの配布資料等の見直し
第8回	間戸美恵	＜模擬事例の検討、まとめ＞ 学校における典型的な救急事例について、個人ワーク及びグループワークでアセスメントプロセスと対応を検討する これまでの学びの振り返りを行う	グループワーク、グループディスカッション	復習（180分）：課題レポートに取り組む

教科書

「養護教諭、看護師、保健師のための新版学校看護－すべての子供の健康実現を目指して－」東山書房

参考書

「保健室で役立つ ステップアップ フィジカルアセスメント」東山書房

成績評価の方法・基準

授業の取り組み（参加･貢献度）60%、レポート･課題40%とし、60点以上で単位認定とする。

課題等に対するフィードバックの方法

リアクションペーパーを適宜活用し、次回の講義時に解説するので、授業資料等も含めて振り返りをし、学習内容の理解に役立てること。

履修のポイント

学校で唯一の医療的素養をもつ養護教諭が行う救急処置活動の基本を履修します。自己の課題として考えられる事柄は復習を欠かさずに臨んでください。

オフィス・アワー

在室時に随時対応します。10号館第1研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-C372

講義コード	10980001
講義名	機能看護学概論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師、看護管理者、研究者としての実務経験を活かし機能看護学とは何かについて講義する
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし
教員	マチャコン ヘルチェル	指定なし
教 員	井上 由子	指定なし
教 員	新野 由子	指定なし

授業の概要と教育目標

看護の対象あるいは社会から期待される専門職としての役割や責任を果たすためには、生涯にわたり自己の能力を開発・発展させ、社会に貢献できる能力を身につけなければならない。ここでは看護専門職としての役割と機能について学び、組織の一員としての看護のあり方、社会の変化に対応した看護職の機能拡大の可能性について考えることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題解決する能力を修得することを目指すものとする。

到達目標

１．看護教育とキャリア発達支援に関する基本的な知識を理解する。
２．看護研究に関する基本的な知識を理解する。
３．看護管理に関する基本的な知識を理解する。
４．看護政策に関する基本的な知識を理解する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	三木 園生	＊科目ガイダンス ＊機能看護学とは（カリキュラムの概要）	ワークシートに記入し、授業終了時に提出する	予習（90分）：Teamsで提示された内容を確認し、事前学習する。 復習（90分）：配付資料を見直す
	三木 園	＊看護教育とキャリア発達支	ワークシートに	予習（90分）：第1回の授業で提示された内容に

第2回	生	援	記入し、授業終了時に提出する	ついて事前学習する。 復習（90分）：配付資料を見直す
第3回	マチャコン ヘルチェル	論文の構成、論文の種類 ①. 看護研究において活用できる文献データベースの検索方法（医中誌編） 授業方法：演習		予習60分：Moodleまたは、Teamsで掲載された資料を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第4回	マチャコン ヘルチェル	②. 看護研究で活用できる文献データベースの検索方法（メディカルオンライン編） 授業方法：演習		予習60分：Moodleまたは、Teamsで掲載された資料を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第5回	井上 由子	看護管理の目的 看護管理とは		予習（90分）：事前に提示された課題に取り組む 復習（90分）：配付資料を見直す
第6回	井上 由子	看護管理の基礎 看護管理者とは		予習（90分）：事前に提示された課題に取り組む 復習（90分）：配付資料を見直す
第7回	新野 由子	看護制度・政策の基本的知識		予習（90分）：事前に提示された課題に取り組む 復習（90分）：配付資料を見直す
第8回	新野 由子	政策過程の実際 参画方法		予習（90分）：事前に提示された課題に取り組む 復習（90分）：配付資料を見直す

教科書

使用しません。

参考書

授業時に紹介します。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。4名の担当者毎に提示される課題（各25点）の合計点で評価します。

課題等に対するフィードバックの方法

各担当者から提示された課題が返却されるので、学習の振り返りに活用してください。

履修のポイント

この科目は3年次後期以降に開講される、看護教育とキャリア発達支援、看護管理、看護研究等に繋がる科目です。また、現在、自らが学んでいる看護職について将来を含めて考える機会となる科目でもありますので、積極的に取り組むことを期待します。

オフィス・アワー

三木：在室時、随時対応します（10号館2階 研究室7）
マチャコン：毎週金曜日昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室）
メール：prof.mach.dr@gmail.com
井上・新野：授業開始時および終了時に対応します。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R331

講義コード	10980002
講義名	機能看護学概論（2021年度入学生）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師、看護管理者、研究者としての実務経験を活かし機能看護学とは何かについて講義する
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし
教員	マチャコン ヘルチェル	指定なし
教 員	井上 由子	指定なし
教 員	新野 由子	指定なし

授業の概要と教育目標

看護の対象あるいは社会から期待される専門職としての役割や責任を果たすためには、生涯にわたり自己の能力を開発・発展させ、社会に貢献できる能力を身につけなければならない。ここでは看護専門職としての役割と機能について学び、組織の一員としての看護のあり方、社会の変化に対応した看護職の機能拡大の可能性について考えることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題解決する能力を修得することを目指すものとする。

到達目標

１．看護教育とキャリア発達支援に関する基本的な知識を理解する。
２．看護研究に関する基本的な知識を理解する。
３．看護管理に関する基本的な知識を理解する。
４．看護政策に関する基本的な知識を理解する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	三木 園生	＊科目ガイダンス ＊機能看護学とは（カリキュラムの概要）	ワークシートに記入し、授業終了時に提出する	予習（90分）：Teamsで提示された内容を確認し、事前学習する。 復習（90分）：配付資料を見直す
	三木 園	＊看護教育とキャリア発達支	ワークシートに	予習（90分）：第1回の授業で提示された内容に

第2回	生	援	記入し、授業終了時に提出する	ついて事前学習する。 復習（90分）：配付資料を見直す
第3回	マチャコン ヘルチェル	論文の構成、論文の種類 ①. 看護研究において活用できる文献データベースの検索方法（医中誌編） 授業方法：演習		予習60分：Moodleまたは、Teamsで掲載された資料を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第4回	マチャコン ヘルチェル	②. 看護研究で活用できる文献データベースの検索方法（メディカルオンライン編） 授業方法：演習		予習60分：Moodleまたは、Teamsで掲載された資料を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第5回	井上 由子	看護管理の目的 看護管理とは		予習（90分）：事前に提示された課題に取り組む 復習（90分）：配付資料を見直す
第6回	井上 由子	看護管理の基礎 看護管理者とは		予習（90分）：事前に提示された課題に取り組む 復習（90分）：配付資料を見直す
第7回	新野 由子	看護制度・政策の基本的知識		予習（90分）：事前に提示された課題に取り組む 復習（90分）：配付資料を見直す
第8回	新野 由子	政策過程の実際 参画方法		予習（90分）：事前に提示された課題に取り組む 復習（90分）：配付資料を見直す

教科書

使用しません。

参考書

授業時に紹介します。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。4名の担当者毎に提示される課題（各25点）の合計点で評価します。

課題等に対するフィードバックの方法

各担当者から提示された課題が返却されるので、学習の振り返りに活用してください。

履修のポイント

この科目は3年次後期以降に開講される、看護教育とキャリア発達支援、看護管理、看護研究等に繋がる科目です。また、現在、自らが学んでいる看護職について将来を含めて考える機会となる科目でもありますので、積極的に取り組むことを期待します。

オフィス・アワー

三木：在室時、随時対応します（10号館2階 研究室7）
マチャコン：毎週金曜日昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室）
メール：prof.mach.dr@gmail.com
井上・新野：授業開始時および終了時に対応します。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R331

講義コード	10980003
講義名	機能看護学I（編入生）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院おける実務経験をもとに、看護実践の理論とその基盤となる概念について、具体例を挙げながら解説する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし

授業の概要と教育目標

看護教育制度を学び、看護基礎教育が社会の政治的、社会的、文化的要因により変化し確立されたことを理解する。また、看護の役割や機能も社会のニーズによって変化していくことから、生涯にわたり自己の能力を開発・発展させ、社会に貢献できる能力を身に着けることが求められる。1年次までの学習や2年次の各領域の看護学概論での学びから、看護の役割や機能を知り、自ら選択した看護職について深く考え、自己のライフステージにおける発達課題の達成と専門職業人として徐々に社会化していく過程について自覚することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、看護の基本精神を理解することを目指す。看護学を系統的に学ぶための基礎知識を身に着け、将来的には、専門職業人として社会化していくことを自覚しながら学び続ける意義を理解することを目指すものとする。

到達目標

１．看護教育制度について理解する。
２．看護基礎教育がどのように変化し確立されたかを理解する。
３．看護の役割や機能がどのような社会のニーズによって変化してきたかを理解する。
４．専門職業人として生涯にわたり学び続けることの必要性を理解する。
５．専門職業人として社会化していく過程について自覚する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	【科目ガイダンス】 ・機能看護学概論の振り返り		予習90分：科目のシラバスを確認し、機能看護学概論の資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第2回	【看護教育制度】 ・看護教育制度		予習90分：1回目の授業で提示された課題に取り組む。テキストの関連部分を読む。復習90分：配布資料を

	の歴史的変遷		見直す。
第3回	【看護基礎教育課程】 ・看護基礎教育課程のカリキュラムの特徴 ・大学と専門学校のカリキュラムの相違 ・大学において看護学を学ぶ意義		予習90分：2回目の授業で提示された課題に取り組む。テキストの関連部分を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第4回	【看護の専門性①】 ・看護は専門職なのか？ ・専門職（プロフェッション）とは？		予習90分：3回目の授業で提示された課題に取り組む。テキストの関連部分を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第5回	【看護の専門性②】 ・保健師、助産師、看護師について ・専門看護師、認定看護師について ・その他 【キャリア発達】	看護の仕事に関する動画を視聴し、ワークシートに感想を記入する。授業終了時に提出。	予習90分：4回目の授業時に提示された課題に取り組む。テキストの関連部分を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第6回	【キャリア発達】 ・自己の発達課題と専門職業人としての社会化について① ・キャリアとは ・キャリア発達とは	次回のワークに向けて、テーマを決める。	予習90分：5回目の授業時に提示された課題に取り組む。復習90分：配布資料を見直す。決定したテーマに関して復習する。
第7回	【キャリア発達】 ・自己の発達課題と専門職業人としての社会化について②	テーマに沿って課題に取り組み、記録用紙（中間レポート）に必要事項を記入し提出する。	予習90分：テーマに沿った課題について、準備する。復習90分：配布資料を見直す。次回の発表に向けて準備する。
第8回	【キャリア発達】 ・自己の発達課題と専門職業人としての社会化について③ 【まとめ】	取り組んだテーマについて、発表する。	予習90分：発表の準備をする。復習90分：授業全体を振り返る。

教科書

グレッグ美鈴・池西悦子編、『看護学テキストＮｉｃｅ 看護教育学 改訂第2版 看護を学ぶ自分と向き合う』南江堂

参考書

杉森みどり・舟島なをみ著、『看護教育学 第6版』医学書院
エドガーH.シャイン著 金井壽宏訳、『キャリア・アンカー 自分のほんとうの価値を発見しよう』白桃書房
ライダー島崎玲子編集・執筆、『看護学概論 看護追求へのアプローチ 第4版』医歯薬出版株式会社

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上とする
中間レポート30%、最終レポート70%で評価します

課題等に対する
フィードバックの方法

授業時間内に課されるワークシート、中間レポートは返却しますので、学習の振り返りに活用してください

履修のポイント

現在、自らが学んでいる看護職について将来を含めて考える機会となる科目です。これまでに学んできた科目を復習したり、紹介された図書などを読むことをおすすめします。グループ学習と発表を予定していますので、積極的な取り組みを期待します

オフィス・アワー

在室時、随時対応します。10号館2階 研究室7

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R341

講義コード	10990001
講義名	機能看護学II
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護管理者としての実務経験を活かし、看護マネジメントの機能について講義する
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 吉野 初恵	指定なし

授業の概要と教育目標

看護におけるマネジメントは、「看護サービスの対象者に、よりよい看護を提供することを目指して行う一連の活動」であり、すべての看護専門職にとって必要な知識である。
対象者に提供するケアのマネジメントと、組織としての看護サービスのマネジメント、及びセルフマネジメントについて学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題解決する能力を修得することを目指すものとする。

到達目標

看護におけるマネジメントの機能について学び、看護の一員としての役割を理解することができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	吉野初恵	1. オリエンテーション 授業の進め方、成績評価など 2. 看護とは 3. 看護管理とは 看護管理とは 看護管理の歴史 看護実践の組織化		予習(90分):日本看護協会HP 復習(90分):配布資料を見直し、重要事項を整理する。関心のある内容について、参考文献等で自己学習する。

第2回	吉野初恵	看護ケアのマネジメント 看護ケア 看護過程 看護ケアのマネジメント 看護手順 クリニカルパス 看護記録	授業のなかで、印象に残った内容について、自分の考えを他者に伝える。	予習(90分):前回配布資料を読む 復習(90分):配布資料を見直し、重要事項を整理する。関心のある内容について、参考文献等で自己学習する。 関心のある内容について、参考文献等で自己学習する。
第3回	吉野初恵	看護サービスのマネジメント 看護サービスとは 看護組織と管理 組織とは 集団の理解 組織社会化と職業社会化 看護管理過程 看護ケア提供方式 勤務体制	授業のなかで、印象に残った内容について、自分の考えを他者に伝える。	予習(90分):前回配布資料を読む 復習(90分):配布資料を見直し、重要事項を整理する。関心のある内容について、参考文献等で自己学習する。
第4回	吉野初恵	リーダーシップとマネジメント リーダーシップ リーダーシップ論	個人ワークとグループワークをとおして、自分自身の「目指すリーダー像」について考える。	予習(90分):前回配布資料を読む 復習(90分):配布資料を見直し、重要事項を整理する。
第5回	吉野初恵	看護を取り巻く諸制度の理解 医療法 保健師助産師看護師法 新たな看護のあり方に関する検討会報告 新人看護職員研修ガイドライン 特定行為研修制度 診療報酬	授業のなかで、印象に残った内容について、自分の考えを他者に伝える。	予習(90分):前回配布資料を読む 復習(90分):配布資料を見直し、重要事項を整理する。関心のある内容について、参考文献等で自己学習する。
第6回	吉野初恵	看護職のキャリアマネジメント キャリアとは 看護師の臨床技能の習得段階 キャリア開発 クリニカルラ	個人ワークとグループワークをとおして、自分自身の「5年度、10年後の目指す姿」について、考える。	予習(90分):前回配布資料を読む 復習(90分):配布資料を見直し、重要事項を整理する。関心のある内容について、参考文献等で

		ダー （キャリア開発ラダー） 日本看護協会資格認定制度		自己学習する。
第7回	吉野初恵	グループで討議し、発表する。 テーマは、授業の中で提示する。	グループワークと発表	予習(90分):前回配布資料を読む 復習(90分):配布資料を見直し、重要事項を整理する。関心のある内容について、参考文献等で自己学習する。
第8回	吉野初恵	これまでの7回の授業内容を振り返り、総括する。	グループワークで、授業で学んだことを振り返る	予習(90分):1~7回の学びを振り返る 復習(90分):配布資料を見直し、重要事項を整理する。関心のある内容について、参考文献等で自己学習する。

教科書
なし
参考書
講義の中で提示する
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 授業への参加度（20%）、グループワークの参加度（20%）、課題レポート（60%）を総合して評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
レポートについては、コメントを記載し返却する。
履修のポイント
看護におけるマネジメントは、看護管理者の実践だけではない。学修を通して、看護専門職として、対象となる人に看護を提供する上でのマネジメントや、自身のマネジメントの必要性について理解してほしい。
オフィス・アワー
授業の開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じる。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R365

講義コード	11000001
講義名	機能看護学III
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての研究活動の経験を通して、看護の視点で研究についての基礎的な内容を教授する
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 久保田 隆子	指定なし
教員	本島 茉那美	指定なし

授業の概要と教育目標

看護実践の質を高め、発展させていくうえで看護研究は重要な役割を果たす。看護実践の中から疑問や課題を明確にし、問題解決に向けた効果的な看護を探求していく能力を養うために、看護研究方法について学ぶ。尚、本科目は、看護研究方法の基本的知識と問題解決に向けた研究的思考を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、看護研究の学びを通して、知識と技術の統合、問題を解決する能力を修得することを目指し、研究に関する基礎的な内容を学ぶものとする。

到達目標

1. 看護研究の概要と意義について理解できる。
2. 看護実践の中から研究疑問を明確にすることが理解できる。
3. 看護研究論文を読み検討する必要があることを理解できる。
4. 研究実施時の倫理的配慮について理解できる。
5. 研究目的を達成するための研究計画について考えることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	久保田隆子	1.看護研究とは 2.看護研究の発展と意義 3.研究疑問の明確化 4.研究疑問の語り	スモールディスカッションを通して、各自の研究疑問を明確にする。	予習90分：教科書第1章、第2章を読む。 復習90分：レポート課題「エピソード記述」を作成する。
		1.研究の流れ		

第2回	久保田隆子	2.リサーチクエスチョン 3.看護研究における文献検索と文献検討 ・文献検索の方法 ・文献検討の方法	スモールディスカッションを通して、エピソード記述からリサーチクエスチョンまでの理解を確認する。	予習90分：教科書第4章を読む。 復習90分：自分のテーマに基づき文献検索を実施する。
第3回	本島茉那美	1.看護研究に伴う倫理的な問題 2.倫理的な問題とその対応方法	看護研究の倫理的問題について、グループディスカッションを通して理解を深める。	予習90分：教科書第3章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第4回	本島茉那美	1.看護研究方法 2.研究デザイン 3.量的研究と質的研究の特徴	各自の研究テーマと研究方法について、グループディスカッションを通して理解を深める。	予習90分：教科書第5章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	本島茉那美	1.量的研究 2.量的研究におけるデータ収集と分析方法		予習90分：教科書6章～第9章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	本島茉那美	1.質的研究 2.質的研究におけるデータ収集と分析方法		予習90分：教科書11章、第12章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	本島茉那美	1.研究計画書とは 2.研究計画書の作成 3.看護研究の実際・リサーチクエスチョンに基づく研究計画書の作成		予習90分：教科書13章を読む。 復習90分：研究計画書を作成する。
第8回	久保田隆子本島茉那美	1.試験 2.研究計画書作成の要点 3.講義内容の振り返りとまとめ		予習90分：教科書14章～第17章を読む。

教科書
黒田裕子『黒田裕子の看護研究 Step by Step』 (医学書院)
参考書
必要に応じて講義時に紹介します。
成績評価の方法・基準
単位認定は60点以上。試験60%、課題40%を総合して評価する。
課題等に対する フィードバックの方法

授業内で課題を課す。その結果については個人指導又は講義時に全体へフィードバックしていく。
履修のポイント
看護研究を行う上で重要な、基本的知識について学びます。主体的に授業に参加してください。
オフィス・アワー
講義日終了後に研究室に来てください。対応させて頂きます。 11号館3F 研究室4
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R366

講義コード	11010001
講義名	看護倫理
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	４時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	本講義を担当する教員はすべて群馬県内の施設に所属する老人看護専門看護師である。専門看護師の役割の一つに「倫理調整」があり、実際の経験を活かした授業内容となっている
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 河端 裕美	指定なし
教 員	宮澤 真優美	指定なし
教 員	小板橋 梨香	指定なし
教 員	佐藤 文美	指定なし
教 員	相場 健一	指定なし

授業の概要と教育目標

看護倫理の歴史的発展、今日の医療における看護職者の立場より担っていくべき倫理的責任、看護倫理アプローチとしての「原則の倫理」と「徳の倫理」の側面からの検討を通して看護専門職組織の社会的役割および日本の文化の中での倫理的問題解決について探求する。
看護倫理の基礎的理解を図り、その基盤の上に看護倫理のアプローチを用いた事例検討、看護職の倫理綱領の理解、各国の看護における倫理、研究における倫理を通して、看護実践者としての自己の基盤となる倫理的感性・倫理観を培い、看護実践の中心に位置する倫理的に物事を考える道筋を見出せるようにする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーと関連して、医療者として必要な倫理、守るべき法令を理解し、それに沿って行動できる力を養うことを目指すものである。

到達目標

1.倫理の意味について理解し、自分の言葉で説明することができる
2.「良い」とはどういうことか、「良い人」「良いナース」とはどういう人か、考えることができる
3・倫理に関係する言葉とその意味について理解し、説明することができる
4.倫理的判断の必要な状況について知り、判断・行動するための考えの進め方を知り、活用する姿勢が持てる
5.日々の中で、何が良いことか、根拠をもって考えながら行動する姿勢が高まる

授業計画

	担	授業内容と方法、課		予習・復習と

	当者	題	アクティブラーニングの内容	そのために必要な時間
第1回	河端裕美	科目ガイダンス 看護倫理の基礎		予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第2回	河端裕美	「良い人」「良いナース」とは	個人ワーク：徳とは何か、良いナースとはどのようなナースかについて考え、ワークシートに記載する。	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第3回	河端裕美	臨床倫理の原則 看護者の倫理綱領	個人ワーク：倫理原則に基づき事例検討を行い、ワークシートに記載する。	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第4回	河端裕美	和、共同体、コンパッション、ケアリング	個人ワーク：事例検討を通し、ケアリングについて考え、ワークシートに記載する。	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第5回	宮澤真優美	専門職、患者中心の看護、協力と協働、パターナリズム	個人ワーク：事例検討を通し、看護師という専門職について考え、ワークシートに記載する。	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第6回	宮澤真優美	増大し重要化する倫理的問題と倫理的ジレンマ 文化背景と倫理、研究における倫理	個人ワーク：倫理的ジレンマに関する事例検討を行い、ワークシートに記載する。	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第7回	河端裕美	人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン よい死について	個人ワーク：ガイドラインに基づき意思決定支援に関する事例検討を行い、ワークシートに記載する。	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第8回	相場健一	倫理的意思決定を導く4ステップモデル 臨床倫理の4分割法	個人ワーク：倫理的問題解決に向けたモデルに対する自分自身の考えをワークシートに記載する。	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第9回	河端裕美	事例検討（4ステップモデルの活用）	個人ワーク：4ステップモデルを活用した事例検討を行い、ワークシートに記載する。	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第10回	河端裕美	事例検討（臨床倫理の4分割法の活用）	個人ワーク：臨床倫理の4分割法を活用した事例検討を行い、ワークシートに記載する。	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
	小			予習なし

第11回	板橋梨香	事例検討（癌の告知をためらう家族）	個人ワーク：癌の告知をためらう家族の事例について、事例検討を行い、ワークシートに記載する。	復習45分：配布資料を見直す
第12回	佐藤文美	事例検討（本音を言えない患者の退院支援）	個人ワーク：周囲に本音を言えない患者に対する事例検討を行い、退院支援の在り方について考え、ワークシートに記載する。	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第13回	佐藤文美	事例検討（家族へも言いたくない秘密）	個人ワーク：守秘義務に関する事例検討を行い、ワークシートに記載する。	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第14回	河端裕美	事例検討（認知症患者の意思について）	個人ワーク：認知症高齢者の意思決定支援に関するガイドラインを踏まえ、認知症患者の意思決定支援について事例検討を行い、ワークシートに記載する。	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第15回	河端裕美	知識確認と解説 課題レポート		予習なし 復習45分：これまでの配布資料を見直す

教科書
なし
参考書
小西恵美子編【看護倫理】南江堂
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上（出席状況50%、課題レポート50%）
課題等に対する フィードバックの方法
課題レポートにコメントを入れて返却します。
履修のポイント
倫理的に「良い」ということは、看護の質にもつながります。何が良いことか、自分の行動の指針を自らに問いかける習慣をつけていきましょう。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R332

講義コード	11010002
講義名	看護倫理（2021年度入学生）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	４時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	本講義を担当する教員はすべて群馬県内の施設に所属する老人看護専門看護師である。専門看護師の役割の一つに「倫理調整」があり、実際の経験を活かした授業内容となっている
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 河端 裕美	指定なし
教 員	宮澤 真優美	指定なし
教 員	小板橋 梨香	指定なし
教 員	佐藤 文美	指定なし
教 員	相場 健一	指定なし

授業の概要と教育目標

看護倫理の歴史的発展、今日の医療における看護職者の立場より担っていくべき倫理的責任、看護倫理アプローチとしての「原則の倫理」と「徳の倫理」の側面からの検討を通して看護専門職組織の社会的役割および日本の文化の中での倫理的問題解決について探求する。
看護倫理の基礎的理解を図り、その基盤の上に看護倫理のアプローチを用いた事例検討、看護職の倫理綱領の理解、各国の看護における倫理、研究における倫理を通して、看護実践者としての自己の基盤となる倫理的感性・倫理観を培い、看護実践の中心に位置する倫理的に物事を考える道筋を見出せるようにする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーと関連して、医療者として必要な倫理、守るべき法令を理解し、それに沿って行動できる力を養うことを目指すものである。

到達目標

1.倫理の意味について理解し、自分の言葉で説明することができる
2.「良い」とはどういうことか、「良い人」「良いナース」とはどういう人か、考えることができる
3・倫理に関係する言葉とその意味について理解し、説明することができる
4.倫理的判断の必要な状況について知り、判断・行動するための考えの進め方を知り、活用する姿勢が持てる
5.日々の中で、何が良いことか、根拠をもって考えながら行動する姿勢が高まる

授業計画

	担	授業内容と方法、課		予習・復習と

	当者	題	アクティブラーニングの内容	そのために必要な時間
第1回	河端裕美	科目ガイダンス 看護倫理の基礎		予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第2回	河端裕美	「良い人」「良いナース」とは	個人ワーク：徳とは何か、良いナースとはどのようなナースかについて考え、ワークシートに記載する。	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第3回	河端裕美	臨床倫理の原則 看護者の倫理綱領	個人ワーク：倫理原則に基づき事例検討を行い、ワークシートに記載する。	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第4回	河端裕美	和、共同体、コンパッション、ケアリング	個人ワーク：事例検討を通し、ケアリングについて考え、ワークシートに記載する。	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第5回	宮澤真優美	専門職、患者中心の看護、協力と協働、パターナリズム	個人ワーク：事例検討を通し、看護師という専門職について考え、ワークシートに記載する。	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第6回	宮澤真優美	増大し重要化する倫理的問題と倫理的ジレンマ 文化背景と倫理、研究における倫理	個人ワーク：倫理的ジレンマに関する事例検討を行い、ワークシートに記載する。	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第7回	河端裕美	人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン よい死について	個人ワーク：ガイドラインに基づき意思決定支援に関する事例検討を行い、ワークシートに記載する。	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第8回	相場健一	倫理的意思決定を導く4ステップモデル 臨床倫理の4分割法	個人ワーク：倫理的問題解決に向けたモデルに対する自分自身の考えをワークシートに記載する。	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第9回	河端裕美	事例検討（4ステップモデルの活用）	個人ワーク：4ステップモデルを活用した事例検討を行い、ワークシートに記載する。	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第10回	河端裕美	事例検討（臨床倫理の4分割法の活用）	個人ワーク：臨床倫理の4分割法を活用した事例検討を行い、ワークシートに記載する。	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
	小			予習なし

第11回	板橋梨香	事例検討（癌の告知をためらう家族）	個人ワーク：癌の告知をためらう家族の事例について、事例検討を行い、ワークシートに記載する。	復習45分：配布資料を見直す
第12回	佐藤文美	事例検討（本音を言えない患者の退院支援）	個人ワーク：周囲に本音を言えない患者に対する事例検討を行い、退院支援の在り方について考え、ワークシートに記載する。	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第13回	佐藤文美	事例検討（家族へも言いたくない秘密）	個人ワーク：守秘義務に関する事例検討を行い、ワークシートに記載する。	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第14回	河端裕美	事例検討（認知症患者の意思について）	個人ワーク：認知症高齢者の意思決定支援に関するガイドラインを踏まえ、認知症患者の意思決定支援について事例検討を行い、ワークシートに記載する。	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第15回	河端裕美	知識確認と解説 課題レポート		予習なし 復習45分：これまでの配布資料を見直す

教科書
なし
参考書
小西恵美子編【看護倫理】南江堂
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上（出席状況50%、課題レポート50%）
課題等に対する フィードバックの方法
課題レポートにコメントを入れて返却します。
履修のポイント
倫理的に「良い」ということは、看護の質にもつながります。何が良いことか、自分の行動の指針を自らに問いかける習慣をつけていきましょう。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R332

講義コード	11020001
講義名	医療安全管理
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	医療安全管理者の資格を有し、医療安全管理者として従事していた。現在、看護師教育の企画・運営を担当している。実際の医療現場の状況を踏まえ、医療安全について考える授業を行う。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 牧口 みどり	指定なし

授業の概要と教育目標

【概要】看護師は、患者の最も近くで診療の介助・療養上の世話を行っている。そのため、安全への配慮を欠くと、患者の生命を脅かしたり身体の障害を招く医療事故の当事者になる危険が高い。しかし、人間は誰でも間違いを起こす。そのため、それを自覚したうえでエラーを防止し、医療安全に努めなければならない。この授業において、起こりやすい医療事故とヒューマンエラーを防止するための知識と技術を習得する。
【目標】①看護の質・看護師の責務について関連を捉え、医療安全とは何か理解できる。②医療の現場で起こりやすい事故とその防止策について理解できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、看護師の責務の理解 及び医療事故の防止策を修得することを目指すものとする。

到達目標

・看護師の役割と責任について理解する事ができる。
・医療事故とその防止方法について理解する事ができる。
・医療安全と倫理について理解する事ができる。
・医療事故に関する動向と新人看護師が陥りやすい事故について理解する事ができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	牧口みどり	医療安全の基礎知識 看護師の役割・看護師の責務		配布資料確認

第2回	牧口どり	※前回の復習（質問に対する回答） 医療事故発生のメカニズム・ヒュマンエラーと人間特性・情報伝達エラー	演習を通して医療事故発生のメカニズムを理解する。	復習30分：配布資料確認
第3回	牧口どり	※前回の復習（質問に対する回答） 医療安全対策の進め方①	※復習は資料を用いてグループワーク形式で行う。	復習30分：配布資料確認
第4回	牧口どり	※前回の復習（質問に対する回答） 医療安全対策の進め方②	※復習は資料を用いてグループワーク形式で行う。	復習30分：配布資料確認
第5回	牧口どり	※前回の復習（質問に対する回答） 医療安全対策の進め方③	※復習は資料を用いてグループワーク形式で行う。	復習30分：配布資料確認
第6回	牧口どり	※前回の復習（質問に対する回答） 医療安全と倫理 医療事故発生時の対応	※復習は資料を用いてグループワーク形式で行う。	復習30分：配布資料確認
第7回	牧口どり	※前回の復習（質問に対する回答） KYT（危険予知トレーニング）	※復習は資料を用いてグループワーク形式で行う。 医療現場の一場面を示したイラストを用いて、予測される危険をグループワーク形式で考える。	復習30分：配布資料確認
第8回	牧口どり	試験とまとめ	試験60分 解説30分	復習30分

教科書

資料を配布します。

参考書

適宜紹介します。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上（筆記試験 80% 授業参加状況 及び態度・グループワーク参加状況等 20%）

**課題等に対する
フィードバックの方法**

課題に対しては、授業の中でディスカッションしながらフィードバックします。
履修のポイント
リスク感性を高めていくうえで、積極的に意見を述べていきましょう。
オフィス・アワー
授業の開始前 若しくは終了後に教室等で質問を受け付けます。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R342

講義コード	11030001
講義名	緩和ケア
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	２時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における臨床経験をもとに看護実践の倫理や患者・家族への支援等具体例を挙げながら解説する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松沼 晶子	指定なし
教 員	櫻井 通恵	指定なし

授業の概要と教育目標

緩和ケアの実践を行う上での基本とる知識、緩和ケアを必要とする対象、症状マネジメント、チームにおける看護師の役割等について、基礎的な知識と対象者の様々つらさや苦悩を和らげるための考え方を身につけることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーでは「生命の尊厳に基づき、人を価値ある存在として認めることができる」「多様な価値観を認め、倫理観を持って看護を実践できる」が求められており、その基本となる緩和ケアの知識・症状マネジメントやコミュニケーションの技術の方法とマインドを養う。

到達目標

看護職として緩和ケアを実践するために必要な知識と看護技術を学び説明できる。そして緩和ケアで必要な看護師としての在り方について、自分の言葉で述べることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	松沼晶子櫻井通	第1章緩和ケアの現状と展望 第2章緩和ケアにおけるチームアプ	アクティブラーニング 　緩和ケアのチームアプローチにおいて看護師に求められる役割　看護師がチームアプローチにおいて役割を果たすには、どのような能力が求められるのかについてディスカッションを行う。	予習25分：教科書 ｐ2～35の内容を確認しておく。 復習20分：使用した配布資料や教科書の

	恵	ローチ		該当内容を見直し再学習する。
第2回	松沼晶子櫻井通恵	第3章緩和ケアにおけるコミュニケーション 第4章緩和ケアにおける倫理的課題	アクティブラーニング 　緩和ケアの臨床で倫理的問題に気づくためには、どのような知識、態度が必要なのか考える。そして倫理的課題に直面したとき、看護師はどのような対応すれば良いかでディスカッションを行う。	予習25分：教科書ｐ38～77の内容を確認しておく。 復習20分：使用した配布資料や教科書の該当内容を見直し再学習する。
第3回	松沼晶子櫻井通恵	第5章全人的ケアの実践 身体的ケア・精神的ケア	アクティブラーニング 事例を用いて全人的苦痛（トータルペイン）の視点からそれぞれの痛みをどのように捉えたらよいのかについて、ディスカッションを行う。	予習25分：教科書ｐ80～149の内容を確認しておく。 復習20分：使用した配布資料や教科書の該当内容を見直し再学習する。
第4回	松沼晶子櫻井通恵	第5章全人的ケアの実践 社会的ケア・スピリチュアルケア	アクティブラーニング 事例を用いて全人的苦痛（トータルペイン）の視点からそれぞれの痛みをどのように捉えたらよいのかについて、ディスカッションを行う。	予習25分：教科書ｐ80～149の内容を確認しておく。 復習20分：使用した配布資料や教科書の該当内容を見直し再学習する。
第5回	松沼晶子櫻井通恵	第6章緩和ケアの広がり 異なる対象、疾患、療養の場における緩和ケアの実践とその課題	5，6回続けてのシンポジュウム形式で異なる対象、疾患、療養の場における緩和ケアの実践とその課題についてそれぞれの専門職がどのように緩和ケアを提供しているのか講演を聴く。学生からの質疑応答や講師同士での意見交換の場とする。	予習25分：教科書ｐ152～222の内容を確認しておく。 復習20分：使用した配布資料や教科書の該当内容を見直し再学習する。
第6回	松沼晶子櫻井通	第6章緩和ケアの広がり 異なる対象、疾患、療養の場における緩和ケアの実践	5，6回続けてのシンポジュウム形式で異なる対象、疾患、療養の場における緩和ケアの実践とその課題についてそれぞれの専門職がどのように緩和ケアを提供しているのか講演を聴く。学生からの質疑応答や講師同士での意見交換の場とする。	予習25分：教科書ｐ152～222の内容を確認しておく。 復習20分：使用した配布資料や教科書の

	恵	とその課題		該当内容を見直し再学習する。
第7回	松沼晶子櫻井通恵	第7章臨死期のケア 第8章家族のケア	アクティブラーニング 　治療期・慢性期・終末期・臨死期において必要とされる家族ケアをについてディスカッションを行う。	予習25分：教科書 ｐ224～254の内容を確認しておく。 復習20分：使用した配布資料や教科書の該当内容を見直し再学習する。
第8回	松沼晶子櫻井通恵	第9章医療スタッフのケア 第10章緩和ケアに関する教育 第11章緩和ケアにおける研究	アクティブラーニング 　ストレスに対して行うケアには、どのようなことが有効か。個人で行うものと組織で取り組むものに分けてディスカッションを行う。。	予習25分：教科書 ｐ256～288の内容を確認しておく。 復習20分：使用した配布資料や教科書の該当内容を見直し再学習する。

教科書

緩和ケア 新幡智子・市原香織他 医学書院

参考書

緩和・ターミナルケア看護論 ヌーヴェルヒロカワ
緩和ケア 第3版 ナーシング・グラフィカ 成人看護学 6

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。(定期試験70％ レポート30％)

課題等に対する
フィードバックの方法

なし

履修のポイント

看護の基本となる緩和ケアについて正しい理解と実践における考え方、対象者をどのように理解していくことが大切なのかを考える時間となることを目指す。主体的に学習に取り組むようにする。

オフィス・アワー

授業終了後の質問に応じます。月曜日もしくは金曜日12:30～13:20（昼休み）10号館第13研究室。
※研究室在室時は適宜受け付けます。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-C343

講義コード	11040001
講義名	看護専門職論V
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	感染管理認定看護師としての実務経験をもとに、感染症を予防・制御する為の管理・対策について、具体的な例を挙げながら解説する。
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 後藤 恵	指定なし
教 員	柴草 仁志	指定なし

授業の概要と教育目標

授業の概要と教育目標
多様化する医療現場で問題となる感染症やグローバル化した現社会特有の感染症、生活様式の変化による新たな感染症について理解を深め、医療者として実践的な知識を学ぶ。これらの感染症を予防、制御する為の管理・対策について講義等により深めていくことを目標とする。
1 医療関連感染とは何か 医療の中での状況及び感染防止策について理解する。
2 感染管理に関する研究成果等から感染制御についての方法を理解する。
3 予防の具体的な方法について学び、実践できるようにする
4 新興感染症について理解を深める。
5 薬剤耐性菌への対策について検討する。
6 微生物学的検証の方法を知り臨床検査の理式を持ち対象者の健康状態を知る。
7 国を超えての感染症・食中毒・寄生虫対策の知識をもつ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

1 医療施設及び地域社会に貢献する医療者として感染管理の役割を理解する。
2 看護管理の実際を理解し、実践的知識を習得する。
3 現在問題となっている薬剤耐性菌や流行時の罹患率からサーベイランスの意味を読み取ることで、卒業後に患者や利用者の健康状態の把握と予測ができる。予防から健康管理の視点を持つことの基本的知識を習得する。

到達目標

1 感染管理・感染看護の概念と感染症に関する近年の動向について理解できる。
2 医療施設及び地域での医療活動における感染予防の方法について理解できる。
3 医療者自身の感染予防対策の具体的な実践方法について理解できる。
4 感染症に罹患している患者又は易感染状態にある患者に対する看護の実際を理解する。
5 現代社会において国内外の感染症に関する諸問題を理解できる。

授業計画

	担当	授業内容と方法、課題	予習・復習と

	者		そのために必要な時間
第1回	柴草仁志	感染管理と感染看護の概念 1.感染管理・感染看護の役割 2.感染管理の歴史と研究成果 3.感染症に関わる倫理的問題 4.医療関連感染について	予習90分： 感染看護・微生物学・抗菌薬に関する授業について復習する 復習90分： 配布資料を見直す
第2回	柴草仁志	新興感染症 マスギャザリング Zoonosis 1.新型コロナウイルス感染症、デング熱、エボラ出血熱、ジカ熱などの新興感染症について 2.マスギャザリングについて 3.Zoonosisについて	予習90分： ニュース、新聞、雑誌等から話題の感染症についての情報をまとめる 復習90分： 講義後に自分の興味がある新興感染症についてまとめる
第3回	柴草仁志	医療関連感染サーベイランス 1.医療関連感染サーベイランスの定義 2.サーベイランスに関する用語の定義 3.アウトブレイクの対応について	予習90分： 医療関連感染サーベイランス・アウトブレイクの定義を調べる 復習90分： 配布資料を見直す
第4回	柴草仁志	医療施設における感染症の発生要因および感染対策の基本 1.感染の成立と予防に関する考え方 2.標準予防策について 3.経路別予防策について	予習90分： 医療関連感染の定義を調べる 復習90分： 標準予防策と経路別予防策について、基礎看護学実習から臨地実習での場面をまとめる
第5回	後藤恵	ファシリティマネジメントと器材の処理 1. リネンの取扱い 2. 感染性廃棄物の取扱い 3. 清掃について 4. 洗浄・消毒・滅菌	予習90分： 医療関連施設におけるリネン、および洗浄・消毒・滅菌の定義をまとめておく。 復習90分： 講義で使用した配布資料の確認。また消毒薬についてまとめる。
第6回	後藤恵	職業感染防止対策 1. 血液体液曝露対応 2. 流行性ウイルス性疾患対応 3. 予防接種について	予習90分： 第4回の講義内容を確認しておく。 母子手帳などから自身のワクチン接種歴を確認しておく。 復習90分： 配布資料を見直す。
第7回	後藤恵	部署別感染対策 1. 各部署の感染対策（手術室、ICU、透析室、内視鏡室ほか） 2. 医療関連施設における食中毒対策	予習90分： 医療施設の各部門とその特徴を理解しておく。 復習90分： 大量調理マニュアルの概要をまとめる。
第8回	後藤恵	感染症治療と薬剤耐性対策 1. 感染症診療の基本的考え方 2. 感染症治療に必要な検査について 3. 抗菌薬適正使用と薬剤耐性について	予習90分： 耐性菌の増加により今後どのような事が起こるのか、またワンヘルスとは何かについて理解しておく。 微生物学の授業内容を確認しておく。 復習90分： 配布資料を見直す。

教科書

指定なし

参考書

授業中に適宜紹介
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 定期試験または課題提出70%、授業への参加度30%を総合して評価
課題等に対する フィードバックの方法
授業で取り組んだ課題は参考資料と共に返却します
履修のポイント
新聞、テレビなどで報道される感染症に関する話題に興味を持つこと 国内外で問題とされる感染症を知っておくことで病院施設だけでなく地域社会での影響を知ること 微生物の名称とその特徴、その微生物が引き起こす代表的な疾患、治療薬についてまとめることで理解しやすくなる
オフィス・アワー
講義日に対応をします
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R373

講義コード	11050001
講義名	看護専門職論VI
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	日本DMAT隊員の資格を有し、看護業務や所属する病院において災害研修や院内訓練の実施、災害時での活動に従事している。その経験を活かし事例を紹介しながら、災害時の活動や看護について考える授業を行う
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 井原 昌利	指定なし
教 員	小林 早苗	指定なし

授業の概要と教育目標

自然・人為を問わず、国内・外を問わず、災害は人々の生命と健康を危機に陥れる。人々の生命と健康を守る看護が災害時に果たすべき役割を考えると共に、災害発生時、超急性期から復興期にまでの役割に於いて、必要な看護の理論と技術を教授する。
教育目標：災害医療や看護の基礎を学び、災害時の看護職の役割を理解する事が出来る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーの関連として、看護師(保健師)の実務の理解及び災害医療・看護を習得する事を目指すものとする。

到達目標

１．災害の定義及び災害看護の概要を理解出来る。
２．災害サイクルのおける保健医療ニーズと看護の場に応じた看護を理解出来る。
３．災害時に必要な援助技術の基礎を修得出来る。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	小林早苗	災害看護の概要 歴史・定義・災害の種類・災害サイクルについて	映像を用いた講義有り 国家試験問題を用いた講義内容の振り返りあり	予習90分：教科書の該当箇所を読んでおく。 復習90分：配布資料を見直す。
第2回	小林早苗	災害看護の特徴・災害関連法規 災害拠点病院とは 災害の種類と健康問題	映像を用いた講義有り(予定) 国家試験問題を用いた講義内容の振り返りあり	予習90分：教科書の該当箇所を読んでおく。 復習90分：配布資料を見直す。
		災害サイクルと看護活		

第3回	小林早苗	動(１) 災害急性期の看護 ・救命、救出と災害時トリアージ ・災害時救急医療と看護の概要 ・ライフラインの復旧と災害活動のロジスティックス	映像を用いた講義有り（予定) 国家試験問題を用いた講義内容の振り返りあり	予習90分：教科書の該当箇所を読んでおく。 復習90分：配布資料を見直す。
第4回	小林早苗	災害サイクルと看護活動(２) 災害亜急性期の看護 ・被災地の病院、避難所、または救護所での医療と看護 ・ボランティアセンターの開設と看護	国家試験問題を用いた講義内容の振り返りあり	予習90分：教科書の該当箇所を読んでおく。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	小林早苗	災害サイクルと看護活動(３) 災害中長期(復旧・復興期)の看護 ・仮説住宅と巡回診療（アウトリーチ）のポイント 活動の場における看護 ・救護所に備える医療体制と備品 ・避難所における巡回診療・看護のポイント	国家試験問題を用いた講義内容の振り返りあり	予習90分：教科書の該当箇所を読んでおく。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	小林早苗	災害時の要支援者の把握と援助 子ども・妊産婦・高齢者など 在宅ケアを受けている人々 障害のある人々	国家試験問題を用いた講義内容の振り返りあり	予習90分：教科書の該当箇所を読んでおく。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	小林早苗	災害とこころのケア 災害後のこころのケア 災害による死とグリーフケア 救援者のストレス対策 病院での災害への備え 地域における災害への備え	国家試験問題を用いた講義内容の振り返りあり	予習90分：教科書の該当箇所を読んでおく。 復習90分：配布資料を見直す。
第8回	小林早苗	効果確認テスト 筆記による試験 試験60分 解説30分		予習90分：教科書の該当箇所を読んでおく。 復習90分：配布資料を見直す。

教科書
日本赤十字社事業局看護部(編）：系統看護学講座 総合分野 災害看護学・国際看護学 医学書院
参考書
特になし
成績評価の方法・基準
単位認定 60点以上 筆記試験(100%) 60点未満で再試験予定
課題等に対する フィードバックの方法

講義導入時に教科書と配布資料を中心に前回講義の復習を行い、講義の中で過去の国家試験問題を用いフィードバック出来る様にします。
履修のポイント
キーワードを１つ１つ整理し、わからない事や疑問点は早めに質問して下さい。
オフィス・アワー
講義前後の10分程度であれば対応可能です。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-C381

講義コード	11060001
講義名	看護専門職論VII
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護職としての実務経験をもとに、看護実践の理論と概念について具体例を挙げながら解説する
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 佐藤 光栄	指定なし
教員	松沼 晶子	指定なし

授業の概要と教育目標

健康問題をもつ対象者と家族を看護の対象として捉え、家族の主体性を尊重しながら看護を展開するための基本的な知識や援助方法について学ぶ。
家族看護の基本的な考え方、現代の家族の特徴、理論を活用した家族のとらえ方、家族の病気体験を理解することなどについて学ぶ。
そのうえで、家族の全体像をとらえて家族像を形成し、家族との援助関係を形成しながら、家族が力を発揮して健康的な家族生活を実現できるように事例展開等を通して学び、理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーと関連し、複雑化する医療保健現場において今後更に家族看護を基盤とした家族支援は多職種との連携のなかで最も必要とされる。あらゆる医療保健現場で、看護チームだけでなく医療チームにおいて調整する能力や問題解決を図る能力を養うことを目指すものである。

到達目標

1. 家族をケアの対象として位置づけ看護することの意味と必要性を説明することができる。
2. 家族には様々な形態がありその理解と、自身の家族観を明確にすることができる。
3. 家族の全体像をとらえて、家族の力を発揮できるよう看護援助を提案することができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	佐藤光栄 松沼	オリエンテーション 家族とは 家族のもつケア機能 家族看護とは	講義後、事例をもとに考え、レポートする。	予習80分：教科書を読む。 復習85分：ジェノグラム・エコマップの書き方について復習する。

	晶子			授業内容を整理する。
第2回	佐藤光栄松沼晶子	病いにある人をもつ家族の理解 ー事例をもとに、家族について理解するー	事例を展開し、一部発表を通してそれぞれの意見を聞く。	予習80分：教科書を読む。 復習85分：授業内容を整理する。
第3回	佐藤光栄松沼晶子	家族看護方法 家族への援助における看護の役割 家族への援助姿勢	事例から看護の役割や援助の具体を抽出し、まとめる。	予習80分：教科書を読む。 復習85分：授業内容を整理する。
第4回	佐藤光栄松沼晶子	家族看護の考え方の理解 1. 家族看護の定義 2. 家族看護の諸理論 5/16~7/4演習方法説明 ー（1）家族システム理論 ー（2）家族ストレス対処理論 ー（3）家族発達理論	講義中心だが、過去の実習経験と考え合わせるよう考える時間を取り、周囲の学生と談義する。	予習80分：教科書を読む。 復習85分：授業内容を整理する。
第5回	佐藤光栄松沼晶子	グループワーク事例展開 家族看護に関する事例について各グループに分かれて、プレゼンテーションできるように、検討し、プレゼン資料を作成する。期間は5/16～7/4	グループワーク、個人ワークを計画し、進める。	予習80分：教科書の事例集を読む。 復習85分：各グループの事例について読み込み、事例展開できるように準備する。
第6回	佐藤光栄松沼晶子	家族看護の実際 各グループに分かれてパワーポイント作成する。	ｸﾞﾙｰﾌﾟ学習	予習80分：各グループでまとめるための資料を集め、事例集を読む。 復習85分：看護過程の展開を進める。
第7回	佐藤光栄松沼晶子	家族看護の実際（第7～8回通して行う） 事例の展開プレゼンテーション	学習のまとめとして、学んだことを論述する。	予習80分：教科書に記載されている事例集を読み質問等を準備する。 復習85分：看護過程の展開を進める。
第8回	佐藤光栄松	家族看護の実際（第7～8回通して行う） 事例の展開プレゼンテーション	学習のまとめとして、学んだことを論述す	予習80分：教科書、資料などを用いて発表のための準備をする。

	沼晶子	演習、発表を通して考え、学んだことを含め、自己の家族看護観について記述する。	る。	復習85分：家族看護学についての学びを復習する。

教科書
上別府 圭子著；医学書院 家族看護学
参考書
適宜紹介します。
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。定期試験70%、演習及び提出物30%。
課題等に対する フィードバックの方法
授業終了後にリアクションペーパーを提出してもらい、その反応について次回授業時にフィードバックします。
履修のポイント
看護職はあらゆる場面で家族に出会います。多様な家族を理解するのは難しいですが、様々な場面で語られる家族の情報に関心を持ち、多角的に家族の理解を深めてください。
オフィス・アワー
在室時には対応します。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R374

講義コード	11070001
講義名	看護専門職論VIII
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 風間 順子	指定なし

授業の概要と教育目標

世界の保健医療問題とその解決に向けた国際協力の現状と展望について教授する。特に、看護分野のこれまでの国際協力内容や援助プロセスについて解説する。国内的には、異なる国、異なる文化の下で看護の現状を知り、在日外国人に対応できるとともに国際協力活動に必要とされる基本的知識やコミュニケーション技術・態度等の基本について教授する。医療職者として国際協力に関わるうえで重要な知識・技術の基礎や、主な看護活動の基礎を身につける。
なお、授業ではほぼ毎回、国際社会における健康問題・報道などを題材として、グループディスカッションおよびプレゼンテーションの時間を設定し、自らの判断・見解を持ち、それを他者に伝えるスキルの習得も目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のカリキュラム・ポリシーの4)看護学を系統的に理解し、看護の基礎や健康問題別発達段階別看護で学んだ知識と技術を統合する「看護の統合と発展」に係る専門科目であり、国際社会における医療問題への理解と看護学からの協力への導入科目として、国際看護学を位置づける。

到達目標

１．世界の人々の健康水準や我が国の現状と展望について理解し、保健医療分野における国際協力の現状と課題を理解する。
２．国際的保健医療活動でのプロジェクト開発・実施・評価・フィードバックの一連のプロセスを理解する。
３．国際保健医療協力の母子保健対策、感染症対策、環境改善、リハビリテーション等の概要を理解する。
４．異文化理解と看護実践例について理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	ガイダンス・講義のねらい、進め方		

第1回	・外部講師の紹介 ・国際看護学とは ・グローバルヘルス	国際看護学のイメージについて話し合い、国際看護を学ぶ意義を考える。	予習90分：国際看護について、幅広い視野で調べてみること 復習90分：グローバルヘルスについて確認しておくこと
第2回	国際協力１ ・さまざまな国際組織 ・日本の国際協力 ・JICAの活動	予習に基づき、日本の国際協力・JICAの役割について意見交換する。	予習90分：JICAやその他の国際協力団体について調べておくこと 復習90分：国際協力に関する資料を見直し、興味に応じて、さらに調べてみること
第3回	国際保健概説 ・ミレニアム開発目標 ・持続可能な開発目標	予習に基づき、持続可能な開発目標と経済発展との関係について意見をまとめ、発表し討議する。	予習90分：先進国と開発途上国の健康問題について調べてみること 復習90分：配布資料を見直し、貧困と医療問題との関りを確認しておくこと
第4回	国際協力２ ・スポーツを通じた国際協力事業の例	スポーツを通じた国際協力事業の事例を基に、コミュニティ形成の意義や役割について討議する。	予習90分：コミュニティ形成におけるスポーツの寄与について考えてみること 復習90分：配布資料を見直し、スポーツと保健医療活動の接点を考えてみること
第5回	国際看護序論１ ・国際看護とは ・国際協力のしくみ	国際看護の概要を聞き、医療問題の国際協力のあり方について意見交換し、討議する。	予習90分：自分が興味を持った国際社会における医療問題について調べてみること 復習90分：配布資料を見直し、国際看護についての疑問点を解消しておくこと
第6回	国際看護序論２ ・世界の健康問題 ・開発協力と看護	予習に基づき、世界の健康問題について発表し、先進国の開発協力と医療・看護提供との関係について討議する。	予習90分：グローバルな医療問題について調べてみること 復習90分：配布資料を見直し、経済開発と健康問題・看護との関係について整理しておくこと
第7回	国際看護各論１ ・国際看護の実際－ボリビアの健康問題と看護－	南米(ボリビア)における国際看護の体験談を聞き、感想や意見を発表する。	予習90分：南米の健康問題について調べてみること 復習90分：配布資料を見直し、ボリビアでの健康問題と先進国からの医療援助についてまとめておくこと
第8回	国際看護各論２ ・国際看護の実際－ボリビアでの看護師教育指導－	予習に基づき、国際看護の実際－ボリビアでの看護師教育指導－	予習90分：ボリビアの看護師について調べてみること 復習90分：配布資料を見直し、ボリビアの看護師養成機関の現状と課題について整理しておくこと
第9回	国際保健の研究 ・文化とは ・社会疫学 ・国際比較/異文化間比較研	予習に基づき、社会疫学 ・国際比較/異文化間比較研究(Ni-Hon-San studyほか)	予習90分：配布した著書抜き刷りを読み、文化の階層的理解について考えておくこと 復習90分：配布資料を見直し、社会疫学や異文化比較研究の意

	究(Ni-Hon-San studyほか)		義や困難点について整理しておくこと
第10回	国際看護各論３ ・看護師の国際組織と国際的な移動	予習に基づき、看護師の国際組織と国際的な移動	予習90分：国際社会における看護師の連携・協力体制や組織について調べてみること 復習90分：配布資料を見直し、他国の看護師の海外勤務のニーズと課題について考えてみること
第11回	国際看護各論４ ・国際看護の対象－文化・慣習の理解－	予習に基づき、国際看護の対象－文化・慣習の理解－	予習90分：海外における文化・慣習と医療問題との関りについて調べること 復習90分：配布資料を見直し、興味を持った部分をさらに調べてみること
第12回	国際看護各論５ ・文化を考慮した看護－事例を通して－	予習に基づき、文化を考慮した看護－事例を通して－	予習90分：社会・文化と伝統的民間医療および西洋医療との関係について調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、伝統的民間医療に関する疑問点を整理しておくこと
第13回	国際看護各論６ ・国際看護の実際－中国での看護師教育指導－ ・事例から考える異文化看護	国際看護の現場での苦労・工夫について、全受講生で感想を共有し、実際－中国での看護師教育指導－ ・事例から考える異文化看護	予習90分：中国における医療問題について調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、中国の伝統的民間医療・医療制度等について確認しておくこと
第14回	国際看護各論７ ・途上国を対象とした看護・保健研究	途上国を対象とした看護・保健研究について、相互に意見交換する。	予習90分：国際看護の領域でどのような研究が行われているのか、調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、自分なりの研究課題を考えてみること
第15回	まとめ	これからの国際看護の課題や方向性について考え、討議する。	予習90分：14回の講義を振り返り、グローバル化する現代における国際看護の課題について、考えておくこと 復習90分：すべての配布資料を見直し、国際看護に関する疑問点を解消しておくこと

教科書

教科書は用いない。配布資料に基づく。

参考書

浦田・小原(編)：災害看護学・国際看護学，系統看護学講座統合分野 看護の統合と実践３，医学書院
南・新川・大野(編)：国際看護学グローバル・ナーシングに向けての展開，中山書店

成績評価の方法・基準

・単位認定は60点以上。

・ミニ課題２つ(30%)、グループワーク等によるレポート・課題(70%)を総合して評価する。
なお、授業への積極的なコミットメントも評価加点する。

課題等に対する
フィードバックの方法

・グループディスカッション・プレゼンテーションに対するコメント等は適宜授業内で行う。
・レポート課題に対するフィードバックは、提出の次週より個別に行う。

履修のポイント

・健康水準の高い社会に住んでいることを自覚し、諸外国における健康問題について、幅広い知的好奇心と人道的視点を持って、積極的に学ぶことを期待します。

オフィス・アワー

・水曜日・木曜日12:30〜13:20（昼休み） 11号館第5研究室
（講義終了前後にも適宜受付可能）

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-C375

講義コード	11080001
講義名	統合セミナー
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	医師、保健師、看護師としての実務経験を活かし、看護実践に必要な基礎的知識を教授する
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 煙山 健仁	指定なし
教員	松沼 晶子	指定なし
教員	山科 章	指定なし
教員	長谷川 真美	指定なし

授業の概要と教育目標

すべての看護実習を終了した最終学年を対象に看護専門職者として業務遂行できる自信と資格取得を目指すためのこれまで学んだ知識の統合を図ることを目指す科目である。
この授業は看護師に必要な各分野の知識を統合して実践に生かすために、専門基礎科目や専門科目などの科目を担当する教員が一丸となってオムニバス方式で進める。本科目で合格点を取ることが資格取得につながるような授業内容とし、担当教員間で連携・協働して授業に臨む。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、看護実践に必要な基礎的知識の統合を図り、臨床に適応できる看護実践者の育成を目指し、基礎的な知識の習得を目指すものとする。

到達目標

1.専門基礎科目や専門科目などの資格取得試験の基準内容を系統的に理解する。
2.症状のメカニズムやケアの根拠について知識を深化させることができる。
3.看護に関する基礎的な知識を統合させ、知識の定着を図ることができる。
4.自ら進んで学修する姿勢を身に付ける。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	山科章	1.授業ガイダンス 1)本授業における専門基礎科目・専門科		

第1回	長谷川真美松沼晶子煙山健仁	目の主題基準について 2)成績評価(出席基準と試験の合格基準)について 3)学習計画について(予習・復習) 2.人体の構造と機能 担当：煙山、長谷川	本科目の授業を受講し効果的な学習が行えるように学習計画について話し合い、各自で計画を立案する。	予習：専門基礎科目や専門科目の講義資料を整理して自己学習に活用できるファイルを作成する。 復習：講義内容を毎回復習・整理して、知識が定着できるノート作りを行う。
第2回		人体の構造と機能 担当：煙山、長谷川	学習計画が予定通りに進んでいるか、受講生同士でチェックする。できていない場合はどこが問題なのか、授業担当教員のアドバイスを受ける。	予習90分：該当科目の既習の講義資料を読んで整理する。 復習90分：講義内容を振り返り、要点をノートに整理する。
第3回		母性看護学 担当：久保田	学習計画が予定通りに進んでいるか、受講生同士でチェックする。できていない場合はどこが問題なのか、授業担当教員のアドバイスを受ける。	予習90分：該当科目の既習の講義資料を読んで整理する。 復習90分：講義内容を振り返り、要点をノートに整理する。
第4回		健康支援と社会保障制度 担当：松原、岩田、高橋、堀越	学習計画が予定通りに進んでいるか、受講生同士でチェックする。できていない場合はどこが問題なのか、授業担当教員のアドバイスを受ける。	予習90分：該当科目の既習の講義資料を読んで整理する。 復習90分：講義内容を振り返り、要点をノートに整理する。
第5回		疾病の成り立ちと回復の促進 担当：山科、長谷川	学習計画が予定通りに進んでいるか、受講生同士でチェックする。できていない場合はどこが問題なのか、授業担当教員のアドバイスを受ける。	予習90分：該当科目の既習の講義資料を読んで整理する。 復習90分：講義内容を振り返り、要点をノートに整理する。
第6回		基礎看護学 担当：三木	学習計画が予定通りに進んでいるか、受講生同士でチェックする。できていない場合はどこが問題なのか、授業担当教員のアドバイスを受ける。	予習90分：該当科目の既習の講義資料を読んで整理する。 復習90分：講義内容を振り返り、要点をノートに整理する。
第7回		基礎看護学 担当：伊藤、武井	学習計画が予定通りに進んでいるか、受講生同士でチェックする。できていない場合はどこが問題なのか、授業担当教員のアドバイスを受ける。	予習90分：該当科目の既習の講義資料を読んで整理する。 復習90分：講義内容を振り返り、要点をノートに整理する
第8回		疾病の成り立ちと回復の促進 担当：山科、	学習計画が予定通りに進んでいるか、受講生同士でチェックする。できていない場合はどこが問題なのか、授業担当教員のアドバイスを受	予習90分：該当科目の既習の講義資料を読んで整理する。 復習90分：講義内容を

		長谷川	ける。	振り返り、要点をノートに整理する
第9回		成人看護学（慢性期） 担当：松沼	学習計画が予定通りに進んでいるか、受講生同士でチェックする。できていない場合はどこが問題なのか、授業担当教員のアドバイスを受ける。	予習90分：該当科目の既習の講義資料を読んで整理する。 復習90分：講義内容を振り返り、要点をノートに整理する
第10回		小児看護学 担当：丸本	学習計画が予定通りに進んでいるか、受講生同士でチェックする。できていない場合はどこが問題なのか、授業担当教員のアドバイスを受ける。	予習90分：該当科目の既習の講義資料を読んで整理する。 復習90分：講義内容を振り返り、要点をノートに整理する
第11回		老年看護学 担当：田中	学習計画が予定通りに進んでいるか、受講生同士でチェックする。できていない場合はどこが問題なのか、授業担当教員のアドバイスを受ける。	予習90分：該当科目の既習の講義資料を読んで整理する。 復習90分：講義内容を振り返り、要点をノートに整理する
第12回		成人看護学（急性期） 担当：黒田、本島	学習計画が予定通りに進んでいるか、受講生同士でチェックする。できていない場合はどこが問題なのか、授業担当教員のアドバイスを受ける。	予習90分：該当科目の既習の講義資料を読んで整理する。 復習90分：講義内容を振り返り、要点をノートに整理する
第13回		在宅看護論/地域・在宅看護論 担当：佐藤、風間	学習計画が予定通りに進んでいるか、受講生同士でチェックする。できていない場合はどこが問題なのか、授業担当教員のアドバイスを受ける。	予習90分：該当科目の既習の講義資料を読んで整理する。 復習90分：講義内容を振り返り、要点をノートに整理する
第14回		看護の統合と実践 担当：長谷川、黒田	学習計画が予定通りに進んでいるか、受講生同士でチェックする。できていない場合はどこが問題なのか、授業担当教員のアドバイスを受ける。	予習90分：該当科目の既習の講義資料を読んで整理する。 復習90分：講義内容を振り返り、要点をノートに整理する
第15回		精神看護学 担当：片野	学習計画が予定通りに進んでいるか、受講生同士でチェックする。できていない場合はどこが問題なのか、授業担当教員のアドバイスを受ける。	予習90分：該当科目の既習の講義資料を読んで整理する。 復習90分：講義内容を振り返り、要点をノートに整理する

教科書

専門基礎科目や専門科目で使用した教科書、参考書、資料
授業時に教員から配布される資料

参考書

必要に応じて提示します。

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上、試験100%で評価 本試験は12月に実施し、追・再試験は1回のみ行う。

課題等に対する フィードバックの方法
オムニバスによる講義の為、不明な点は講義終了後に指導を受けて下さい。または担当教員に連絡の上、指導を受けて下さい。
履修のポイント
到達目標が達成できるように、個々の学生が主体的に学びとる姿勢で授業に臨んでください。 課題については必ず予習して授業に臨むこと。事前提出課題は指定された期日に提出すること。 本科目は4年次の必修科目であり、合格しないと卒業延期になる。
オフィス・アワー
講義内容、課題については、各授業担当教員が対応するため、事前連絡をとってから指導を受けてください。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R382

講義コード	11090001
講義名	看護セミナー
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	保健師、助産師としての実務経験をもとに、看護実践の理論と研究的視点を踏まえた実習の意義、方法を解説する
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 髙橋 美砂子	指定なし
教員	久保田 隆子	指定なし

授業の概要と教育目標

看護活動の場（保健・医療等の実践の場）で、自ら選定した課題を探求又は解決するために、実習実施計画を立案する（10コマ程度）。計画に従って実習を実施し、得られた結果を実習報告書（論文形式）にまとめる（6コマ程度）。なお本科目は、課題を探求・解決する過程を通して、より質の高い看護を提供するために継続して学習を深めることの意義を理解することと、生涯にわたって看護学及び看護研究を発展させていくための基礎的能力を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、能動的な学習方法を習得し、生涯にわたり研鑽を積む習慣を身に付けるとともに看護の質の向上を探求し、看護の発展に寄与する姿勢の基盤を修得することを目指すものとする。

到達目標

1．これまでの学習及び先行文献により、自己の学習課題を明確にすることができる。
2．課題を達成させるために、先行文献をもとに実習計画の立案及び調整をすることができる。
3．課題を達成するために実習を実施することができる。
4．課題の結果について先行文献を用い考察することができる。
5．課題に対する実践結果を研究論文の構成要素に従って論述し期限内に提出する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	髙橋美砂子久	【科目ガイダンス】【各領域か	各領域の教員からの説明を受け、各自が希望する領域について調べる。希	予習60分：シラバスを読む。復習60分：実習要項を見直す。

	保田隆子	らの説明】	望領域を決める。	
第2回	髙橋美砂子久保田隆子	【自己の課題の明確化】 ・実習領域（担当教員）の配置決定	担当教員に自己の課題を明確にするための指導を受け、実習テーマを決める	予習60分：実習要項を見直す。自己の課題を明確にするための準備をする。復習60分：担当教員からのアドバイスをもとに、自己の課題に取り組む
第3回	髙橋美砂子久保田隆子	【実習計画の立案】 実習目的を決めて、計画立案する	自己の課題を探求、あるいは解決するために、先行文献をもとに実習計画の立案・調整をする	予習60分：担当教員からのアドバイスをもとに、自己の課題に取り組み準備をして臨む。復習60分：担当教員からのアドバイスをもとに、自己の課題に取り組む
第4回	髙橋美砂子久保田隆子	【臨地実習】 8月中旬から9月初旬 臨地実習施設のオリエンテーション	自己の課題を探求、あるいは解決するために、立案した計画に沿って実習を行う。 臨地実習施設のオリエンテーションを受ける。	予習60分：実習計画に沿って必要な準備をして臨む。復習60分：実習で得られた結果を整理する
第5回	髙橋美砂子久保田隆子	【報告書の作成】 9月初旬から中旬 論文の構成要素の形式で実習報告書を作成する	実習で得られた結果について先行文献を用いて考察し、報告書を作成する。決められた期限までに提出する	予習60分：実習で得られた結果を整理し、報告書の作成に臨む。復習60分：担当教員からのアドバイスをもとに、自己の課題に取り組む

教科書

看護セミナー実習要項（2023年度版）を配布します。

参考書

黒田裕子著、『黒田裕子の看護研究 Step by Step』医学書院
その他、必要に応じて、各担当教員から配布される資料等

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上とする
実習目標の到達度により評価する

課題等に対する フィードバックの方法
課題の明確化、実習計画の立案、実習後の報告書の作成等について、担当教員からアドバイスを受けたり課題の提示があります
履修のポイント
これまでの看護に関する学習において、集大成ともいえる実習です。1年次から3年次までの実習において各自が疑問に思ったことやもっと深めたいと考えたことをテーマとして臨む実習です。主体的に学習し、時間を有効に活用して課題に取り組むことを期待します。
オフィス・アワー
各担当教員と調整してください
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R376

講義コード	11100001
講義名	現代教職論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	自由
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 佐々木 尚毅	指定なし

授業の概要と教育目標

教職についての理解を深め、自らの教職への意欲、適性等を熟考し、将来教職に就くことについて多角的に考察するために、教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する知識を修得することを目標とする。さらに現行の学習指導要領の中で重要なポイントである「カリキュラム・マネジメント」、「アクティブ・ラーニング」、「外国語(英語)の教科化」などについて、その導入理念を理解する。これらを通じて「時代の変化に対応した新しい学びを支える教育・教師」について理解し自らの適正を考え、どのような教師となるかキャリア・デザインできる事が目標である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーである「6. 国際的な視野を持ち、さまざまな地域で生活する人々の多様性を理解し、発達課題・健康レベルに応じた支援が提供できる」こと、および「8. 能動的な学習方法を習得し、生涯にわたり研鑽を積む習慣を身に付けている」ことを第一に内容を精選する。人は年齢を重ねただけでは大人にはなれない。人は人のなかで人になっていく。その人のなかでも、養護教諭は重要な機能と役割をもって子どもが大人になることを見守り、支え励ます。そうした養護教諭の職務内容を理解し、教職の意義及び役割を学ぶ。また、受講者が自分自身の適正について熟考し、進路を考える。

到達目標

１)現代日本の子どもの状況と公教育の目的とを説明できる。
２)教職の意義や教員の役割、職務内容・服務内容等を説明できる。
３)ひとり一人の子どもの成長を支える「チーム学校」、「学校内外の専門家等との連携と分担」の必要性とその運営・活用について説明できる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	何を学ぶのか、何のために学ぶのか。「自らと向き合い適正を考える」	学校現場のビデオを試聴後、「自分の体験から考える教師の役割」についてグループ討議、発表。	復習180分:レポート作成「教師志望の動機」作成

第2回	親・教師・学校・社会の変化、世界の中の日本の子ども	「教師志望の動機」についてグループ内で個別発表後、グループ討議。	予習30分:第1回配布資料の通読 復習150分:『子ども・若者白書』指定個所を読み800字程度でのまとめの作成。
第3回	子どもを中心にした、連携と教師の役割の拡大		予習90分:『白書』指定個所のまとめと課題文書作成 復習90分:『白書』指定個所のまとめと課題文書作成
第4回	教育関連法規－日本国憲法・教育関連法規－		予習90分:教育基本法通読 復習90分:教基法確認テストに向けた学習
第5回	我が国の教育－中央教育審議会の教育構想－		予習60分:配布中教審答申を読む 復習120分:答申案のポイントまとめ
第6回	学習指導要領－学習指導要領改訂の理念とポイント－		予習120分:調べ学習「指導要領の変遷」 復習60分:今次改定のポイントを学習
第7回	新しい学校－学校の組織運営(校務分掌／新しい職による組織の変化)－		予習20分:調べ学習「1条校」の変遷 復習160分:校内職名の確認(次回確認テスト)
第8回	教師の役割－学級担任の職務と教科指導－		予習30分:『子ども・若者白書』の指定個所を読む 復習150分:配布資料に関する感想文作成
第9回	教師の役割－養護教諭・栄養教諭の職責と協働・連携－		予習60分:現職教師の日記を読む 復習120分:視聴映像の感想文(1200字程度)作成
第10回	教師の役割－職務、研修、「学び続ける教師」－		予習90分:調べ学習「生涯学習」 復習90分:配布資料の再読
第11回	「特別な支援を必要とする子ども」		予習120分:調べ学習「障害者総合支援法」 復習60分:視聴映像感想文作成
第12回	「特別な支援を必要とする子ども」－事例の検討を含む－	「デスレクシア等見えない障害」についてグループ討議	予習60分:調べ学習「チーム学校」 復習120分:課題作成「私が目指す教師 像」(1200字程度)
第13回	学校－開かれた学校、学校安全の具体例とその検討－		予習60分:配布資料「チーム学校の目指すもの」を読む 復習120分:課題作成「私が目指す家庭と地域と教師の関係」(1200字程度)

第14回	教師の仕事－教科指導、生活指導、学級経営等－		予習20分:配布資料を読む 復習160分:作文「私が目指す教師像」(1600字程度)
第15回	教師と生涯学習－学び続ける教師－		予習90分:作文「教師とは学校とは教育とは」 復習90分:総復習

教科書

『中学校学習指導要領』(文科省、平成29年3月)、『高等学校学習指導要領』(文科省、平成29年)

参考書

各種法規、審議会答申は適宜配布する。

成績評価の方法・基準

定期試験(70%)、リアクションペーパー(30%)
単位認定60点以上

**課題等に対する
フィードバックの方法**

授業では持ち帰り課題を多く課す。その自宅学習の成果を次の授業時間内に発表者を指名して受講者の前で発表させる。その発表内容について意見交換を行う。このアクティブ・ラーニングへの取り組み姿勢とその内容を評価に加える。提出された課題文章はすべて添削し、文章作成能力の向上を図る。仲間と協働することの意義と楽しさを体得させる。

履修のポイント

大学は教育・研究機関である。自ら課題を発見し、その課題にどの様に取り組み、そして解決するかを学びとることにこそ大学での学びである。「仲間とともに、積極的に」という姿勢を自ら育てていくこと。

オフィス・アワー

講義時間の前後の時間及び休み時間

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-F420

講義コード	11110001
講義名	教育心理学
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	５時限
必修/選択	自由
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	教育機関での心理臨床活動を基により具体的な児童生徒理解に関する授業を行う
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

教師が学校現場で児童・生徒と対応する際には、彼らが、今現在発達的にどのような状況におかれているのか、また、そのときの心の状態はいかなるものなのか、ということに配慮しながら接することが求められる。この科目では、人は環境と相互に作用しあう存在であることを踏まえて、人の発達過程、学習過程、教授過程について講義する。授業は講義形式で行うが、学生による「模擬授業」を実施する。なお、青年期までの人の発達過程とその特徴、学習のしくみと学習を規定する要因と障がい、教授の類型について理解を深めることを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科においては、多様性を前提とした人に対する理解と根拠に基づく知識の習得を目指す。また、医療保健学部栄養学科においては、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人に対する理解を深めることを目指し、心理的側面の理解を通してその目的達成に資する知識を養う。
そして将来的な展望としては、心身の発達理論を理解しつつ、多様な人間のライフステージ、ライフサイクルを理解するという発達の側面、そして知識を収めていく学習の側面、発達課題に直面した際の課題未達成からくる適応の問題の側面から教職実践の基盤となる学修を行うことを目指すものとする。

到達目標

１．教育心理学で使用されるさまざまな専門用語の意味を理解できる。
２．青年期までの人の発達過程とその特徴について理解できる。
３．学習のしくみと学習を規定する要因、および障がいについて理解できる。
４．「教える」ということを体験を通じて実感し、自ら「教える」立場をシュミレーションする。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習 と そのために 必要な時間
			予習90分：

第1回	オリエンテーション 教育心理学の概要／研究法	教育心理学で取り扱う内容について、その概要（発達・学習・教授）を取り上げる。よい授業とは何かについて、心理学における教育心理学の位置づけについて考える。	教科書pp.14-23を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第2回	発達のしくみと道筋 人間の心と体はどのように変化していくのか。 さらに発達を促進する「遺伝」と「環境」の要因について考究する。	発達を促進する要因について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.24-42 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第3回	認知の発達 論理的な思考が可能になる道筋	抽象的な思考ができるようになるための学校教育の役割は何かについて意見交換する。	予習90分：教科書pp.43-58を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第4回	人間関係と社会性 子どもは人間関係の中でどのように成長するのかについて取り上げる。	愛着が発達に及ぼす意義について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書60-78を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第5回	さまざまな学習理論① 刺激と反応の結びつきを重視する学習の連合理論と認知の変容を重視する学習の認知理論を中心に、学習のしくみを取り上げる。	学習理論から生まれたソーシャル・スキルトレーニングについて理解する（12・13・14回目で行う模擬授業の展開の仕方について理解する）。	予習90分：教科書pp.80-94を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第6回	さまざまな学習理論② 記憶、思考を取り上げる。	記憶のメカニズムを理解することで、どのように教授するのがよいのかについて、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.95-110を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
	動機づけ 学習の規定因としての動機	やる気を高めたり維持するためには何が必要なのかについて、メンバーの意	予習90分：教科書pp.112-127を読む。

第7回	づけ理論と、動機づけ向上に必要な事項について取り上げる。	見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第8回	学習指導と教育評価 学習方法や評価の種類について取り上げる。	学習指導方法や教育評価の目的方法について理解する。	予習90分：教科書pp.129-154を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第9回	学級集団 集団形成や教師のリーダーシップやバイアス等について取り上げる。発達を促す集団の力は教師の働きかけによるところが大きいことを理解する。	望ましい学級集団を形成するために教師が気を付けるべきことについて、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.156-172を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第10回	自己とパーソナリティ 自分という認識がどう発達するのか。 パーソナリティの基本的な考え方。 自己理解のための心理検査。	自己に関する理解について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.174-188を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第11回	学校不適応および障がいの理解 学校における適応と不適応、さらに発達障がいの種類や特徴の理解について取り上げる。	児童生徒のつまずきやすさについて、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.189-206を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第12回	模擬授業①	授業づくりの留意点を押さえて、「教えること」をシュミレートする模擬授業を行う。ほかの履修者は、授業担当者にフィードバックする。この経験を教育実習の参考として役立てられるようにする。	予習90分：模擬講義資料作り。 復習90分：模擬講義ふり返り。
第13回	模擬授業②	授業づくりの留意点を押さえて、「教えること」をシュミレートする模擬授業を行う。ほかの履修者は、授業担当者にフィードバックする。この経験を教育実習の参考として役立てられるようにする。	予習90分：模擬講義資料作り。 復習90分：模擬講義ふり返り。
		授業づくりの留意点を押さえて、「教えること」をシュミレートする模擬授	予習90分：模擬講義資

第14回	模擬授業③	業を行う。ほかの履修者は、授業担当者にフィードバックする。この経験を教育実習の参考として役立てられるようにする。	料作り。 復習90分：模擬講義ふり返り。
第15回	授業のまとめ 確認テスト	まとめ（模擬授業の振り返り）。	予習90分：これまでの小テストを見返す。 復習90分：模擬授業の振り返りを生かした授業案を作成してみる。

教科書

桜井茂男監修 『実践につながる教育心理学』 北樹出版

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
確認テスト（最終授業で毎回の授業で行う小テストから40問を出題）40%、
レポート・課題30%、
授業への積極性・態度30% を総合して評価します。

課題等に対する
フィードバックの方法

レポートは返却するので学習の参考にすること。小テストの答えは授業の始めに提示するので、必ず解答しておくこと。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します。予習として各回の主題に該当する教科書の章に目を通すこと、復習として配布資料・ノートのまとめを復習として勧めます。

オフィス・アワー

水曜日・木曜日、12：30〜13：20（昼休み）、11 号館第 8 研究室。
※講義終了前後にも、適宜受け付けます。

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-F421

講義コード	11120001
講義名	教育課程論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	４時限
必修/選択	自由
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし

授業の概要と教育目標

学校教育が所期の目的をより効果的に達成しようとする観点から、まず、教育課程の意義、構造、機能、歴史といった基本的な事項について学ぶ。次いで、学習指導要領を用いて、学校や地域、子どもの実情を踏まえたカリキュラムマネジメントの実際、評価の観点、教育計画と教育方法との接続について体験的学習を交えながら、理解を深めていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部のディプロマ・ポリシーのひとつである「人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から理解している」ことを第一に内容を精選する。人は年齢を重ねただけでは大人にはなれない。人は人のなかで人になっていく。その人のなかでも、学校は児童生徒の発達段階に則して、その成長を支え見守り励ますという重要な機能と役割をもっている。そうした学校教育の背景にあるカリキュラム理論を理解し、教育の意義及び役割を学ぶ。また、受講者が自分自身の適正について熟考し、進路を考える。

到達目標

学校教育における教育課程の意義と構造・機能を理解し、編成に関する基本的な事項についての説明できる。また、学習指導要領を教育課程編成の基準としながら、各学校の実情に合ったカリキュラムマネジメントを行うことにより、社会に開かれた教育課程を実現していく意義と具体的な手立てについて説明できるようになる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	学校の性質と教育内容の組織化、教育課程の意義	グループによる討議	復習180分:レポート作成「教師志望の動機」作成
第2回	教育課程の定義、学習内容観と教育課程のタイプ	グループによる討議	予習90分:第1回配付資料の通読 復習90分:『子ど

			も・若者白書』指定個所を読む
第3回	哲学的条件、社会学的条件、心理学的条件、教育学的条件		予習90分:課題図書を読み課題文書作成 復習90分:教科書の指定個所を読む
第4回	社会の発展段階と教育課程の特徴		予習90分:教育基本法通読 復習90分:教基法確認テストに向けた学習
第5回	「知識基盤社会」の「人間化」された「社会に開かれた教育課程」		予習90分:配布課題図書を読む 復習90分:配布課題図書を読む
第6回	発達段階への対応、可塑性への働きかけ、社会化と教育内容		予習90分:調べ学習「指導要領の変遷」 復習90分:今次改定のポイントを学習
第7回	教科の構成、教育内容の精選と構造化、教科外の教育内容		予習90分:調べ学習「指導要領の変遷」 復習90分:今次改定のポイントを学習
第8回	単元の意義、教材単元と経験単元、単元の構成と教材の準備		予習90分:調べ学習「指導要領の変遷」 復習90分:今次改定のポイントを学習
第9回	全体的教育課程と個別的教育課程、教育課程編成に関する法令等		予習90分:調べ学習「指導要領の変遷」 復習90分:今次改定のポイントを学習
第10回	教育課程編成の基本的観点、内容の重点化と構造化		予習90分:調べ学習（学校「年間指導計画」） 復習90分:配布資料の再読
第11回	定量化の必要性と観点、配当時間との関係		予習90分:配付資料「評価」を読む 復習90分:「指導と評価の計画」の作成
第12回	年間計画と時間割・日課表、教材・教具との関係	グループに分かれ、作業を分担し年間指導計画を作成し、校務分掌表を作成する。	予習90分:「総合的な学習の時間」の指導案作成 復習90分:「総合的な学習の時間」の指導案修正
			予習90分:「道徳の

第13回	評価の視点と方法、教育課程の接続と改善		時間」の指導案作成 復習90分:「道徳の時間」の指導案修正
第14回	現代社会に対する学習指導要領の戦略		予習90分:「特別活動」の指導案作成 復習90分:「特別活動」の指導案修正
第15回	基準性と個別性の観点から振り返り		予習90分:作文「教師とは学校とは教育とは」 復習90分:総復習

教科書

平成29年3月31日公示小学校学習指導要領、中学校学習指導要領 ※必要に応じて印刷して、配布する。

参考書

広岡義之著『はじめて学ぶ教育課程』ミネルヴァ書房 2016年
無藤 隆著『新しい教育課程におけるｱｸﾃｨﾌﾞな学びと教師力・学校力』図書文化社 2017年

成績評価の方法・基準

定期試験50%、授業末に実施する小テストや課題提出物等50%の割合で総合評価し、60点以上合格。

課題等に対する
フィードバックの方法

発表内容について意見交換を行う。このアクティブ・ラーニングへの取り組み姿勢とその内容を評価に加える。提出された課題文章はすべて添削し、文章作成能力の向上を図る。仲間と協働することの意義と楽しさを体得させる。

履修のポイント

大学は教育・研究機関である。自ら課題を発見し、その課題にどの様に取り組み、そして解決するかを学びとることにこそ大学での学びである。「仲間とともに、積極的に」という姿勢を自ら育てていくこと。

オフィス・アワー

講義時間の前後の時間及び休み時間

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-F430

講義コード	11130001
講義名	教育方法論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	自由
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 宮内 洋	指定なし

授業の概要と教育目標

本科目では、これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、 情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。

具体的には、教育方法の基礎理論、授業の構成要素、学習評価、基礎的な技術、指導案の作成ポイント及び模擬授業を行う。そして、情報機器を活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身につける。これらの講義を通して、よりよい授業を工夫できる基礎の修得を目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本科目は、国際化・情報化の社会変化において、人間の成長に携わる教職の科目である。看護学科のディプロマポリシー「人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から理解している」に関連している。
教えるということは、学び手がどのような状況にあるか、という理解が不可欠である。そして、人としてどう成長することが望ましいのか、という問いと関連する。

到達目標

①これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解している。
②教育の目的に適した指導技術を理解し、身に付けている。
③情報機器を活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身に付けている。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	・講義内容について説明を受け、学習目標を確認する。	・これまで受け	・予習：シラバスを通読し授業内容を知る。これまで受けて

第1回	・これまで受けてきた授業について情報交換し、よりよい授業について考える。 ・現在求められているアクティブ・ラーニングについて知る。	てきた授業について、ディスカッションを行う。	きた授業について振り返る。（80分） ・復習：授業内容をノートにまとめる。（80分）
第2回	・子どもから学びが始まる、という教育観に立った先人たちの提案した教育方法の考え方とその実践について学ぶ。具体的には、ルソーの消極的な教育、ペスタロッチの直観教授法、デューイの問題解決学習である。	・	・予習：配布資料を読んで、内容を確認する。（80分） ・復習：授業内容をノートにまとめる。（80分）
第3回	・前回の授業内容から、授業には多様な要素があることを見出し、授業の目的に応じて環境を構成する必要性を学ぶ。	・授業の構成要素について、ディスカッションを行う。	・予習：配布資料を読んで、内容を確認する。（80分） ・復習：授業内容をノートにまとめる。（80分）
第4回	・授業形態に応じた多様な評価について、基礎理論に立ち返りつつ、何をどのように評価を行うのかを学ぶ。 ・模擬授業の内容をグループで話し合う。	・模擬授業について、ディスカッションを行う。	・予習：配布資料を読んで、内容を確認する。（80分） ・復習：模擬授業に向けて準備を進める（90分）
第5回	・基礎理論を踏まえて、指導案を作成する。 ・指導案の作成の仕方について、学習指導要領の総則に則り、具体的に学ぶ。 ・協力して指導案を作成する。	・模擬授業について、ディスカッションを行う。	・予習：模擬授業の準備を進める（90分） ・復習：模擬授業に向けて準備を進める（80分)
第6回	・話し方、板書の仕方等に留意し、作成した指導案を試してみる。 ・より善い授業についてディスカッションを行う。	・より善い授業についてディスカッションを行う。	・予習：模擬授業の準備を進める（80分） ・復習：これまでの学修を振返り、レポートにまとめる。（80分）
第7回	情報機器とネットの活用	情報機器を活用して効果的に教材等を作成・提示する方法とその注意点を学ぶ。	予習：情報機器の練習（80分） 復習：授業の振り返り（85分）
第8回	情報機器とネットの問題点	児童・生徒の情報活用能力（情報モラルを含む）を育成するための指導法を学ぶ。	予習：情報機器の練習（80分） 復習：授業の振り返り（85分）

教科書

中学校学習指導要領総則（平成29年3月告示 文部科学省）

参考書

今度珠美ほか『スマホ世代の子どものための主体的・対話的で深い学びにむかう情報モラルの授

業』日本標準
その他、授業で適宜資料を配布する。

成績評価の方法・基準
授業時間内の発表や模擬授業等や提出された課題によって総合的に評価する。
履修のポイント
小学校以降受けてきた授業を振り返り、よりよい授業とは何かという問いをもつこと。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じます。
科目区分
教職科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-F440

講義コード	11150001
講義名	生徒指導論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	5時限
必修/選択	自由
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし

授業の概要と教育目標

①教科・道徳・総合的な学習の時間・特別活動における生徒指導の意義や重要性を理解すると同時に、教育課程全般のなかでの生徒指導の位置づけを理解する。
②集団指導・個別指導また「個人と集団」という概念のもとで、生徒指導について考える。
③子どもの成長発達の段階を踏まえながら、基本的生活習慣や規範意識の重要性について考える（養護教諭・栄養教諭の立場から）。
④学校教育における体罰、いじめ、不登校、インターネットや性、また児童虐待に関する問題などを具体的に取り上げながら、これらへの対応について考える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

生徒指導は、一人ひとりの児童及び生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じて行われる、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付ける。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	「生徒指導とは何か？」について、これまで受けてきた学校教育の記憶やイメージをたどりながら、教育課程のなかでのその位置付けについて理解する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
			予習90分：教育に

第2回	生徒指導の経験的なイメージを踏まえながら、教育活動の二つの形態（教授と陶冶）について考える。		関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第3回	学校教育また学校生活の具体的な場面をイメージしながら、生徒指導の有り様について考える。― 視聴覚教材を用いる ―		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第4回	特別活動・総合的な学習の時間における生徒指導の様態について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第5回	児童生徒の問題行動に対する生徒指導の対応の仕方ついて学び、考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第6回	学校教育・部活動でなくならない体罰の実態について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第7回	校則及び不登校（引きこもり）について考える。	校則及び不登校（引きこもり）について考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第8回	「いじめ（いじめ自殺）」の視聴覚教材をみて、感想・意見をレポートする。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第9回	第８回での感想・意見をもとに、「いじめ」問題についての理解を相互に深める。	第８回での感想・意見をもとに、「いじめ」問題についての理解を相互に深める。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第10回	児童生徒を取り巻くインターネットや性に関する問題について考える。	児童生徒を取り巻くインターネットや性に関する問題について考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第11回	養護教諭・栄養教諭を前提として、基礎的生活習慣の確立や規範意識の醸成に向けた生徒指導について考える。― 朝食欠食問題・不規則な生活習慣などを事例に ―		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第12回	養護教諭・栄養教諭が担任教諭との協力で進める生徒指導について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

第13回	クラスでの生徒指導に関するケース・スタディとグループディスカッション。	クラスでの生徒指導に関するケース・スタディとグループディスカッション。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第14回	第13回でのディスカッションをもとに、プレゼンテーションと相互検討。	第13回でのディスカッションをもとに、プレゼンテーションと相互検討。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第15回	学校教育における生徒指導に関する総合的な理解を深める。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

教科書

なし

参考書

『生徒指導提要』（令和４年）『小学校学習指導要領』（平成29年）
『中学校学習指導要領』（平成29年）
岩城隆次・森嶋昭伸編著『生徒指導の新展開』ミネルヴァ書房

成績評価の方法・基準

定期試験（80%）、授業時のレポート（20%）
単位認定基準60%以上

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので、授業の振り返りとして役立てること。

履修のポイント

主体的、対話的で深い学びを期待します。

オフィス・アワー

火曜日・木曜日の12：30〜13：20（昼休み） 11号館第7研究室
※授業終了後も、適宜受け付けます。

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-F441

講義コード	11160001
講義名	特別支援教育論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	自由
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	中学校特別支援学級担任教諭としての指導経験を活かして実践力を育成する授業を展開する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 小林 徹	指定なし

授業の概要と教育目標

担当者の中学校特別支援学級担任教諭としての指導経験や市町村教育支援委員としての幼稚園・保育所等との連携の経験に基づき、研究成果も踏まえて以下の内容を講義する。
１．特別支援教育を支える理念や歴史的変遷について理解する。
２．特別支援教育の場（機関）と制度の現状をとらえる。
３．さまざまな障がいと障がい児、特別な配慮を要する子どもの理解の視点と方法について理解する。
４．障がい児等の個別支援計画の作成、評価について理解する。
５．特別支援教育の実際について理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連としては、多様な価値観を認め、障がい児者を価値ある存在として認めた上で、科学的な根拠に基づいた知識・技術の修得を目ざす。
また、特別支援教育の理解を通して、さまざまな人々の多様性を尊重し、多職種との連携・協働によって実現する発達課題・健康レベルに応じた支援技術の修得を目ざす。

到達目標

１．履修学生が特別支援教育の理念や制度、その歴史や支援機関の現状について説明できる。
２．履修学生が障がい児や特別な配慮を要する子どもの個別指導（支援）計画を作成し、評価することができる。
３．履修学生がさまざまな障がいと障がい児や特別な配慮を要する子どもを支援するための視点と方法について説明できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	小林	「特別支援教育の考え方、制度と仕組み」 障がい児、特別な配慮を要する子ども、特別支援教育の基礎概念、特別支援教育		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと

	徹	と障がい児福祉の制度とその仕組みについて学習する。		質問シートを作成する。
第2回	小林徹	「障がいとの出合いと子育て、保護者支援」 保護者と障がいとの出合いと保護者支援、障がいのある子どもの子育ての考え方と療育の実際を映像を通して学習する。		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第3回	小林徹	「障がい児の理解と支援①発達障がい・知的障がい・情緒障がい」 映像を通して発達障がい、知的障がい、情緒障がいに関する基礎的概念を整理し、その支援方法を考える。		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第4回	小林徹	「障がい児の理解と支援②肢体不自由・視覚障がい・聴覚障がい・言語障がい」 肢体不自由・視覚障がい・聴覚障がい・言語障がいに関する基礎的概念を整理し、その支援方法を考える。		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第5回	小林徹	「障がい児の理解と支援③病弱・重複障がい・その他の特別な教育的ニーズ」 病弱・重複障がいに関する基礎的概念を整理し、その支援方法を考える。また、障がいはないが、特別な教育的ニーズをもつ子どもについて学び、その支援方法を考える。		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第6回	小林徹	「他機関との連携、幼保小中高の接続」 障がい児支援に関わるさまざまな工夫について紹介し、理解を深める。また、幼保小中高の接続を含めたさまざまな機関との連携について学習する。		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第7回	小林徹	「個別の教育支援計画と個別の指導計画の作成と活用」 子どもの有する特別な教育的ニーズをどのように見出し、理解するかを個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成を通して学習する。また、作成した計画をもとにして具体的な支援を考察する。	特別な教育的ニーズを有する児童の個別の指導計画を作成し、発表する。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第8回	小林徹	「特別支援教育のこれまでとこれから」 特別支援教育の歴史的変遷について学習する。そして、今後のインクルーシブ教育システムの構築に向けた考察を行う。		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。

教科書

小林徹・栗山宣夫編著『ライフステージを見通した障害児保育と特別支援教育』みらい,2020

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。 試験（35%）、毎回提出する小レポート（50%）、最終レポート（15%）
課題等に対する フィードバックの方法
レポートについては内容をチェックして授業内でフィードバックする。
履修のポイント
障がいや障がい児について関心をもち、学習を深めてほしい。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じる。
科目区分
教職科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-F422

講義コード	11170001
講義名	道徳理論・特別活動論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	５時限
必修/選択	自由
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし

授業の概要と教育目標

教育課程における道徳教育と特別活動の位置について理解することを第一義的に行う。その上で、道徳教育と特別活動を一応区分した上で、それぞれについてグループ討議を行う。また、視聴覚教材を見て道徳の授業について理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

教育課程における道徳教育と特別活動の位置について理解すると同時に、今日の子どもたちが置かれた状況を踏まえて、どのような道徳教育と特別活動が求められるかについて考えることを目標とする。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	教育課程のうえで、道徳教育・特別活動について理解する。また、日本の近代教育における道徳教育と特別活動について学習し、考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第2回	学校教育の教育活動の二つの形態（教授と陶冶）について学習する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第3回	学習指導要領と道徳教育・道徳科・特別活動について学習する。	小・中学校時代に受けてきた道徳の授業、特別活動を振り返る。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

第4回	道徳の授業についての視聴覚教材を見て、批判的な検討・学習を行う。＜アクティブ・ラーニング＞	視聴覚教材の内容について、ディスカッションを行う。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第5回	学級活動、児童会活動及び生徒会活動、学校行事について学習する。	。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す
第6回	「食と命」をテーマとした指導案を、グループごとに作成する。 ＜アクティブ・ラーニング＞	グループごとに指導案を作成する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第7回	第６回で作成した指導案を報告して、相互検討を行う。 ＜アクティブ・ラーニング＞	報告された指導案を相互に検討する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第8回	道徳教育と特別活動の現状と展望についてのまとめを行う。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

教科書

なし

参考書

『小学校学習指導要領』『中学校学習指導要領』『道徳の教科書』

成績評価の方法・基準

定期試験（80%）、授業時のレポート（20%）
単位認定基準60%以上

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内でレポートを課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業内での自分自身の発言の参考にすること。

履修のポイント

主体的、対話的で深い学びを期待します。

オフィス・アワー

火曜日・木曜日の12：30～13：20（昼休み） 11号館第7研究室
※授業終了後も、適宜受け付けます。

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-F470

講義コード	11180001
講義名	総合的な学習の時間の指導法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	自由
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 櫻井 歓	指定なし

授業の概要と教育目標

授業の概要と目標：「総合的な学習の時間」の概要や指導方法について扱う。探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行う「総合的な学習の時間」の意義、目標および内容を理解するとともに、その指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を身に付けることを到達目標とする。「学習指導要領」や具体的な教育実践例の研究などを通じて、今日的な教育課題を踏まえた創造的な教育実践を可能とする指導法の基礎を養う。
授業の方法：担当教員による講義と、アクティブ・ラーニングとしての小グループによる意見交換、指導計画のグループ発表などを有機的に組み合わせ、効果的に授業を行う。授業を対話的に展開するため、各回授業時に小レポートを書いてもらい、次の回で何人分かを紹介しコメントする。
準備学習の内容：本科目では、授業への参加は言うまでもなく、授業外での準備学習が重要となる。各回の授業の復習のほか、配布プリントの予習、さらにレポート作成の課題などについては、受講者各自による授業外での主体的な取り組みが求められる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

以下に掲げる本学看護学科のディプロマ・ポリシーのもと培われる看護職の専門性と、教職課程で培われる教職の専門性をあわせ持って、学生の個性・適性に応じて社会で活躍することのできる専門家・市民の育成を目指す。
【看護学科】
1. 人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から理解している。
2. 看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について、理解している。さらに、医療者として必要な倫理、守るべき法令を理解し、それに沿って行動できる。
3. 看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を修得し、実践的な援助技術を修得している。
4. 看護学を系統的に理解し、看護の基礎や健康問題別発達段階別看護で学んだ知識と技術を統合することができる。また、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題を解決する能力を修得している。

到達目標

上記「授業の概要と教育目標」欄に記載した内容のうち、次のことが到達目標となる。「探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行う「総合的な学習の時間」の意義、目標および内容を理解するとともに、その指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を身に付けること」。このことを学生視点の到達目標として簡潔に表現すれば以下の通りである。
(1)「総合的な学習の時間」の意義・目標・内容について説明することができる。
(2)「総合的な学習の時間」の指導・評価に関するレポートを作成し、効果的なグループ発表とそのふり返りができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	櫻井歓	授業内容：開講にあたって（ガイダンス、受講者の「総合的な学習の時間」体験のふり返り） 方法：講義とアクティブラーニング 課題：本科目の授業について見通しをもつとともに、学生自身の「総合的な学習の時間」体験についてふり返る	小グループによる「総合的な学習の時間」体験のふり返り、小レポートの作成	復習：授業プリント・ノートの読み直し、時事的な教育問題の情報収集（新聞、テレビ、インターネットなどのメディアを活用）（予習・復習を含めて180分程度）
第2回	櫻井歓	授業内容：教育課程における総合的な学習の時間の意義と役割 方法：講義とアクティブラーニング 課題：総合的な学習の時間の意義と役割について知識を得る	小グループによる意見交換、小レポートの作成とフィードバック	予習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集（新聞、テレビ、インターネットなどのメディアを活用） 復習：授業プリント・ノートの読み直し、授業に関連する読書（予習・復習を含めて180分程度）
第3回	櫻井歓	授業内容：「学習指導要領」にみる総合的な学習の時間 方法：講義とアクティブラーニング 課題：「学習指導要領」にみる総合的な学習の時間に関する記述について知識を得る	小グループによる意見交換、小レポートの作成とフィードバック	予習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集、中間レポートの作成準備 復習：授業プリント・ノートの読み直し、授業に関連する読書（予習・復習を含めて180分程度）
第4回	櫻井歓	授業内容：総合的な学習の時間の指導（１）主体的・対話的で深い学び 方法：講義とアクティブラーニング 課題：近年の教育改革のキーワードとされている「主体的・対話的で深い学び」について知識を得る	小グループによる意見交換、小レポートの作成とフィードバック	予習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集、中間レポートの作成・提出準備 復習：授業プリント・ノートの読み直し、授業に関連する読書（予習・復習を含めて180分程度）
		授業内容：総合的な学習の時間の指導（２）		

第5回	櫻井歓	各教科などとの発展的な関連性 方法：講義とアクティブラーニング 課題：(a)総合的な学習の時間と各教科などとの関連性について知識を得る、(b)中間レポートを提出する	小グループによる意見交換、小レポートの作成とフィードバック	予習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集 復習：授業プリント・ノートの読み直し、授業に関連する読書（予習・復習を含めて180分程度）
第6回	櫻井歓	授業内容：総合的な学習の時間の指導（３）年間指導計画と単元計画 方法：講義とアクティブラーニング 課題：総合的な学習の時間の年間指導計画と単元計画について知識を得る	小グループによる意見交換、小レポートの作成とフィードバック	予習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集 復習：授業プリント・ノートの読み直し、授業に関連する読書（予習・復習を含めて180分程度）
第7回	櫻井歓	授業内容：総合的な学習の時間の指導（４）教育実践例の研究 方法：講義とアクティブラーニング 課題：(a)総合的な学習の時間の教育実践例について知る、(b)中間レポートに基づく指導計画をグループで発表する	小グループによる意見交換、小レポートの作成とフィードバック、グループワークによる指導計画の発表	予習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集、指導計画の発表準備 復習：授業プリント・ノートの読み直し、授業に関連する読書（予習・復習を含めて180分程度）
第8回	櫻井歓	授業内容：総合的な学習の時間の評価、授業のまとめと筆記試験 方法：講義とアクティブラーニング 課題：(a)総合的な学習の時間の評価について知識を得る、(b)最終回の授業時間の一部で筆記試験を受験する	小レポートのフィードバック、小グループでの感想交流	予習・復習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集、これまでの授業内容を復習して筆記試験への準備を行う（予習・復習を含めて180分程度）

教科書

池田考司・杉浦真理・教育科学研究会[編著]『みんなでつくろう！ SDGs授業プラン』（旬報社、2022年）

参考書

「中学校学習指導要領」（文部科学省、平成29年3月）
「高等学校学習指導要領」（文部科学省、平成30年3月）
「中学校学習指導要領解説」特別活動編、総合的な学習の時間編（平成29年7月 文部科学省）
「高等学校学習指導要領解説」特別活動編、総合的な探究の時間編（平成30年7月 文部科学省）
関川悦雄・今泉朝雄[編]『特別活動・総合的学習の理論と指導法』（弘文堂、2019年）
高橋陽一[編]『総合学習とアート』（武蔵野美術大学出版局、2019年）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。授業への出席を前提条件として、中間レポート（40%）と筆記試験（60%）により評価する。なお、授業への積極的な取り組み（指導計画の発表など）を加味する

場合がある。

課題等に対する
フィードバックの方法

(a) 授業を対話的に展開するため、各回授業時に小レポートを書いてもらい、次の回で何人分かを紹介しコメントする。
(b) 各自で作成した中間レポートをもとにグループで総合的な学習の時間の指導計画を作成し、発表会を行う。担当教員より指導計画のグループ発表について講評を行う。

履修のポイント

専門職としての教職の資格取得のための科目であるため、単位認定は厳格に行う。学生諸君には教員免許状取得に向けての意欲と覚悟を持って受講していただきたい。

オフィス・アワー

授業終了後に教室にて質問・相談などを受け付ける。

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-F471

講義コード	11190001
講義名	教育相談論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	４時限
必修/選択	自由
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	教育センター教育相談部やスクールカウンセラーの経験を活かし、教育相談に臨むにあたって必要な姿勢や在り方を解説する
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

児童・生徒の発達の状況等一般的理解の意義と手法を学びながら、個々の心理的特質や教育的課題を捉える個別的理解について学習する。その際、教育相談の技術として、カウンセリングに関する基礎的事柄についても、体験的な学びを交えながら理解を深めていく。また、教育相談の組織的な取組や連携についても、職種や分掌を意識した校内体制の在り方を理解するとともに、保護者に対する教育相談や、必要に応じた地域の医療・福祉・心理等の専門機関との連携の意義を理解していく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマポリシーにおいて重視されている「人間の理解」との関係で、教育相談の必要性を理解し、基礎的知識を得るとともに、実践する際の基礎力を身に付けます。

到達目標

１）学校における教育相談の意義と理論を理解する。
２）教育相談を進める際に必要な基礎的知識（カウンセリングに関する基礎的事柄を含む）を理解する。
３）教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	大澤靖彦	オリエンテーション 日本における教育相談の歴史を踏まえ、教育相談とは何か（目的、開発的・予防的・治療的側面）について理解する。	教育相談がどのように行われているのかについて、グループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：教科書を準備し、授業に備える。 復習90分：小テストに解答する。教科書p2～7と配布資料を熟読し、教育相談の意義と役割についてノートに整理する。
				予習90分：教科

第2回	大澤靖彦	教育相談の実際（教育相談と近接概念、教師の強みと限界） 教師の行う相談活動について、学校現場の様子を理解しながら、教師だからこそできる相談について考究する。	教師の強みとは何かについてグループで話し合い自分の考えを深める。	書pp.176～185を読み、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。カウンセラーではなく、教師だからこそできる相談の長所・短所をノートに整理するとともにレポートに着手する。
第3回	大澤靖彦	アセスメント（情報収集の方法、援助シート、心理検査） 子どもの援助のためにはアセスメントは重要である。アセスメントの一部である心理テストについても理解する。	児童生徒の支援にはどのような情報が必要なのかについてグループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：教科書p90～100を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。さまざまなテストの特徴について覚え、過去問を解く。
第4回	大澤靖彦	カウンセリングに学ぶ相談の基本姿勢１（来談者中心療法） 教育相談における受容と共感がなぜ大切なのか、叱ることの意味について考究し、カウンセリングマインドとは何かについて理解する。	児童生徒が相談しやすくするために教師はどのような配慮が必要かについてグループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：教科書pp.13～21を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。学校カウンセリングのベースとなるロジャーズの考え方をおさえたうえで、カウンセリングマインドについて理解する。
第5回	大澤靖彦	カウンセリングに学ぶ相談の基本姿勢２（精神分析、行動療法） 学習理論に基づく人間の行動の理解と行動変容の考え方を理解する。	児童生徒理解のために心理療法や理論の知恵をどう活かすかについてグループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：1年時の「心理学」で学んだ「学習」についてポイントを整理しておく。 復習90分：小テストに解答する。日常生活の中にある学習した困ったことについてどのようなものがあるか考え、ノートに書き出す。
第6回	大澤靖彦	カウンセリングに学ぶ相談の基本姿勢３（認知行動療法、家族へのアプローチ、日本で生まれた心理療法）	児童生徒理解のために心理療法や理論の知恵をどう活かすかについてグループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：教科書p38～40（認知療法）を熟読し、重要箇所をノートにまとめる。 復習90分：小テストに解答する。教科書pp.38～40（認知療法）を熟読し、重要箇所をノートにまとめる。
第7回	大澤靖彦	面接技法（受容、繰り返し、明確化、支持、沈黙、質問） 面接における基本的な技法を習得することを目指すが、日常の会話や授業でも使えるようにする。	児童生徒が安心して話ができるように教師が配慮すべきことについて、グループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：自分にとって、安心して話ができる場面とはどのような場面か考え、ノートにまとめてくる。 復習90分：小テストに解答する。面接の基本的技法を日常生活で使用して、改善点や感想を書き出す。
				予習90分：前回の授業のプリントを参考に面接のロー

第8回	大澤靖彦	ロールプレイ 基本的な応答を使ったロールプレイを行い、面接の基本を習得する。	ロールプレイを通して、面接の基本的技法を習得する。	ルプレイができるように準備してくる。 復習90分：小テストに解答する。日常生活で学んだことを試してみて、自分の応答のクセや改善点について考える。
第9回	大澤靖彦	発達段階の理解（発達段階、発達課題、愛着との関連） 発達段階とその段階に特徴的にみられる問題について理解する。	発達加速現象により、子ども時代が短くなることによって、子ども発達にどのような影響があるのかについて意見交換する。	予習90分：教科書p57～68を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。1年時の「心理学」で学んだ「発達」についてポイントを押さえておく。 復習90分：小テストに解答する。発達にかかわるさまざまな問題についてノートにまとめる。
第10回	大澤靖彦	障害の理解（発達障害、不安障害等） 勉強についていけない子、友だちとうまくやれない子の背景について考えるとともに、その顕著な例としての発達障害について理解を深める。	学習障害の疑似体験を通して、児童生徒理解を深める。	予習90分：教科書p69～78を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。発達障害の特徴について整理してノートにまとめる。
第11回	大澤靖彦	不登校の理解と対応 学校へ行けない子の背景について考えるとともに、不登校への対応について考える。	不登校という現象を通して児童生徒理解を深める。	予習90分：教科書p112～124を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。不登校を予防するために教師はどのような配慮をすればよいのかについてノートにまとめる。
第12回	大澤靖彦	非行の理解と対応 非行にはしる子の背景について理解を深め、学校としてどのようなことができるかについて考える。さらに学級崩壊の背景を知ることで子ども理解を深める	なぜ非行に走るのかについてグループで話し合い児童生徒理解を深める。	予習90分：教科書p126～148を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。新聞等で少年犯罪についてのトピックスを拾い出し、考究し、ノートにまとめる。
第13回	大澤靖彦	いじめの理解と対応 ／ 教育相談における保護者への支援 いじめのメカニズムを理解することで現代の子どもの理解を深めるとともにその対応について考究する。	いじめがおこる背景についてグループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：教科書pp.149～162を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。いじめを予防するためには教師はどのような配慮すればよいのかについてノートにまとめる。
	大澤	被虐待児の理解と対応 ／ チーム支援 被虐待児の特徴を理解し、	なぜ虐待が起こるのかについてグループ	予習90分：なぜ虐待が起こるのか自分なりに仮説を立ててみる。

第14回	靖彦	点（一人の教師）ではなく面（チーム）で支えることについて考究する。	で話し合い自分の考えを深める。	復習90分：攻撃性のコントロールができない被虐待児への対応について整理する。
第15回	大澤靖彦	まとめ ／ 教師のメンタルヘルス		予習90分：14回までの小テストに目を通して確認テストの準備をする。 復習90分：小テストに解答する。教師のメンタルヘルスを維持し向上させるためには何が必要なのかについてノートに整理する。

教科書

石川正一郎・藤井泰 編 『エッセンス学校教育相談心理学』北大路書房 2010年

参考書

文部科学省『生徒指導提要』2010年

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
授業への積極的参加30%、レポート課題30%、確認テスト40%の割合で総合評価

課題等に対する
フィードバックの方法

レポートは返却するので学習の参考にすること。
小テストの答えは授業の始めに提示するので、必ず解答しておくこと。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します。予習として各回の主題に該当する教科書の章に目を通すこと、復習として配布資料・ノートのまとめを復習として勧めます。

オフィス・アワー

水曜日・木曜日、12：30〜13：20（昼休み）、11 号館第 8 研究室。
※講義終了前後にも、適宜受け付けます。

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-F472

講義コード	11200001
講義名	教職実践演習（養護教諭）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
必修/選択	自由
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	公立学校において教員として学校保健活動の推進に従事した経験を活かし、事例を取り入れながら、学校現場の今を捉え、児童生徒の多様な健康課題と支援について理解を深めていく授業を行う。
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 間戸 美恵	指定なし
教員	大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

【授業の概要】第1回目に、養護担当教員と教職担当教員によるオリエンテーションを行う。また、各自の課題把握状況と授業に対する希望調査を行う。その後、希望調査の結果を踏まえた授業内容で課題を改善する。後半では、保健教育に関して各自のテーマで調べ学習を行い、模擬授業形式で発表し、自他の評価を行い学習成果の共有を図る。
【教育目標】
・これまでの学びを通じて、養護教諭として最小限必要な資質能力が有機的に統合され形成されたかについて確認する。
・教師になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、不足している知識や技能等を補う。
・子ども・保護者・教師が期待する養護教諭像を知り、自らが目指す養護教諭像を考える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本科目は、看護並びに学校保健の専門領域における知識と技術の統合、問題を解決する能力を修得することを目指すものである。

到達目標

1. 教育実習評価、実習日誌、履修カルテ等により自己の課題を捉えることができる。
2. 把握した自己の課題を改善すべく、不足している知識を学修し、技能を身に付ける。
3. 子ども・保護者・教師が期待する養護教諭像を知り、自らが目指す養護教諭像を描くことができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	間			予習（90分）：実

第1回	戸美恵大澤靖彦	オリエンテーション 学びの希望調査	教職ポートフォリオを活用した自己の課題把握と学びの希望調査シートの作成	習記録簿等よりこれまでの学修を振り返る 復習（90分）：配布資料等の見直し
第2回	間戸美恵	現職経験者による講話(1)（養護教諭の職務について）	ワークシートの活用 グループワーク	予習（90分）：実習記録簿等よりこれまでの学修を振り返る 復習（90分）：配布資料等の見直し
第3回	大澤靖彦	＜希望調査をふまえたテーマによる講義と演習＞ 対象理解について①（学校で比較的よくみられる事象について、発達的視点だけでなく多面的にとらえる姿勢を身につける）	グループ・ディスカッションを通じて、児童生徒の行動特徴を発達課題だけに留まらず、生物・心理・社会の視点から多面的に理解する。	予習（90分）：参考書や資料で事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第4回	大澤靖彦	＜希望調査をふまえたテーマによる講義と演習＞ 対象理解について②（学校で比較的よくみられる事象について、発達的視点だけでなく多面的にとらえる姿勢を身につける）	グループ・ディスカッションを通じて、児童生徒の行動特徴を発達課題だけに留まらず、生物・心理・社会の視点から多面的に理解する。	予習（90分）：参考書や資料で事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第5回	間戸美恵	＜希望調査をふまえたテーマによる講義と演習＞ 保健教材の効果的な活用方法(1) 模擬授業の準備	調べ学習（指導案の作成と教材作り等の模擬授業の準備を進める）	予習（90分）：参考書や資料で事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第6回	間戸美恵	＜希望調査をふまえたテーマによる講義と演習＞ 保健教材の効果的な活用方法(2) 模擬授業の準備	調べ学習（指導案の作成と教材作り等の模擬授業の準備を進める）	予習（90分）：参考書や資料で事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
	大	＜希望調査をふまえたテーマによる講義と演習	発達障害と不登校における具体的な事象についてグループ・ディスカッ	予習（90分）：参考書や資料で

第7回	澤靖彦	＞ 発達障害児と不登校児の理解とかかわり方①	ションを行い、児童生徒を多面的に理解する。さらに、対応策についても検討する。	事前学習 復習 （90分）：配布資料等の見直し
第8回	大澤靖彦	＜希望調査をふまえたテーマによる講義と演習＞ 発達障害児と不登校児の理解とかかわり方②	グループ･ディスカッション （発達障害と不登校における基本的理解と対応について検討する）	予習 （90分）：参考書や資料で事前学習 復習 （90分）：配布資料等の見直し
第9回	大澤靖彦	＜希望調査をふまえたテーマによる講義と演習＞ 被虐待児への理解とかかわり方	被虐待児への対応についてグループ･ディスカッションを行い、児童生徒を多面的に理解する。さらに、対応策についても検討する。	予習 （90分）：参考書や資料で事前学習 復習 （90分）：配布資料等の見直し
第10回	間戸美恵	現職経験者による講話(2)	ワークシートの活用 グループワーク、グループ･ディスカッション	予習 （90分）：参考書や資料で事前学習 復習 （90分）：配布資料等の見直し
第11回	間戸美恵	＜希望調査をふまえたテーマによる講義と演習＞ 保健室経営計画(1)	個人ワークとグループワーク （養護教諭の役割と保健室の機能を理解し、児童生徒の健康課題を捉えた保健室経営計画を作成する）	予習 （90分）：参考書や資料で事前学習 復習 （90分）：配布資料等の見直し
第12回	間戸美恵	＜希望調査をふまえたテーマによる講義と演習＞ 保健室経営計画(2)	個人ワークとグループワーク （養護教諭の役割と保健室の機能を理解し、児童生徒の健康課題を捉えた保健室経営計画を作成する）	予習 （90分）：参考書や資料で事前学習 復習 （90分）：配布資料等の見直し
第13回	間戸美恵	＜希望調査をふまえたテーマによる講義と演習＞ 学校における応急処置の実際について	グループワーク （学校で起こり得る傷病の応急処置について振り返り、手技を確認する）	予習 （90分）：参考書や資料で事前学習 復習 （90分）：配布資料等の見直し
	間戸			予習 （90分）：参

第14回	美恵大澤靖彦	模擬授業とグループワーク	模擬授業による発表 （調べ学習の成果を授業形式で発表し、グループワークで評価を行う）	考書や資料で事前学習 復習 （90分）：配布資料等の見直し
第15回	間戸美恵大澤靖彦	模擬授業とグループワーク、まとめ	模擬授業による発表 （調べ学習の成果を授業形式で発表し、グループワークで評価を行う）	復習 （180分）：課題レポートに取り組む

教科書

とくに指定しない。必要に応じて、プリント等を配布する。

参考書

「新版 学校保健－チームとしての学校で取り組むヘルスプロモーション－」東山書房
「新養護概説－第11版－」少年写真新聞社
「保健室経営計画作成の手引－平成26年度改訂－」日本学校保健会

成績評価の方法・基準

授業の取り組み（参加･貢献度）60％、レポート･課題40％とし、60点以上で単位認定とする。

課題等に対するフィードバックの方法

リアクションペーパーを適宜活用し、次回の講義時に解説するので、授業資料等も含めて振り返りをし、学習内容の理解に役立てること。

履修のポイント

・各自が自分の考えを積極的に発表し、共に学び合う場にしようと意識すること
・各自の課題意識に基づいた自律的な学びを行なうこと

オフィス・アワー

在室時に随時対応します。10号館第1研究室（間戸）
水曜日･金曜日12：30～13：20（昼休み）11号館第8研究室（大澤）

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-F480

講義コード	11210001
講義名	養護実習
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	実験・実習
基準単位数	4
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	自由
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	公立学校において教員として学校保健活動の推進に従事した経験を活かし、事例を取り入れながら、学校現場の今を捉え、児童生徒の多様な健康課題と支援について理解を深めていく授業を行う。
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 間戸 美恵	指定なし
教員	大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

本科目では、これまでに学習した学校保健や養護教諭の執務に関する知識や技術を、実際の教育現場において＜講話、観察、参加、実習＞により実践的に学ぶ。養護教諭の職務と役割や学校保健活動が、学校の教育活動の一環として展開されていることを理解し、養護教諭としての実践的基礎的な資質能力を養うことを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本科目は、看護並びに学校保健の専門領域における知識と技術の統合、問題を解決する能力を修得することを目指すものである。

到達目標

1．子どもの学校生活の実態を把握するとともに、健康問題を学校生活（学校環境を含む）とのかかわりから捉えることができる。
2．養護教諭が行う保健教育、保健管理、組織活動の実際に触れ、知識と実践を結び付けてより深く理解することができる。
3．子どもの健康問題にかかわる養護教諭と他教職員との連携の方法を具体的に理解する。
4．養護教諭に対する志向を高めるとともに、養護教諭になるための自らの課題について理解し、研鑽しようとする態度を養う。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	間戸美恵 大	＜第1週＞ 実習計画の細案の打合せ（講義、観察、参加、実習別） 情報収集と実習目標に向けた取	実習要項、実習記録簿、実習校の実習計画案を基に、内容に応じた時間で予習･復習を行う。

	澤靖彦	組み	
第2回	間戸美恵大澤靖彦	＜第2週＞ 情報収集と実習目標に向けた取組み 積極的に課題意識をもって実践する。	実習計画に沿って、振り返りと資料等の作成の準備を随時行う。
第3回	間戸美恵大澤靖彦	＜第3週＞ 実習の総括を行い、実習校及び大学へ提出する報告書を作成する。	実習計画に沿って、振り返りと資料等の作成の準備を随時行う。

教科書

「改訂養護実習ハンドブック」東山書房

参考書

「新版 学校保健ーチームとしての学校で取り組むヘルスプロモーションー」東山書房
「新養護概説ー第12版ー」少年写真新聞社
「児童生徒等の健康診断マニュアルー平成27年度改訂版ー」日本学校保健会

成績評価の方法・基準

実習校での評価50%、実習記録と実習期間の取り組み状況50%を目安に、大学教職課程委員会と協議し、総合判定とする。60点以上で単位認定とする。なお、再実習は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

実習期間中は毎日、実習内容の記録と自己の振り返りを行う。また、実習校の指導者との振り返りから予習や復習を行うとともに、指導案や資料作成について随時検討していく。日々の実習記録簿の提出を通して評価を受け、実習の効果を積み上げていくこと。

履修のポイント

実習校での積極的な取り組みや反省･評価を繰り返すことで成果が得られます。そのための事前準備が重要です。

オフィス・アワー

事前にアポイントを取りながら行う。10号館第1研究室（間戸）、11号館第8研究室（大澤）

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-F473

講義コード	11220001
講義名	教育実習事前事後指導
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	自由
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	公立学校において教員として学校保健活動の推進に従事した経験を活かし、事例を取り入れながら、学校現場の今を捉え、児童生徒の多様な健康課題と支援について理解を深めていく授業を行う。
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 間戸 美恵	指定なし
教員	大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

本科目は、養護教諭免許状の取得を目指す学生が、教育実習（養護実習）の事前にその意義と学校現場における学び方や、教育実習生としての立場と責任について学習する。また、既修の知識･技術と実習現場における実践との統合が効果的に行われるよう養護教諭の主要な執務を事前に演習等でおさえる。実習後には教育現場で体験した事柄を振り返り、事前事後を通して自己の課題解決に向けて取り組むことを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本科目は、看護並びに学校保健の専門領域における知識と技術の統合、問題を解決する能力を修得することを目指すものである。

到達目標

1．教育実習生としての立場や心構えについて理解し、実習校との事前打合せ等の必要な準備･手続きを主体的に行うことができる。
2．実習校の特徴や事前に知り得た児童生徒の実態、学校保健計画の内容等を踏まえて、本授業や自己学習に取り組み、実習に向けて知識･技術等の理解を深めることができる。
3．教育実習の事前事後を通して、自己の課題解決を目指して取り組むことができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	間戸美恵	＜オリエンテーション＞ 授業概要の説明 実習の意義や目的について実習要項をもとに説明 実習校との事前打合せについて	調べ学習 （ホームページ等から、実習校の概要についてまとめる）	予習（90分）：教科書第1章を事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し

第2回	間戸美恵	＜保健教育(1)＞ 児童生徒の現代的な健康課題を捉えてテーマを設定し、学級活動学習指導案を作成する。	調べ学習	予習（90分）：教科書第8章を事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第3回	間戸美恵	＜子どもの心身の健康管理のための活動(1)＞ 定期健康診断の事前指導･実施･事後指導について演習を行う。	ロールプレイング （児童生徒役、先生役になって実施）	予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第4回	間戸美恵	＜子どもの心身の健康管理のための活動(2)＞ 定期健康診断の事前指導･実施･事後指導について演習を行う。	ロールプレイング （児童生徒役、先生役になって実施）	予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第5回	間戸美恵	＜保健教育(2)＞ 保健だよりや掲示による啓発活動について学ぶ。	調べ学習（保健教育教材の作成）	予習（90分）：教科書第8章を事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第6回	間戸美恵	＜保健教育(3)＞ 模擬保健教育を行う ＜養護実習に向けて＞ 実習記録簿の書き方について 実習生として必要な心構えについて	ロールプレイング （児童生徒役、先生役になって実施） グループワーク、グループディスカッション	予習（90分）：実習要項と教科書第2章を事前学習 復習（90分）：実習記録簿、参考資料等の見直し
第7回	間戸美恵大澤靖彦	養護実習報告会と自己評価	プレゼンテーション （養護実習の成果と課題について発表する。発表後に自他の評価を行う）	予習（90分）：実習記録等を振り返り、資料作成等の事前準備を実施
第8回	間戸美恵大澤靖彦	養護実習報告会と自己評価	プレゼンテーション （養護実習の成果と課題について発表する。発表後に自他の評価を行う）	復習（135分）：課題レポートに取り組む。

教科書

「改訂養護実習ハンドブック」東山書房

参考書

「児童生徒等の健康診断マニュアルー平成27年度改訂版ー」日本学校保健会
「学校環境衛生管理マニュアルー平成30年度改訂版ー」文部科学省

成績評価の方法・基準

授業の取り組み40%、実習報告会での発表･評価40%、レポート･課題20%とし、60点以上で単位認定とする。

課題等に対する
フィードバックの方法

リアクションペーパーを適宜活用し、次回の講義時に解説するので、授業資料等も含めて振り返りをし、学習内容の理解に役立てること。
履修のポイント
教育実習(養護実習)での学びを効果的に行うための科目です。意欲･関心･課題意識を持ち、積極的な姿勢で臨んでください。
オフィス・アワー
在室時に随時対応します。10号館第1研究室
科目区分
教職科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-F474